

授業評価 2023

－ 学生による授業評価報告書－

【2023 年度新規開設科目】

2024年3月



授業評価 2023

－学生による授業評価報告書－

【2023 年度新規開設科目】

<u>I 「学生による授業評価 2023」の概要</u>	1
I - 1 . 目的	
I - 2 . 構成と内容	
I - 3 . 方法と期間	
I - 4 . 時系列分析	
I - 5 . 回答者の特性	
I - 6 . 評価結果の提供と公表	
I - 6 -1 . 評価結果の提供	
I - 6 -2 . 評価結果の公表	
I - 7 . その他	
<u>II 評定尺度調査の分析結果</u>	18
II - 1 . 学部の分析結果	
II - 1 -1 . 項目平均から見た全体的傾向	
II - 1 -2 . 学習への取組み姿勢	
II - 1 -3 . 学部の授業評価	
II - 1 -4 . 学部の重回帰分析	
II - 2 . 大学院の分析結果	
II - 2 -1 . 項目平均から見た全体的傾向	
II - 2 -2 . 学習への取組み姿勢	
II - 2 -3 . 大学院の授業評価	
II - 2 -4 . 大学院の重回帰分析	
<u>III 自由記述のまとめ</u>	126
<u>付録</u>	235

I. 「学生による授業評価 2023」の概要

I-1. 目的

本学では、授業に関する学生の理解の状況や満足感・充実感等を把握することによって、教育内容や教授方法、講義資料及び学習支援システム・施設等の改善に資することを目的とし、2005 年度より自己点検・評価の一環として学生による授業評価を導入した。

本年度は、第 19 回目となり、例年の通り 2023 年度に新規開設した科目を評価の対象とした。

以下、その量的分析結果及び自由記述の内容を報告する。

学生による授業評価は、個々の科目に対する学習者の視点からの具体的で詳細なフィードバックを得ることを企図して実施される調査である。その主な目的は、次の通りである。

- (1) 個別授業科目の改善支援……個々の科目を受講者がどのように学習し、どう評価しているかを項目ごとに把握することにより、次の科目改訂等に際して改善すべき点の発見を容易にするような資料を提供する。
- (2) カリキュラム全体の改善支援……コースまたは領域、プログラム（群）における、より効果的なカリキュラム構成や水準のバランス等を検討する上での有効な資料を提供する。
- (3) 認証評価に関わる資料提供……大学に対して社会的に強く求められている定期的な認証評価に際しての重要な資料を提供する。

しかし、一般の大学とは異なり、放送大学においては授業評価の結果をそうした目的にストレートに用いることが必ずしも容易ではない。そこには、次のような放送大学に固有のいくつかの条件と特殊事情があり、結果の利用には一定の留保が求められることになるからである。

第 1 に、放送大学では、収録された放送授業を 4 年間継続して放送する原則になっていることである。そのため、たとえ授業評価で改善点が明確に示唆されたとしても、即座にそれを改善する（つまり、評価の次年度に改訂版を収録する）ことが非常に難しいのである。

第 2 に、放送大学の主任講師は半数程度が客員教員であり、その場合、必ずしも科目の改訂を同一教員がするとは限らないことである。主任講師が交代すると、科目の内容や構成が変わってしまう場合があるため、前科目に対する評価は往々にして参考程度の意味しか持たないことになるのである。

第3に、放送大学は公開大学であり学部には入学試験がないこともある、他の一般大学に比して学生集団は多様で流動的であり、そこに一定のまとまりの特性を求めるのは難しい。授業評価で得られた結果も他の大学よりはるかに分散が大きいことが容易に予想される。したがって、たとえ結果を得たとしても、どの層の学生をターゲットとして授業改善をしていったらよいのか、必ずしも明確ではないのである。事実、過去の数次にわたる授業調査で毎回見られることであるが、例えば、「放送授業と印刷教材はできるだけ同一の内容に」と「放送授業と印刷教材の内容が同じでは別の教材である意味がない」とは、常に同じくらい多く書かれる意見である。もちろん、こうした意見の平均や中間点を採用してもあまり意味がないことは言うまでもない。

そして、第4に、放送大学は教員の5年任期制を採っており、再任のためには5年ごとの内部審査の通過が必要とされることである。そのため、個々の教員の評価にストレートに結びつきがちな授業評価の実施に対しては、当初より慎重論も決して少なくなかった。したがって、上述した第3の特性を持つ授業評価に関しては、授業改善あるいはカリキュラム改善のためにのみ結果を用いる、という確たる合意が必要とされるのである。

I-2. 構成と内容

本学生による授業評価調査（放送授業）は、大きく分けて3つの部分からなっている。

第1は、当該科目への取組姿勢、放送授業、印刷教材、単位認定試験等について4段階で評価する評定尺度質問である。その内容は、①当該科目にどれだけ熱心に取り組んだかを示す回答者自身の自己評価と、②授業の難易度・分量、放送授業、印刷教材、通信指導・単位認定試験および全体的に見た授業評価の2つに分かれる。

第2は、当該科目のよかった点、改善すべきだと感じた点、本学の教育システム全般への意見に関する質問であり、自由に記述してもらう形態を採った。

そして、第3は回答者の属性に関する質問である。

実際に使用した調査票については14,15,16,17頁を参照されたい。

I-3. 方法と期間

評価の対象としたのは、2023年度第1学期に本学で開講していた放送授業のうち、本年度に開設した科目及び前年度第2学期に開設した科目（開講1年目の科目）、学部47科目（オンライン授業8科目を除く）、大学院3科目（オンライン授業4科目を除く）、計50科目である（表1-1参照）。このような選定システムにすることで、開設後4年間継続して放送することとされている全科目が、開講期間中に必ず1回授業評価の対象とされることになる。

表1－1 コース・プログラム別の評価対象科目数および有効回答数（オンライン授業を除く）
【学部】

コース	科目数		有効回答		コース	科目数	有効回答			
	2023年度		2023年度				2023年度			
	全開設	評価対象	人数	構成比			全開設	評価対象		
基盤科目(一般科目)	1	1	931	19%	臨床心理学	2	2	72	80%	
基盤科目(外国語)	4	4	171	4%	情報学	1	1	18	20%	
生活と福祉	9	9	1290	26%	全体	3	3	90	100%	
心理と教育	7	7	816	17%						
社会と産業	10	10	518	11%						
人間と文化	7	7	633	13%						
情報	4	4	233	5%						
自然と環境	4	4	175	4%						
夏季集中科目	1	1	114	2%						
全体	47	47	4881	100%						

2018年度より、教務情報システム（システムWAKABA）のアンケート機能を用いたオンライン調査とし、評価対象科目を受講した学部31,242名、大学院586名、計31,828名（いずれも延べ人数）に対し、学内連絡及びメールにて周知を行い、実施した。

調査期間は第1学期単位認定試験終了後の7月25日から9月30日までの68日間とし、有効回答数は学部4,881人、大学院90人、計4,971人であった。無記名調査ながら、有効回答率は学部18.9%、大学院26.2%、全体で19.0%と、2022年度の有効回答率（2022年度新規開設科目学部18.5%、大学院31.5%、全体18.9%）と比較すると学部は同水準、大学院は有効回答率が減少していた。

※オンライン授業を除く

表1－2 調査対象者数および有効回答率

	2023年新規開設科目			2022年新規開設科目			2021年新規開設科目		
	対象者 数	有効 回答者 数	有効 回答率	対象者 数	有効 回答者 数	有効 回答率	対象者 数	有効 回答者 数	有効 回答率
学部	25824	4881	18.9%	33837	6275	18.5%	42584	7783	18.3%
大学院	343	90	26.2%	1053	332	31.5%	1501	412	27.4%
計	26167	4971	19.0%	34890	6607	18.9%	44085	8195	18.6%

I-4. 時系列分析

報告書の一部に過去2年度の調査との比較を掲載した。

本調査は原則として開講1年目の科目を対象とするため、調査対象科目は年度ごとに異なっているという事情がある。本来ならば、時系列分析は同一の科目同士あるいは同一科目から構成されるコース（プログラム）を比較対象としてこそ、その意義が発揮されるであろう。しかし、対象科目が異なるとはいえ、年度ごとに開設された放送授業の全体的な傾向及びその方向性を見る上では参考になると思われる。

I-5. 回答者の特性

(1) 回答者の属性分布と母集団との比較

※ pt: ポイント

(次頁表1-3)は、回答者の属性分布と母集団（全受講登録者）の属性分布を比較したものである。両者を比較して、回答者の属性分布と母集団の属性分布間に乖離がないか確認を行う。

学部では、男性は+0pt、女性は0ptで母集団との差はなかった。

年齢階層別では19歳以下～40歳代までがマイナスで、20歳代（-9.8pt）と30歳代（-5.9pt）が、母集団との差が大きかった。

反対に母集団より高かったのは50歳代～70歳以上で、50歳代（+7.7pt）と60歳代（+8.5pt）が特に差が開いていた。

学生種別では全科履修生が+0.4pt、選科履修生が-0.7ptと母集団との乖離が大きかった。

一方、大学院の性別では男性が+2.8pt、女性は-2.6ptで、学母集団との差が大きかった。

年齢階層別では、20歳代～40歳代までと70歳以上が母集団より低くなっていた。

学生種別では修士全科生は母集団より21.6pt高く、修士選科生は逆に-19.7pt低かった。

表1－3 回答者の属性分布

【学部】

		2023年新規開設科目			2022年新規開設科目			2021年新規開設科目		
		回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差
性別	男性	43.6%	43.6%	0.0pt	45.0%	44.7%	0.3pt	39.2%	38.3%	0.9pt
	女性	56.4%	56.4%	0.0pt	55.0%	55.3%	-0.3pt	60.8%	61.7%	-0.9pt
年齢階層別	19歳以下	1.2%	1.9%	-0.7pt	2.2%	3.3%	-1.1pt	1.2%	1.3%	-0.1pt
	20～29歳	8.2%	18.0%	-9.8pt	9.2%	20.1%	-10.9pt	7.7%	16.0%	-8.3pt
	30～39歳	8.9%	14.8%	-5.9pt	11.3%	16.2%	-4.9pt	8.8%	14.4%	-5.6pt
	40～49歳	18.8%	20.1%	-1.3pt	22.6%	22.2%	0.4pt	21.9%	23.1%	-1.2pt
	50～59歳	29.5%	21.8%	7.7pt	26.4%	19.3%	7.1pt	30.8%	23.8%	7.0pt
	60～69歳	21.9%	13.4%	8.5pt	18.5%	11.4%	7.1pt	21.3%	13.5%	7.8pt
	70歳以上	11.5%	10.0%	1.5pt	9.8%	7.4%	2.4pt	8.2%	8.0%	0.2pt
学生種別	全科履修生	76.3%	75.9%	0.4pt	71.0%	69.0%	2.0pt	81.3%	79.0%	2.3pt
	選科履修生	16.8%	17.5%	-0.7pt	17.7%	20.1%	-2.4pt	14.8%	17.5%	-2.7pt
	科目履修生	6.9%	6.6%	0.3pt	11.2%	10.9%	0.3pt	3.9%	3.4%	0.5pt
人数 (N)		4881	-	-	6275	-	-	7783	-	-

※回答者については、無回答があるため、合計は100%になりません。

【大学院】

		2023年新規開設科目			2022年新規開設科目			2021年新規開設科目		
		回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差
性別	男性	53.5%	50.7%	2.8pt	62.7%	63.2%	-0.5pt	50.7%	50.0%	0.7pt
	女性	46.7%	49.3%	-2.6pt	37.3%	36.8%	0.5pt	49.3%	50.0%	-0.7pt
年齢階層別	19歳以下	0.0%	0.0%	0.0pt	0.0%	0.0%	0.0pt	0.0%	0.0%	0.0pt
	20～29歳	1.1%	5.0%	-3.9pt	4.5%	5.5%	-1.0pt	1.5%	4.5%	-3.0pt
	30～39歳	7.8%	11.7%	-3.9pt	6.0%	10.8%	-4.8pt	10.4%	11.5%	-1.1pt
	40～49歳	23.3%	25.1%	-1.8pt	15.4%	18.8%	-3.4pt	15.8%	21.0%	-5.2pt
	50～59歳	33.3%	31.5%	1.8pt	29.8%	25.3%	4.5pt	38.6%	29.1%	9.5pt
	60～69歳	32.2%	22.7%	9.5pt	32.8%	25.8%	7.0pt	23.8%	21.9%	1.9pt
	70歳以上	2.2%	4.1%	-1.9pt	11.4%	13.7%	-2.3pt	10.0%	12.0%	-2.0pt
学生種別	修士全科生	34.4%	12.8%	21.6pt	31.8%	17.1%	14.7pt	33.5%	14.1%	19.4pt
	修士選科生	61.1%	80.8%	-19.7pt	59.9%	73.8%	-13.9pt	58.3%	77.4%	-19.1pt
	修士科目生	4.4%	6.4%	-2.0pt	8.1%	9.1%	-1.0pt	8.3%	8.5%	-0.2pt
人数 (N)		90	-	-	332	-	-	412	-	-

※回答者については、無回答があるため、合計は100%なりません。

以下、今回の評価結果を分析する上で、回答者の特性からみて留意すべき点を明らかにするために、回答者の属性についてさらに見ていくことにする。

(2) 年齢階層別の分布 (2023年新規開設科目)

年齢階層別に本年度 (2023年新規開設科目) の回答者の分布を見ると (図1－1)、学部では50歳代が最

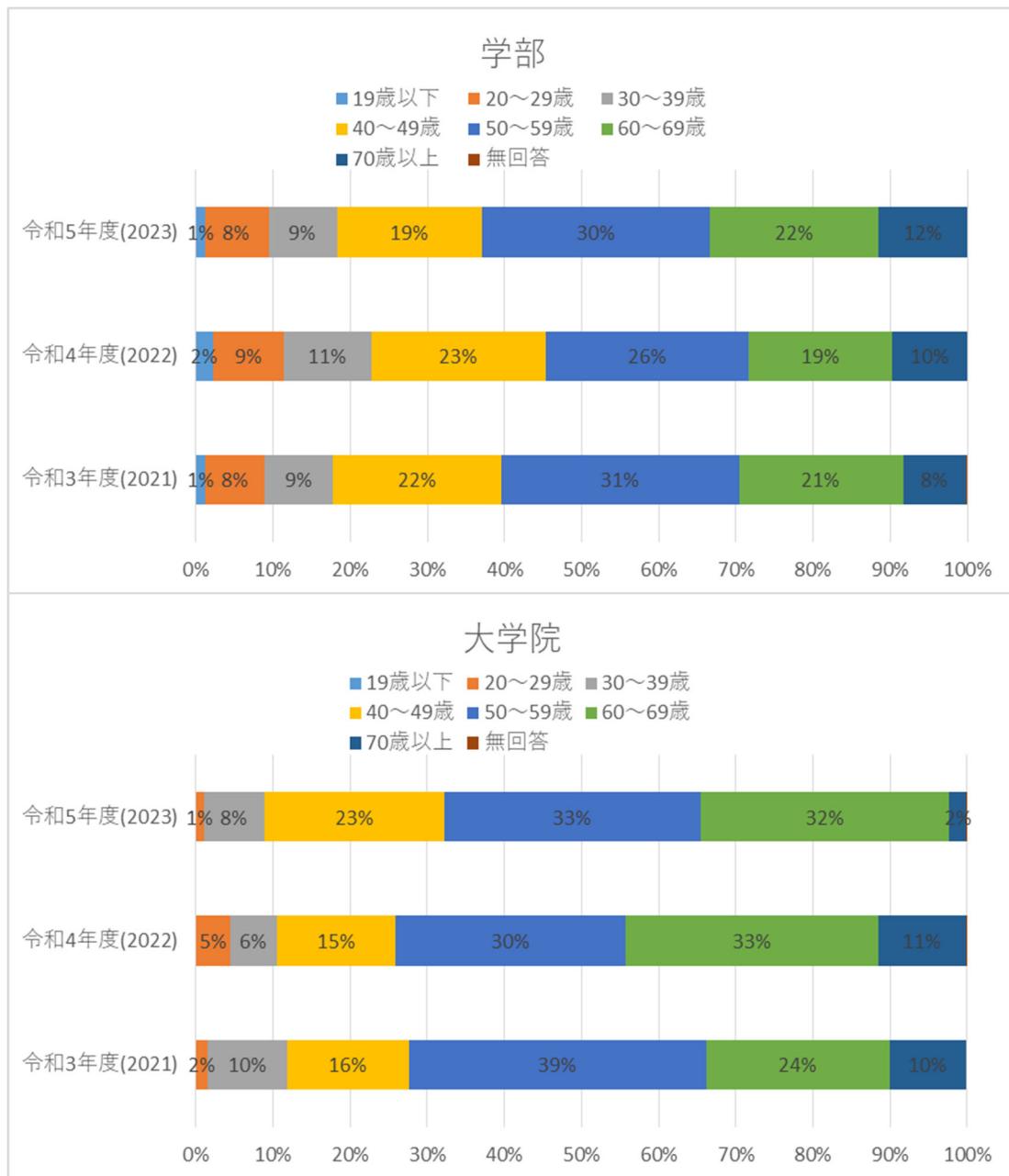
も多く30%、次いで60歳代22%、40歳代が19%で、40歳代から60歳代で約7割を占めていた。

昨年度と比べると、50歳代から70歳以上が増え、19歳代から40歳代が減っていた。

大学院は学部とは異なり、50歳代が最も多く33%で、40歳代から60歳代の構成比が高く、全体の約9割近くに達していた。

昨年度との比較では20歳代と70歳以上が減少し、主に40歳代が増加していた。

図1-1 年齢階層別回答者



(3) 性別の傾向 (2023年新規開設科目)

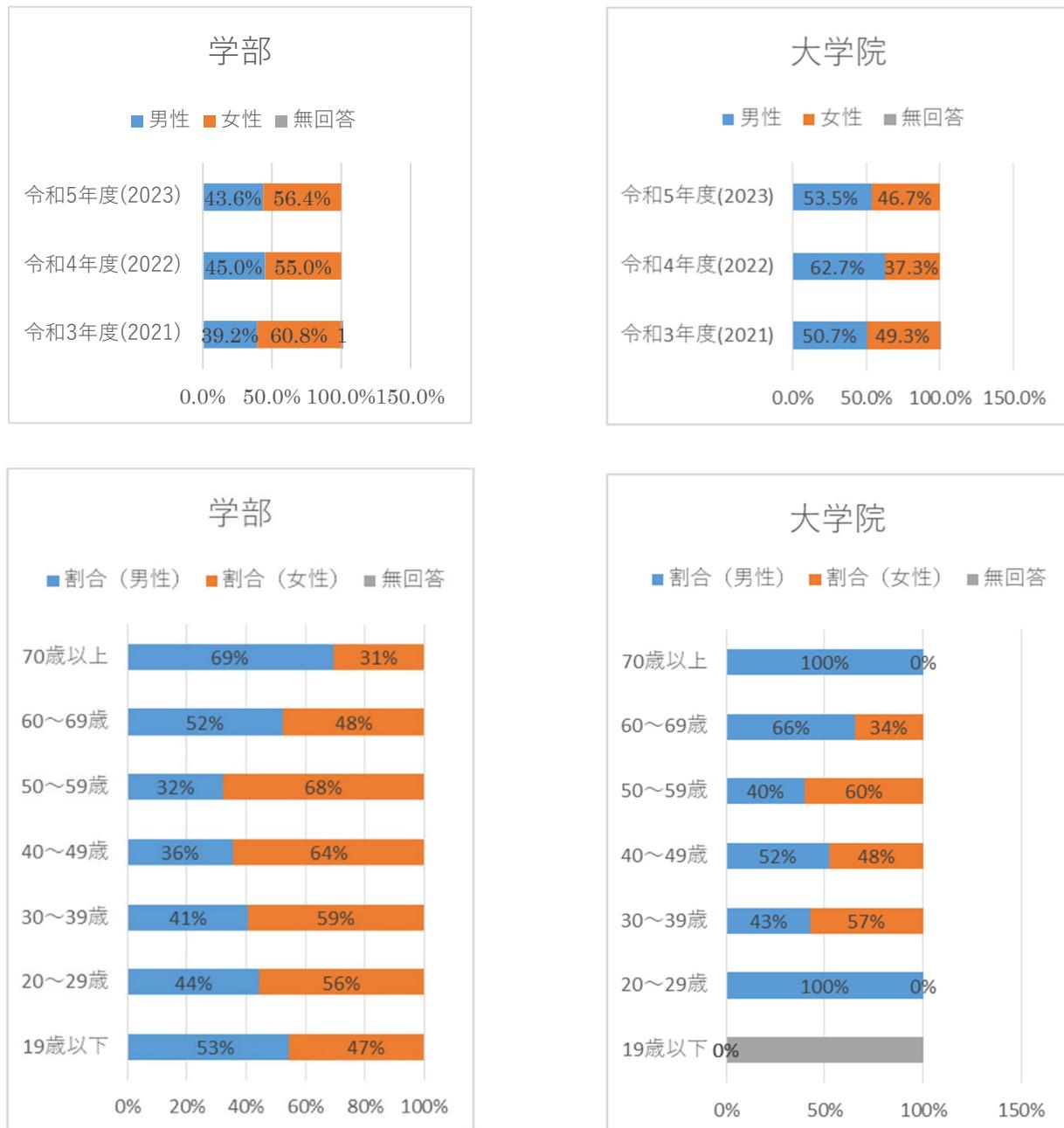
学部について、男女別全体では(図1-2)、「男性」は43.6%、「女性」は56.4%となり、今回は女性が増加していた。

年代毎の男女の構成を見ると、20歳代から50歳代までは女性の割合が多く、逆に60歳代以上から男性が多くなり、70歳以上は男性が約7割近くを占めていた。

大学院では、「男性」53.5%、「女性」46.7%で、昨年度より男性が9ポイント減少した。

年代別では70歳以上で、男性の割合が10割を占めていた。

図1-2 性別回答者



(4) 職業別分布 (2023年新規開設科目)

学部在籍者の職業は(図1-3)、「会社員」が最も多く24%、次いで「無職」(19%)「パート・アルバイト」(14%)が続いている。

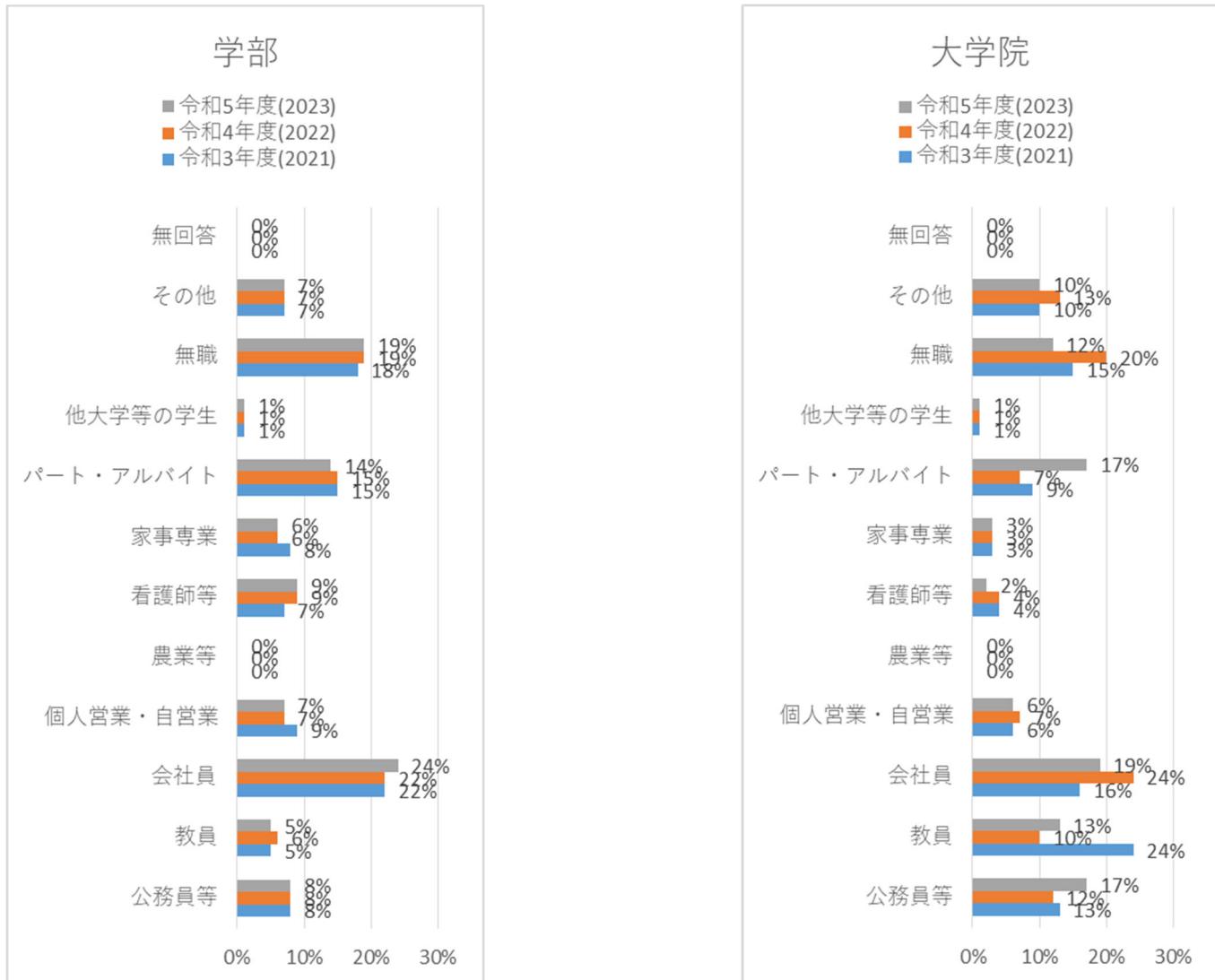
時系列で見ると、大きな変化は見られないが、昨年度と比べ、「看護師等(9%)」が横ばい、「個人営業・自営業(7%)」「家事専業(6%)」が横ばいであった。

大学院では「会社員」が19%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」と「公務員等(17%)」「教員(13%)」が続いている。

時系列で見ると、「パート・アルバイト」「公務員」「教員」が増加している一方、「無職」「その他」については、減少傾向が続いている。

なお、ここでの年齢別、性別、職業別の回答者の割合は、調査対象年度の科目による相違も影響しているので、放送大学の全学生の構成や時系列変化とは必ずしも同じではないことに注意されたい。

図1-3回答者の職業



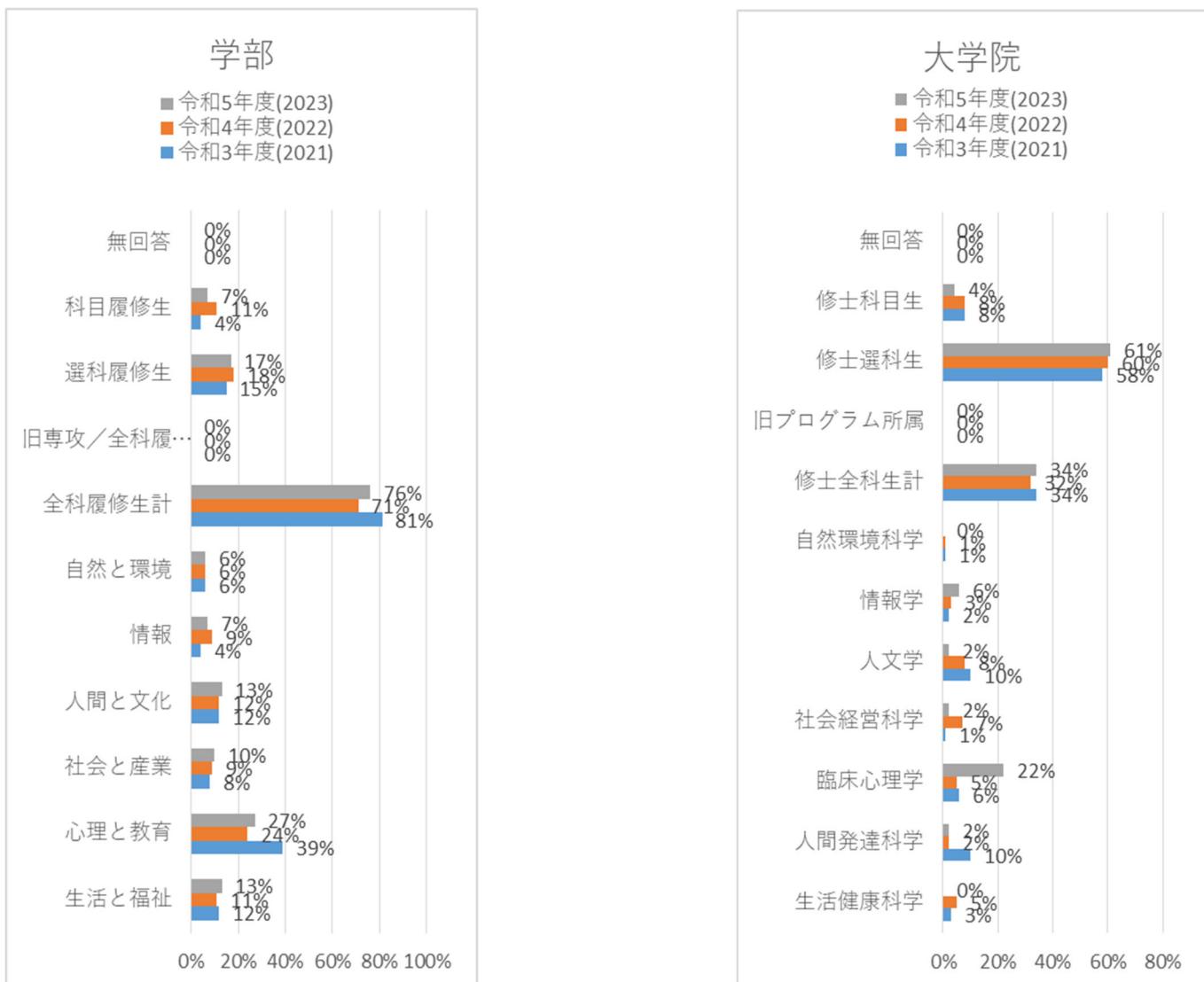
(5) 所属コース(プログラム)別分布 (2023年新規開設科目)

所属コース(プログラム)別の分布では(図1-4)、学部は全科履修生(新コース)が76%を占めているが、昨年度より5ポイント増加していた。その中では、「情報(7%)」が昨年度より2ポイント減少していた。

大学院では修士選科生が61%を占めており、修士全科生（新プログラム）が34%、修士科目生が4%であった。

修士全科生の所属プログラムでは「臨床心理学（22%）」と「情報学（6%）」が上位であった。

図1-4 回答者の所属コース（プログラム）



I-6. 評価結果の提供と公表

I-6-1. 評価結果の提供

本授業評価は、先にも掲げたように「個別授業科目の改善支援」「カリキュラム全体の改善支援」「認証評価に関する資料提供」という3つの大きな目的のもとに実施開始年度当初に企画された。また、当時の授業評価小委員会（以下「小委員会」という。）での検討の結果、得られたデータは次のように資料提供されることとなった。

- (1)当該科目を担当した主任講師への提供……担当科目の詳細な評価結果を主任講師に提供する。担当科目の評価結果には、担当科目と比較可能な全科目平均等及び自由記述部分が含まれる。
- (2)コース主任及びプログラム・コーディネーターへの提供……全てのコース・プログラムに対して、その関係する資料一式を提供する。
- (3)教授会及び教務委員会等関連委員会への提供……大学全体のカリキュラム編成に関する検討や意思決定に際しての資料とするため、教授会及び各委員会に提供する。

実際に主任講師等へ提供した個別科目に関する資料の内容は、12頁～17頁の「提供資料サンプル」に示した通りである。

I-6-2. 評価結果の公表

さて、収集された授業評価の結果は授業改善の目的で用いることに加えて、現在では大学の社会的責務として評価結果の公表を強く求められていることから、以下のことを基本的な方針とすることとしている。

(1)公表への基本姿勢

授業評価の結果については、基本的にできる限り広く社会に提示することが必要である。放送大学に課せられた社会的使命、教育体系全体における位置付け、そして納税者国民への説明責任等を勘案するならば、言うまでもなくそれが理の当然である。そこで、当面は以下に示す形態で公表していくこととする。

(2)公表する内容

以下のデータに関する公表することとする。

- ①調査の概要 : 授業評価の目的、方法、実施時期、調査対象者数、調査票等
 - ②回答者の概要 : 基本属性別に見た有効回答者数
 - ③評点平均 : 全対象科目を総計した結果について、回答者の属性別、科目の分野別、メディア別等の各設問の評点平均値
 - ④自由記述の概略 : 特徴的・代表的な記述
- (3)公表の方法
(2)の内容について、放送大学ホームページ等で適宜公表することを基本とする。

I-7. その他

オンライン授業科目について

2015年度から開設されたオンライン授業科目については、原則放送授業に準じた授業評価項目をアンケート調査することとしているが、次の理由により全体集計には入れず、「III. 自由記述のまとめ」に当該科目の自由記述の集計等を参考情報として掲載するに留める。

- ・調査時期（4月5日～8月31日）が異なること
- ・放送授業と同様に調査できない項目が一部あること（例：印刷教材を作成していない）
- ・対象科目が少ない（学部8科目、大学院4科目）こと

提供資料サンプル【学部】

学部1		2023年度学生による授業評価の調査結果【2023年度新規開設科目】（単純集計）									
コース・プログラム等		一般科目									
科目名（コード）		より良い思考の技法（T-23）									
		(140116) 授業評価 総合評価									

(注)算出評価は、「あてはまる4点」や「あてはまぬ2点」が並んでいた場合は「あてはまぬ1点」として算出。

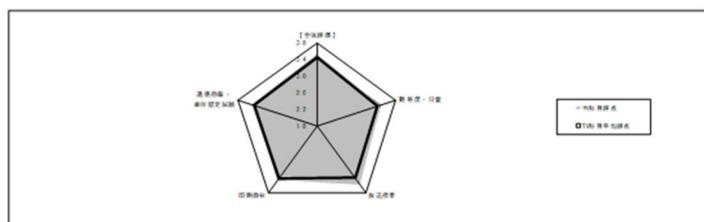
1. 取組み実勢

評 価 指 標	評 価 指 標	問題内容	有効回答	問題評価				平均評価		
				あてはまる 点数	ややあては まる点数	あてはま ぬ点数	あてはま ない点数	平均回答	中央平均 評価	IV回答率
	A-1	提供されて、この科目の学習に熱心に取り組んだ	931	55%	37%	7%	1%	3.47	3.41	3.43
	A-2	授業内容を十分に理解した	931	54%	34%	9%	2%	3.40	3.24	3.30
	A-3	自動教材を熱心に学習した	931	42%	45%	12%	1%	3.28	3.35	3.35

【総合評価上、TV回答率との差】

	-1.0	-0.5	0.0	0.5	1.0
IV回答率	0.04				
TV回答率	0.11				
差	-0.06				

2. 授業評価



評 価 指 標	評 価 指 標	問題内容	有効回答	問題評価				平均評価		
				あてはまる 点数	ややあては まる点数	あてはま ぬ点数	あてはま ない点数	平均回答	中央平均 評価	IV回答率
	B-1	授業内容は理解度は適切だった	931	50%	39%	9%	2%	3.37	3.27	3.30
	B-2	授業内容の内容は適切な分量であった	931	59%	34%	6%	1%	3.50	3.35	3.38
	B-3	自動教材の理解度は適切だった	931	48%	39%	11%	2%	3.33	3.28	3.30
	B-4	自動教材の内容は適切な分量であった	931	53%	37%	9%	1%	3.41	3.35	3.36
	B-5	講義の説明はポイントをさえぎりやすかった	931	69%	26%	4%	1%	3.63	3.36	3.43
	B-6	授業内容は授業内容でよくできていると感じた	931	66%	28%	5%	1%	3.59	3.36	3.42
	B-7	「なぜ?」の特徴が十分にわかるかないと感じた	931	64%	26%	8%	2%	3.53	3.24	3.34
	B-8	より結構や質的改善によって、理解が深かった	931	62%	30%	7%	1%	3.52	3.23	3.37
	B-9	ゲストや関係者によって、理解が深かった	931	69%	31%	8%	2%	3.48	3.12	3.24
	B-10	自動教材と授業資料の内容的な関連性は適切だった	931	59%	34%	6%	1%	3.51	3.37	3.40
	B-11	自動教材の内容は理解度が少しか悪かった	931	47%	41%	10%	2%	3.35	3.29	3.33
	B-12	理解度や可読性が適切でないし、内容の理解に改善った	931	52%	38%	9%	1%	3.41	3.28	3.35
	B-13	自動教材は教材として人でできていると感じた	931	53%	28%	8%	1%	3.43	3.35	3.39
	B-14	講義内容のコントロールのいくの悪かった	931	56%	29%	6%	2%	3.45	3.38	3.43
	B-15	講義内容の内容は理解度が少しか悪かった	931	59%	24%	5%	2%	3.51	3.43	3.45
	B-16	夏目漱石の文章は、荷物内容の理解度をほのめかすほどの理解度だった	931	53%	36%	9%	2%	3.39	3.32	3.35
	B-17	授業内容は荷物内容の理解度を悪化させていると感じた	931	57%	30%	7%	1%	3.47	3.38	3.40
	B-18	学習意欲や興味、関心を高める要素が多かった	931	70%	24%	5%	1%	3.64	3.45	3.49
	B-19	新しい知識が荷物に水野野口広げた	931	73%	23%	4%	1%	3.68	3.57	3.59
	B-20	この科目の内容を多様としてよく理解できた	931	46%	41%	11%	2%	3.30	3.22	3.26
	B-21	この科目の内容には興味を持って満足している	931	67%	28%	6%	1%	3.59	3.41	3.46

【総合評価上、TV回答率との差】

	-1.0	-0.5	0.0	0.5	1.0
IV回答率	0.07				
TV回答率	0.12				
差	-0.05				

3. 目的者の属性（※回一入）

学生属性	令和5年度新規開設科目					令和5年度新規開設科目	令和5年度新規開設科目	令和5年度新規開設科目	令和5年度新規開設科目	令和5年度新規開設科目		
	年齢	性別	学年	学年	性別							
	112	318	93	143	60	51	0	777	124	30	0	931

性別	年齢				年齢	性別	性別	性別	性別	性別			
	10歳以下	10~19歳	20~29歳	30~39歳									
	343	588	0	931	27	70	94	183	295	109	73	0	931

職業	年齢				年齢	性別	性別	性別	性別	性別			
	10歳以下	10~19歳	20~29歳	30~39歳									
	77	26	254	70	2	54	71	100	2	151	64	0	931

満足度・基準超え割合	満足度				満足度	性別	性別	性別	性別	性別
	満足度	基準超え	満足度	性別						
	882	15	8	24	91					

提供資料サンプル【学部】

2023年度学生による授業評価の調査結果一覧【2023年度新規開設科目】（単純集計1 平均評点）

順位	科目名	性別	年齢	開設状況				教員評価				教員評価				印鑑登録				通級回数・単位記定期数				全体評価				課題にかかる評価 (A1-A8) の平均								
				講義	実習	実習実習	実習実習	講義	実習	実習	講義	講義	実習	実習	講義	実習	講義	実習	講義	実習	講義	実習	講義	実習	講義	実習	講義	実習	講義	実習						
1	対象者数	7	343	90	26	3.52	3.38	3.33	3.41	3.37	3.37	3.40	3.40	3.38	3.56	3.21	3.30	3.36	3.40	3.53	3.42	3.51	3.48	3.37	3.49	3.38	3.41	3.50	3.60	3.69	3.46	3.59	3.57	3.45		
2	科目属性			3.67	3.61	3.47	3.58	3.47	3.50	3.47	3.61	3.51	3.76	3.76	3.24	3.61	3.47	3.57	3.71	3.72	3.61	3.47	3.51	3.44	3.47	3.61	3.71	3.89	3.67	3.67	3.67	3.60	3.60			
3	科目属性			3.47	3.20	3.25	3.34	3.33	3.29	3.36	3.27	3.32	3.45	3.51	3.17	3.20	3.31	3.33	3.47	3.29	3.47	3.39	3.44	3.35	3.30	3.45	3.30	3.45	3.55	3.58	3.58	3.56	3.49	3.37		
4	テレビ科目 (TV) 平均	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
5	ラジオ科目 (R) 平均	343	90	26	3.52	3.38	3.33	3.41	3.37	3.27	3.40	3.40	3.38	3.56	3.59	3.21	3.30	3.36	3.40	3.47	3.53	3.42	3.51	3.48	3.37	3.49	3.38	3.41	3.50	3.60	3.69	3.46	3.59	3.57	3.45	
6	「臨床心理学」全体	R	272	72	26.50	3.49	3.32	3.31	3.37	3.38	3.33	3.39	3.35	3.36	3.53	3.57	3.22	3.22	3.25	3.38	3.42	3.49	3.49	3.43	3.42	3.43	3.43	3.47	3.58	3.64	3.40	3.57	3.53	3.42		
7	「臨床心理学」専門 (2,3)	R	198	55	27.80	3.49	3.29	3.25	3.35	3.36	3.29	3.36	3.27	3.32	3.45	3.51	3.22	3.20	3.31	3.34	3.33	3.47	3.36	3.47	3.41	3.42	3.51	3.36	3.43	3.45	3.55	3.58	3.58	3.49	3.40	3.39
8	「臨床心理学」専門 (2,3)	R	74	17	23.06	3.47	3.41	3.47	3.45	3.47	3.47	3.47	3.47	3.47	3.59	3.50	3.76	3.24	3.24	3.29	3.47	3.51	3.71	3.53	3.29	3.53	3.51	3.47	3.47	3.35	3.43	3.43	3.53	3.66	3.53	3.52
9	「临游学」全体	R	71	18	25.46	3.67	3.61	3.44	3.57	3.33	3.50	3.44	3.61	3.47	3.67	3.17	3.61	3.39	3.50	3.67	3.72	3.72	3.61	3.68	3.11	3.44	3.44	3.33	3.61	3.67	3.67	3.67	3.70	3.55	3.56	
10	「临游学」専門 (2,3)	R	71	18	25.46	3.67	3.61	3.44	3.57	3.33	3.50	3.44	3.61	3.47	3.67	3.17	3.61	3.39	3.50	3.67	3.72	3.72	3.61	3.68	3.11	3.44	3.44	3.33	3.61	3.67	3.67	3.67	3.70	3.55	3.56	

(注) 平均評点は、調査票の選択肢「あてはまる：4点」「ややあてはまる：3点」「あまりあてはまらない：2点」「あてはまらない：1点」として算出した。

2023年度学生による授業評価調査票（学部）

次の科目についてお答えください。

科目名	
科目コード	

I. この授業科目を学習して、あなたはどのような印象や感想をお持ちになりましたか。次の①～④及び(1)～(21)の項目について、あてはまる程度を4段階で評価し、4～1の番号にそれぞれ1つだけ○を付けてください。（この面が済みましたら、裏面にもお答えください。）

（注）通信指導を提出していない方、単位認定試験を受験していない方についても、回答できる範囲でお答えください。

A. 授業評価をしていただく前に、あなたの授業への取組みについてお尋ねします。

①	全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。	4	3	2	1
②	放送授業を十分に視聴した。	4	3	2	1
③	印刷教材を熱心に学習した。	4	3	2	1
④	単位認定のための学習方法について、次の1～3のいずれか一つを選んでください。				
	1. ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ。				
	2. ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ。				
	3. 放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ。				

B. 以下のアンケートにお答えください。

<授業の難易度・分量>					
(1)	放送授業の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(2)	放送授業の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
(3)	印刷教材の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(4)	印刷教材の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
<放送授業>					
(5)	講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。	4	3	2	1
(6)	放送授業は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
(7)	(テレビ科目についてのみお答えください) テレビの特性が十分に生かされていると感じた。	4	3	2	1
	(ラジオ科目についてのみお答えください) 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた。				
(8)	(テレビ科目についてのみお答えください) ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった	4	3	2	1
	(ラジオ科目についてのみお答えください) ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった				
(9)	ゲストや聞き手によって、理解が深まった	4	3	2	1
<印刷教材>					
(10)	印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった。	4	3	2	1
(11)	印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。	4	3	2	1
(12)	図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(13)	印刷教材は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
<通信指導・単位認定試験>					
(14)	通信指導のコメントは、納得のいくものだった。	4	3	2	1
(15)	通信指導は学習内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(16)	単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった。	4	3	2	1
<全体評価>					
(17)	授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	4	3	2	1
(18)	学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	4	3	2	1

(19)	新しい知識が身につき視野が広がった。	4	3	2	1
(20)	この科目の内容を全体としてよく理解できた。	4	3	2	1
(21)	この科目の内容には全体として満足している。	4	3	2	1

提供資料サンプル【学部】

II. 次の点について、ご自由にお書きください。

(1) この科目を受講してよかったですと思う点をお書きください。

(2) この科目を受講して、放送授業をさらによくするために改善すべきだと感じた点（例：ロケ、ゲスト、図表等の画像、演出の工夫など）をお書きください。

(3) この科目を受講して、その他のこと改め改善すべきだと感じた点をお書きください。

(4) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

III. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。（あてはまる番号に○を付けてください。）

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

IV. あなたご自身についてお答えください。（あてはまる番号にそれぞれ○を付けてください。）

(1) 学生種別	〔全科履修生 新コース所属の方〕				
	1. 生活と福祉	2. 心理と教育	3. 社会と産業	4. 人間と文化	5. 情報
	6. 自然と環境				
〔全科履修生 旧専攻所属の方〕					
	7. 生活と福祉	8. 発達と教育	9. 社会と経済	10. 産業と技術	11. 人間の探究
	12. 自然の理解				
〔選科履修生・科目履修生〕					
	13. 選科履修生	14. 科目履修生			
(2) 性別	1. 男性	2. 女性			
(3) 年齢	1. 19歳以下	2. 20~29歳	3. 30~39歳	4. 40~49歳	
	5. 50~59歳	6. 60~69歳	7. 70歳以上		
(4) 職業	1. 公務員等	2. 教員	3. 会社員	4. 個人営業・自営業	
	5. 農業等	6. 看護師等	7. 家事専業	8. パート・アルバイト	
	9. 他大学等の学生	10. 無職	11. その他 ()		

提供資料サンプル 【大学院】

2023 年度学生による授業評価調査票（大学院）

次の科目についてお答えください。

科目名	
科目コード	

- I. この授業科目を学習して、あなたはどのような印象や感想をお持ちになりましたか。次の①～④及び(1)～(21)の項目について、あてはまる程度を4段階で評価し、4～1の番号にそれぞれ1つだけ○を付けてください。（この面が済みましたら、裏面にもお答えください。）

（注）通信指導を提出していない方、単位認定試験を受験していない方についても、回答できる範囲でお答えください。

あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
-------	---------	------------	---------

A. 授業評価をしていただく前に、あなたの授業への取組みについてお尋ねします。

①	全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。	4	3	2	1
②	放送授業を十分に視聴した。	4	3	2	1
③	印刷教材を熱心に学習した。	4	3	2	1
④	単位認定のための学習方法について、次の1～3のいずれか一つを選んでください。				
	1. ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ。				
	2. ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ。				
	3. 放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ。				

B. 以下のアンケートにお答えください。

<授業の難易度・分量>					
(1)	放送授業の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(2)	放送授業の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
(3)	印刷教材の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(4)	印刷教材の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
<放送授業>					
(5)	講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。	4	3	2	1
(6)	放送授業は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
(7)	(テレビ科目についてのみお答えください) テレビの特性が十分に生かされていると感じた。	4	3	2	1
	(ラジオ科目についてのみお答えください) 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた。				
(8)	(テレビ科目についてのみお答えください) ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった	4	3	2	1
	(ラジオ科目についてのみお答えください) ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった				
(9)	ゲストや聞き手によって、理解が深まった	4	3	2	1
<印刷教材>					
(10)	印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった。	4	3	2	1
(11)	印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。	4	3	2	1
(12)	図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(13)	印刷教材は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
<通信指導・単位認定試験>					
(14)	通信指導のコメントは、納得のいくものだった。	4	3	2	1
(15)	通信指導は学習内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(16)	単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった。	4	3	2	1
<全体評価>					
(17)	授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	4	3	2	1
(18)	学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	4	3	2	1

(19)	新しい知識が身につき視野が広がった。	4	3	2	1
(20)	この科目の内容を全体としてよく理解できた。	4	3	2	1
(21)	この科目の内容には全体として満足している。	4	3	2	1

提供資料サンプル【大学院】

II. 次の点について、ご自由にお書きください。

(1) この科目を受講してよかったですと思う点をお書きください。

(2) この科目を受講して、放送授業をさらによくするために改善すべきだと感じた点（例：ロケ、ゲスト、図表等の画像、演出の工夫など）をお書きください。

(3) この科目を受講して、その他のこと改で改善すべきだと感じた点をお書きください。

(4) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

III. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。（あてはまる番号に○を付けてください。）

- 4. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
- 5. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
- 6. 通信指導を提出しなかった。

IV. あなたご自身についてお答えください。（あてはまる番号にそれぞれ○を付けてください。）

(1) 学生種別	〔修士全科生 新プログラム所属の方〕 1. 生活健康科学 2. 人間発達科学 3. 臨床心理学 4. 社会経営科学 5. 人文学 6. 情報学 7. 自然環境科学 〔修士全科生 旧プログラム所属の方〕 8. 文化情報学 9. 文化情報科学群 10. 環境システム科学群 11. 政策経営 12. 教育開発 13. 臨床理 〔修士選科生・修士科目生〕 14. 修士選科生 15. 修士科目生				
(2) 性別	1. 男性 2. 女性				
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20~29歳 3. 30~39歳 4. 40~49歳 5. 50~59歳 6. 60~69歳 7. 70歳以上				
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ()				

II. 評定尺度調査の分析結果

【評定尺度調査の分析にあたって】

今回用いた評定尺度は、「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」による4段階評価である。

本報告書においては、データの理解や分析のしやすさを考慮し、便宜的に4段階のカテゴリーに4~1の点数を振り、その平均値を算出することによって、データの代表値とした。

ただし評定尺度の各カテゴリーに振られた「数字」を「数値」として加減乗除の演算をすることは、厳密に言えば統計処理として適切でない。

3が2よりもあてはまる程度が大きいことは言えても、4と3の間と3と2の間が等距離だという保証はどこにもないからである。

しかし、4つのカテゴリーごとの相対度数（パーセント）から何らかの傾向を掴み取ることは容易ではないため、平均値を回答の傾向を推察する目安の1つとして用いたい。

また、ここでの平均値は何らかの単位を持つものではないので、データ同士の相対比較でのみ、その傾向を読み取ることになる。仮にある項目の平均値が、他の項目より低かったとしても、大部分の回答者がその項目に対して肯定的な評価をしていれば、その項目の評価は低いと簡単に断言できるものではないからである。つまり絶対的な評価が把握しにくいと言える。そこで、「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した対象者の割合を合計して提示した。

これによって、その評価項目に対し肯定的評価をしている学生がいかほどの割合で存在するかを推測する目安とする。

さらに回答者の属性ごとの回答者数について、本来ならば、グラフ等のデータごとに回答者数を示すべきであるが、全てのデータに回答者数を掲載すると極めて煩雑になるため、ここに一括して掲載することにした（次頁表2-1）。

以下、本章においては、常に次頁の回答者数に基づいてデータを見る必要がある。特に回答者数の少ない層ほど誤差が大きくなり、%表記がそぐわないため、いずれも参考値としてグラフに記載しているが、コメントを割愛する事にする。

例えば、大学院では職業別の「看護師等」（2人）、「他大学生等の学生」（1人）、「農業等」（0人）で、年齢階層別では、「20~29歳」（1人）、「19歳以下」（0人）が挙げられる。

表 2-1 回答者数一覧

【学部】

全体	4881	(単位:人)	
メディア		年齢階層	
テレビ科目 (T V)	3446	19歳以下	59
ラジオ科目 (R)	1435	20~29歳	398
職業		30~39歳	436
公務員等	372	40~49歳	919
教員	249	50~59歳	1440
会社員	1148	60~69歳	1069
個人営業・自営業	357	70歳以上	560
農業等			
看護師等	444	基盤科目(一般科目)	931
家事専業	311	基盤科目(外国語)	171
パート・アルバイト	706	生活と福祉	1290
他大学等の学生	35	心理と教育	816
無職	912	社会と産業	518
その他	328	人間と文化	633
		情報	233
		自然と環境	175
		夏季集中科目	114

【大学院】

全体	90	(単位:人)	
メディア		年齢階層	
テレビ科目 (T V)	0	19歳以下	0
ラジオ科目 (R)	90	20~29歳	1
職業		30~39歳	7
公務員等	15	40~49歳	21
教員	12	50~59歳	30
会社員	17	60~69歳	29
個人営業・自営業	5	70歳以上	2
農業等			
看護師等	2	臨床心理学	72
家事専業	3	情報学	18
パート・アルバイト	15		
他大学等の学生	1		
無職	11		
その他	9		

II-1. 学部の分析結果

II-1-1. 項目平均から見た全体的傾向

ここからは、B-1～B-21 の評価項目（14～15 頁の提供資料サンプルを参照）ごとに、平均値と肯定的評価のグラフを基に、そのデータから目立つ点や、特徴的傾向を記述していくことにする。

平均値は、評価項目の選択肢である「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」に対して順に 4 点、3 点、2 点、1 点の得点を与え、その得点合計を回答者数で割った値である。全員が「あてはまる」とした場合、平均値は 4.00 で最も高くなり、全員が「あてはまらない」とすると最低の 1.00 となる。

また、肯定的評価は文字通り「あてはまる」と「ややあてはまる」の比率の合計である。平均値より肯定的な評価の方が（例えば回答者の 80% と）イメージしやすく、平均値と肯定的評価に齟齬が出た場合、どちらを採るか合理的な判断ができないので、記述については肯定的評価を用いて、平均値は参考値として扱っていきたい。

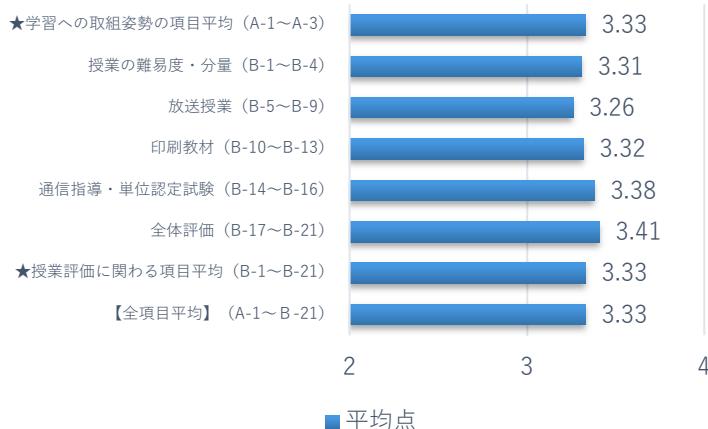
また、過去 2 年間との年度間の比較（24 頁等）の箇所は、比率の差の検定結果から、全体の回答者数（2023 年度:4,881 人、2022 年度:6,275 人、2021 年度:7,783 人）が多いため、各比率の差が概ね 2 ポイントで有意となり、2 ポイント以上で差があることとした。

テレビ科目とラジオ科目のメディア間の比較では、同検定結果から概ね 2 ポイントで有意差が見られるため、年度間比較と同様 2 ポイント以上で差があることとした。

図 2-1 の肯定的評価では各項目とも 80% 台で、『通信指導・単位認定試験』『全体評価（B-17～B-21）』が 89% と最も高く、逆に『放送授業』（83%）が最も低い評価であった。

図 2-1 【学部】項目平均による全体的傾向

平均値



肯定的評価

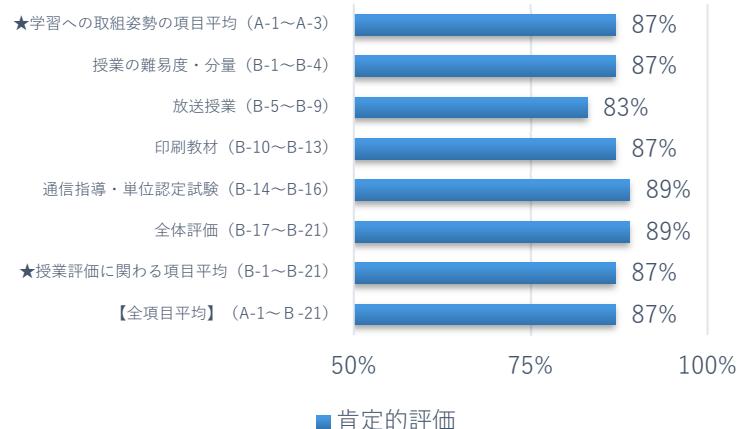
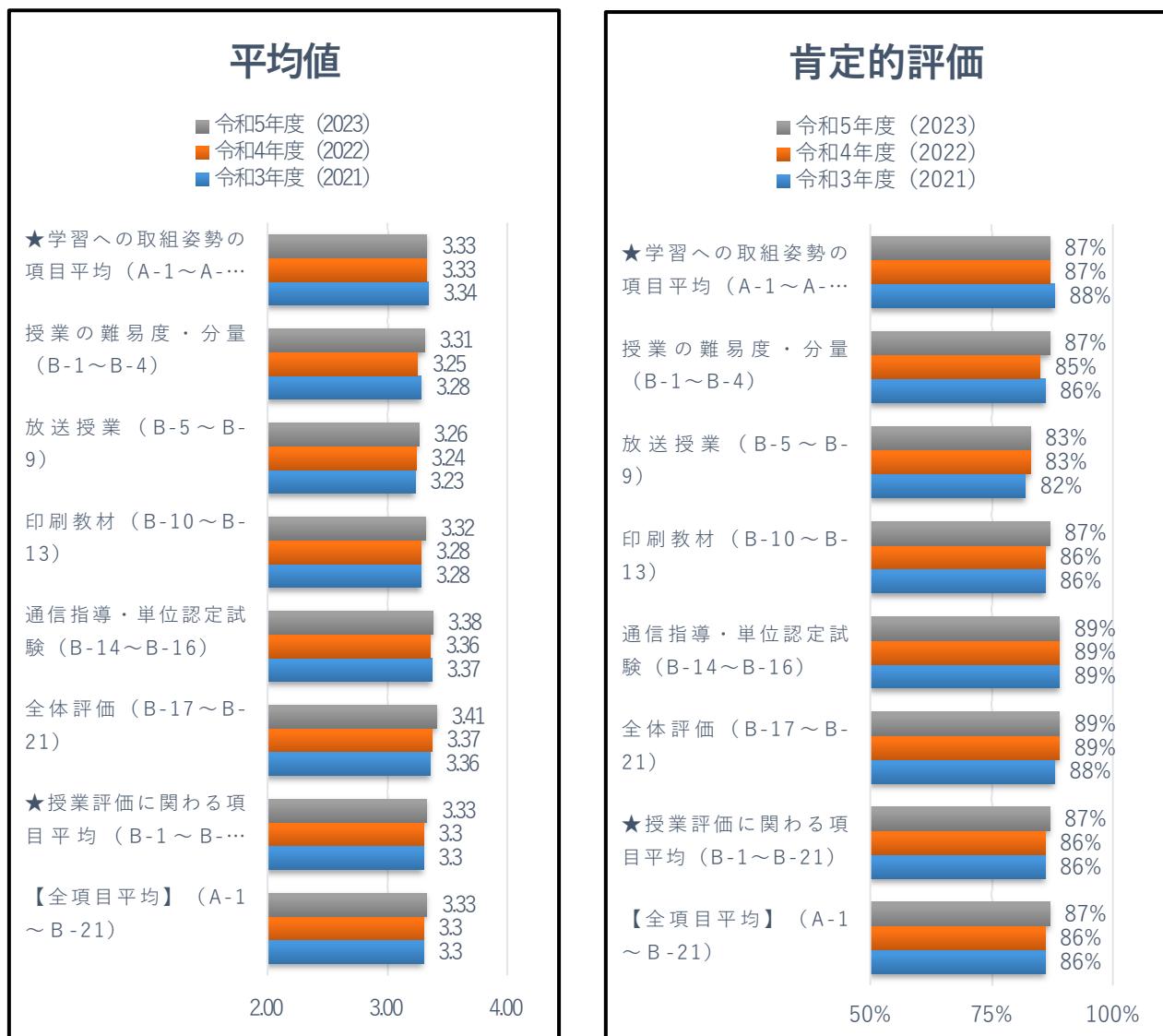


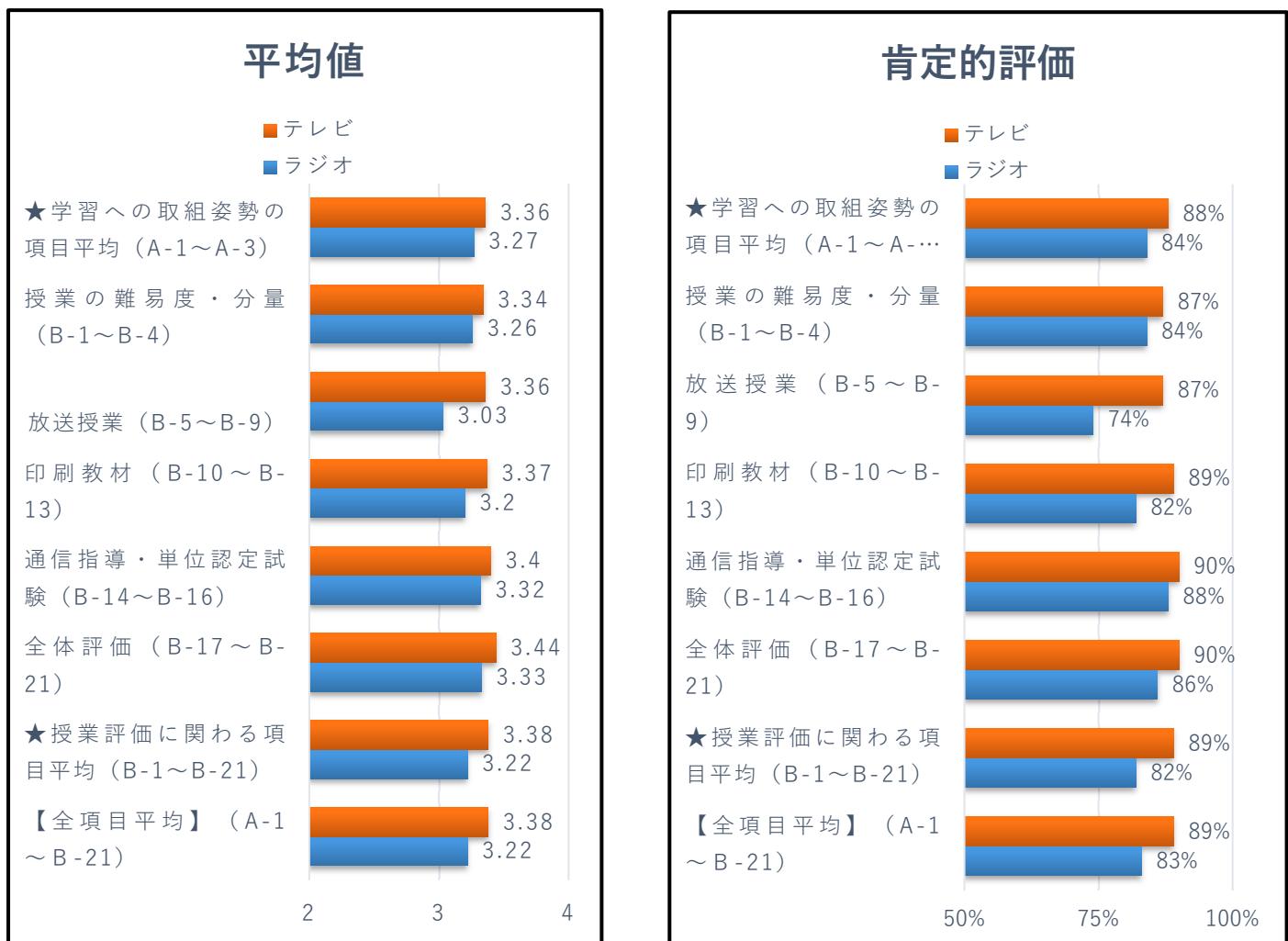
図2-2の項目平均による全体的傾向では、肯定的評価が本年度は、昨年度より全項目で横ばいか、1～2ポイント増となっていた。

図2-2 【学部】項目平均による全体的傾向（開設年度比較）



メディア別では(図2-3)、テレビ科目とラジオ科目のメディア間では、いずれの項目もテレビの方が2~13ポイント高くなっていた。(特に『放送授業』の差が大きい)

図2-3 【学部】項目平均によるメディア別全体的傾向

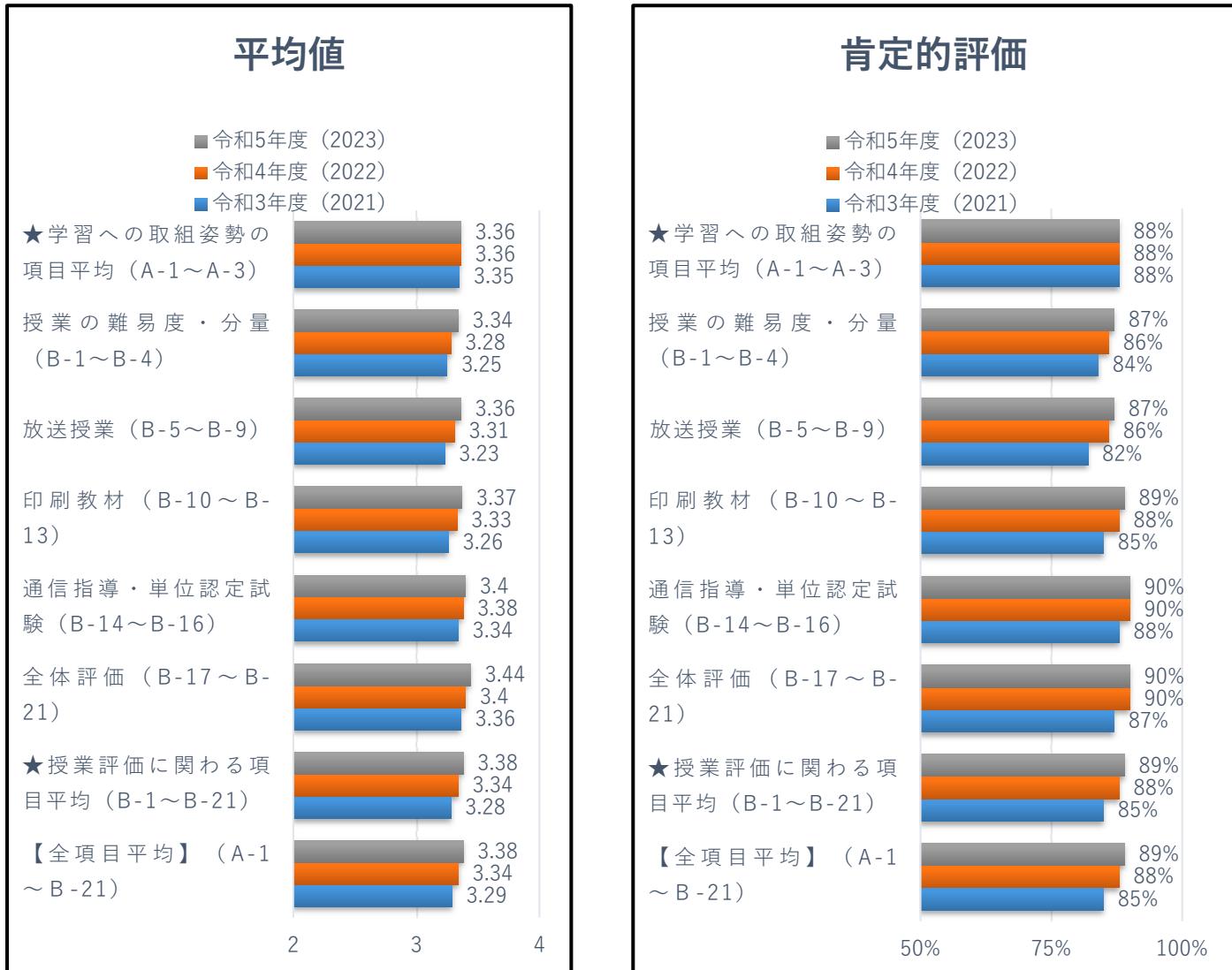


メディア別の項目平均を時系列で比較してみると(図2-4)、テレビ科目では、本年度は昨年度より、「学習への取組姿勢の項目平均」「通信指導・単位認定試験」「全体評価」は、横ばいであったが、その他の項目では評価が上昇していた。

一方、ラジオ科目では、「学習への取組姿勢の項目平均」「全体評価」「授業評価に関する項目平均」は横ばいで、「授業の難易度・分量」「印刷教材」「通信指導・単位認定試験」は評価が上昇した。

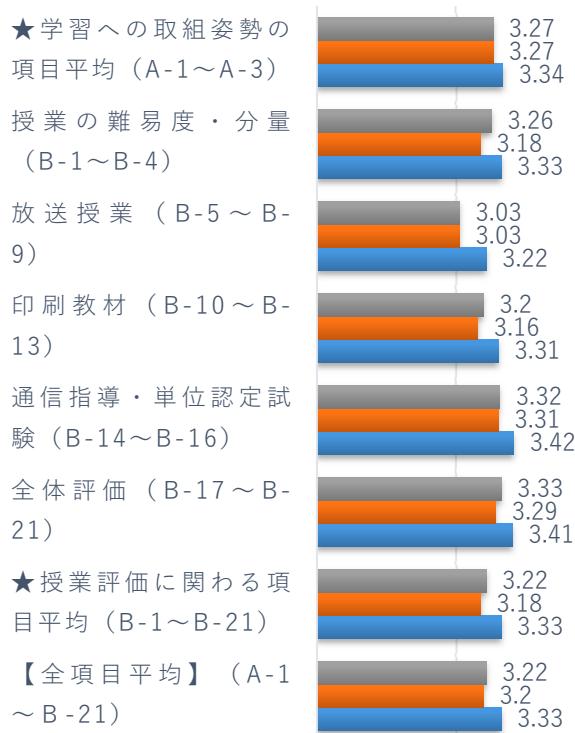
テレビ

図2-4



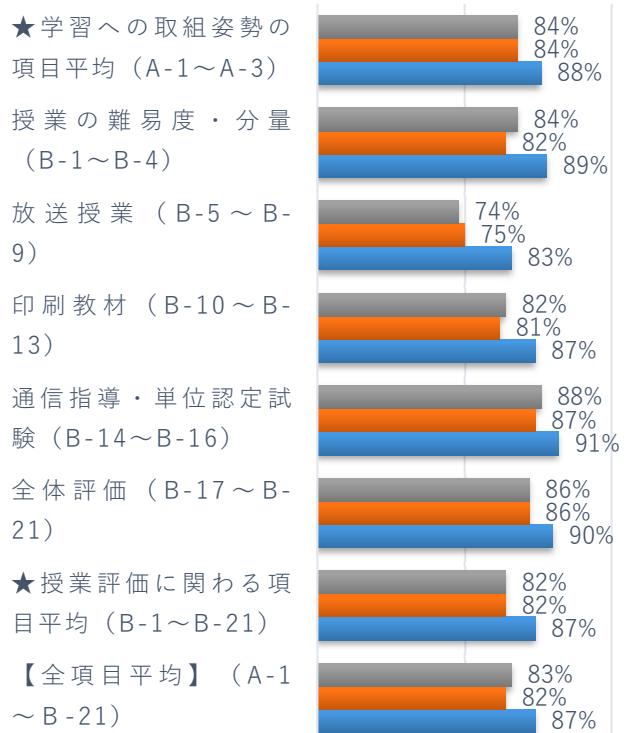
平均値

■ 令和5年度 (2023)
 ■ 令和4年度 (2022)
 ■ 令和3年度 (2021)



肯定的評価

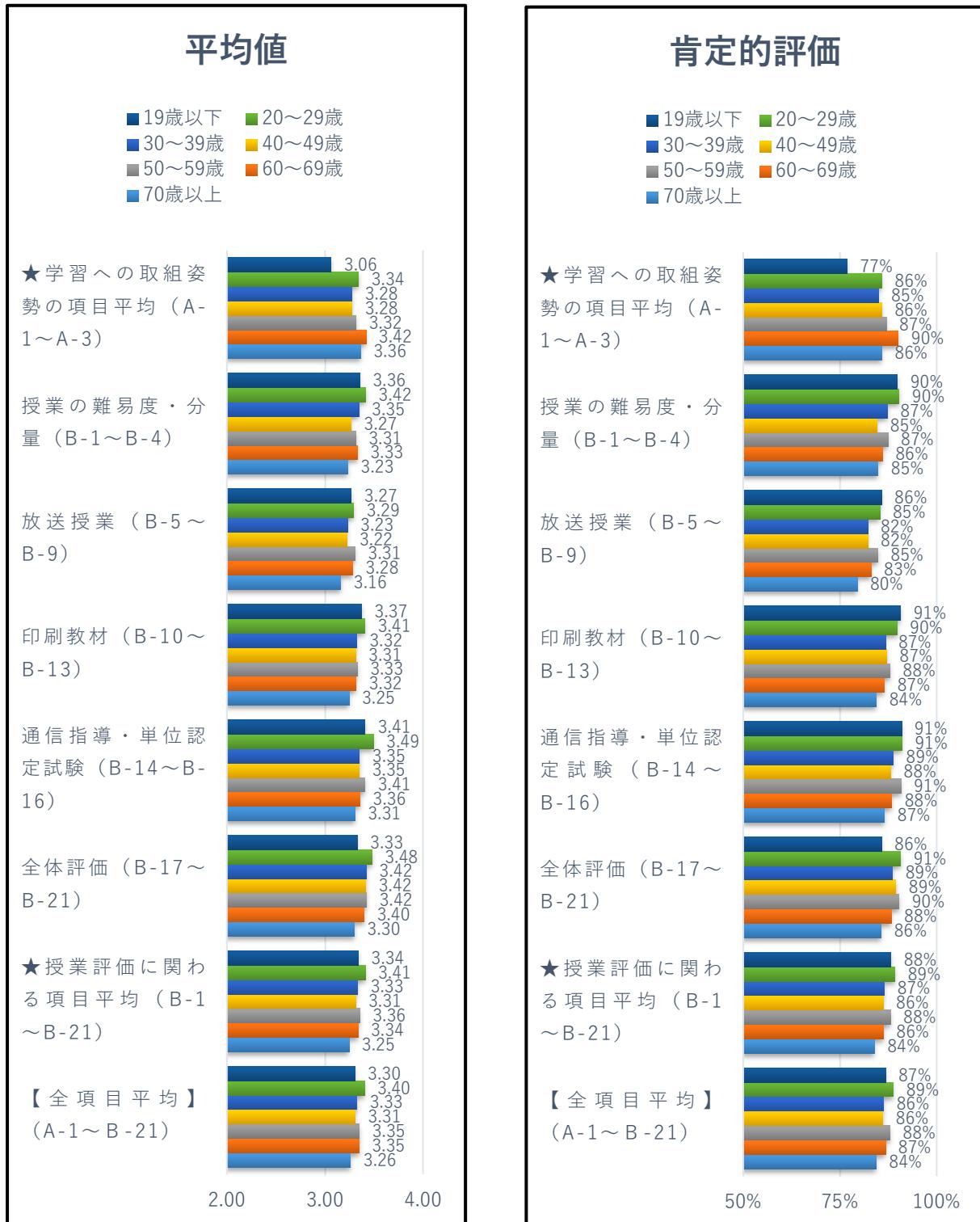
■ 令和5年度 (2023)
 ■ 令和4年度 (2022)
 ■ 令和3年度 (2021)



年齢階層別（図2-5）では、全般的に評価が低かったのは70歳代で、特に『放送授業』の評価が80%と低かった。

一方、19歳以下は、『学習への取組姿勢の項目平均』を除き、他の項目の肯定評価が高くなっていた。『授業の難度・分量』『通信指導・単位認定試験』は20歳代も評価が高かった。

図2-5【学部】項目平均による年齢階層別全体的傾向

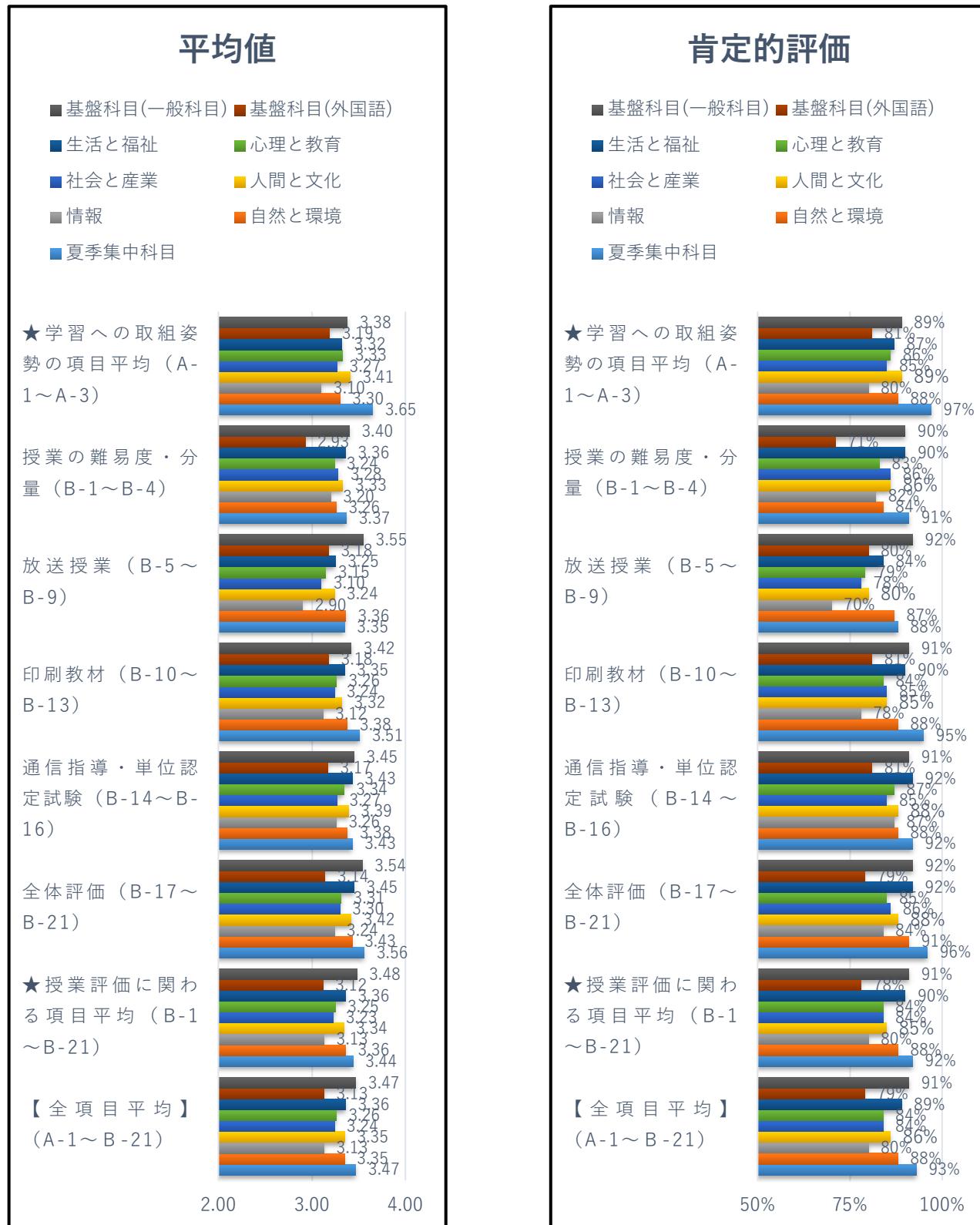


所属コース別に項目平均を見ると（図2-6）、『放送授業』以外の項目で「夏季集中科目」の肯定評価が最も高かった。

逆に「基盤科目（外国語）」については、他の所属コースより肯定的評価が低く、最も評価の低い『授業の難易度・分量』は71%と他の所属コースに比べ大きな差が見られた。

その結果、『授業評価に関わる項目平均』と『全項目平均』において、「夏季集中科目」の肯定的評価が最も高く、「基盤科目（外国語）」が最も低かった。

図2-6【学部】項目平均による所属コース別全体的傾向



職業別の（図2-7）肯定的評価は「教員」と「家事専業」において、全ての項目で上位1～2位の高評価であった。

反対に、『授業評価に関わる項目平均』では、「無職」が、『全項目平均』では、「無職」「その他」が最も低い評価であった。

他に『学習への取組姿勢の項目平均』では「パート・アルバイト」が、84%と低くなっていた。

図2-7 【学部】項目平均による職業別全体的傾向

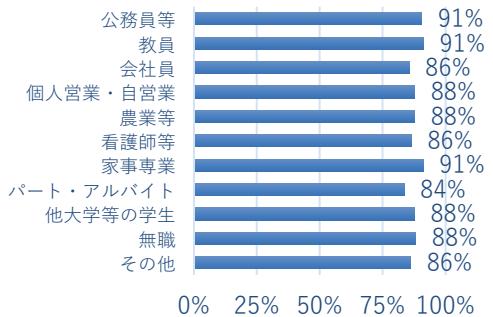
平均値

■★学習への取組姿勢の項目平均 (A-1～A-3)



肯定的評価

■★学習への取組姿勢の項目平均 (A-1～A-3)



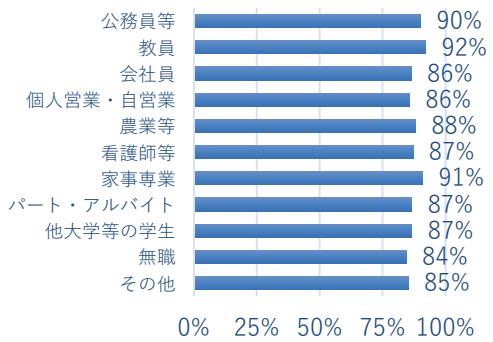
平均値

■★授業評価に関わる項目平均 (B-1～B-21)



肯定的評価

■★授業評価に関わる項目平均 (B-1～B-21)



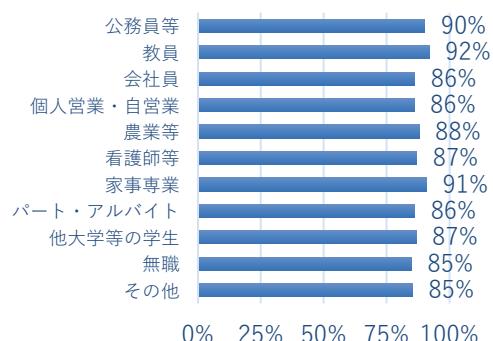
平均値

■【全項目平均】 (A-1～B-21)



肯定的評価

■【全項目平均】 (A-1～B-21)



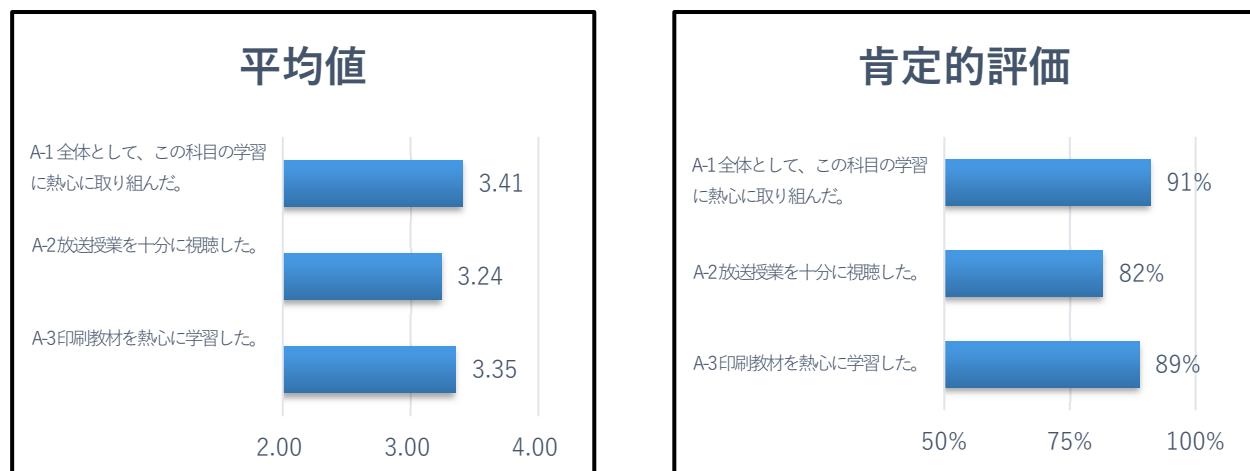
II-1-2. 学習への取組み姿勢

ここからはそれぞれの評価項目ごとに調査結果を見ていく。

全回答者の学習への取組み姿勢（図2-8）は、（A-1）「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」が91%と、その熱心度は高かった。

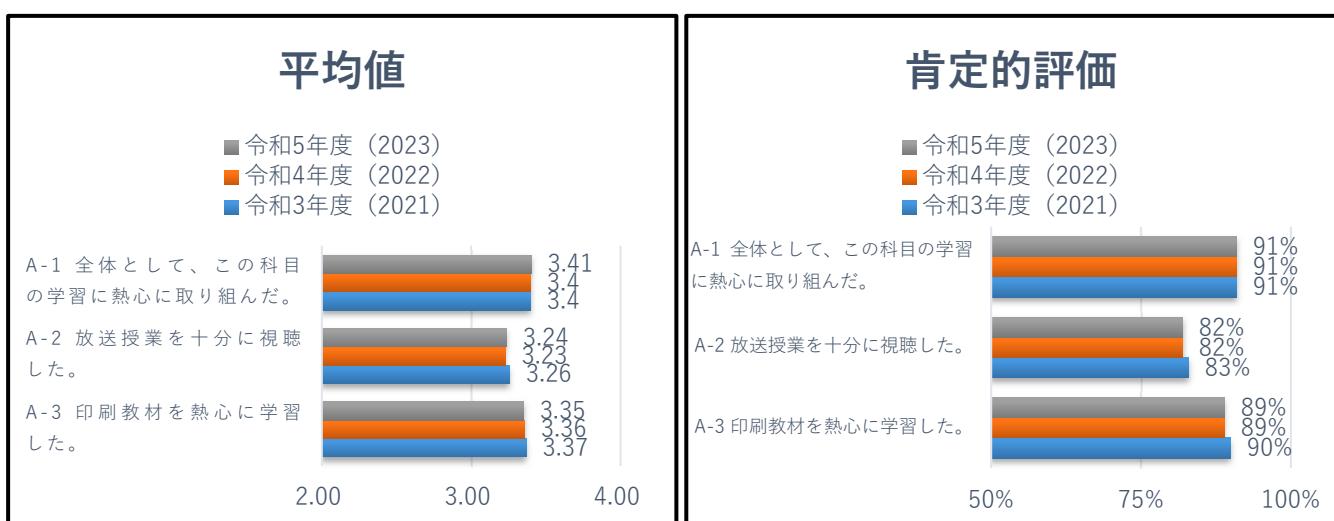
（A-2）「放送授業を十分に視聴した」は82%と、他の2項目に比べ低く、印刷教材での学習のウエイトの方が高かった。

図2-8 【学部】回答者全体の取組姿勢



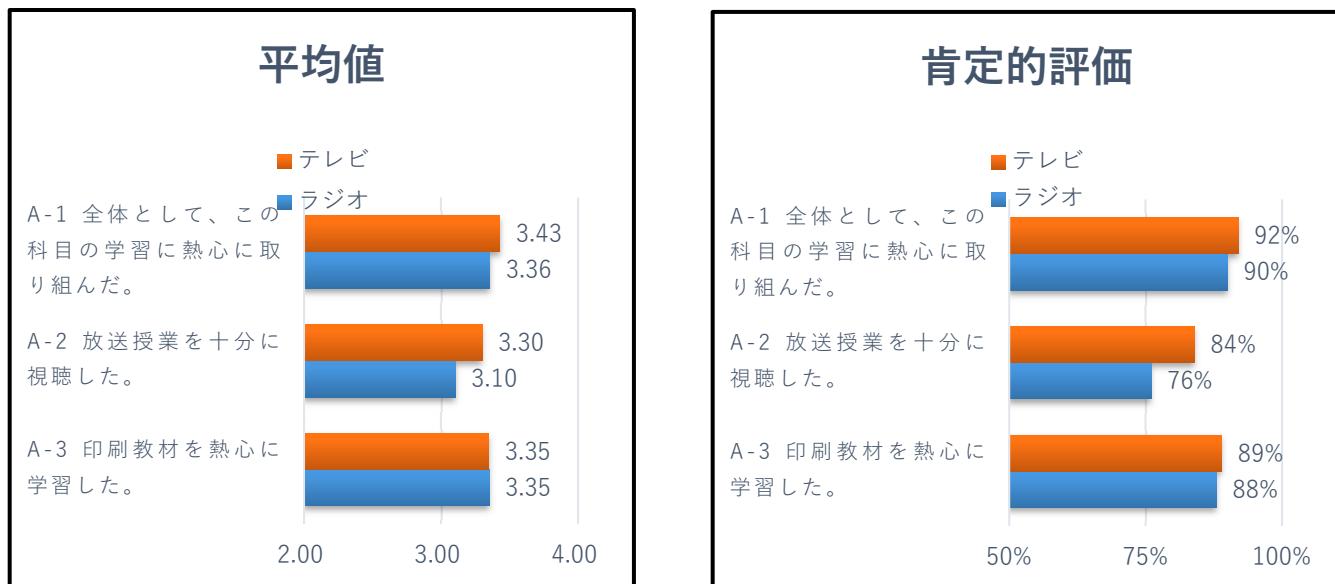
取組姿勢を時系列で見ると（図2-9）、全ての項目で本年度の結果が、大きな差ではないものの、昨年度、一昨年度と同水準か下回っていた。

図2-9 【学部】回答者全体の取組姿勢（時系列）



次にメディア別の取組姿勢では（図2-10）、テレビ科目とラジオ科目を比べると各項目ともにテレビ科目の評価が高かった。

図2-10 【学部】メディア別の取組姿勢

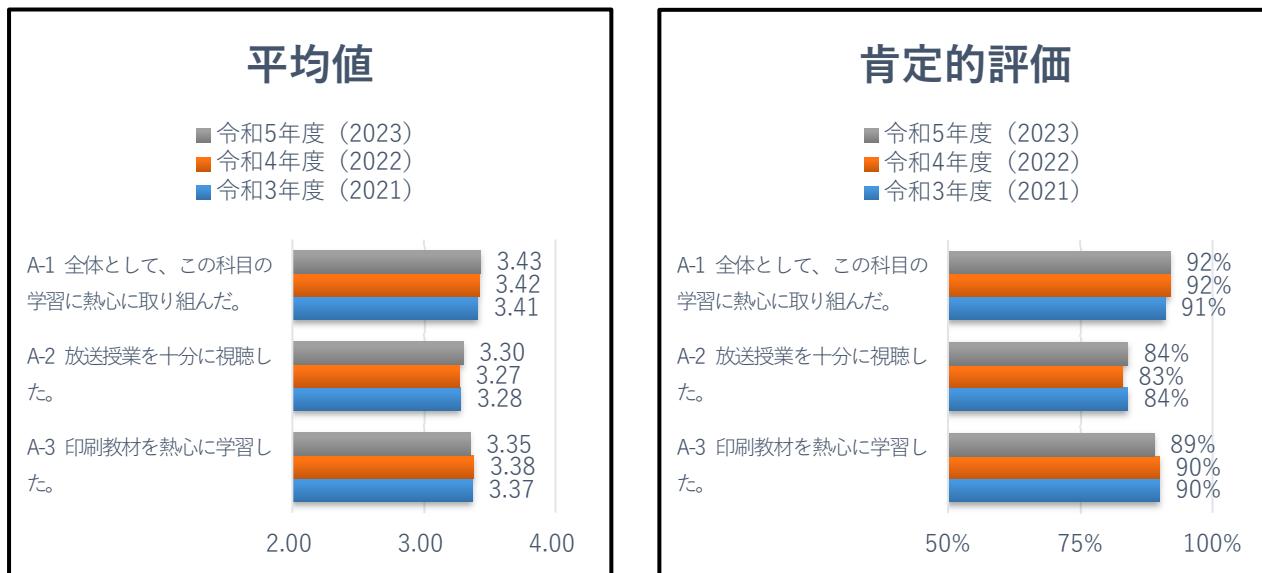


メディア別の取組姿勢を時系列で見ると（図2-1-1）、テレビ科目は、昨年度と比べ3項目とも1ポイント前後の増減となっており、大きな変化は見られなかった。

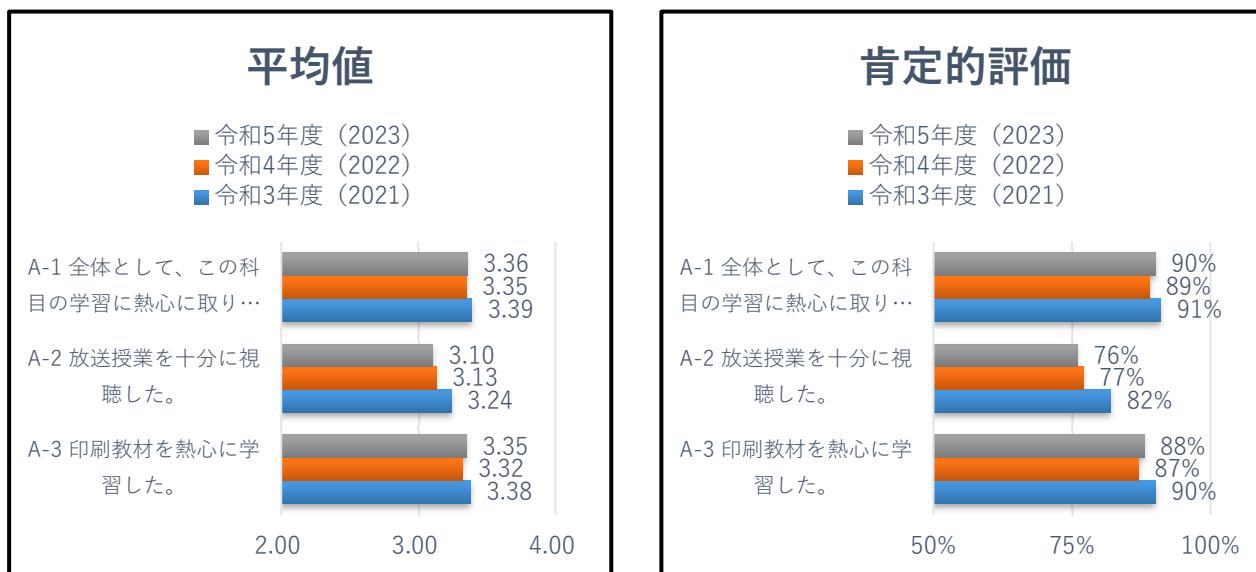
ラジオ科目については、昨年度と比べ3項目とも評価が同水準となっており、テレビ科目と同様に大きな変化は見られなかった。

図2-1-1 【学部】メディア別の取組姿勢（時系列）

テレビ



ラジオ

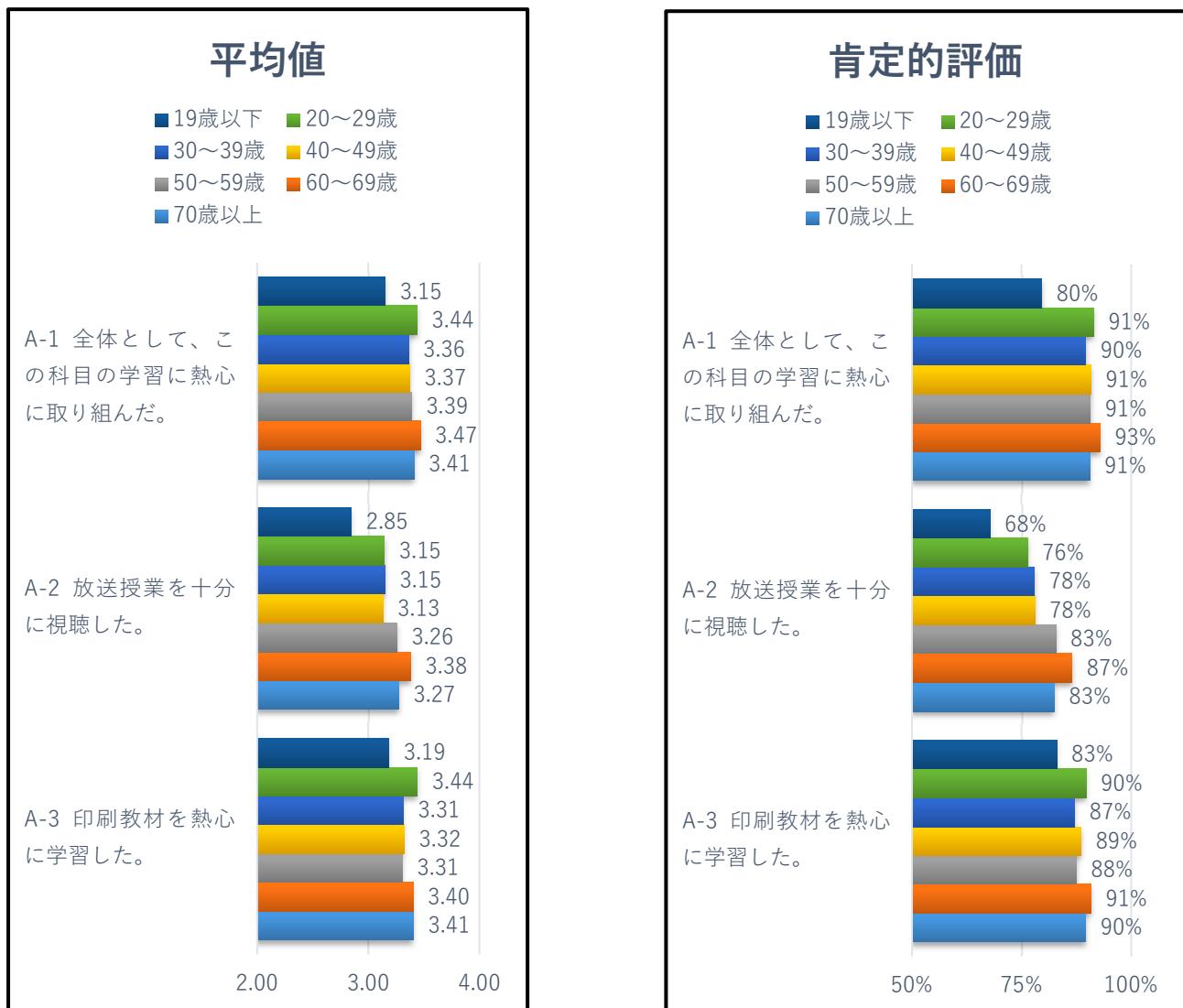


年齢階層別に取組姿勢を見ると（図2-1-2）、（A-1）「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」は、20歳代～70歳以上では90～93%で、19歳以下が80%と突出して低かった。

（A-2）「放送授業を十分に視聴した」については60歳代が87%と高い一方、19歳以下が7割を下回っていた。

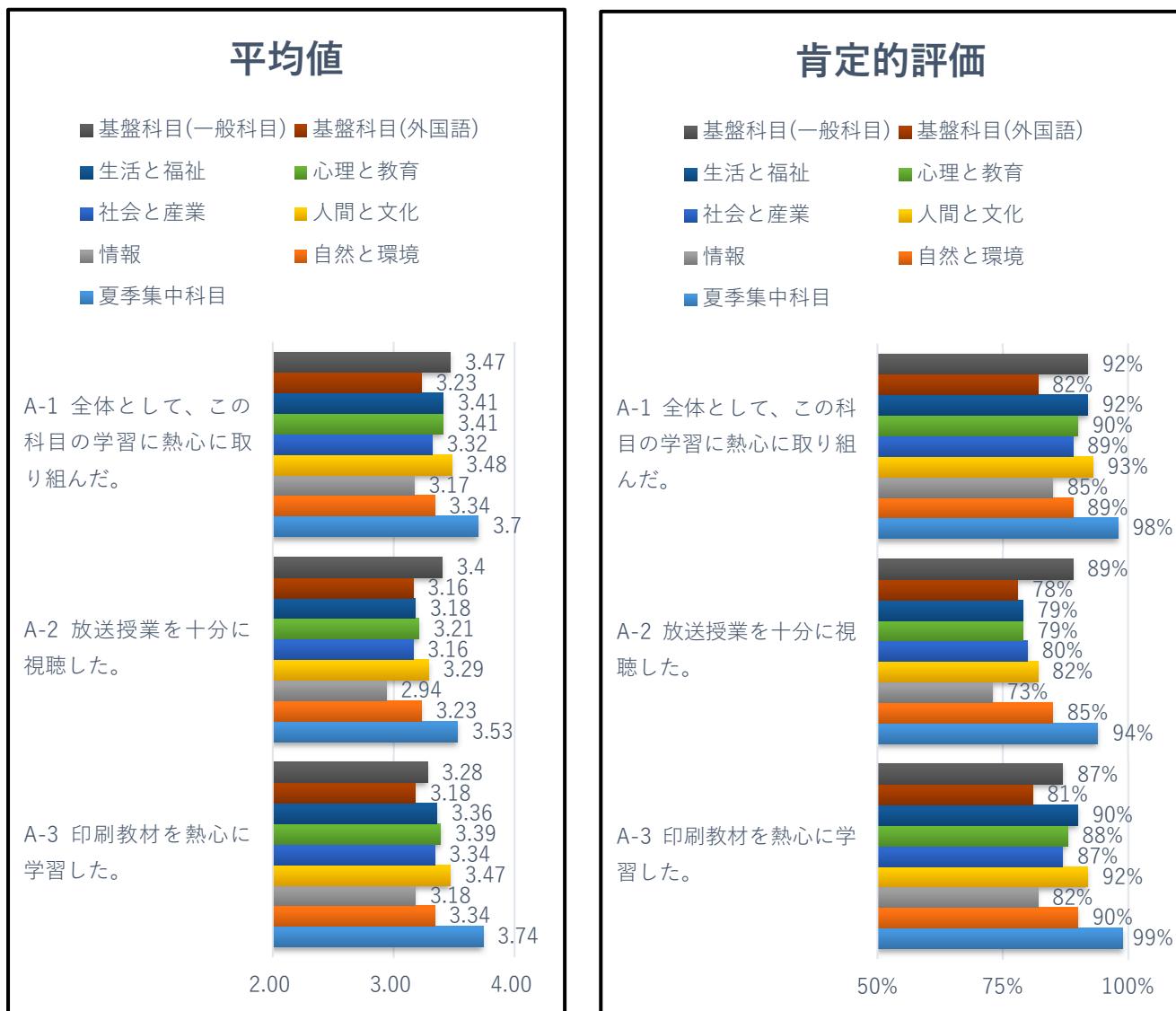
（A-3）「印刷教材を熱心に学習した」についても、19歳以下が83%と最も低かった。

図2-1-2 【学部】年齢階層別の取組姿勢



所属コース別に取組姿勢を見ると（図2-1-3）、全ての項目で「夏季集中科目」が最も高く、特に（A-1）「全体として、この科目的学習に熱心に取り組んだ」は98%、（A-3）「印刷教材を熱心に学習した」は、その受講生の99%以上が積極的に取り組んでいた。

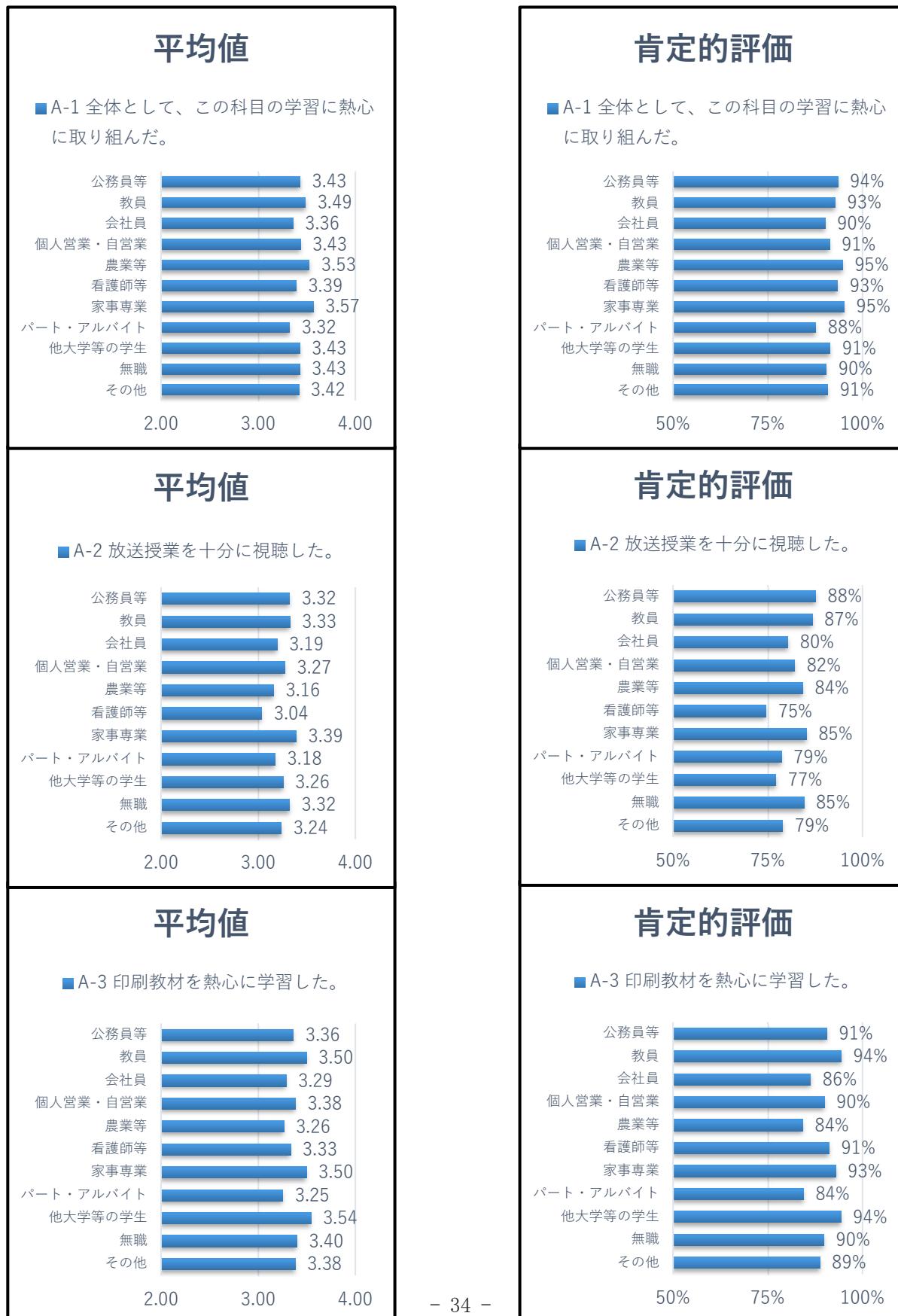
図2-1-3 【学部】所属コース別の取組姿勢



職業別に取組姿勢を見ると（図2-1-4）、（A-1）「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」は「農業等」「家事専業」（95%）が他の職業と比べ、その度合いが高かった。

（A-2）「放送授業を十分に視聴した」については「看護師等」は75%と低かったが、（A-3）「印刷教材を熱心に学習した」では「教員」「他大学等の学生」（94%）は最も高かった。

図2-1-4 【学部】職業別の取組姿勢



単位認定のための学習方法（次頁図 2-1-5）では、全体は『放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ』が 69%と多く、『ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ』が 23%、『ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ』は 8%にしか過ぎず、「印刷教材の学習」で見ると、その利用は 92%であった。

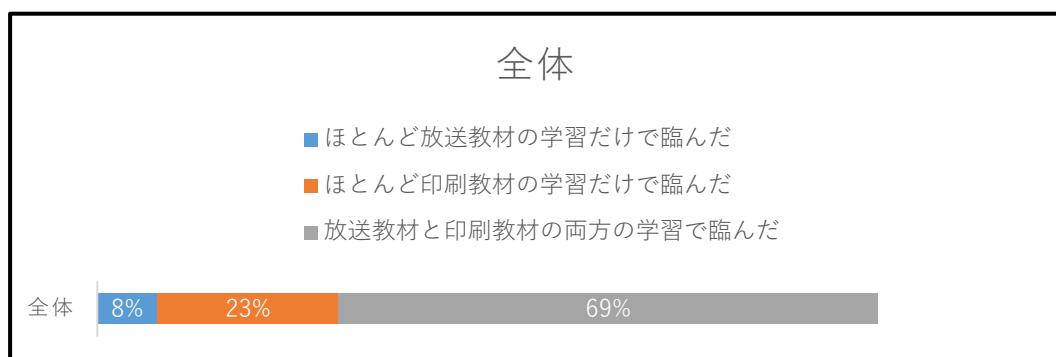
メディア別では「テレビ科目」は『放送教材と印刷教材の両方』が「ラジオ科目」より多く、「ラジオ科目」は『ほとんど印刷教材の学習だけ』が「テレビ科目」より多かった。

年齢階層別では、『ほとんど印刷教材の学習だけ』は、20 歳代が 35%で、19 歳以下が 29%、60 歳代が 14%と最も少なかった。

所属コース別では「夏季集中科目」は、『放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ』が他の所属コースと比べ特に高く、85%であった。

職業別では、「他大学等の学生」については、『ほとんど印刷教材の学習だけ』が 31%で高かった。

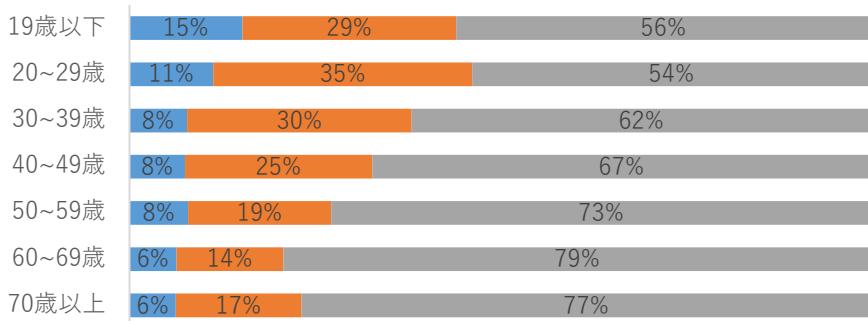
図 2-1-5 【学部】単位認定のための学習方法



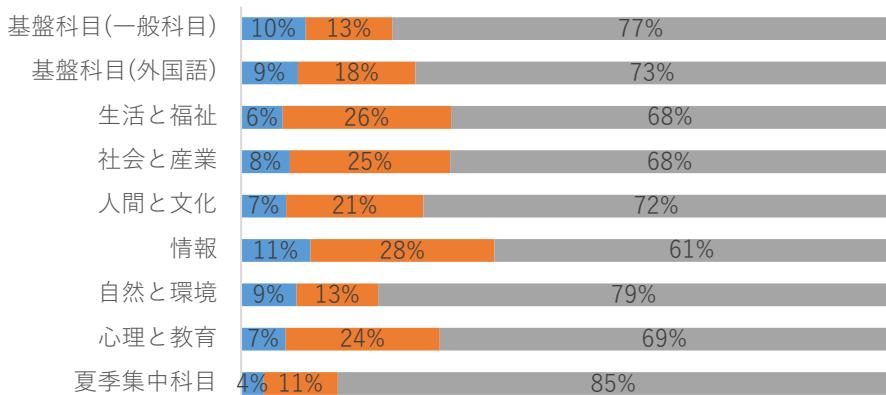
メディア



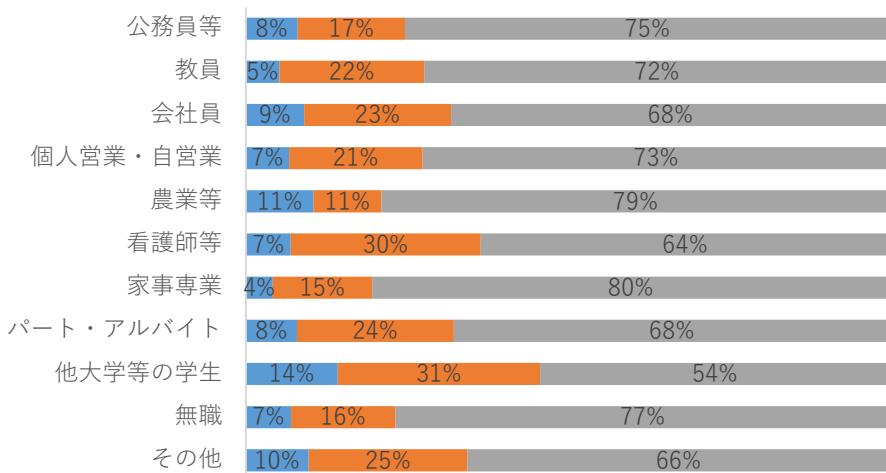
年齢



コース



職業



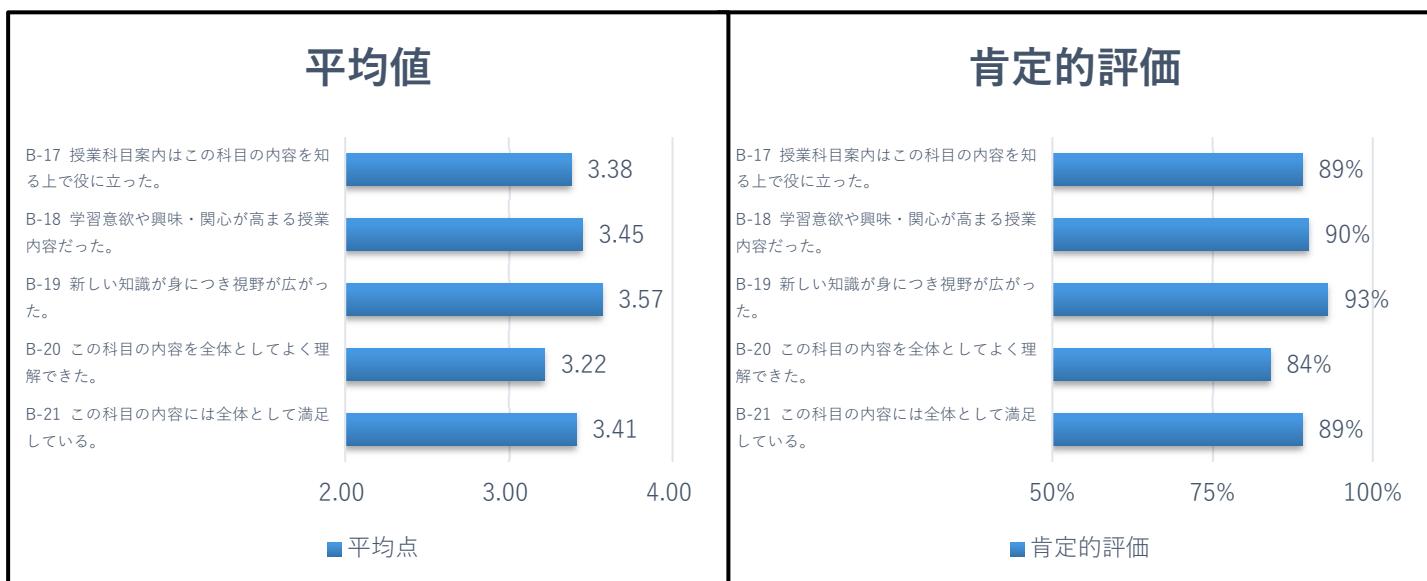
II-1-3. 学部の授業評価

(1) 全体評価

次に学部の授業評価について、評価項目ごとに見ていく。

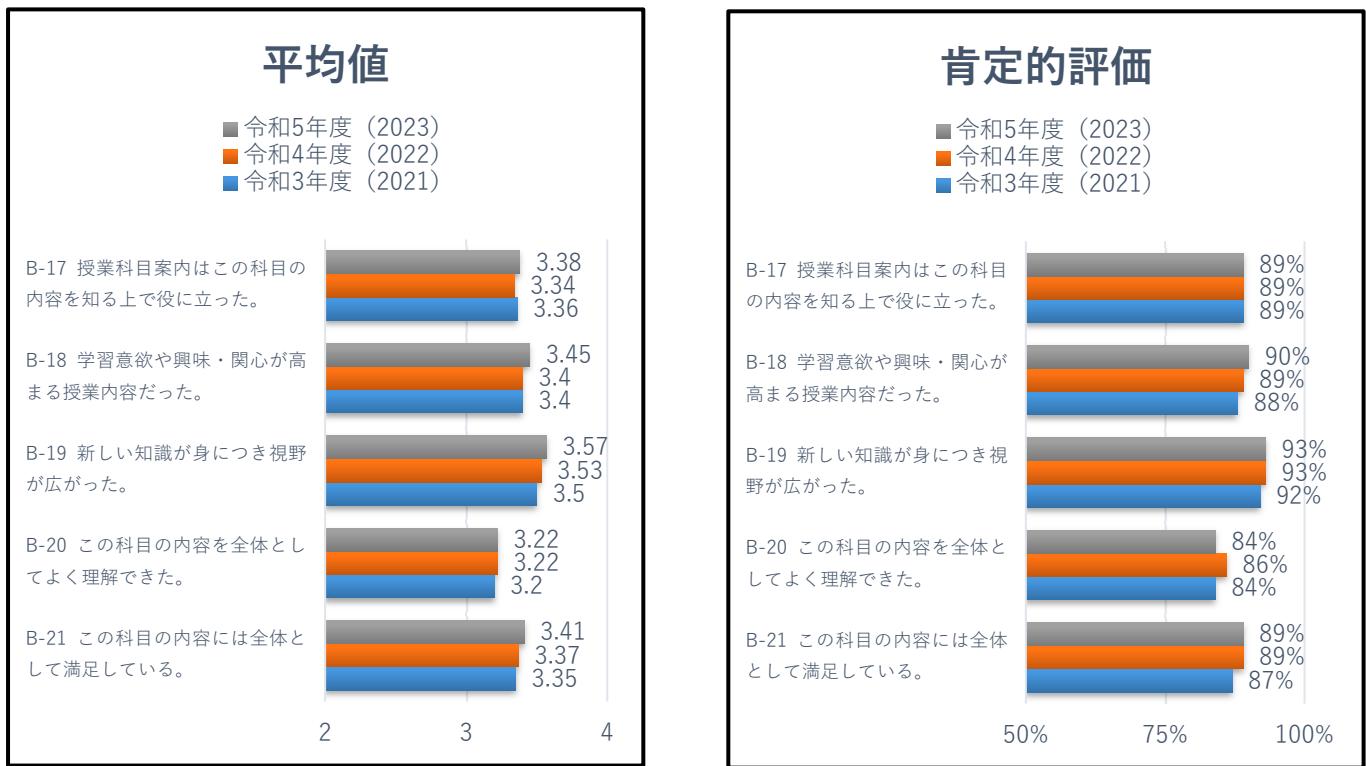
全体評価の各項目（図2-1-6）については、（B-19）「新しい知識が身につき視野が広がった」が93%と最も高かった。

図2-1-6 【学部】回答者全体の全体評価



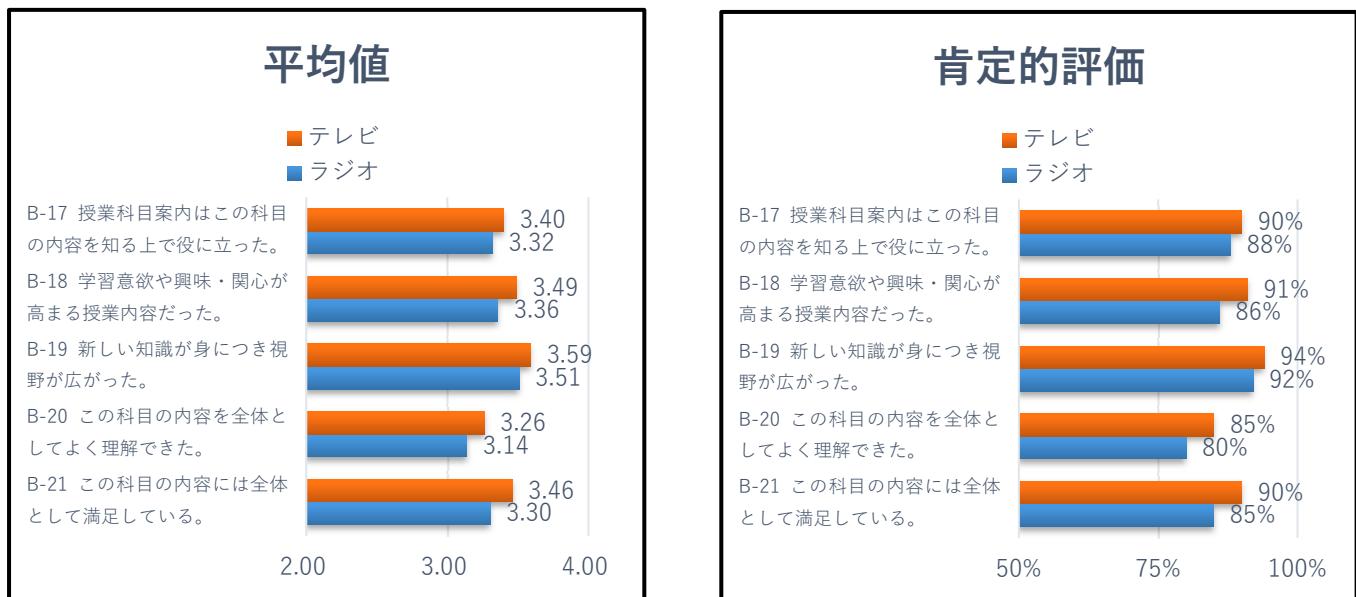
全体評価を時系列で見ると(図2-17)、本年度は(B-20)以外の項目で、昨年度より横ばいないし評価が上昇しており、中でも(B-19)「新しい知識が身につき視野が広がった」は最も高く93%に達していた。

図2-17【学部】回答者全体の全体評価(時系列)



メディア別に全体評価を見ると（図2-18）、下記全項目でテレビ科目的評価の方が高かった。

図2-18 【学部】メディア別の全体評価



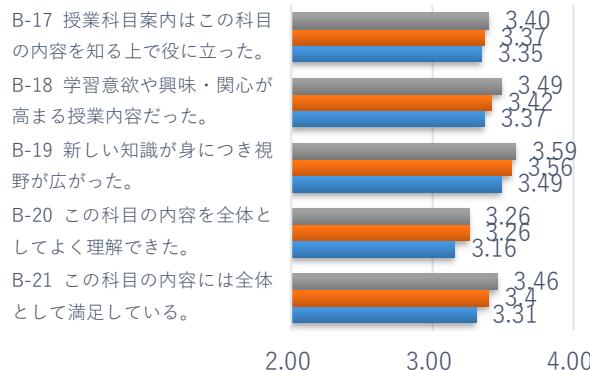
メディア別の全体評価を時系列で見ると(図2-19)、テレビ科目的評価は、(B-18)、(B-21)は、昨年度から1ポイント上昇しているが、(B-17)と(B-19)は横ばい、(B-20)は3ポイント下降した。一方、ラジオ科目的評価については、(B-20)(B-21)が連続して低下していた。

図2-19【学部】メディア別の全体評価

テレビ

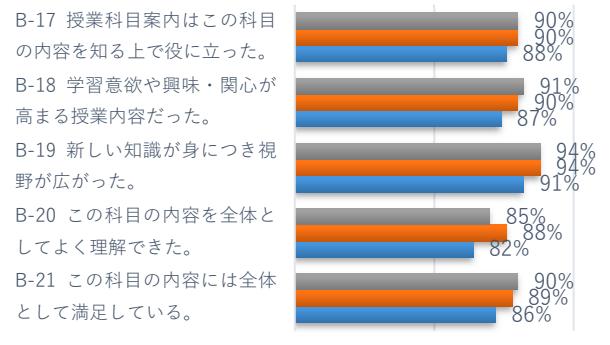
平均値

■令和5年度(2023)
■令和4年度(2022)



肯定的評価

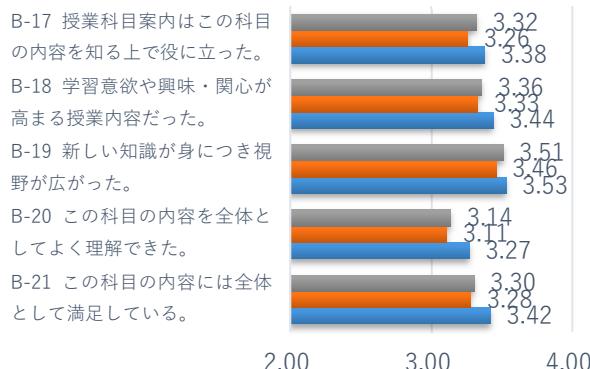
■令和5年度(2023)
■令和4年度(2022)



ラジオ

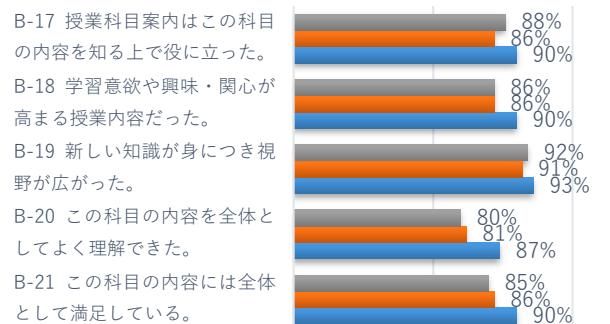
平均値

■令和5年度(2023)
■令和4年度(2022)
■令和3年度(2021)



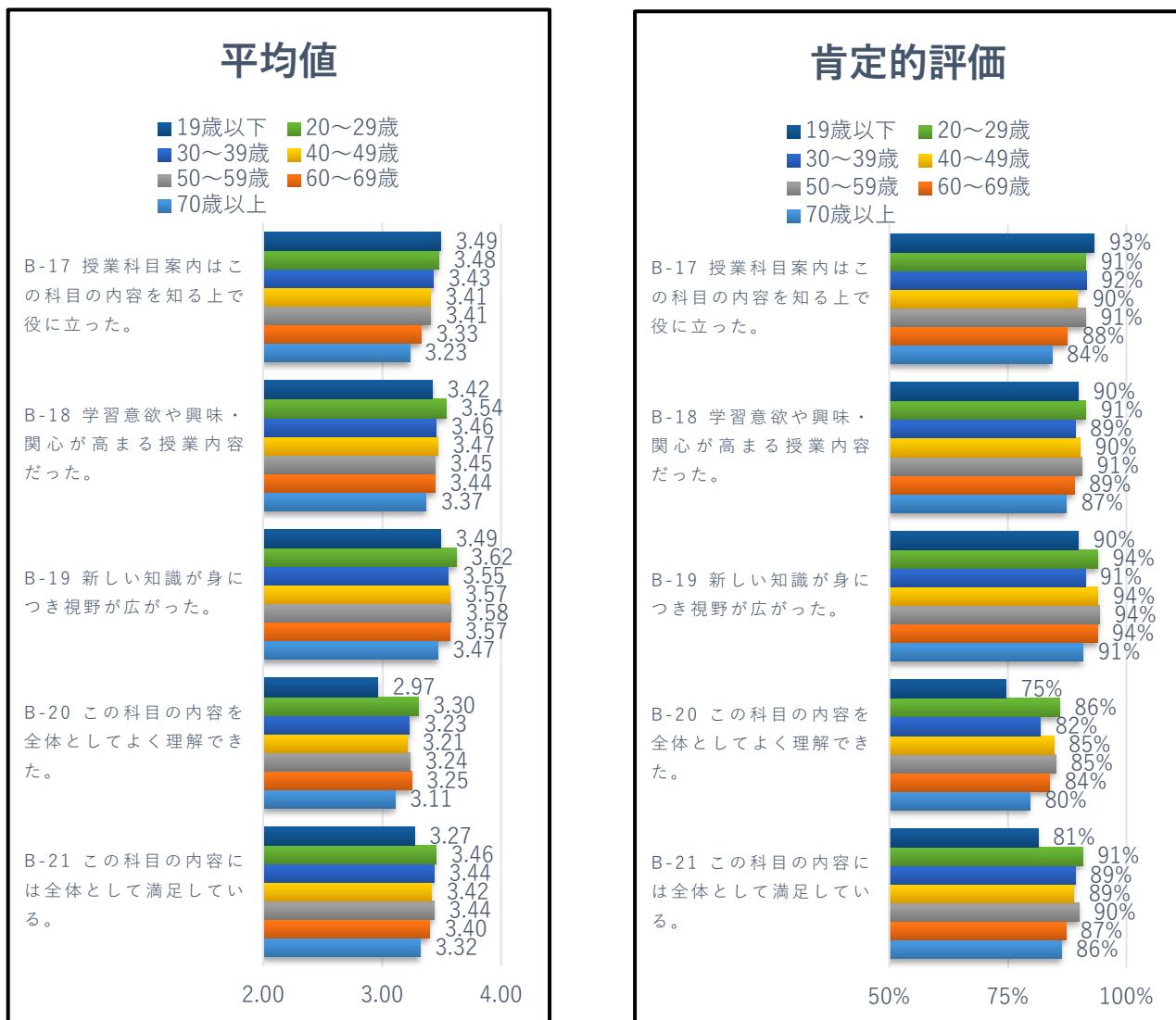
肯定的評価

■令和5年度(2023)
■令和4年度(2022)
■令和3年度(2021)



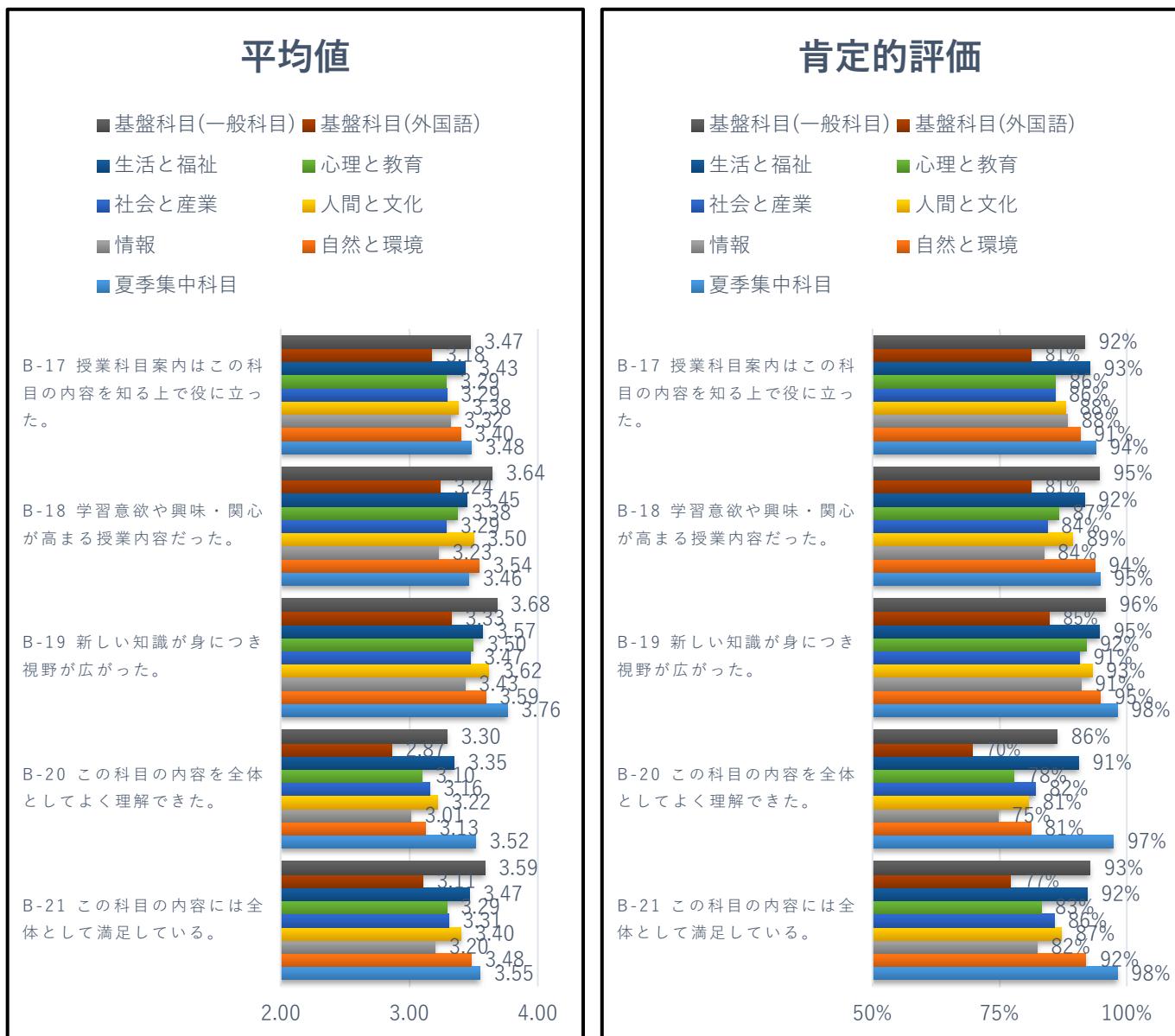
年齢階層別に全体評価（図2-20）を見ると、（B-17）「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」以外の各項目で20歳代の評価が最も高くなっていた。反対に他の年代と比べ評価が全般的に低かったのは、70歳以上であった。

図2-20【学部】年齢階層別の全体評価



所属コース別の全体評価では(図2-21)、下記各項目いずれも「夏季集中科目」の評価が高かった。「基盤科目(外国語)」については、いずれの項目でも最も評価が低く、特に(B-20)「この科目的内容を全体としてよく理解できた」では、70%と低かった。

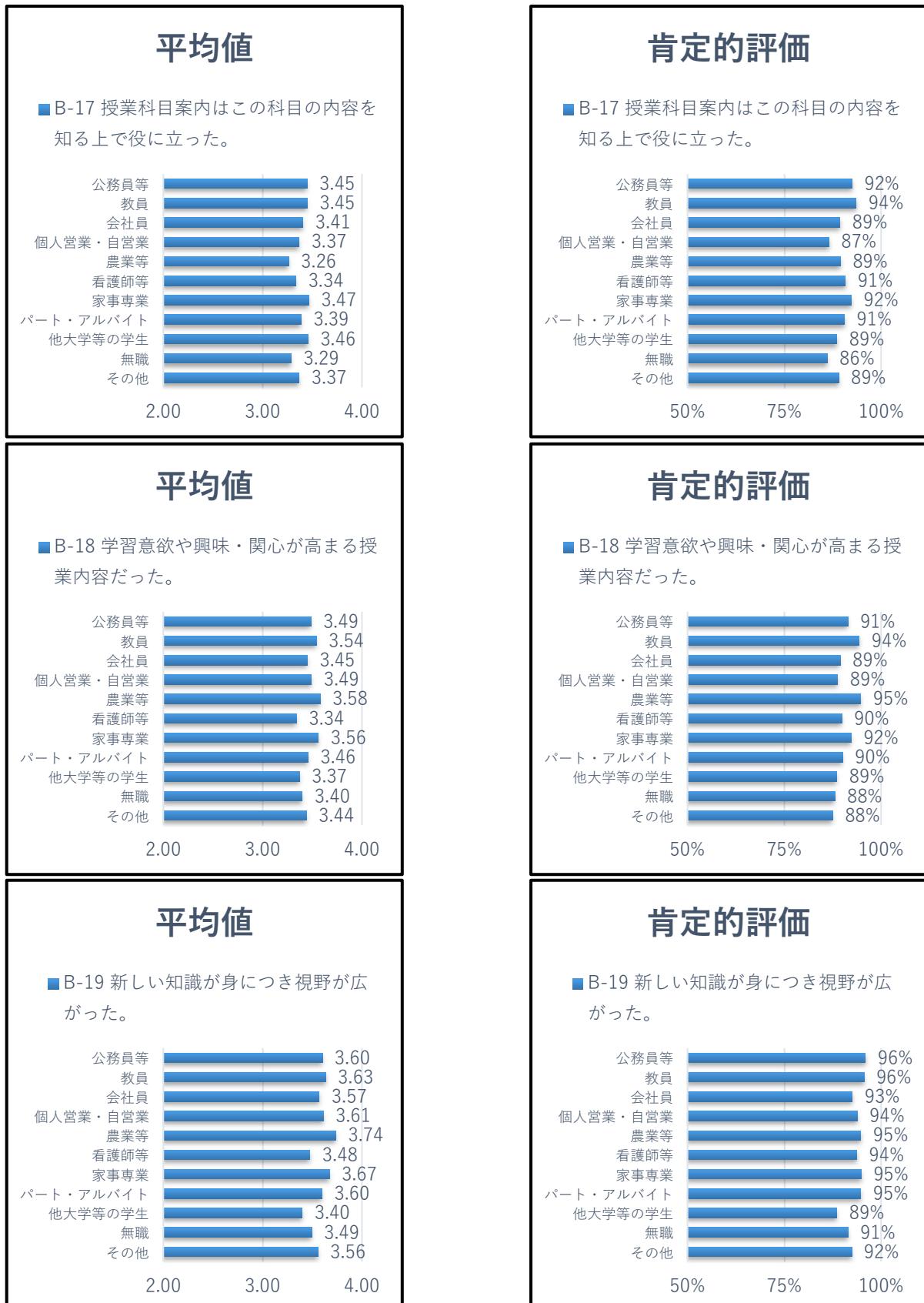
図2-21【学部】所属コース別の全体評価



職業別の全体評価（次頁図2-2-2）では、(B-17)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」、(B-19)「新しい知識が身につき視野が広がった」、(B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた」で評価が高かったのは「教員」で、91～96%であった。

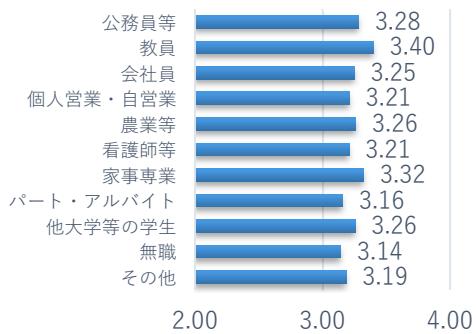
反対に評価が低かったのは、(B-17)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」では「無職」(86%)、(B-18)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」では「無職」「その他」(88%)、(B-19)「新しい知識が身につき視野が広がった」で最も評価が低かったのは、「他大学生等の学生」(89%)であった。(B-21)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」では「無職」「その他」「他大学生等の学生」(86%)であった。

図2-22 【学部】職業別の全体評価



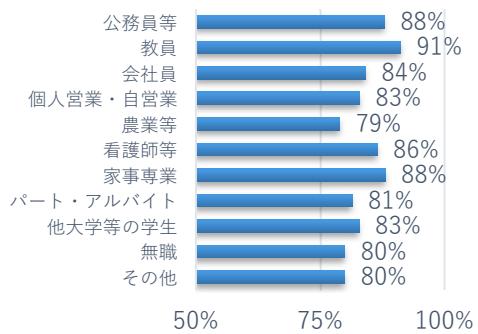
平均値

■ B-20 この科目の内容を全体としてよく理解できた。



肯定的評価

■ B-20 この科目の内容を全体としてよく理解できた。



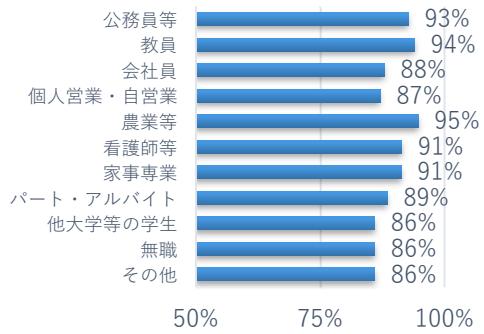
平均値

■ B-21 この科目の内容には全体として満足している。



肯定的評価

■ B-21 この科目の内容には全体として満足している。

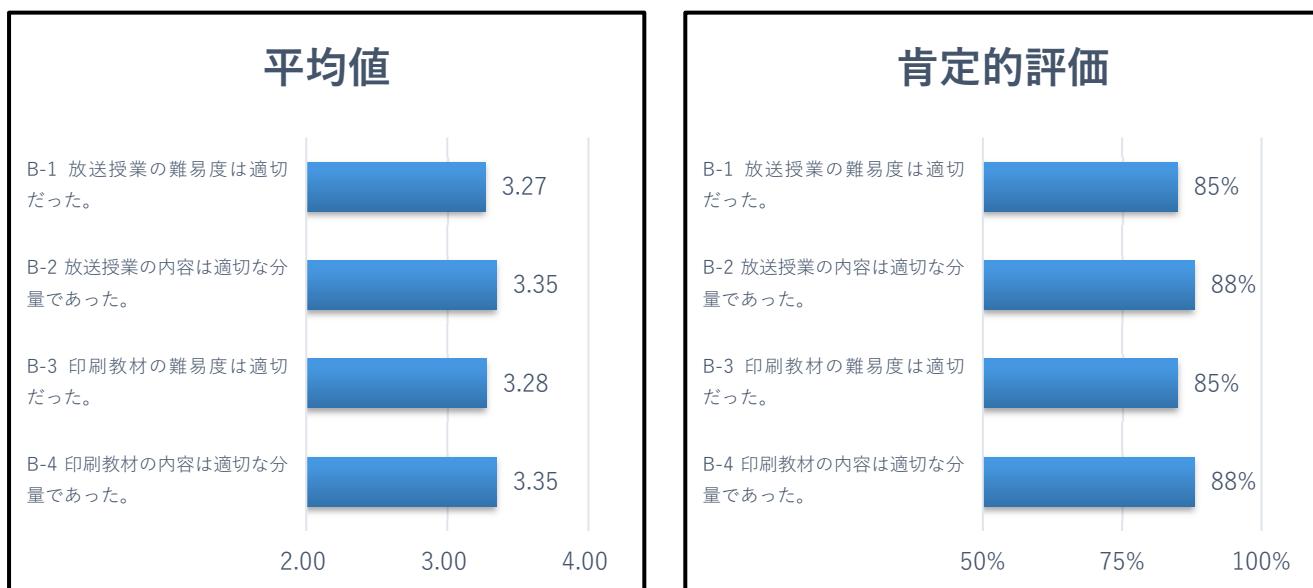


(2) 授業の難易度・分量

次に授業の難易度・分量（図2-2-3）について、評価項目ごとに見ていくことにする。

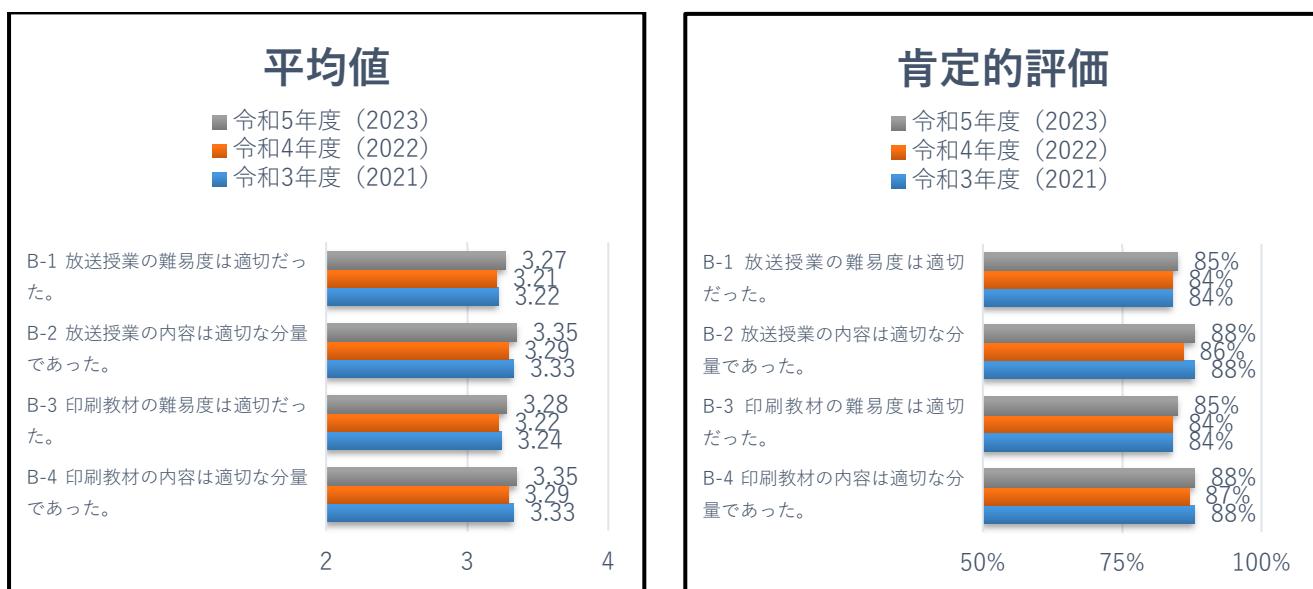
肯定的評価は、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」と(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」については、両項目とも 85%、(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」と(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」の分量については、88%でそれぞれの「分量」についての評価の方が高かった。

図2-2-3 【学部】回答者全体の授業難易度・分量の評価



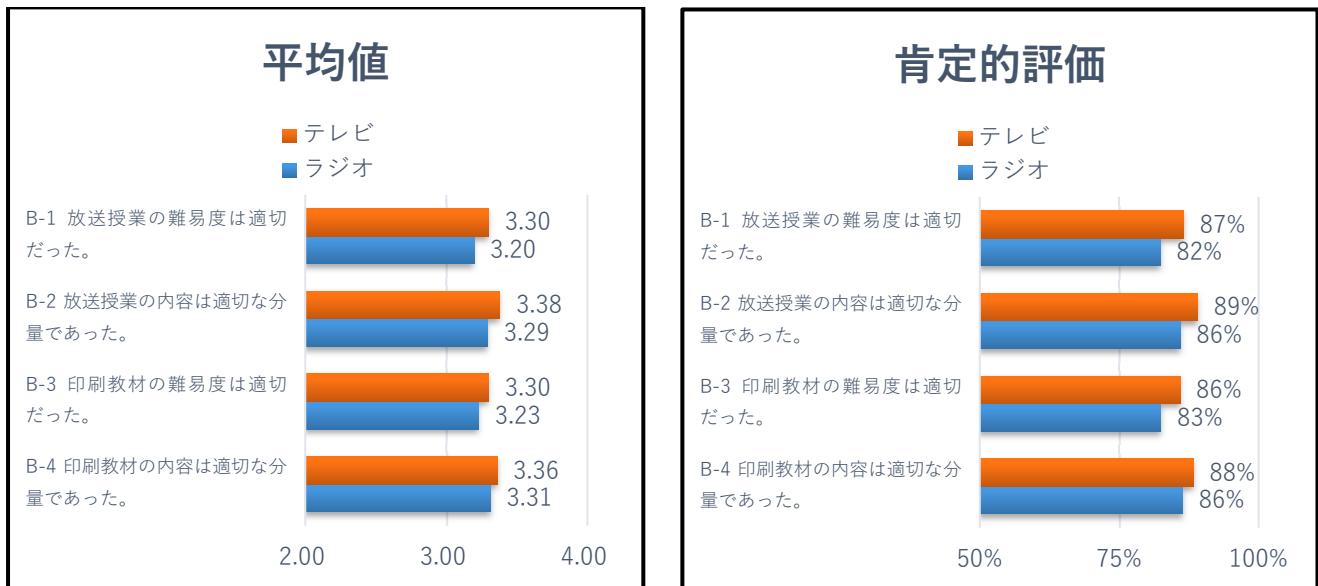
開設年度で比較すると（図2-2-4）、本年度は、下記4項目全てで、過去2年度から横ばいないし、上昇傾向であった。

図2-2-4 【学部】回答者全体の授業難易度・分量の評価（開設年度比較）



メディア別に授業の難易度・分量を見ると（図2-25）、メディア間に差があり、いずれもテレビ科目の方が、評価が高く、特に（B-1）「放送授業の難易度は適切だった」では、テレビ科目がプラス5ポイントと大きな差であった。

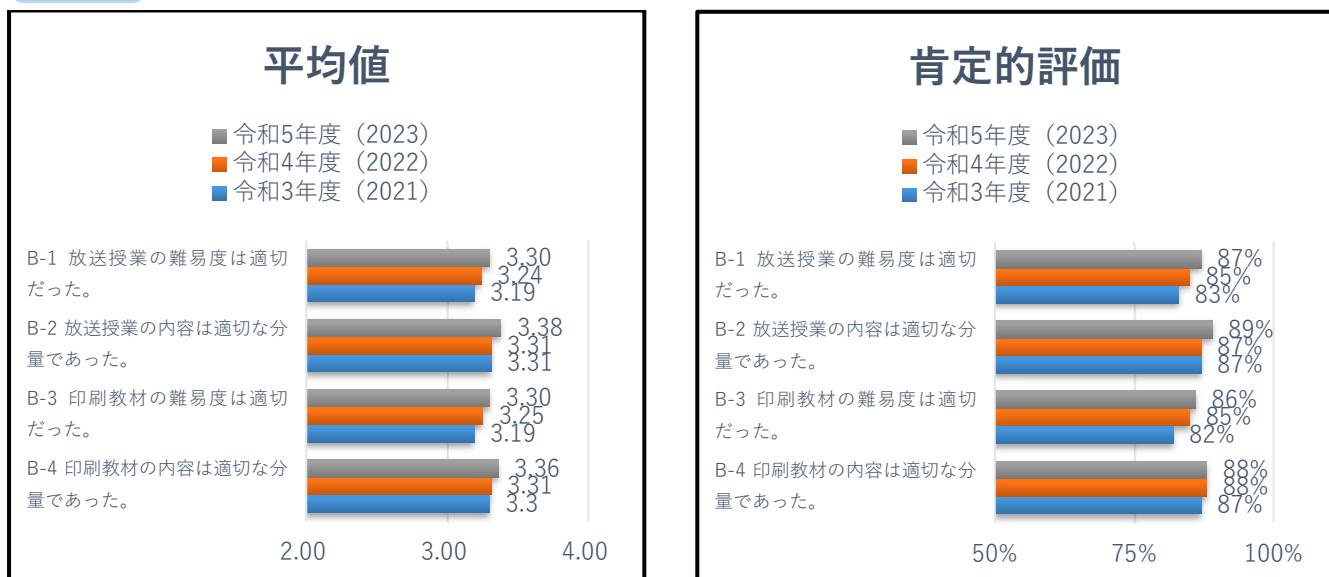
図2-25 【学部】メディア別の授業難易度・分量の評価



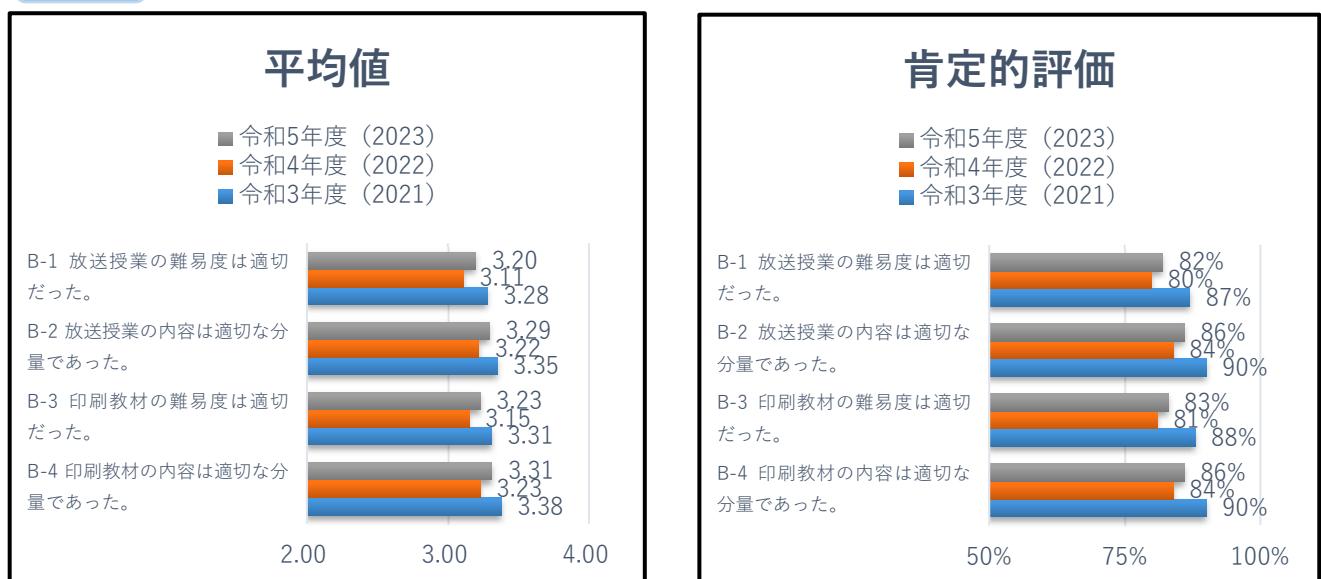
メディア別の授業の難易度・分量を開設年度で比較すると(図2-26)、テレビ科目、ラジオ科目の肯定的評価は、全ての項目で昨年度を横ばいないし上回っていた。

図2-26【学部】メディア別の授業難易度・分量の評価(開設年度比較)

テレビ



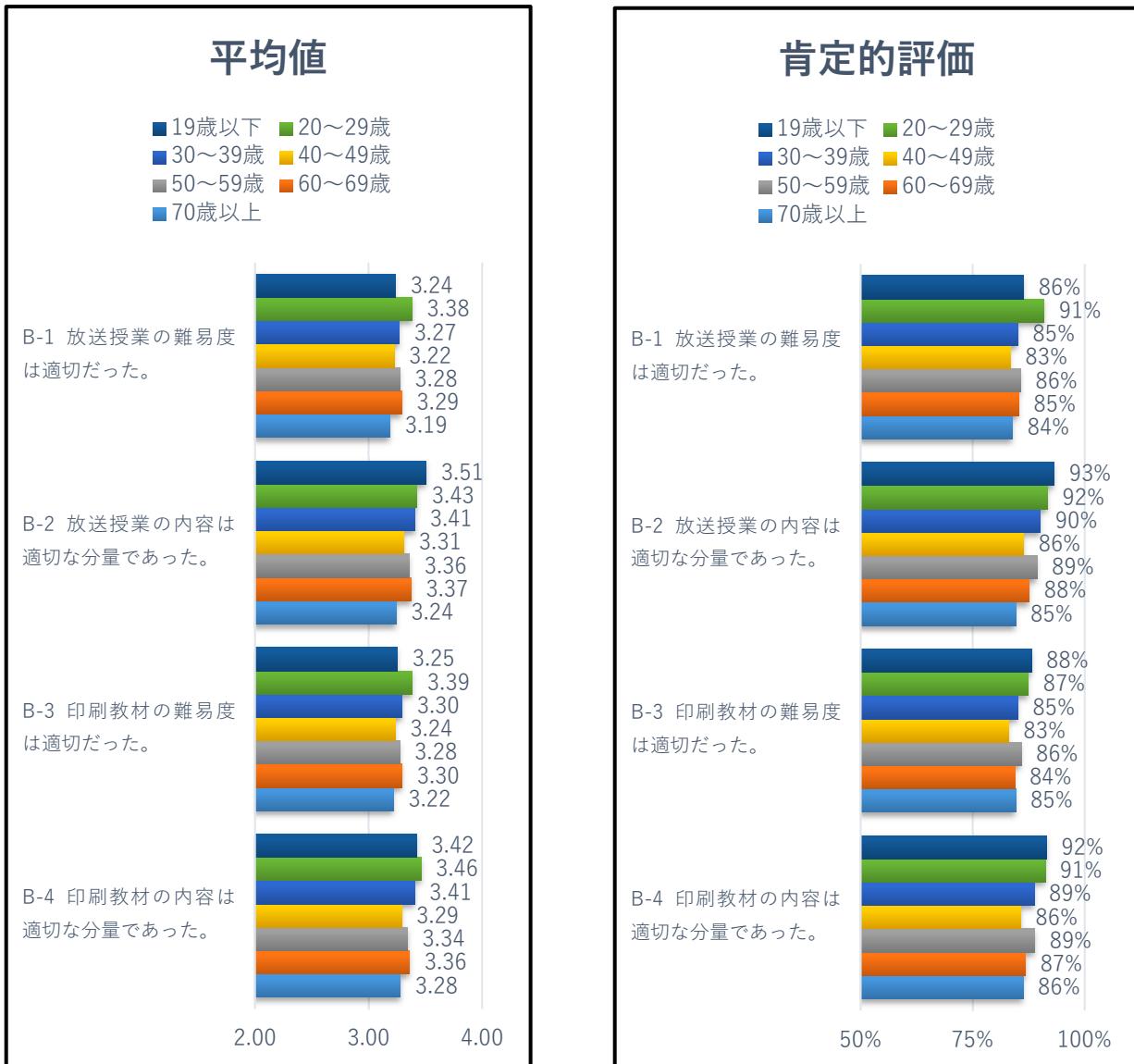
ラジオ



年齢階層別に授業の難易度・分量を見ると(図2-27)、(B-2)「放送授業の内容は適切な分量だった」において、全体的に19歳以下と20歳代の評価が高かった。

反対に40歳代では、一部の項目において評価が83%以下と最も低かった。

図2-27【学部】年齢階層別の授業難易度・分量の評価

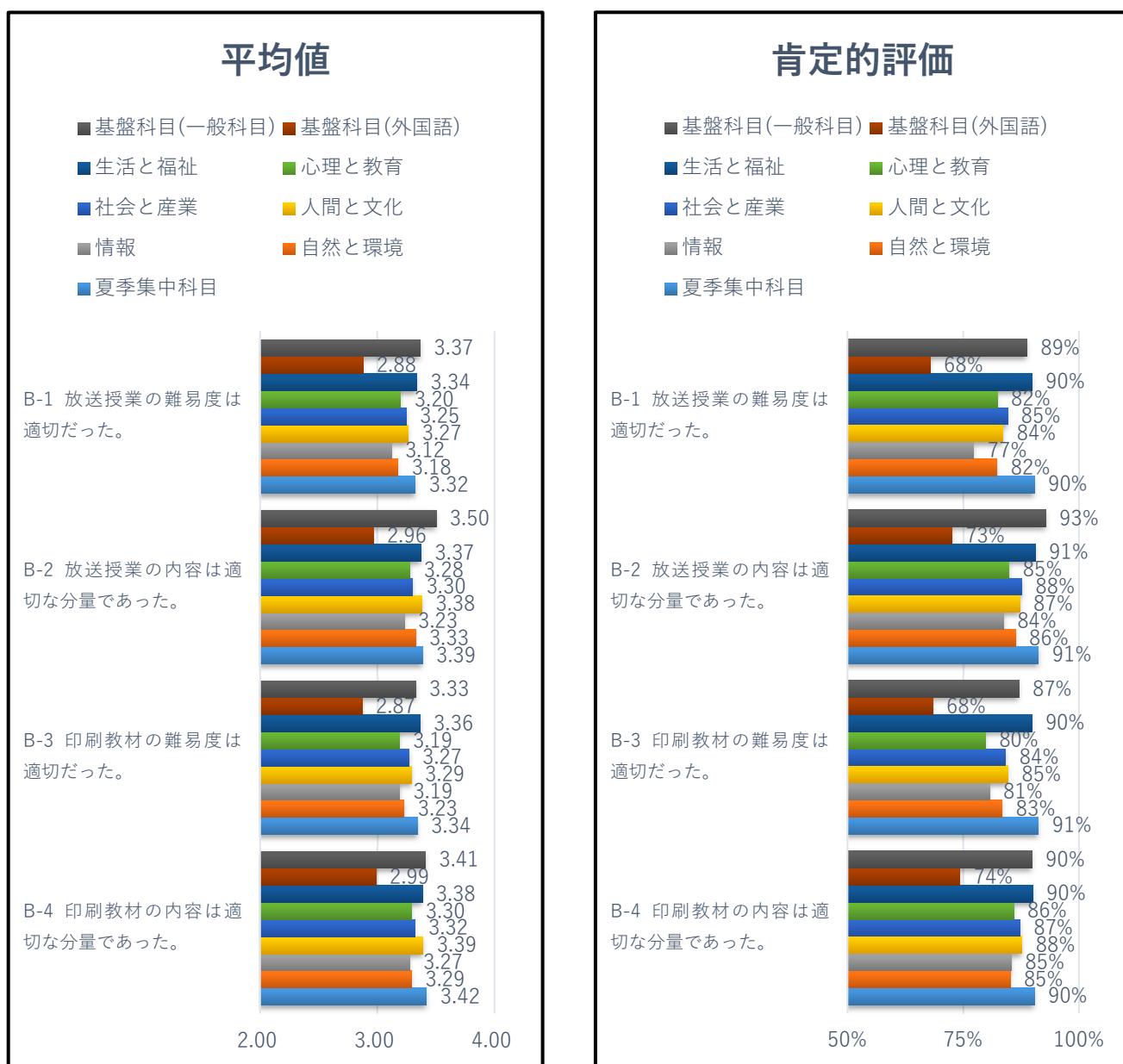


所属コース別に授業の難易度・分量を見ると（図2-28）、下記全ての項目で特徴的であったのは、「夏季集中科目」が上位1、2位を占めていた。

また、（B-2）「放送授業の内容は適切な量だった」では「基盤科目（一般科目）」の評価が高く、93%であった。

反対に全ての項目で最も評価が低かったのは「基盤科目（外国語）」で、（B-1）「放送授業の難易度は適切だった」では、他の所属コースから10ポイント近く開きがあり、それぞれの項目に対する評価は低かった。

図2-28 【学部】所属コース別の授業難易度・分量の評価



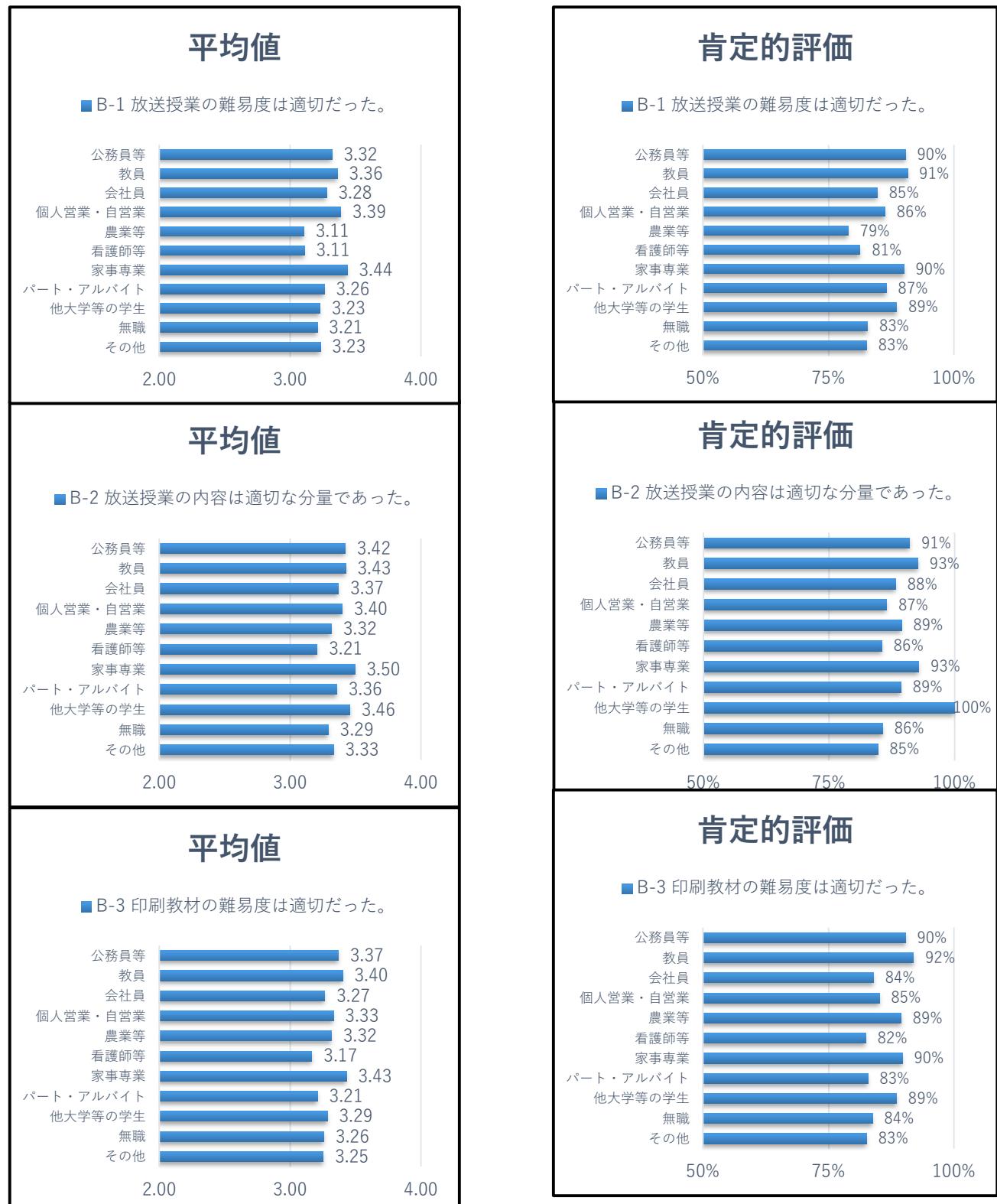
職業別に授業の難易度を見ると（図2-29）、（B-1）「放送授業の難易度は適切だった」では、「公務員等」「教員」「家事専業」が、90%～91%と高かった。

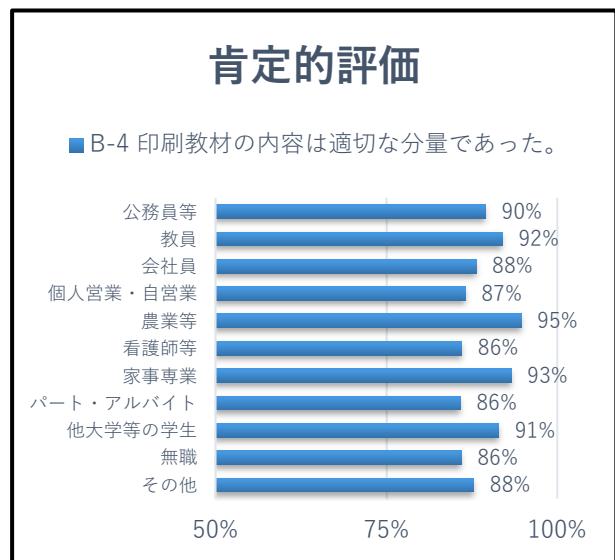
（B-2）「放送授業の内容は適切な分量であった」では、「他大学等の学生」が、100%と高かった。

（B-3）「印刷教材の難易度は適切だった」については、それぞれ「公務員等」「教員」「家事専業」が上位を占めている。

（B-4）「印刷教材の内容は適切な分量であった」については、「農業等」（95%）、「家事専業」（93%）が高かった。

図2-29【学部】職業別の授業難易度の評価



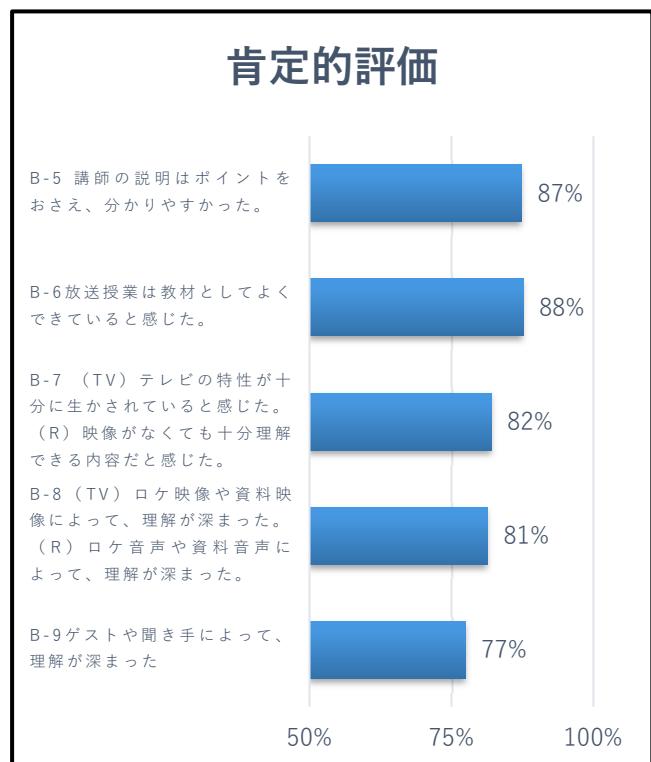
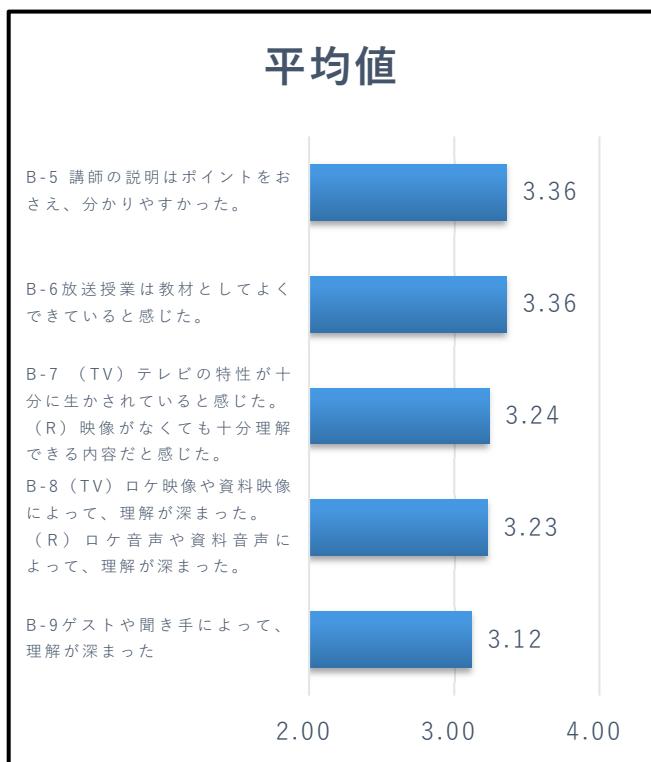


(3)放送授業

ここからは放送授業について、評価項目ごとに見ていくことにする。

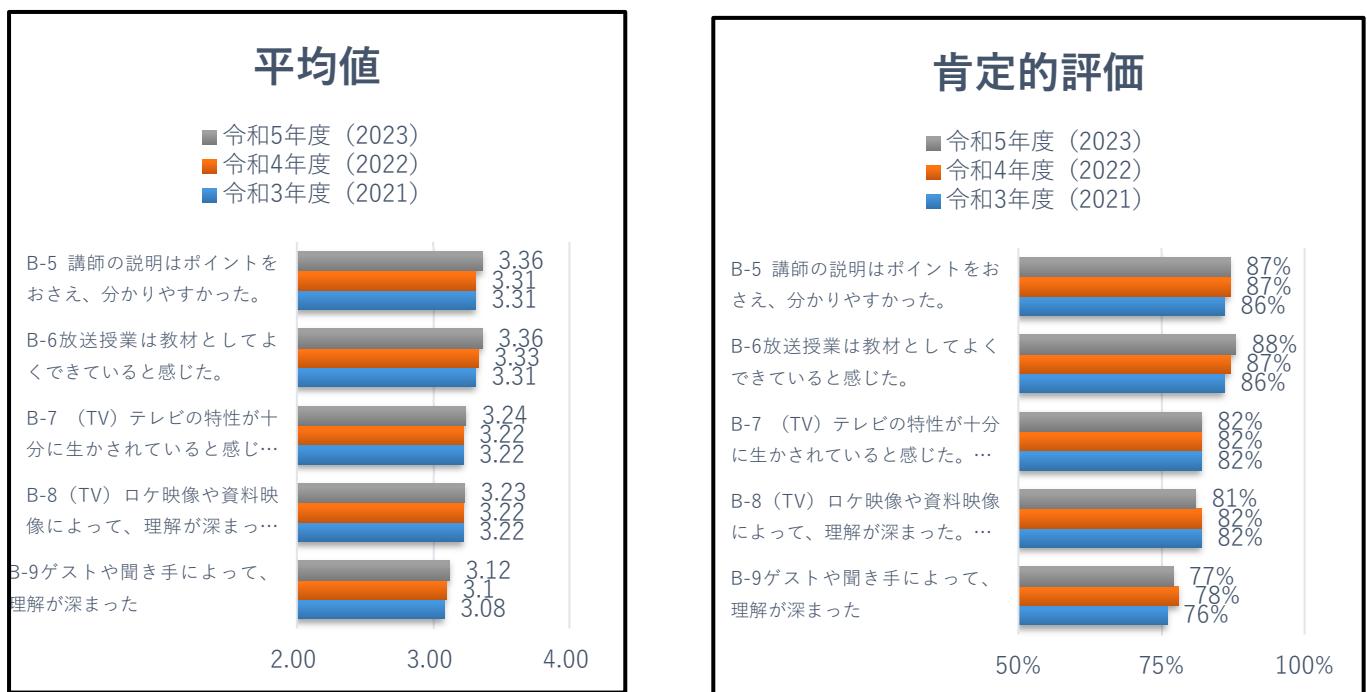
放送授業に関する評価項目（図2-30）では、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」が87%と(B-6)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」が88%と高く、(B-9)「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」は77%と、他の項目に比べると評価が低かった。

図2-30 【学部】回答者全体の放送授業の評価



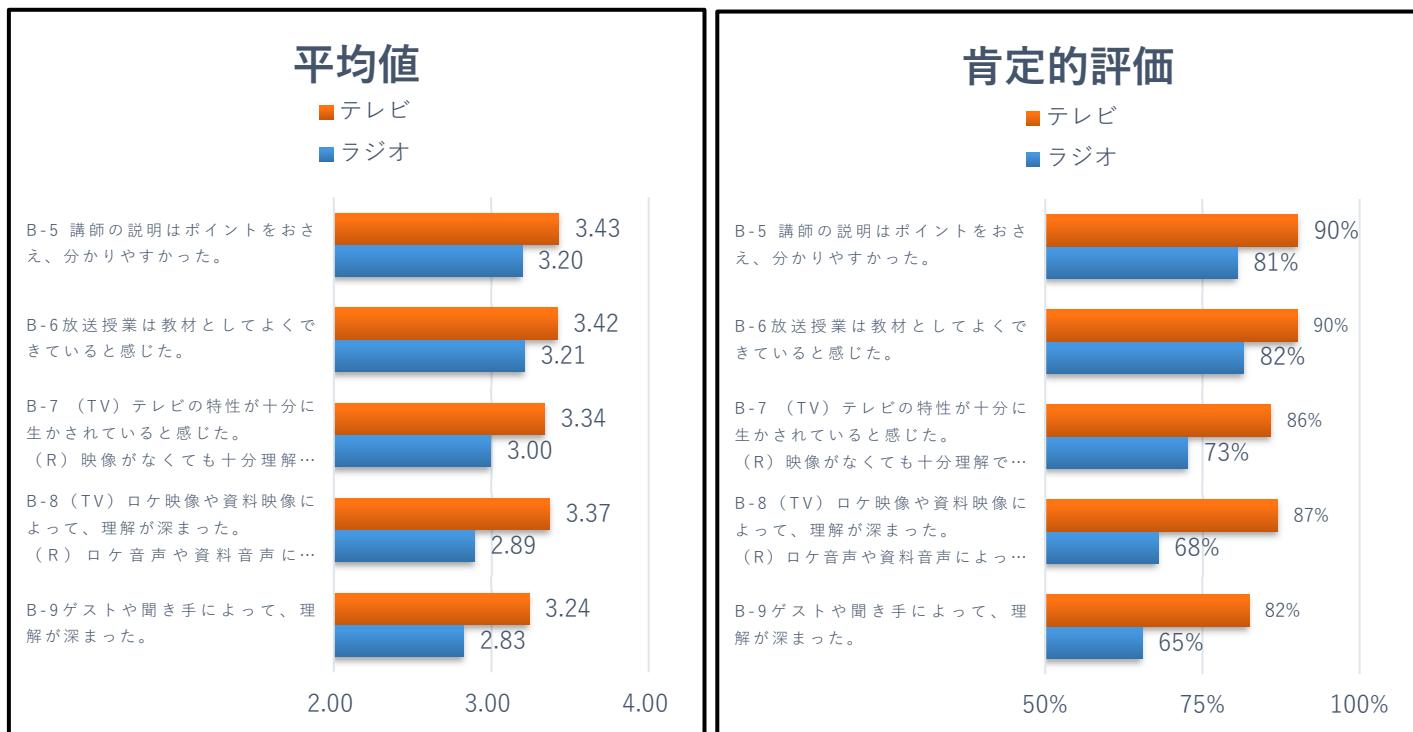
放送授業の評価を時系列で見ると（図2-3-1）本年度は、昨年度と比べると、（B-5）（B-7）は横ばいで、（B-8）（B-9）は下回った。

図2-3-1 【学部】回答者全体の放送授業の評価（時系列）



メディア別に放送授業の肯定的評価を見ると（図2-3-2）、全ての項目でテレビ科目的評価が高かった。（B-5）「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」と（B-6）「放送授業は教材としてよくできていると感じた」が90%と高かった。

図2-3-2 【学部】メディア別の放送授業の評価



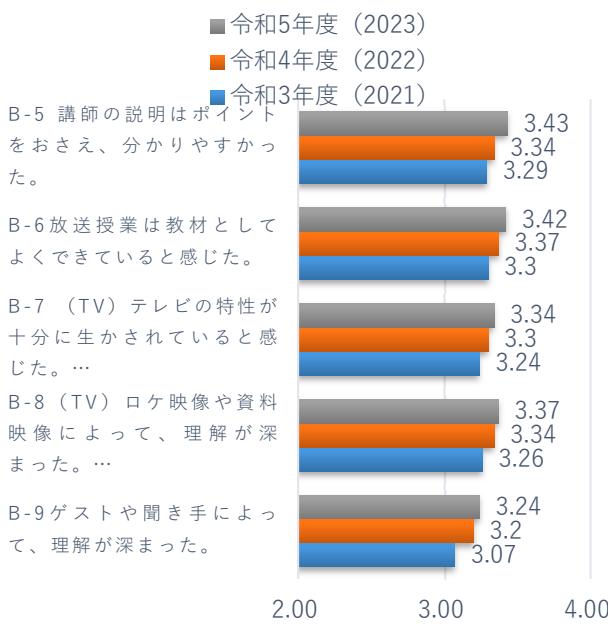
また、メディア別に放送授業の評価を時系列で見ると（図2-3-3）、テレビ科目については、全項目で、昨年度との比較で、同じ水準か評価を上げていた。

一方、ラジオ科目では、（B-9）を除くその他の項目で昨年度よりも評価が低下している。

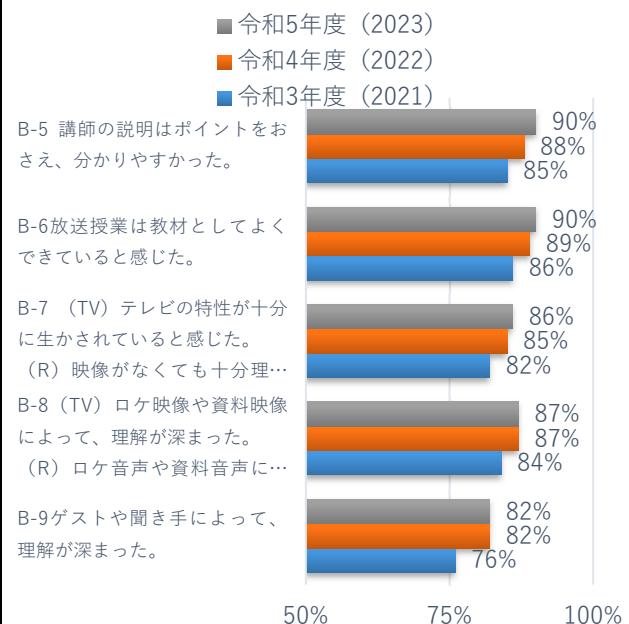
図2-3-3 【学部】メディア別の放送授業の評価（時系列）

テレビ

平均値

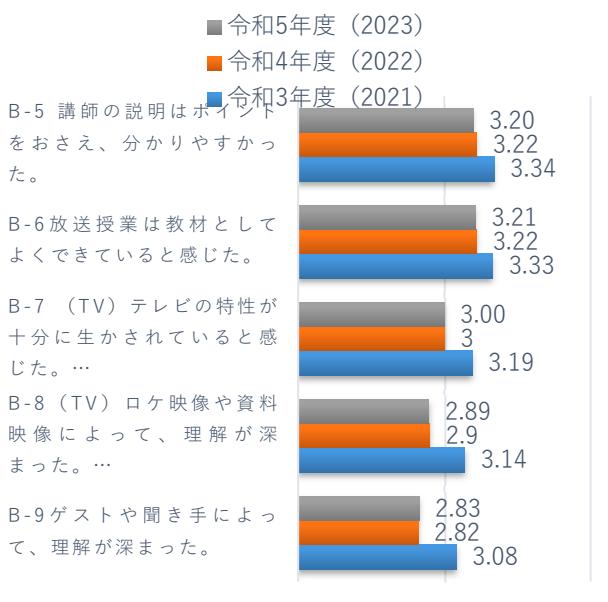


肯定的評価

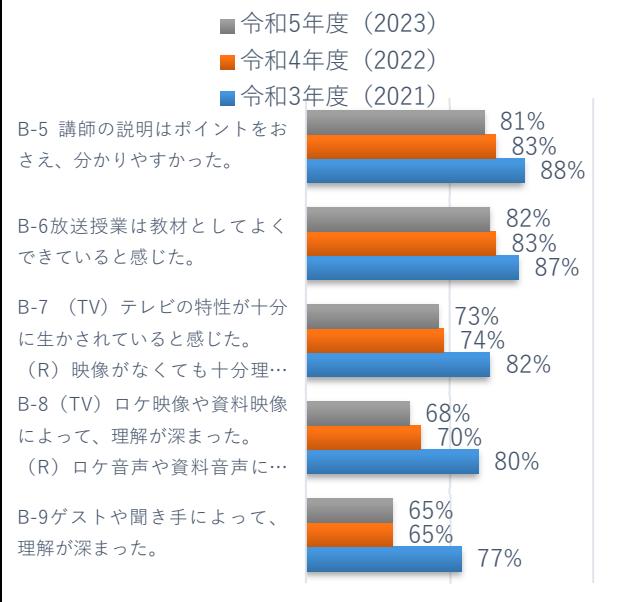


ラジオ

平均値



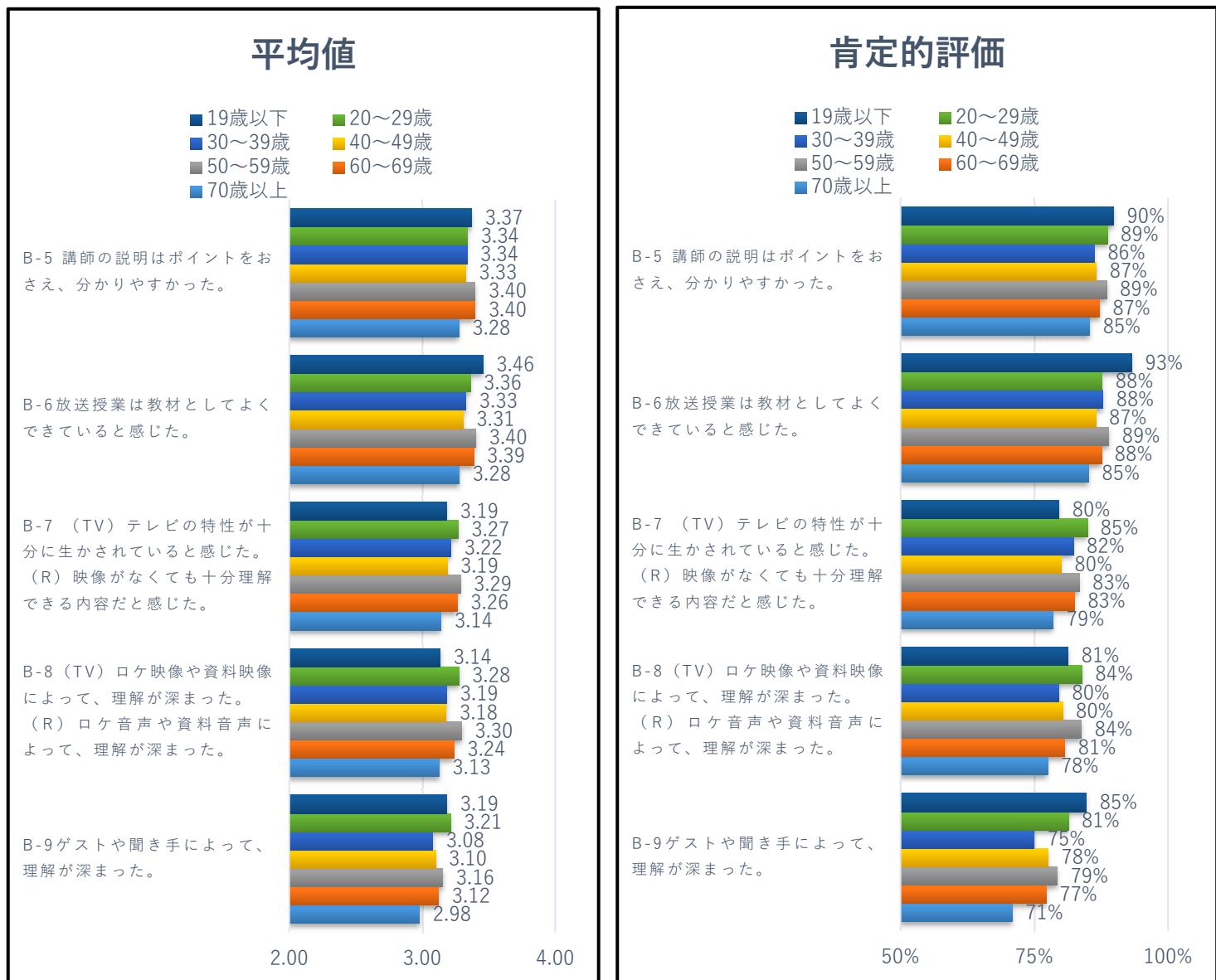
肯定的評価



年齢階層別の放送授業の評価で(図2-3-4)、(B-6)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」では、19歳以下の評価が最も高くでは93%に達していた。

反対に全ての項目で評価が最も低かったのは70歳代で71~85%に留まっていた。

図2-3-4【学部】年齢階層別の放送授業の評価

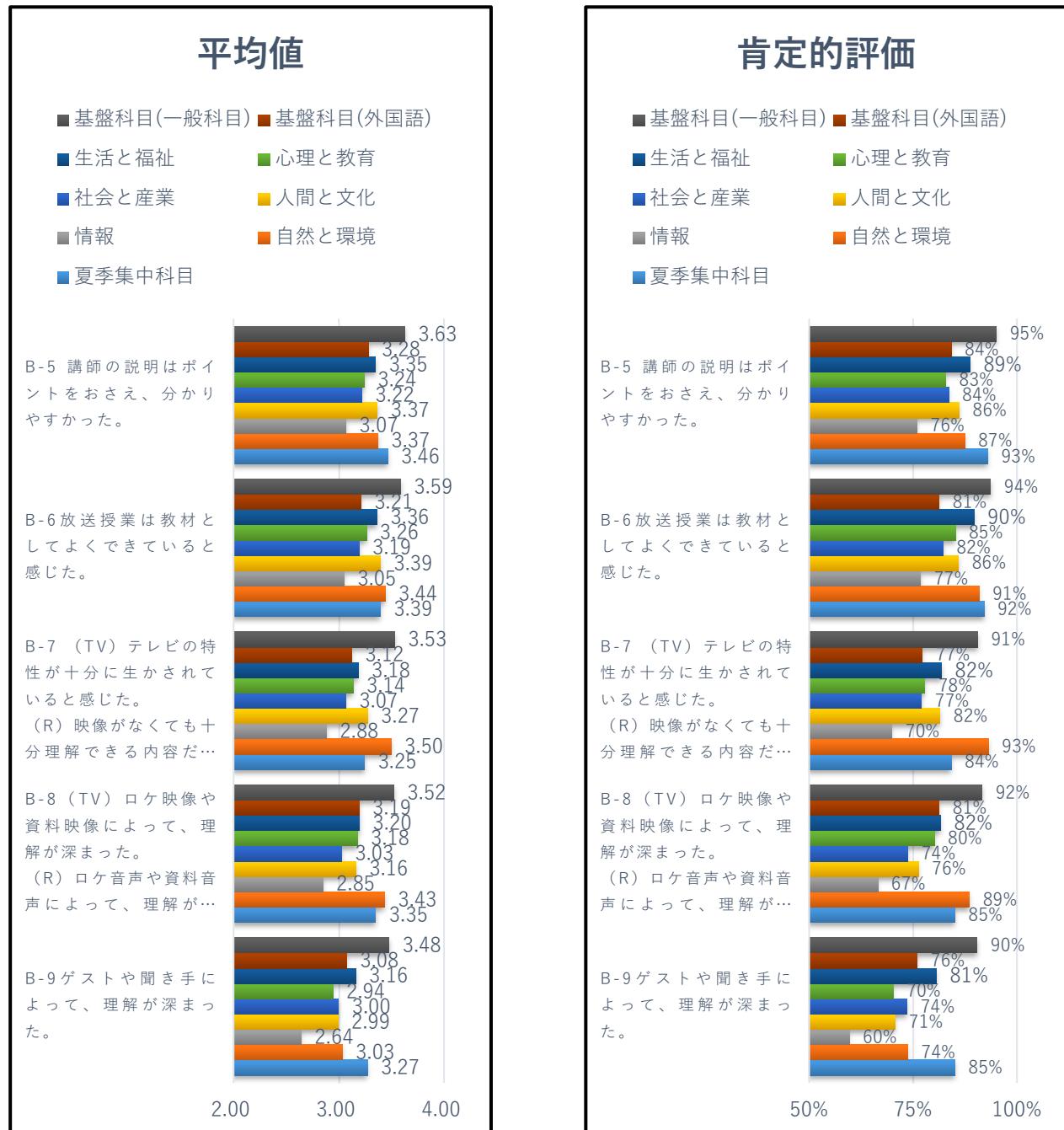


所属コース別に放送授業の評価を見ると（図2-3-5）、「基盤科目（一般科目）」は、すべての項目で上位を占め高評価であった。

（B-5）「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」は「基盤科目（一般科目）」（95%）で評価も高かった。

反対に低い評価であったのは、「情報」で、全ての項目で下位1位であった。

図2-3-5 【学部】所属コース別の放送授業の評価

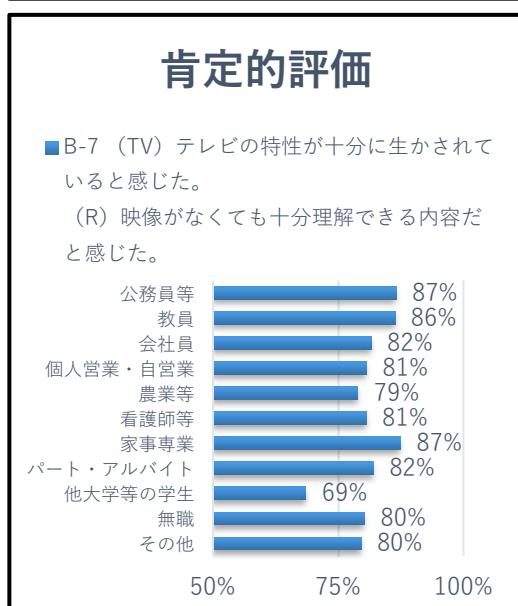
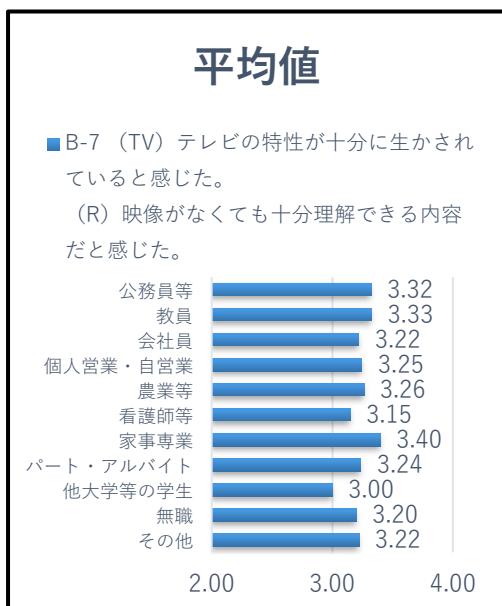
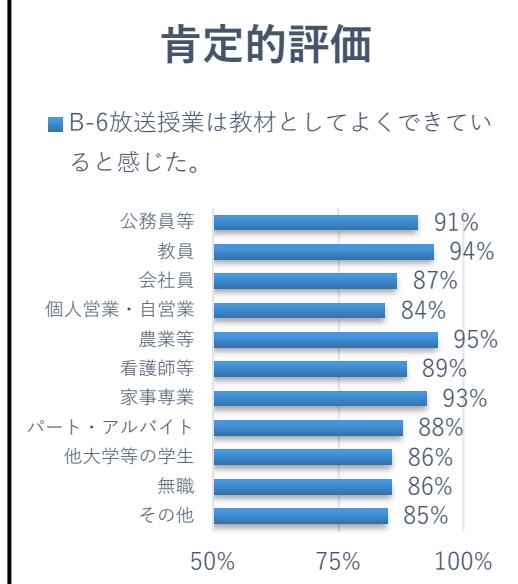
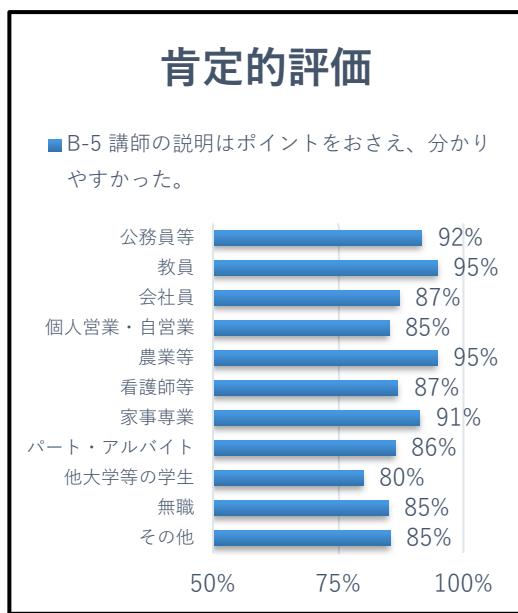
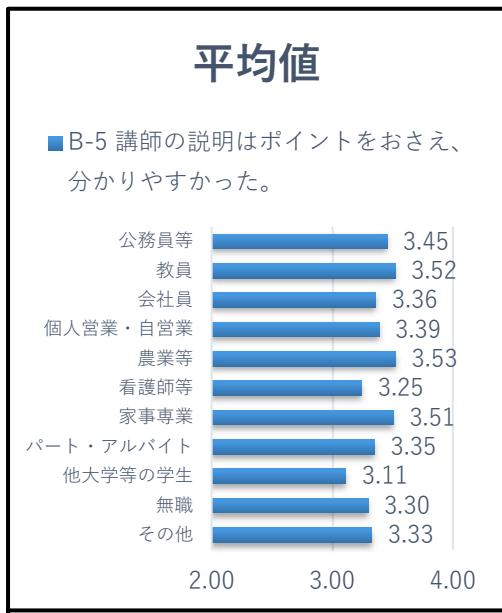


職業別の放送授業の評価（次頁図2-3-6）では、（B-7）を除く全ての項目で「教員」が、上位1位または2位と高い評価であった。

（B-6）「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は「農業等」（95%）、（B-7）「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた/【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は、「公務員等」、「家事専業」が87%と最も高い評価であった。

（B-7）の評価が最も低かったのは、「他大学生等の学生」で69%であった。

図2-36 【学部】職業別の放送授業の評価



平均値

■ B-8 (TV) ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった。

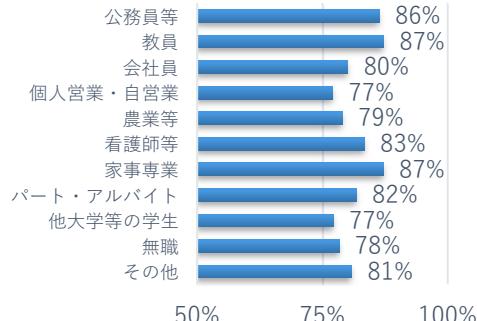
(R) ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった。



肯定的評価

■ B-8 (TV) ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった。

(R) ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった。



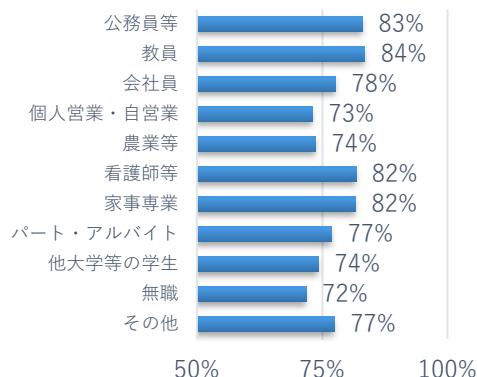
平均値

■ B-9ゲストや聞き手によって、理解が深まった



肯定的評価

■ B-9ゲストや聞き手によって、理解が深まった

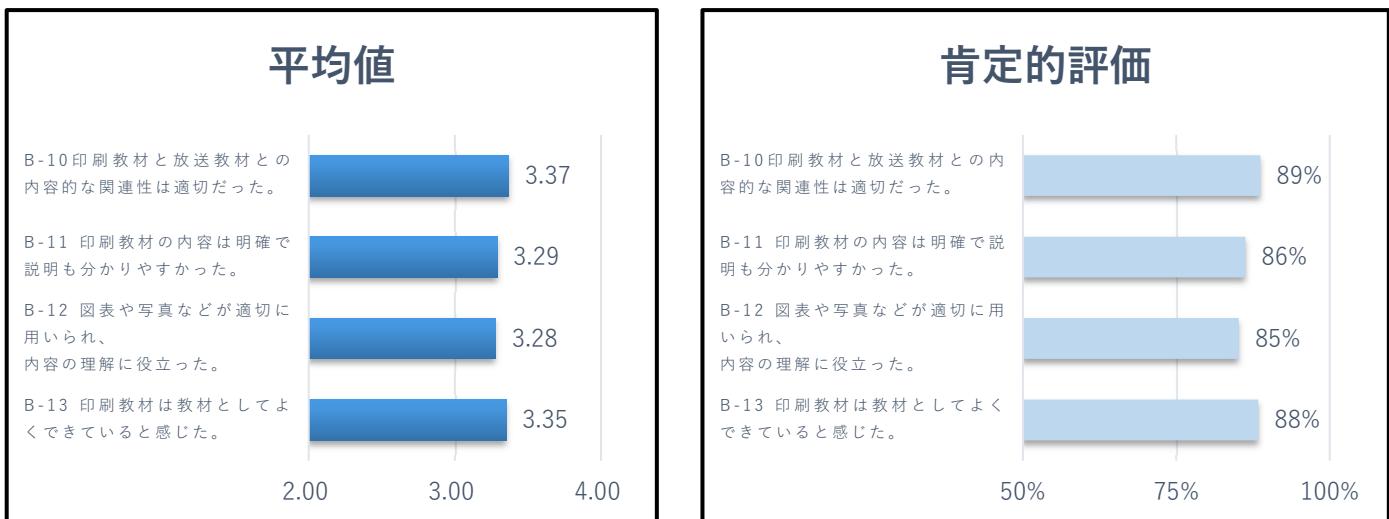


(4)印刷教材

ここからは印刷教材について、評価項目ごとに見ていくことにする。

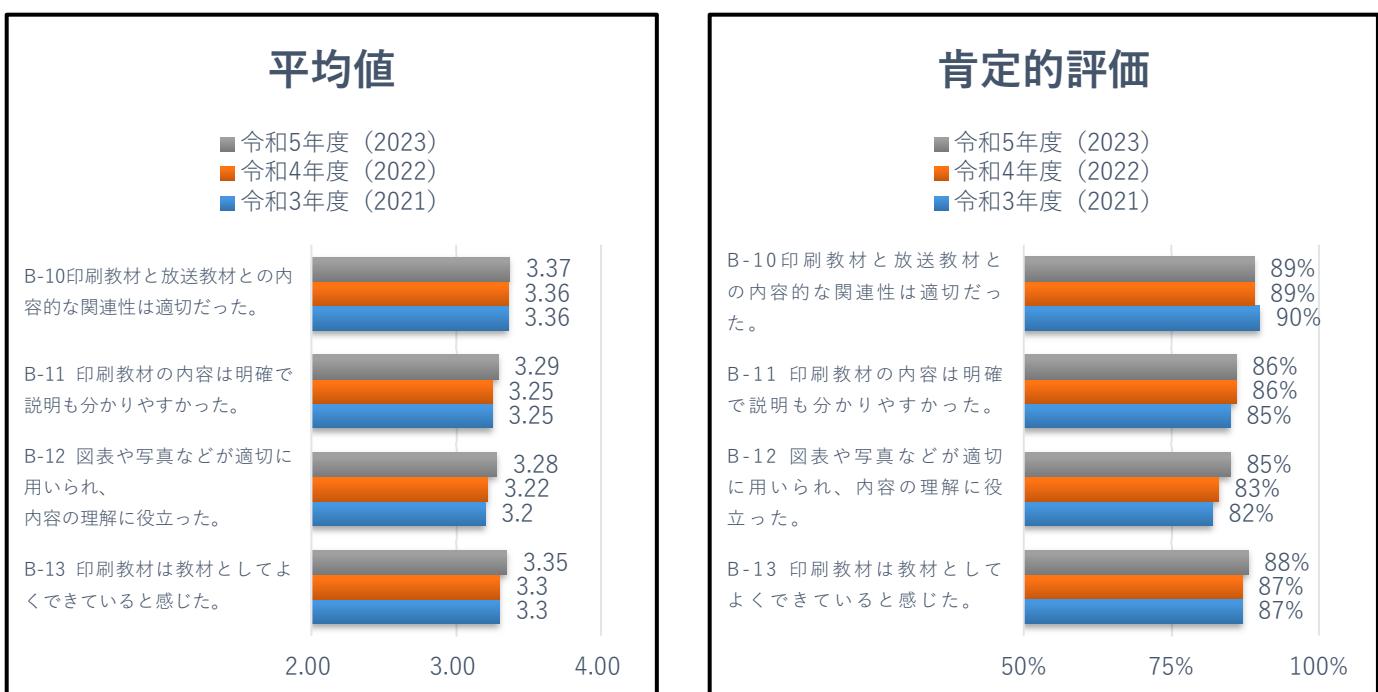
印刷教材の評価項目では（図2-37）、（B-10）「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」が89%と最も高く、（B-12）「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」が85%と最も低かった。

図2-37【学部】回答者全体の印刷教材の評価



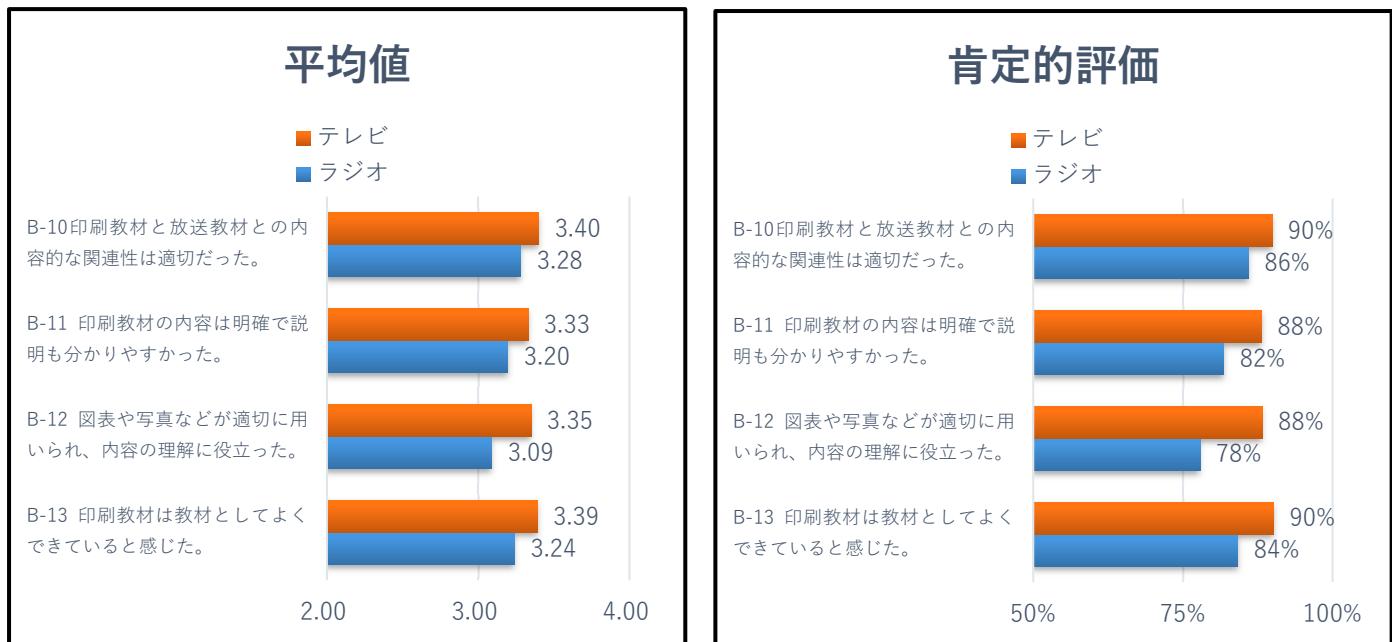
印刷教材の評価を時系列で見ると（図2-38）、本年度は（B-10）「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」（B-11）「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」は昨年度と同じ水準で、それ以外の項目では、評価が上向いていた。

図2-38【学部】回答者全体の印刷教材の評価（時系列）



メディア別に印刷教材の評価を見ると(図2-39)、すべての項目で88%~90%で、テレビ科目的評価の方が高かった。

図2-39【学部】メディア別の印刷教材の評価



メディア別の印刷教材の結果を時系列で見ると(図2-40)、テレビ科目では、本年度は、(B-12)を除いて昨年度より評価が上がっていた。

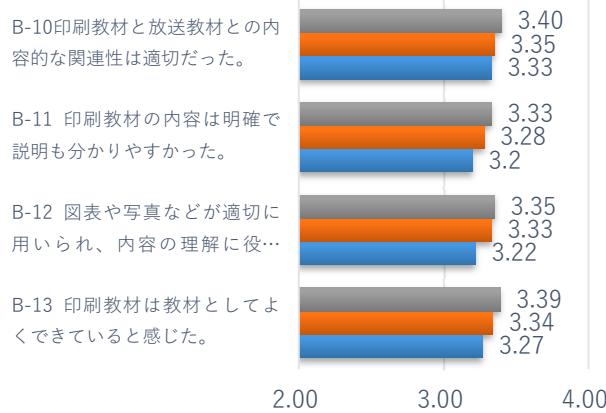
一方、ラジオ科目については、(B-10)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」においては、86%と昨年より3ポイント下がった。その他の項目は上昇か横ばい傾向であった。

図2-40【学部】メディア別の印刷教材の評価(時系列)

テレビ

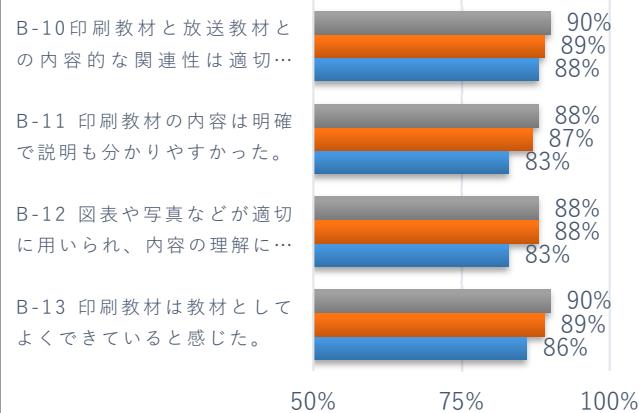
平均値

■令和5年度(2023)
■令和4年度(2022)
■令和3年度(2021)



肯定的評価

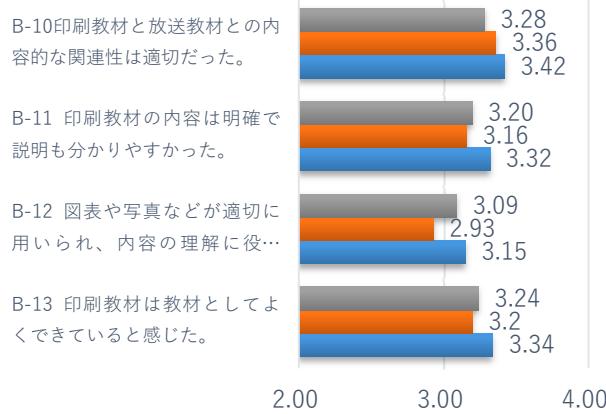
■令和5年度(2023)
■令和4年度(2022)
■令和3年度(2021)



ラジオ

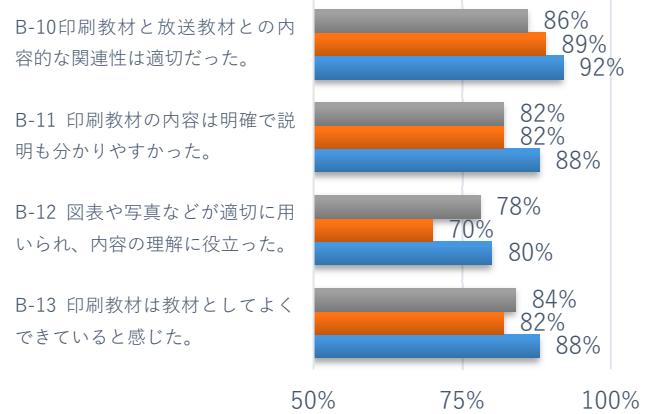
平均値

■令和5年度(2023)
■令和4年度(2022)
■令和3年度(2021)



肯定的評価

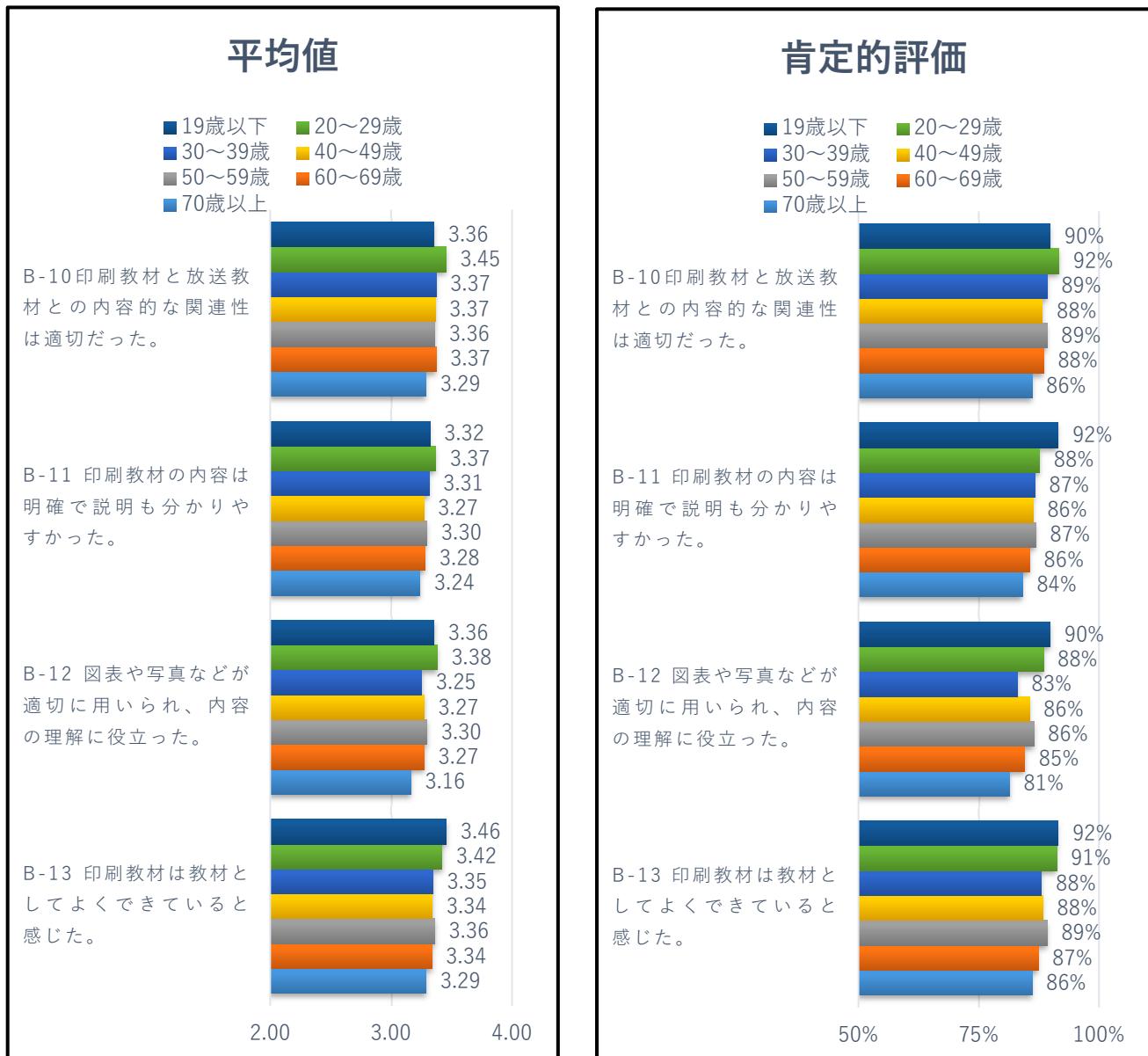
■令和5年度(2023)
■令和4年度(2022)
■令和3年度(2021)



年齢階層別に印刷教材の評価を見ると(図2-41)、(B-10)以外で19歳以下が全体に高評価であった。

反対に評価が低かったのは70歳以上で、(B-12)の項目において、81%で最も評価が低かった。

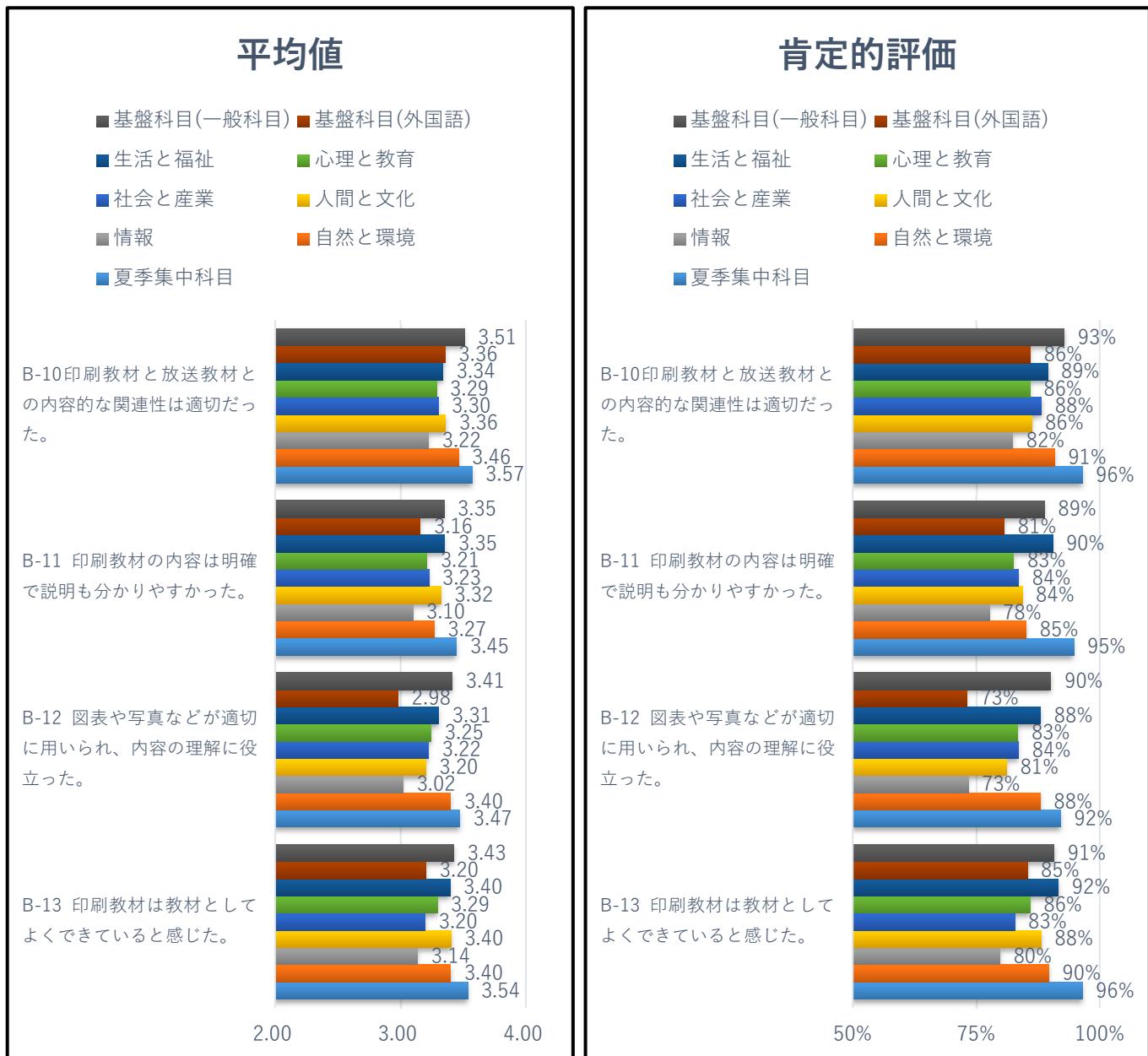
図2-4-1 【学部】年齢階層別の印刷教材の評価



所属コース別に印刷教材の評価を見ると（図2-4-2）、「夏季集中科目」が、全ての項目で90%以上の評価であった。全ての項目で「基盤科目（一般科目）」の評価も高かった。

反対に評価が低かったのは、（B-12）の「情報」「基盤科目（外国語）」で73%であった。

図2-4-2 【学部】所属コース別の印刷教材の評価

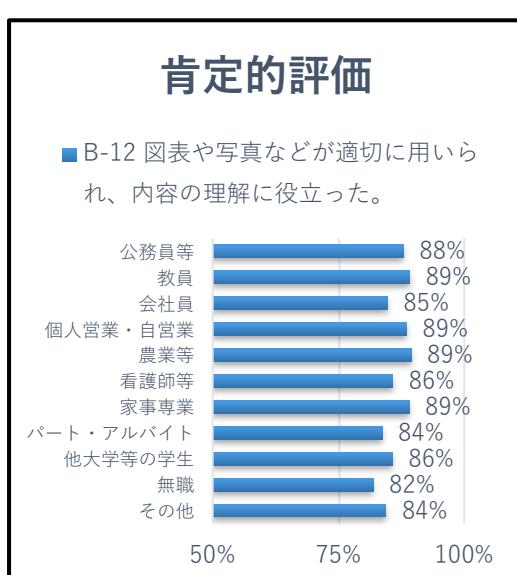
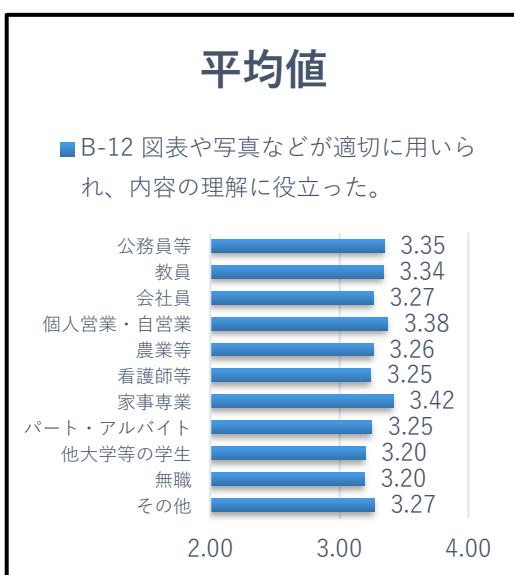
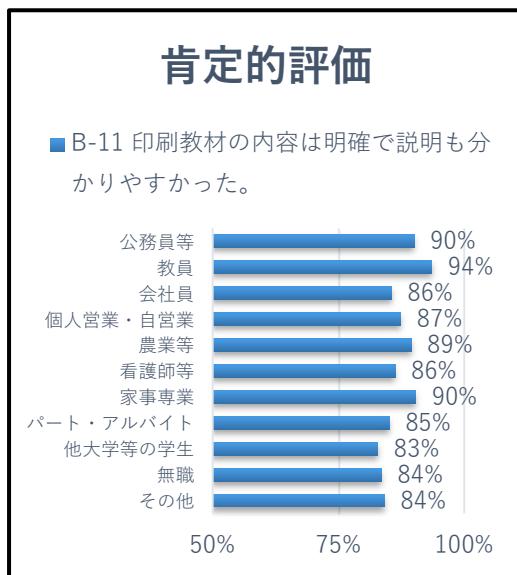
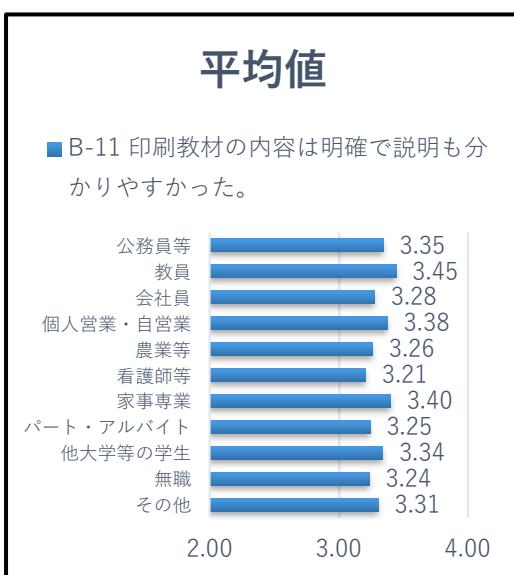
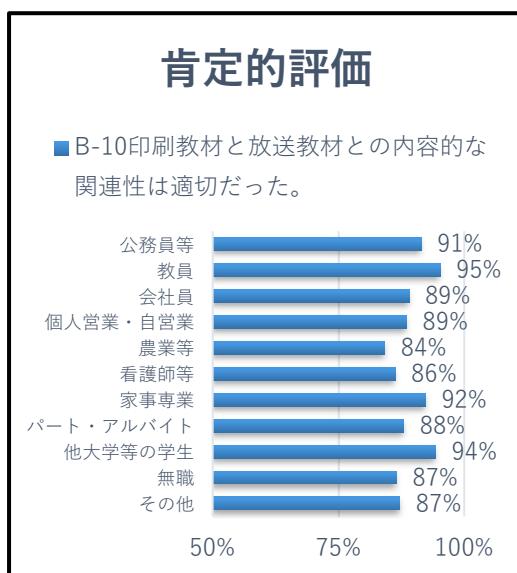
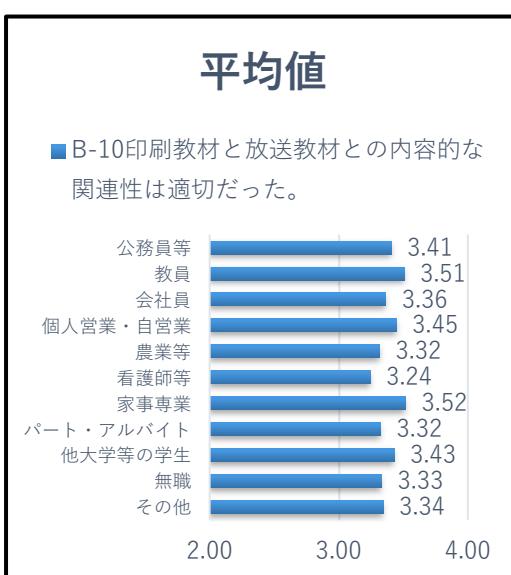


職業別の印刷教材の評価（次頁図2-4-3）で、特徴的であったのは、「教員」の評価が高く、全ての項目で、1,2位の評価であった。

(B-10)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」では「他大学生等の学生」の評価も高かった。

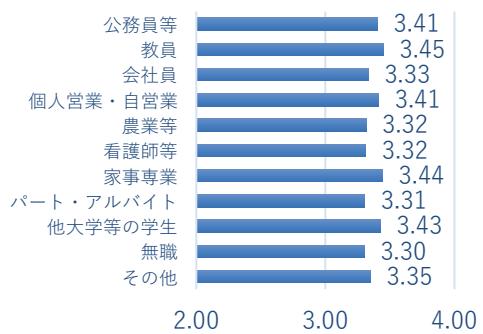
反対に、(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」では、「無職」が82%と最も評価が低かった。

図2-43 【学部】職業別の印刷教材の評価



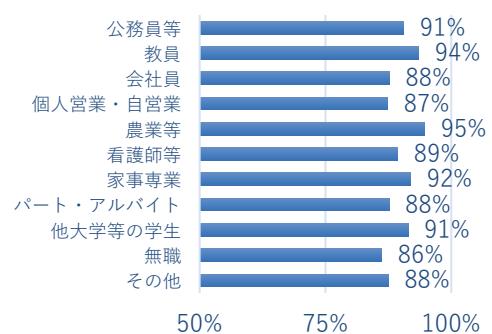
平均値

■ B-13 印刷教材は教材としてよくできていると感じた。



肯定的評価

■ B-13 印刷教材は教材としてよくできていると感じた。

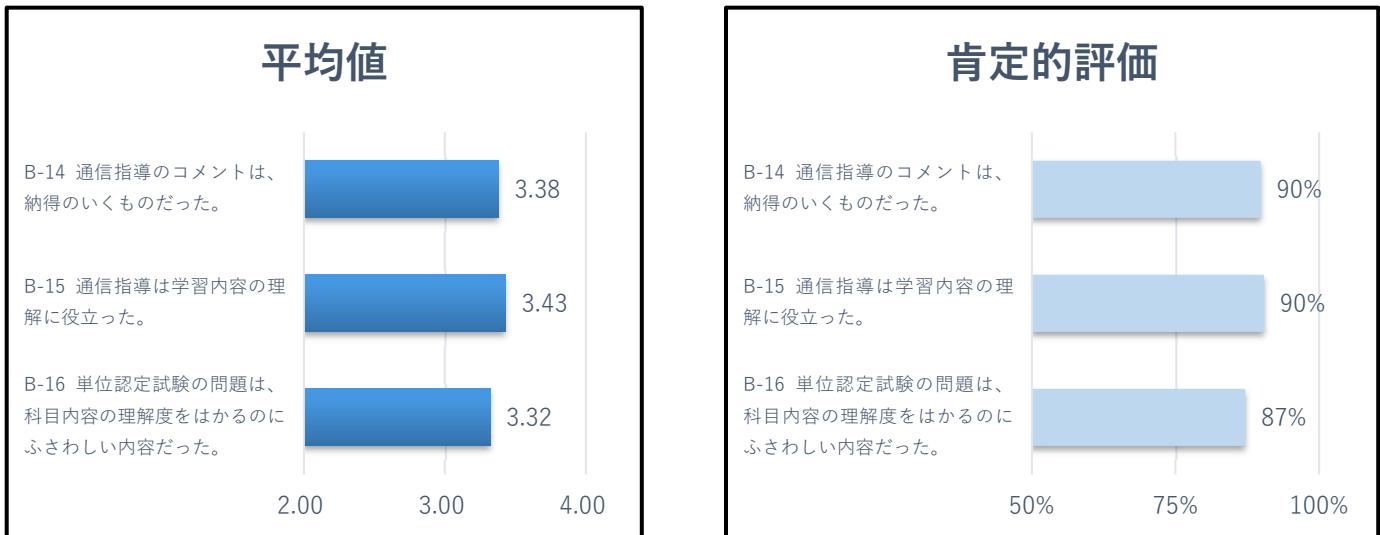


(5) 通信指導・単位認定試験

最後に通信指導・単位認定試験の評価について項目ごとに見ていくことにする。

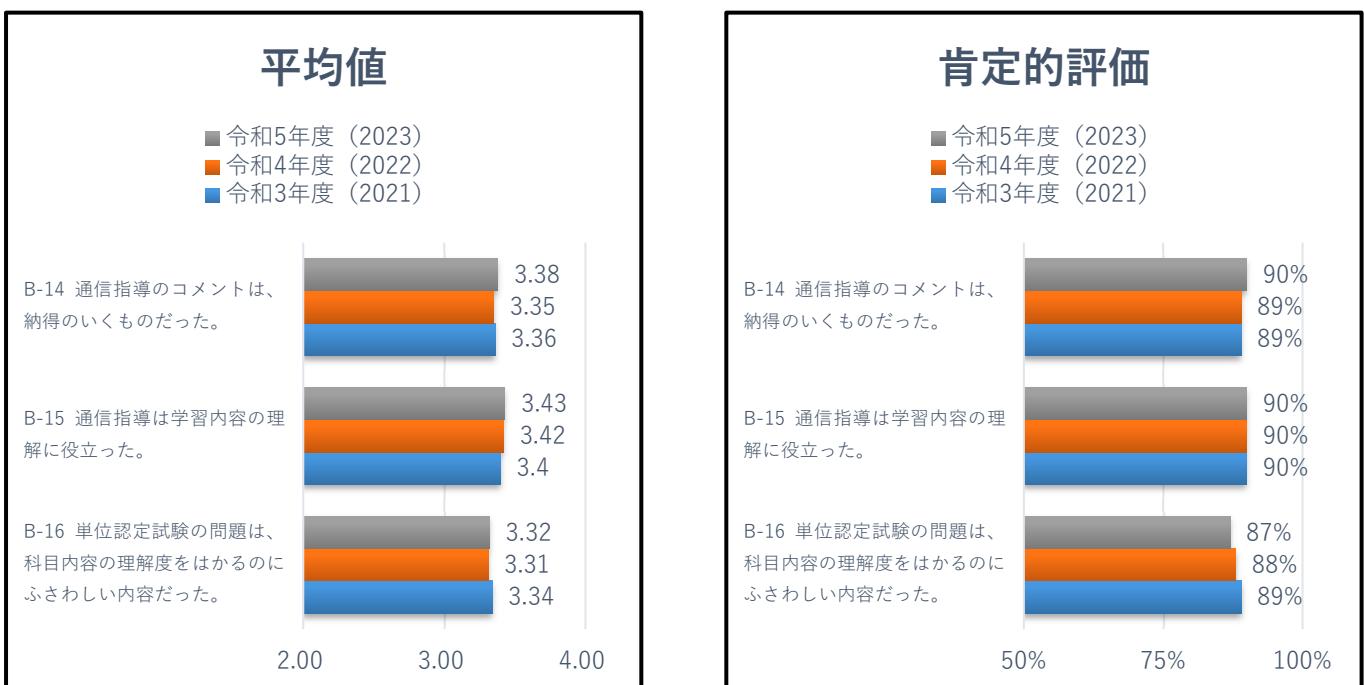
通信指導・単位認定試験については（図2-4-4）、全ての項目で87～90%と同水準であった。

図2-4-4 【学部】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価



通信指導・単位認定試験の評価を時系列で見ると（図2-4-5）、本年度は、下記の3項目全てで、昨年度とほぼ同水準であった。

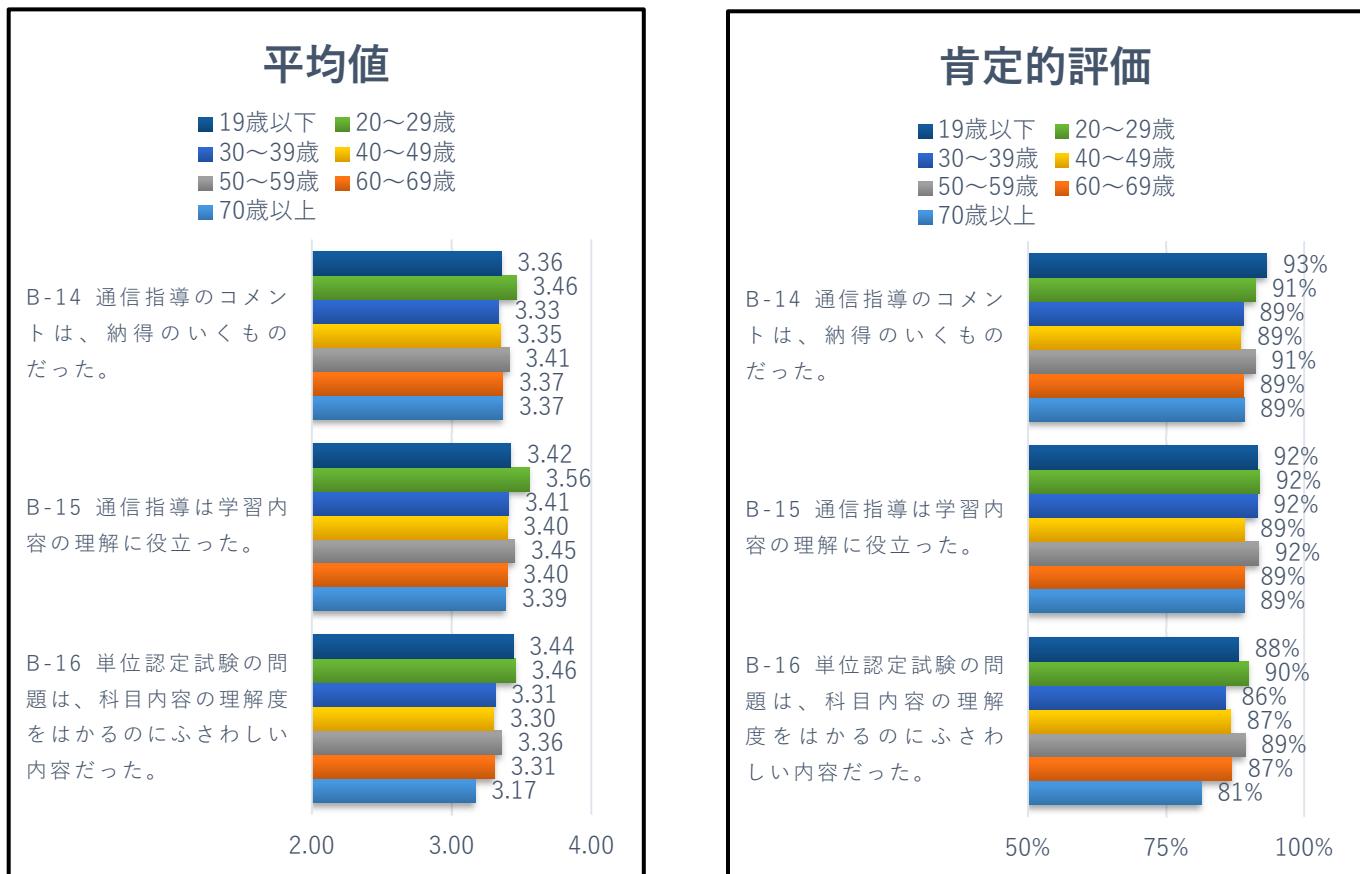
図2-4-5 【学部】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価（時系列）



年齢階層別に通信指導・単位認定試験の評価を見ると(図2-4-6)、全ての項目で19歳以下と20歳代、50歳代の評価が高かった。

反対に全般的に評価が低かったのは70歳以上で、中でも項目(B-16)では81%と最も低い評価であった。

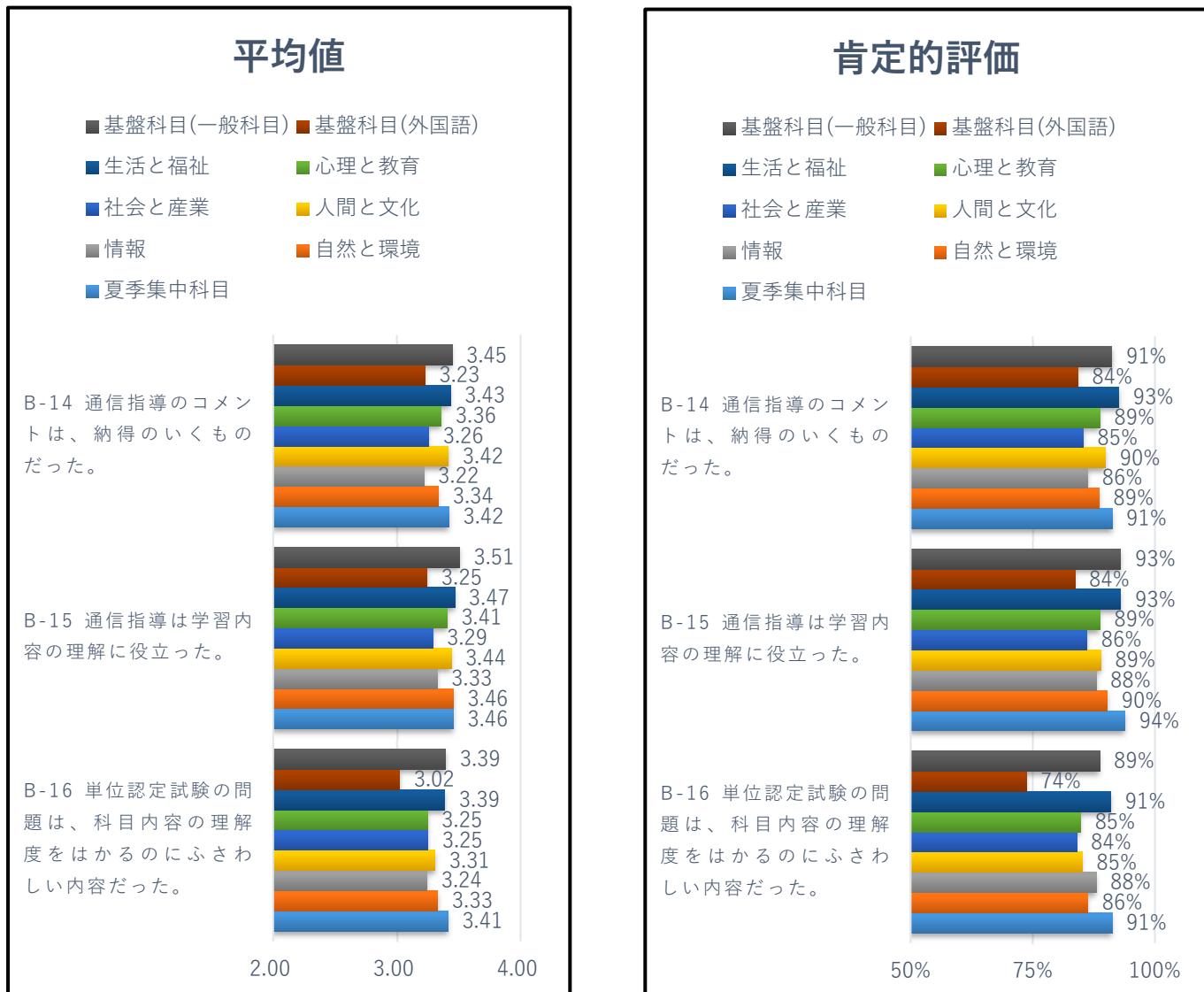
図2-4-6 【学部】年齢階層別の通信指導・単位認定試験の評価



所属コース別に通信指導・単位認定試験の評価を見ると(図2-4-7)、「生活と福祉」「夏季集中科目」の評価が高い傾向が見られた。

反対に評価が低いのは、(B-16)「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」では「基盤科目(外国語)」が74%と目立って低かった。

図2-4-7 【学部】所属コース別の通信指導・単位認定試験の評価

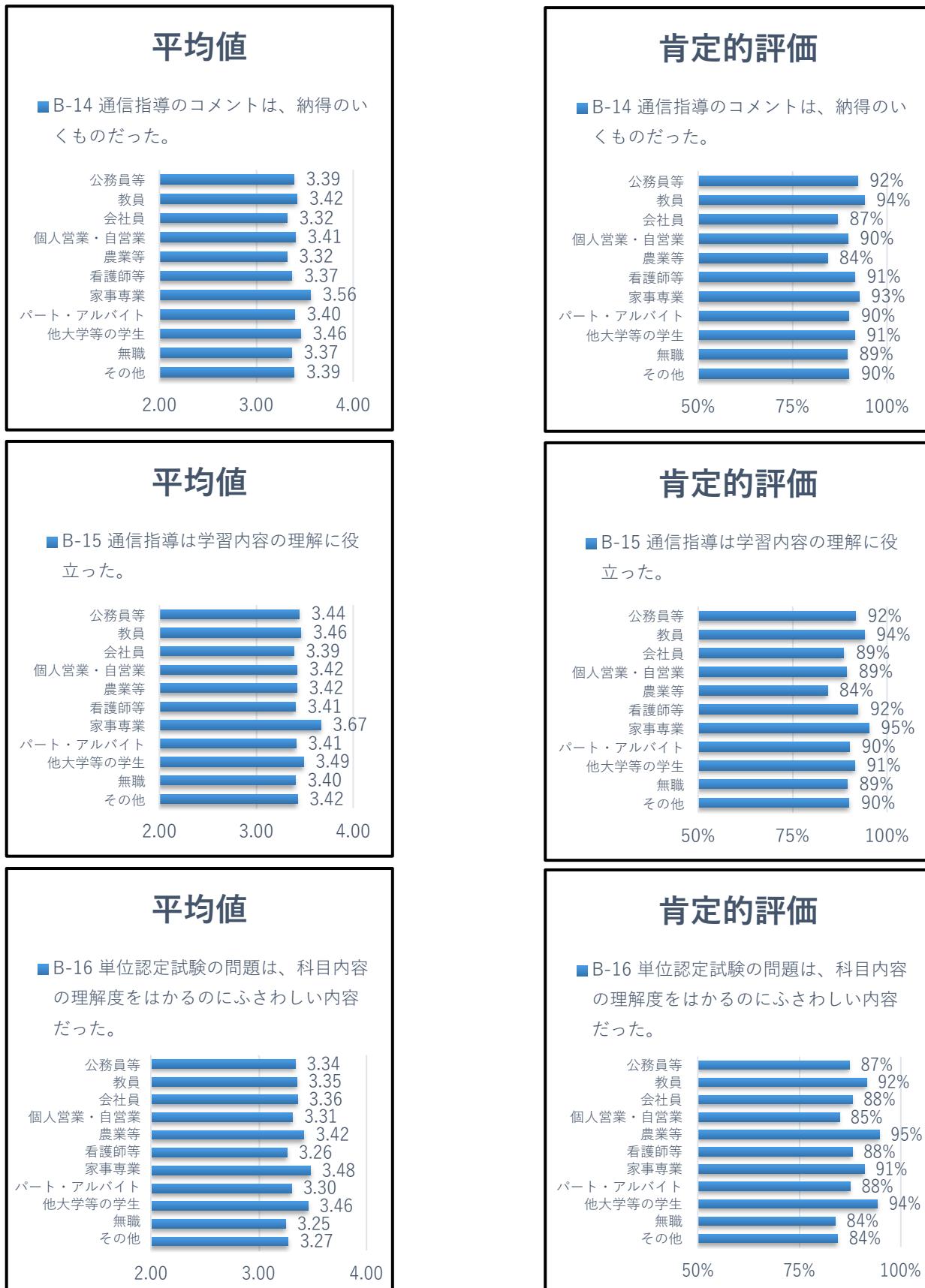


職業別に通信指導・単位認定試験の評価を見ると（次頁図2-4-8）、（B-14）「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」では、「教員」（94%）「家事専業」（93%）「公務員等」（92%）と評価が高く、反対に「農業等」が84%と低かった。

（B-15）「通信指導は学習内容の理解に役立った」では、「家事専業」（95%）「教員」（94%）の評価も高かった。一方、最も評価が低かったのは「農業等」（84%）であった。

（B-16）「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」は「農業等」が95%と最も高かった。

図2-48 【学部】職業別の通信指導・単位認定試験の評価



II-1-4. 学部の重回帰分析

重回帰分析とは、数量データである目的変数と説明変数の関係を調べ、重回帰式（モデル式）を導き出す解析手法である。

今回も、全体の満足度（B-21）「この科目の内容には全体として満足している」を目的変数とし、調査票 I.A 「授業への取り組み姿勢」を除く B-1～B-20 の各項目を説明変数として分析を試みる。

本調査の選択肢はカテゴリーデータであるが、平均値の算出と同様『あてはまる→4』のように数値をポイント化する事で数量として扱い、重回帰分析を適用する。

最終的には「全体の満足度」に寄与する項目を明らかにすると共に、その影響力の強さを知る事を目的としている。

項目名	変数	対象
目的変数	y	全体の満足度：B-21
説明変数	x ₁ x ₂ 、…	各項目 B-1～B-20：全20問（項目）
係数	a ₁ a ₂ 、…	重回帰分析によって得られる偏回帰係数

重回帰式 $y = a_0 + a_1x_1 + a_2x_2 + \dots + a_{20}x_{20}$ (説明変数が全20問の場合)

サンプルサイズが十分でない場合や説明変数が多すぎると、全体の満足度を表すのに適した重回帰式を得られない事が経験的に分かっているため、重回帰分析の中で、説明変数間で強い相関関係がある場合、その一方の項目を自動的に削除する「変数減少法」を用いて解析を行った。

使用したデータは質問項目 I.B の全設問を全て回答した 4881 人のローデータを使用した。

その結果は以下の通りとなった。

■ 分析精度

自由度修正済み決定係数とは、得られた重回帰式が目的変数に対してどれだけ説明力(寄与度)があるかを示す指標で、「1」に近いほど良い結果で、この分析では 0.755 となった。

ダーヴィンワトソン比とは、残差同士の系列相関（自己相関）を示す指標で 0～4 までの値を示し、1 以下や 3 以上だと残差（誤差）に規則性があり、解析自体あるいはデータ自体に問題があり、「2」近辺の値ならよいとされるもので、その値は 2.015 となった。以上の結果から、問題のない結果が得られた事が示されている。

◆分析精度

決定係数	0.755
自由度修正済み決定係数	0.755
ダーヴィンワトソン比	2.015
誤差の標準偏差	0.377

今回の重回帰分析は、分散分析表が示すとおり、有意水準 0.01 の判定で、かなりの精度で式の当てはまりの良さが確認できた。（有意水準とは危険率と同義で 0.01 の場合、判定を誤る確率が 1% である事を表している）

◆分散分析表

変動	偏差平方和	自由度	不偏分散	分散比	p値	判定
全体変動	2824.632	4880				
回帰による変動	2133.899	11	193.991	1367.446	0.000	[**]
回帰からの残差変動	690.734	4869	0.142			
			凡例	有意水準	凡例	有意水準
			[**]	0.01	[*]	0.05

下表にある標準偏回帰係数とは説明変数の相互比較を可能にするためのもので、各説明変数の目的変数に対する影響力の度合いがこれで分かる。

その結果から「全体の満足度(B-21)」に寄与する項目で、その寄与度が最も高かったのは、B-18「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」で 0.28、次いで B-19「新しい知識が身につき視野が広がった（0.13）、他に B-13「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」（0.12）と続いていた。

説明変数の影響力の度合いを比較するために、表中の標準偏回帰係数の中で最も小さい B-15（0.02）を基準に、他の項目がその何倍となるか算出してみた。（表中の右端の数値）その結果、高い順に B-18：14.0 倍、B-19：6.5 倍、B-13：6.0 倍となった。

この結果を踏まえ、今後、「全体の満足度」（本年度の肯定的評価 89%）を上げるために、上位 3 項目、「B-18 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」、「B-19 新しい知識が身につき視野が広がった」、「B-13 印刷教材は教材としてよくできていると感じた」この科目的内容を全体としてよく理解できた（理解度）が突出しており、この 3 項目の肯定的評価を上げる事が、効果的であると考えられる。

この 3 項目の肯定的評価について見ると、B-18：90%、B-19：93%、B-13：88% で、それぞれの肯定的評価を上げる余地は、まだ残っていると思われる。

目的変数	標準偏回帰係数	説明変数	判定	B-7 との対比
B-21全体の満足度	0.280	B-18学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	[**]	14.00
	0.130	B-19新しい知識が身につき視野が広がった	[**]	6.50
	0.120	B-13印刷教材は教材としてよくできていると感じた	[**]	6.00
	0.088	B-5講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	[**]	4.40
	0.068	B-16単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった	[**]	3.40
	0.051	B-17授業科目案内はこの科目的内容を知る上で役に立った	[**]	2.55
	0.040	B-3印刷教材の難易度は適切だった	[**]	2.00
	0.031	B-2放送授業の内容は適切な分量であった	[**]	1.55
	0.022	B-7テレビの特性が十分に生かされていると感じた。（ラジオ科目の場合） 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	[**]	1.10
	0.020	B-15通信指導は学習内容の理解に役立った	[**]	1.00
定数項				[**]

II-2. 大学院の分析結果

II-2-1. 項目平均から見た全体的傾向

評価項目の内容ごとに回答者全体の平均値と肯定的評価をA-1～A-3等の複数の項目の平均を算出しグラフ化（図2-4-9）した。

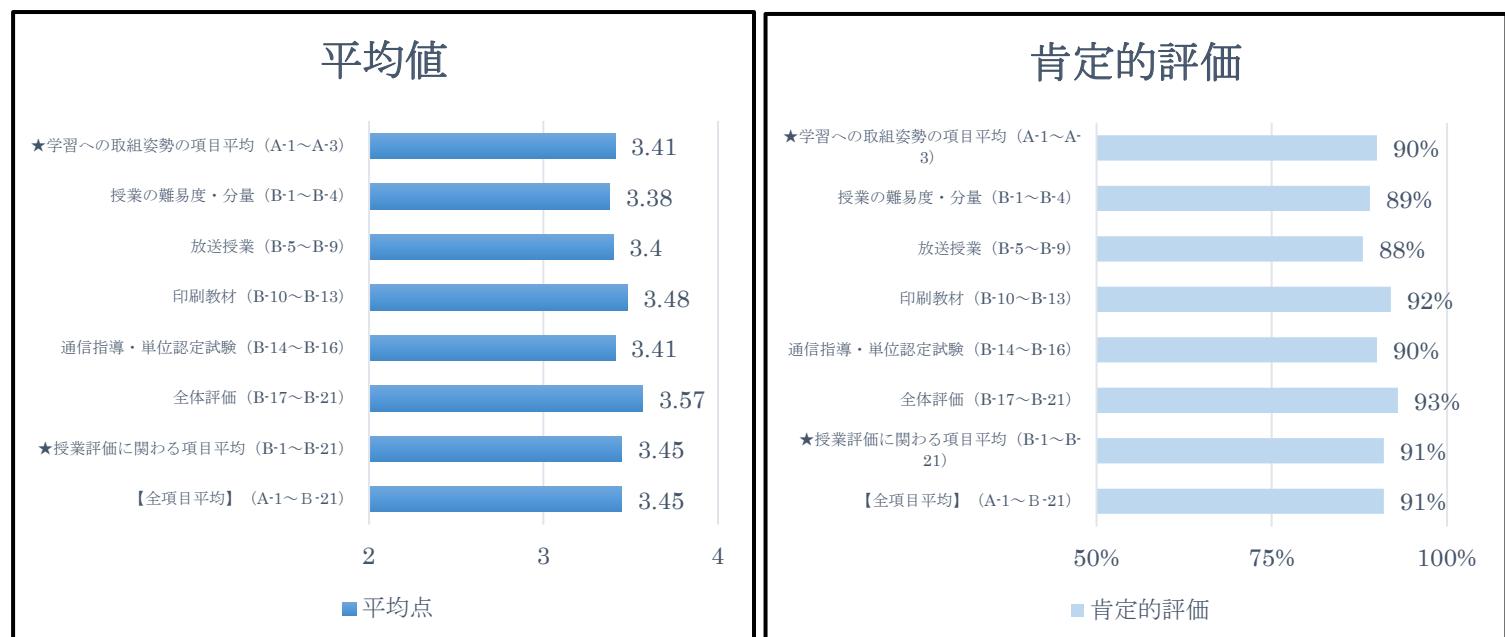
学部同様、肯定的な評価（「あてはまる」+「ややあてはまる」）の方が（例えば回答者の80%）イメージしやすく、下図左側の平均値と肯定的評価に齟齬が生じた場合、どちらを採用するか合理的に判断出来ないため、コメントについては肯定的評価を用いて、平均値は参考値として扱っていきたい。

また、新規開設科目の年度比較は、比率の差の検定結果から、大学院は、学部ほど回答者数が多くないため（2023年度：90人、2022年度：332人、2021年度：412人である）、本年度と昨年度の比較では大幅に減少傾向となった。

更に、回答者数が小サンプルの場合、%表記にすると、誤差が大きくなるため、いずれも参考値としてグラフに記載しているが、コメントを割愛する事にする。年齢階層別の「19歳以下」（0人）、「20～29歳」（1人）、職業別の「他大学等の学生」（1人）、「看護師等」（2人）が挙げられる。（「農業等」は一人もいなかった。）

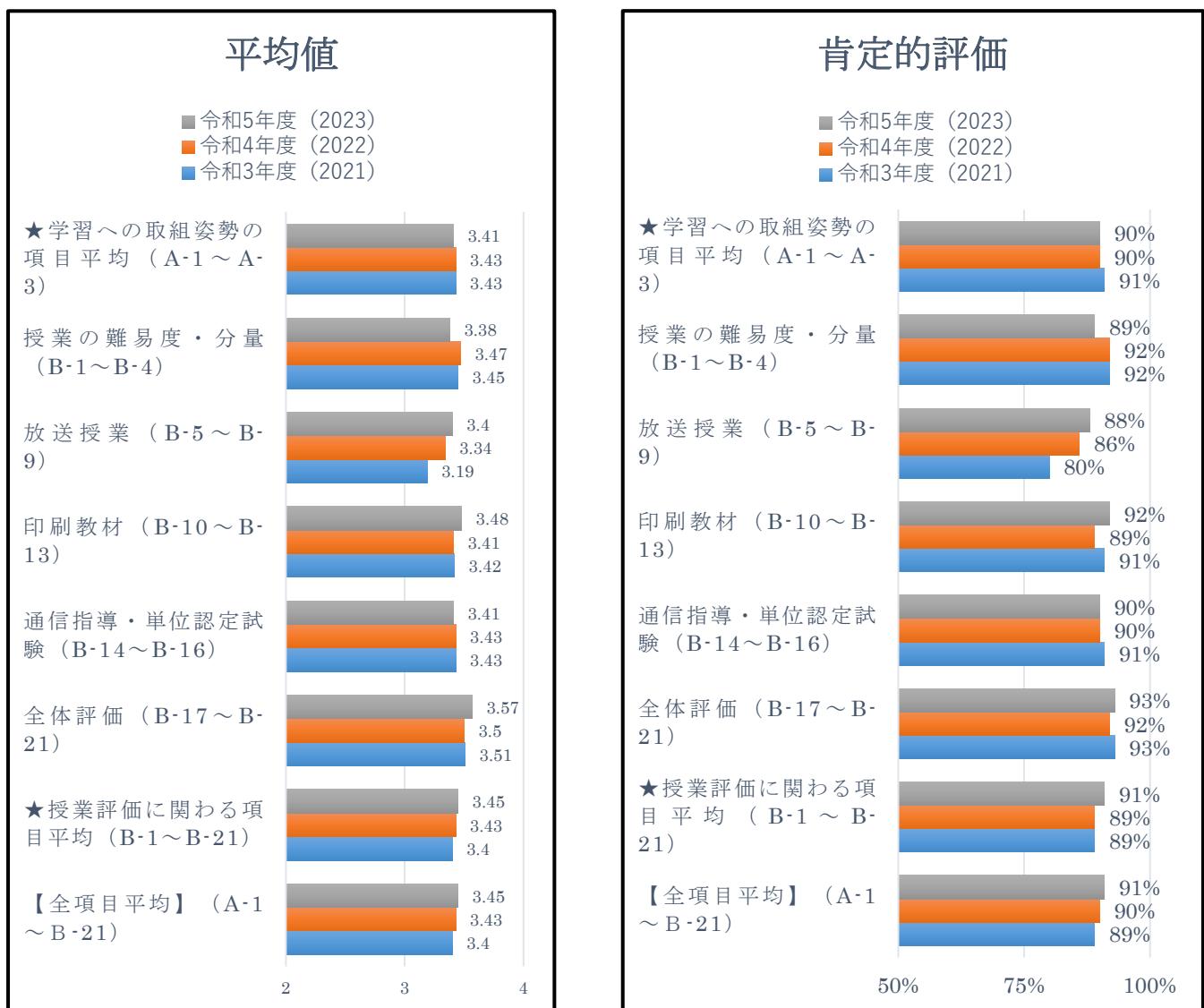
項目平均による全体的傾向をみてみると（図2-4-9）、『放送授業』が88%と他の項目と比べ低かったが、『全体評価』としては93%と高かった。

図2-4-9 【大学院】項目平均による全体的傾向



項目平均を科目の開設年度で比較して見ると（図2-50）、本年度は昨年度と比べ『印刷教材』がプラス3ポイントと上昇したほか、『放送授業』『授業評価に関わる項目平均』もプラス2ポイントであった。『全体の評価』は、ほぼ横ばいであった。

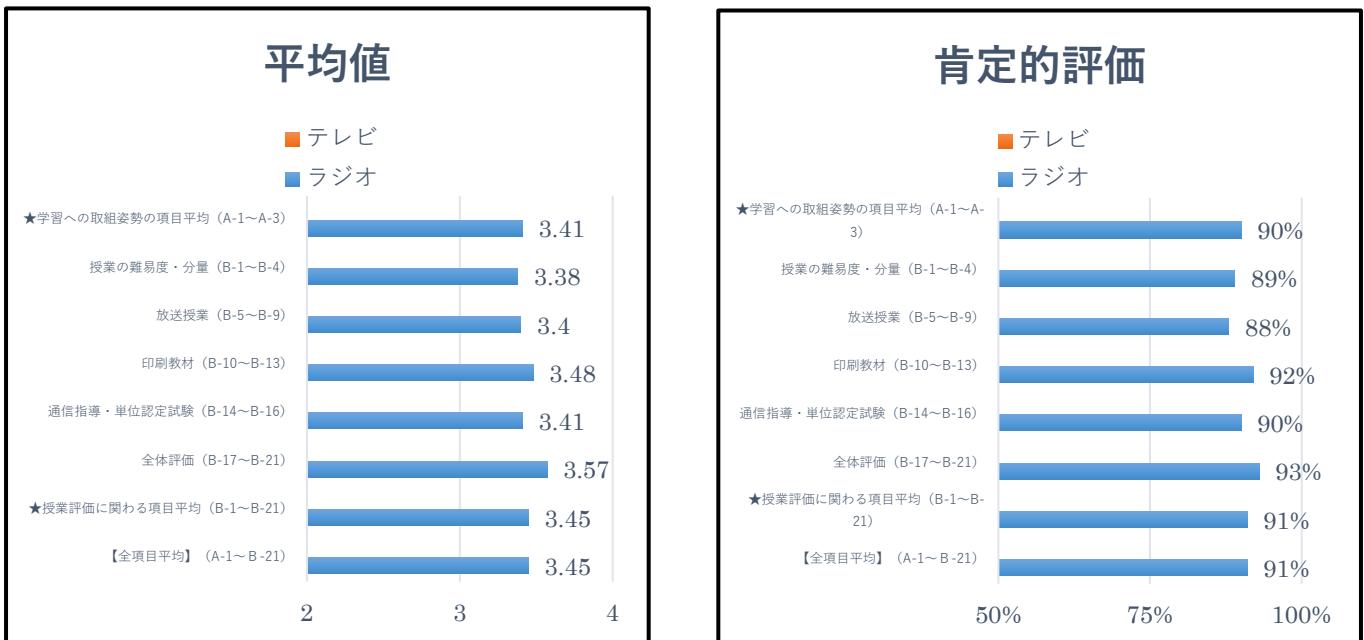
図2-50 【大学院】項目平均による全体的傾向（開設年度比較）



ラジオ科目的（図2-5-1）、『印刷教材』『全体評価』の評価が高くなっていた。

図2-5-1 【大学院】項目平均によるメディア別全体的傾向

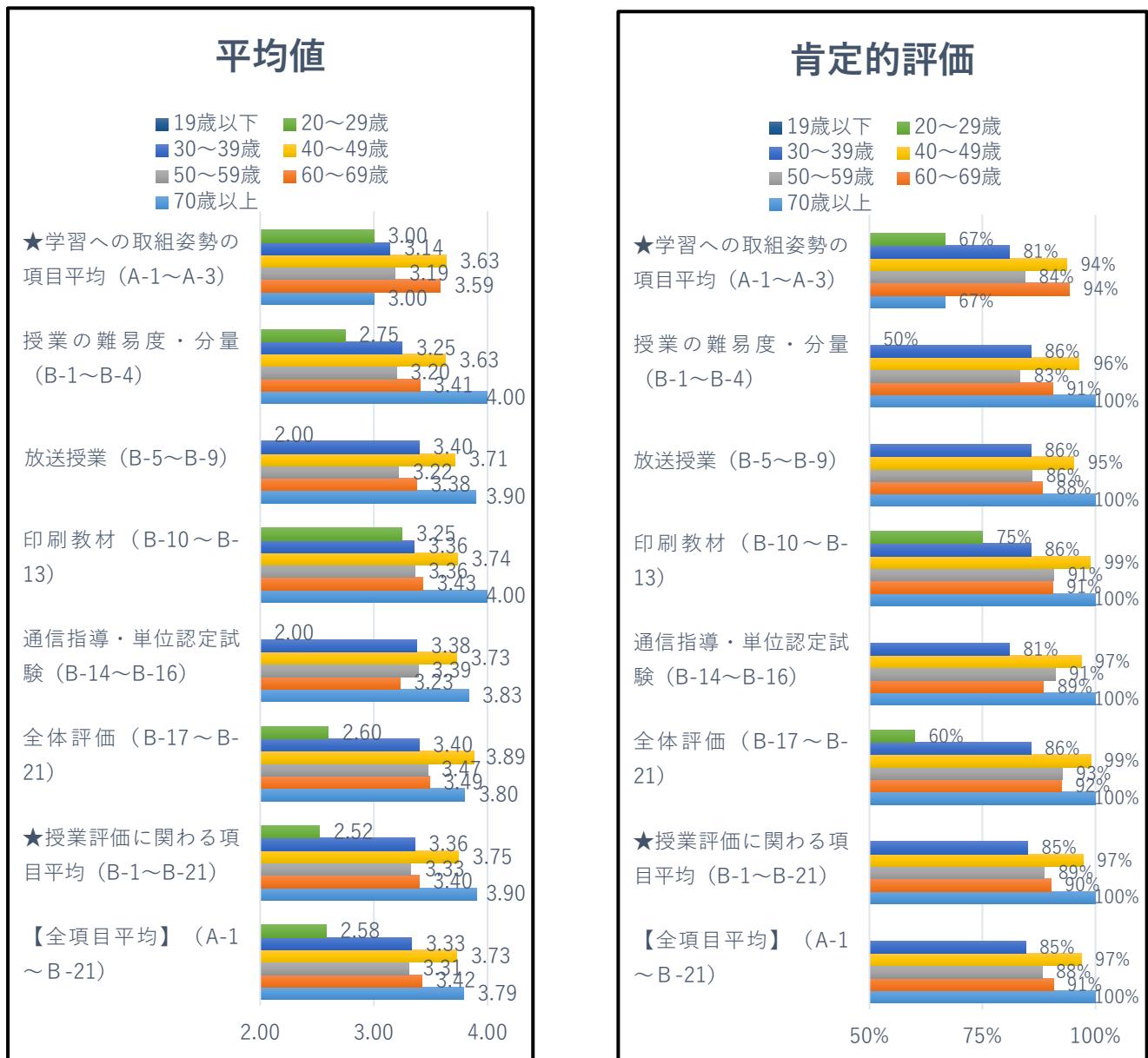
※本年度の今回調査対象科目には、大学院のテレビ科目は含まれないため、ラジオ科目的グラフのみを記載している。またこれ以降のページについても同様とする。



年齢階層別では(図2-5-2)、『★学習への取組姿勢の項目平均(A-1~A-3)』を除く項目では、70歳以上が100%と評価が高かった。

※「19歳以下」は回答者数が0人「20~29歳」は回答者数が1人で誤差が大きく極端な値を取る場合がある為、コメントを割愛した。また、これ以降のページも同様とする。

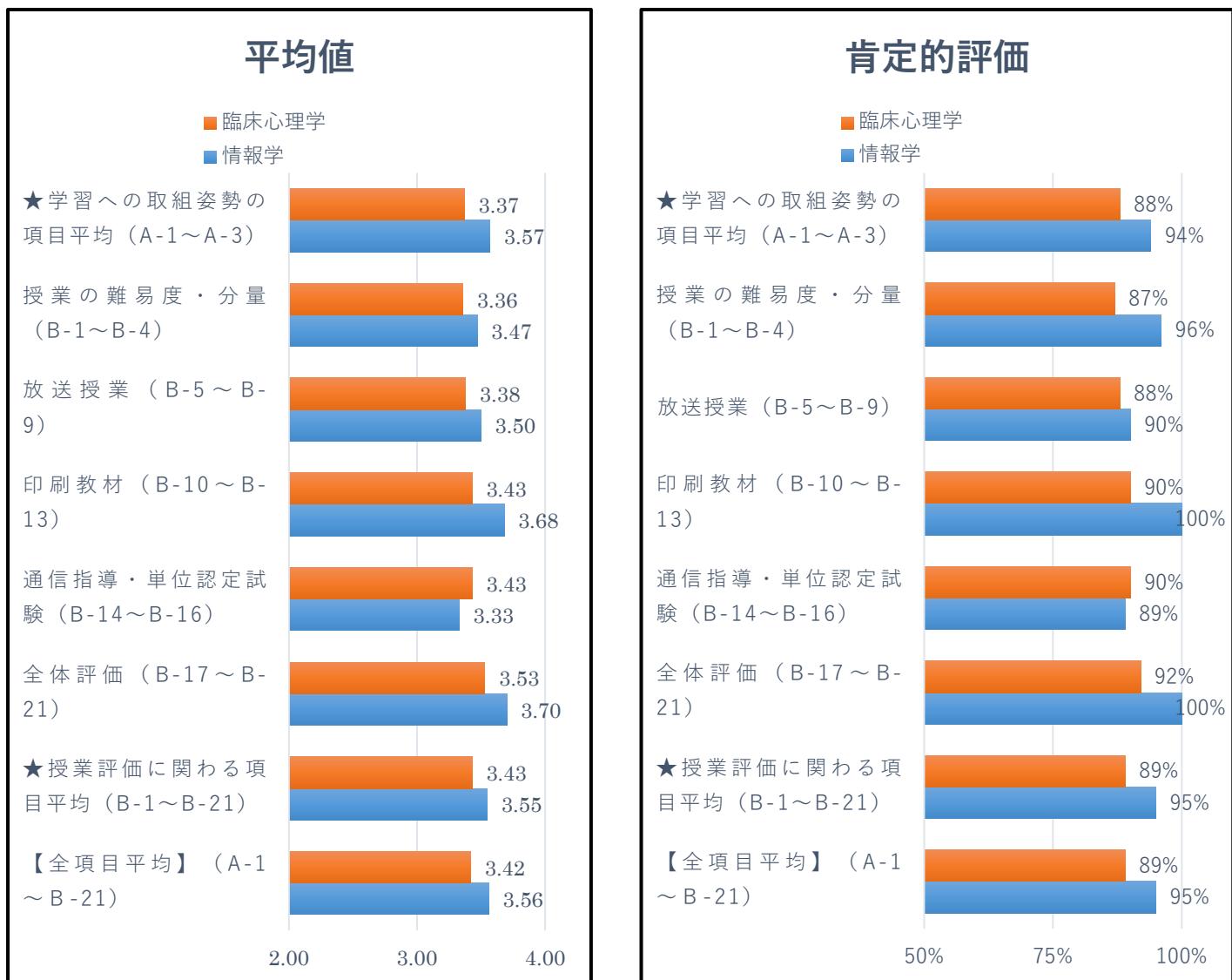
図2-5-2【大学院】項目平均による年齢階層別全体的傾向



所属プログラム別に項目平均を見ると(図2-5-3)、全ての項目で「情報学」の評価が高く、特に『印刷教材』『全体評価』で100%と高い評価となっていた。

『授業の難易度・分量』は「臨床心理学」の評価が最も低かった。

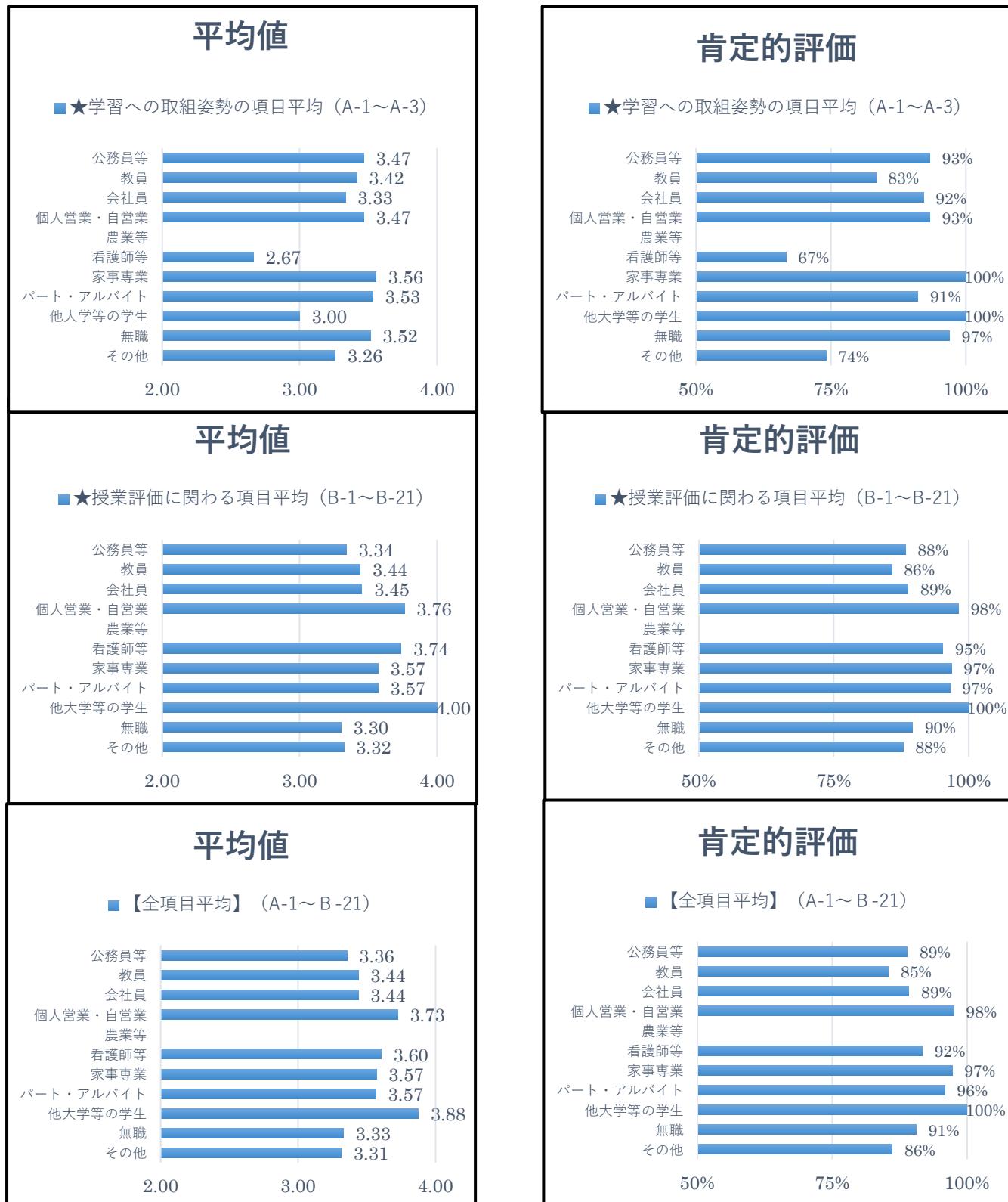
図2-5-3 【大学院】項目平均による所属プログラム別全体的傾向



職業別では(図2-54)、『学習への取組姿勢』は「家事専業」、「他大学生等の学生」が100%で評価が高く、「看護師等」が67%と評価が低かった。

※「農業等」は一人もおらずコメントを割愛した。また、これ以降のページも同様とする。

図2-54【大学院】項目平均による職業別全体的傾向



II-2-2. 学習への取組み姿勢

ここからはそれぞれ評価項目ごとに調査結果を見ていく。

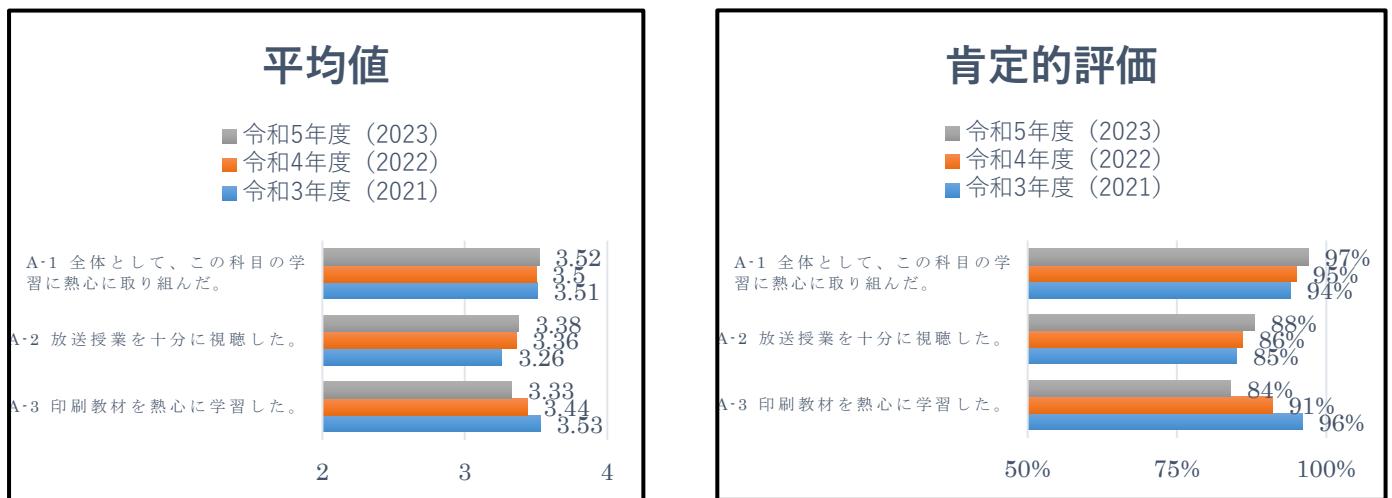
『学習への取組姿勢』(図2-5-5)では、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)」は97%に達していたが、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は88%、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は84%で、前述の(A-1)に比べると取組姿勢が低かった。

図2-5-5 【大学院】回答者全体の取組姿勢



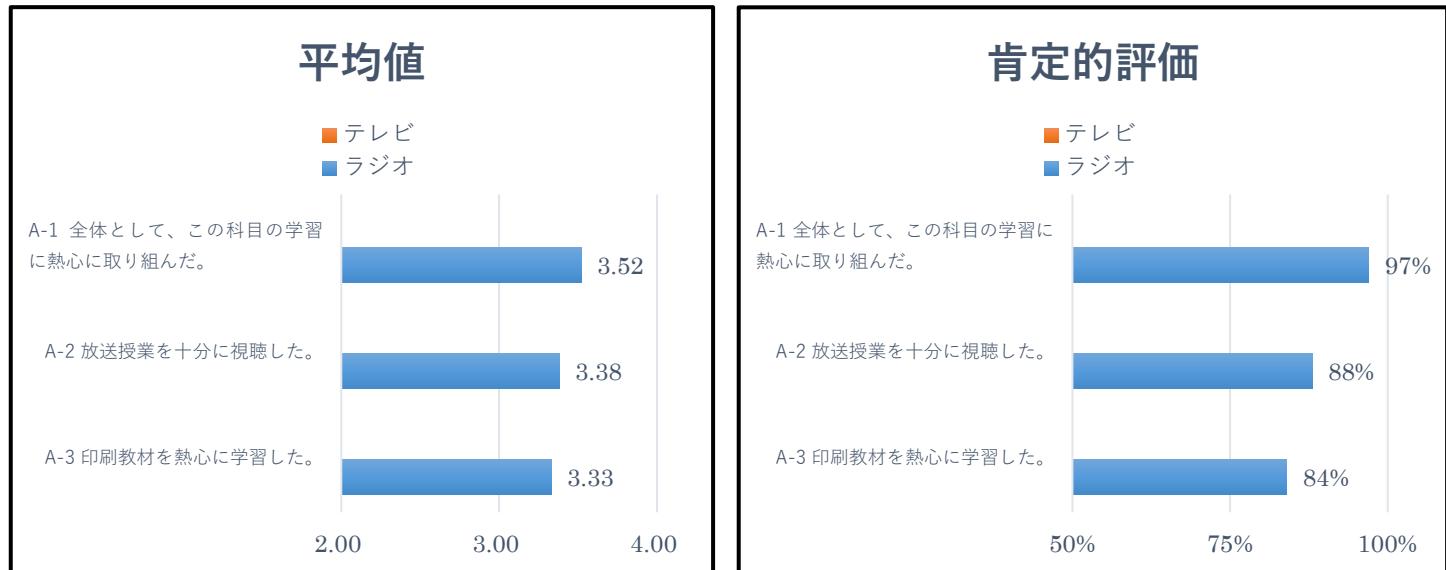
『学習への取組姿勢』を時系列で見ると(図2-5-6)、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」はわずかな上昇であったが、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は昨年度より7ポイントマイナスであった。

図2-5-6 【大学院】回答者全体の取組姿勢 (時系列)



次にメディア別の取組姿勢では(図2-57)、(A-1)「全体としてこの科目的学習に熱心に取り組んだ(熱心度)」は、97%となっていた。(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は、84%で低かった。

図2-57【大学院】メディア別の取組姿勢



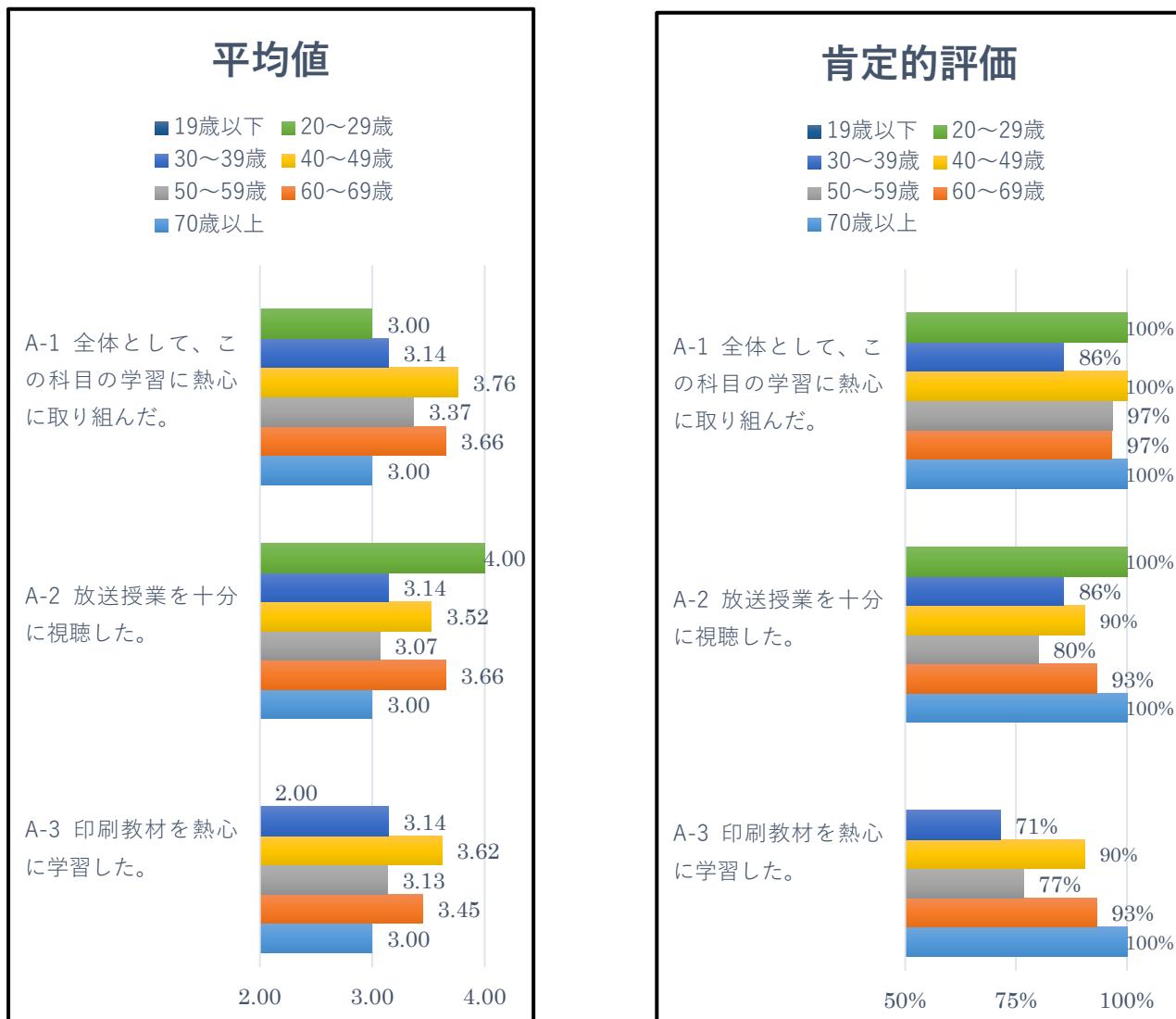
年齢階層別では（図2-5-8）、（A-1）「全体として、この科目的学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」は、40歳代、と70歳以上が100%で評価が高かった。反対に熱心度が低かったのは、30歳代で、86%であった。

（A-2）「放送授業を十分に視聴した」は、70歳以上が100%と高く、反対に50歳代は80%と低くなっていた。

（A-3）「印刷教材を熱心に学習した」については、70歳以上の評価が高かった。

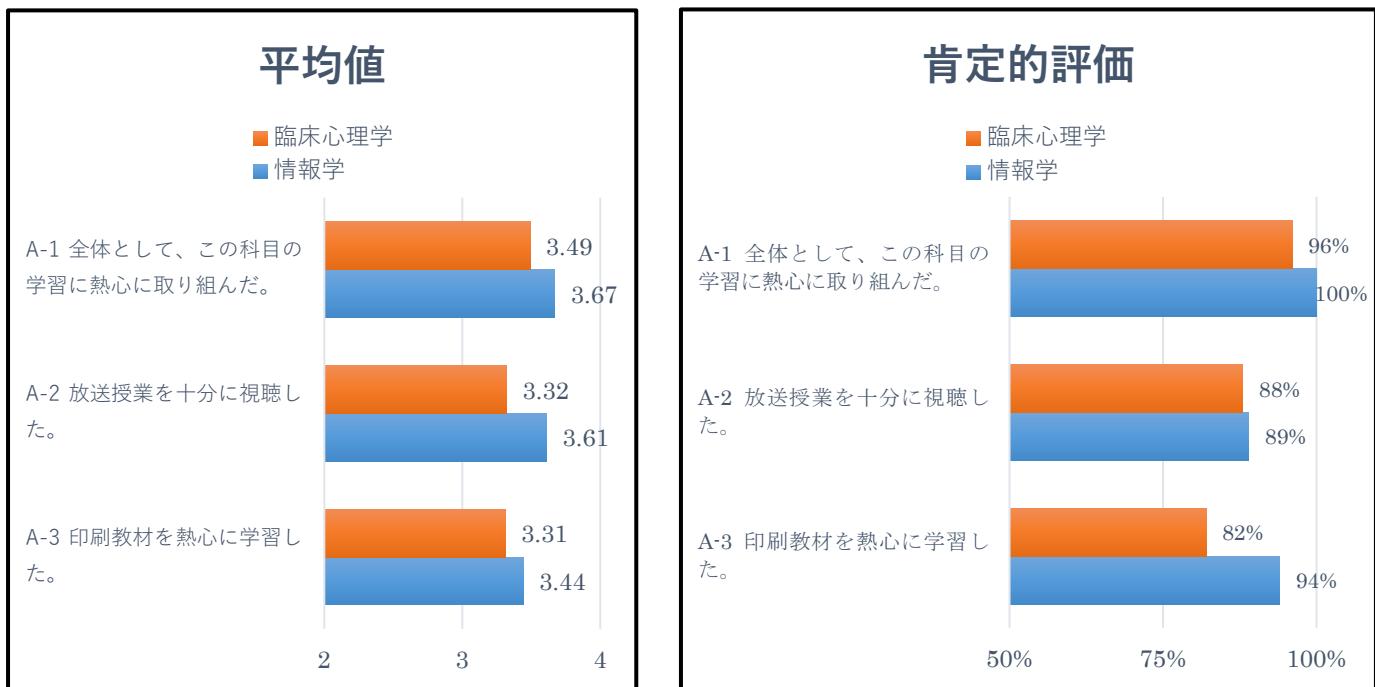
※「19歳以下」は0人で、「20~29歳」は回答者数が少人数である為、コメントを割愛した。また、これ以降のページも同様とする。

図2-5-8 【大学院】年齢階層別の取組姿勢



所属プログラム別の取組姿勢（図2-5-9）では、全ての項目で「情報学」が高くなっていた。反対に、（A-3）「印刷教材を熱心に学習した」は、「臨床心理学」の評価が82%と低かった。

図2-5-9 【大学院】所属プログラム別の取組姿勢

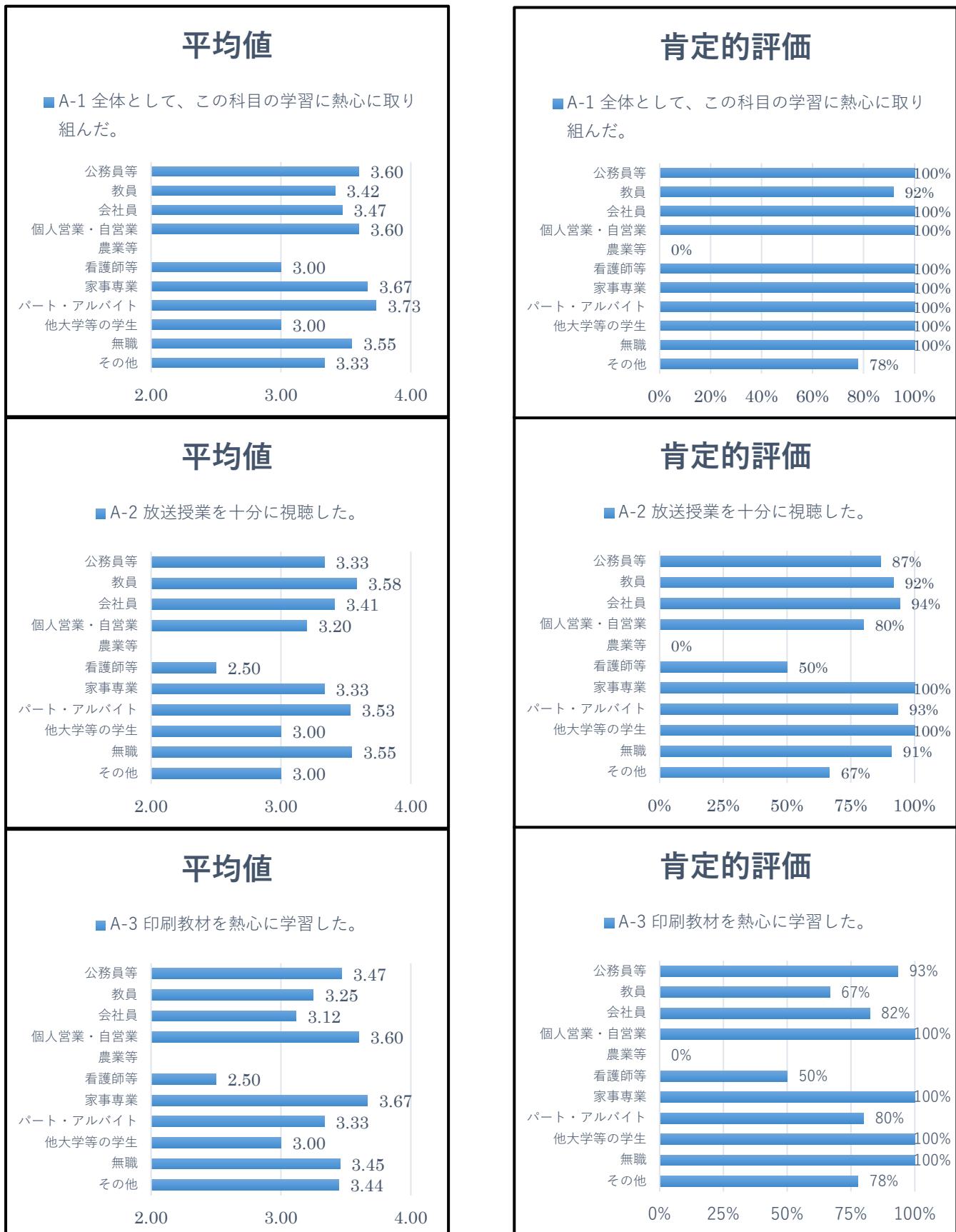


職業別の取組姿勢は（次頁図2-60）、（A-1）「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」では、「教員」、「その他」以外は100%と高かった。

（A-2）「放送授業を十分に視聴した」も「家事専業」と「他大学生等の学生」が100%と最も高く、次いで「会社員」が94%で続いていた。

（A-3）「印刷教材を熱心に学習した」については、「個人営業・自営業」、「家事専業」、「他大学生等の学生」、「無職」が100%と高く、反対に「看護師等」は、50%と低かった。

図2-60 【大学院】職業別の取組姿勢



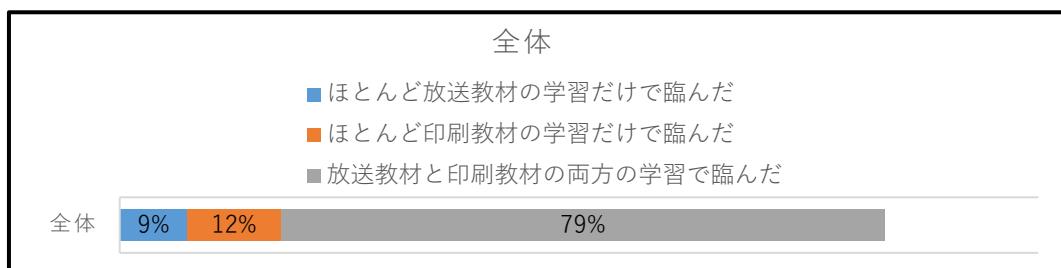
単位認定のための学習方法（図2-6-1）、全体では、「放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ」が79%と、大半を占め、「ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ」が12%で、「ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ」は9%と、少なかった。

年齢階層別では、70歳代は、「放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ」が100%と、他の年代に比べ比率が高かった。

所属プログラム別では、「情報学」は「両方の学習で臨んだ」（83%）と高かった。

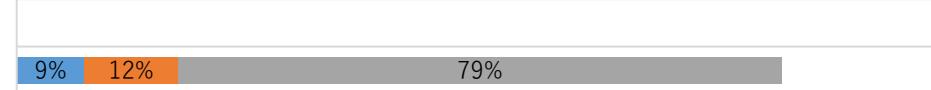
職業別では、「公務員等」と「他大学生等の学生」は、「両方の学習で臨んだ」が100%であった。

図2-6-1 【大学院】単位認定のための学習方法



メディア

テレビ



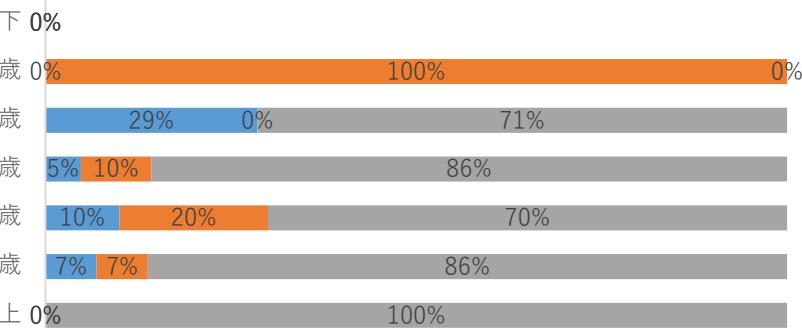
コース

臨床心理学



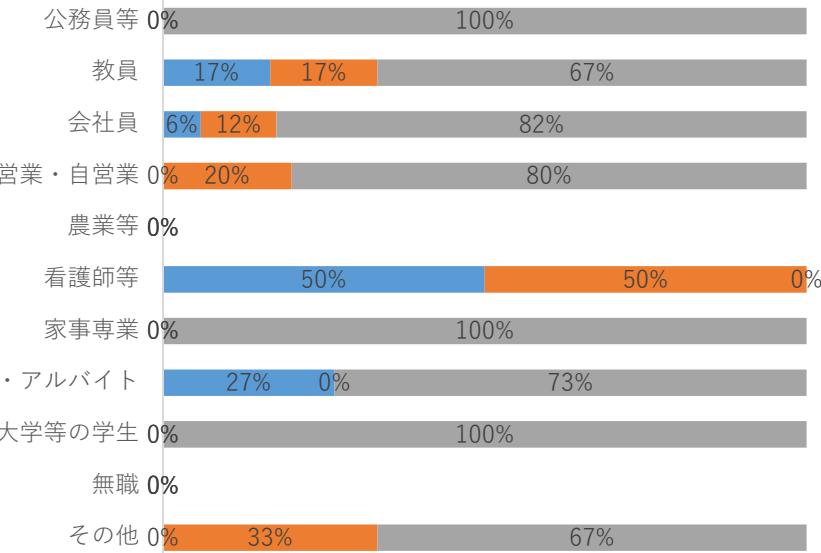
年齢

19歳以下



職業

公務員等

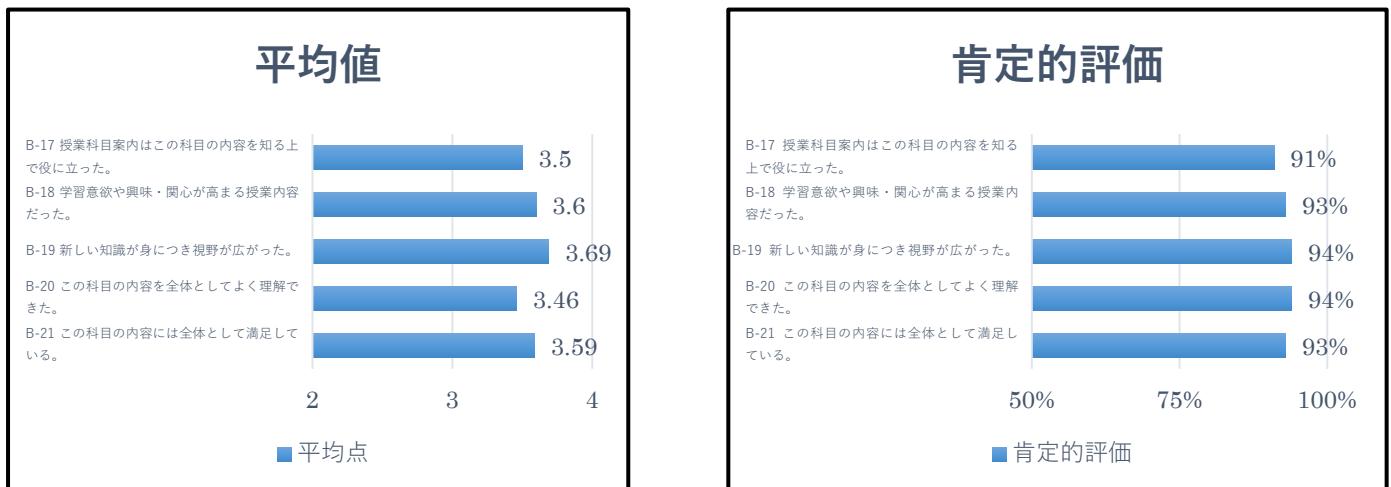


II-2-3. 大学院の授業評価

ここからは大学院の授業評価について、評価項目ごとに見していくことにする。

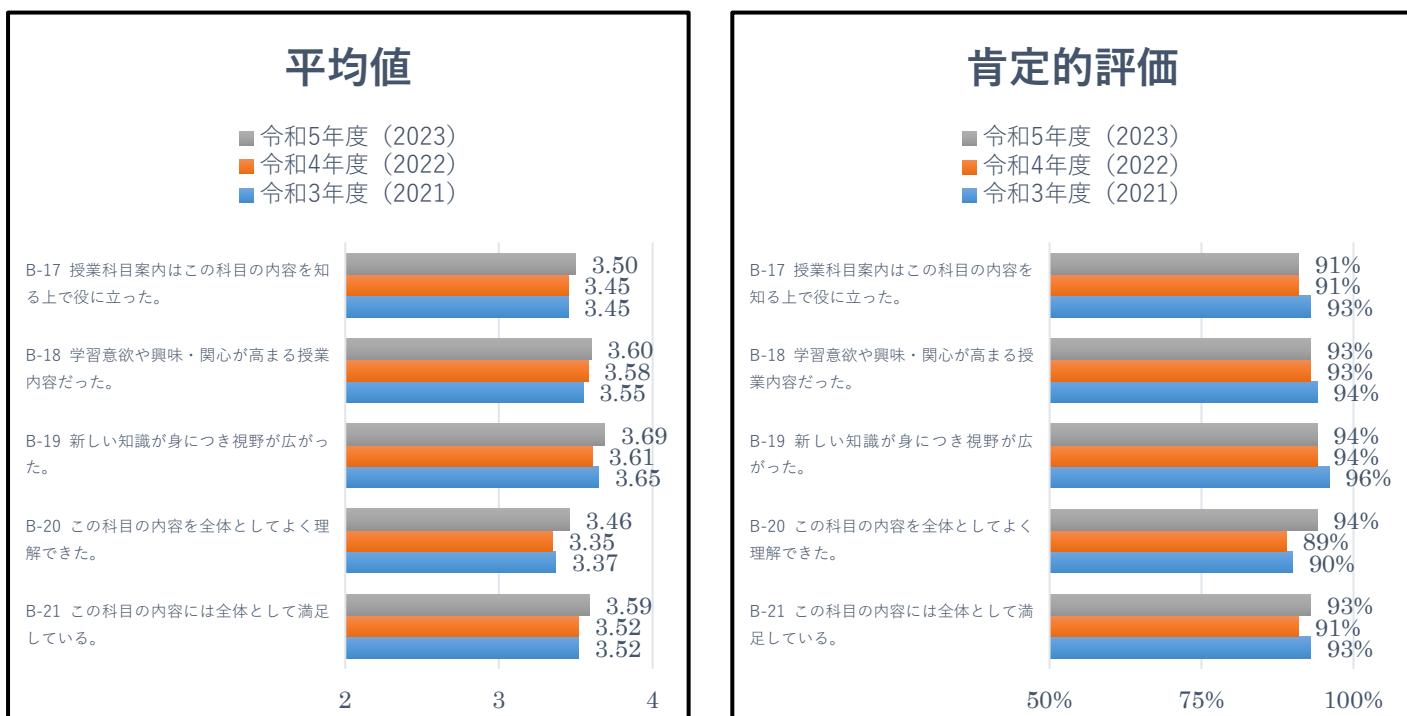
全体評価の項目では（図2-6-2）、（B-19）（B-20）（94%）を含め全体的に高く評価されていた。

図2-6-2 【大学院】回答者全体の全体評価



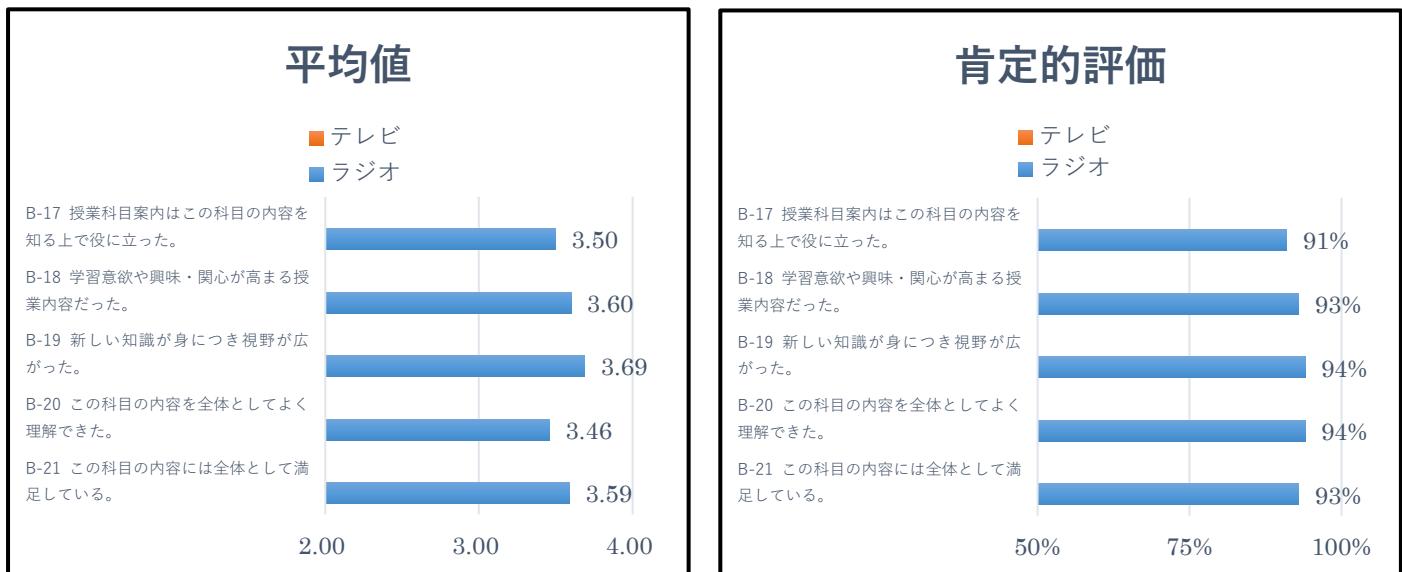
全体評価を時系列で見ると（図2-6-3）昨年度と比べ、（B-20）「この科目的内容を全体としてよく理解できた」が5pt上回った。

図2-6-3 【大学院】回答者全体の全体評価（時系列）



ラジオ科目では、全体評価を見ると（図2-6-4）、全ての項目で概ね高い評価であった。

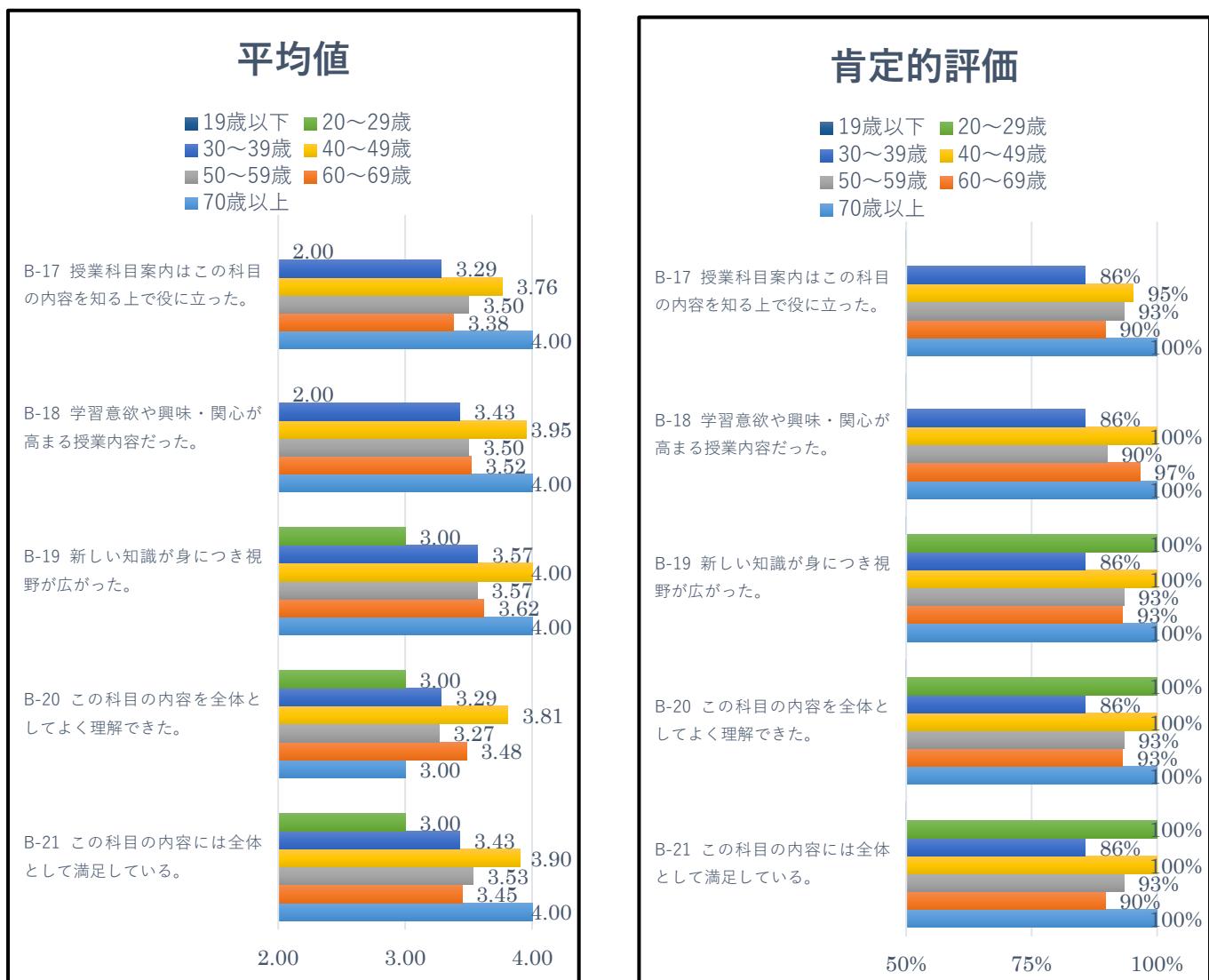
図2-6-4 【大学院】メディア別の全体評価



年齢階層別では（図2-6-5）、（B-17）「授業科目案内はこの科目的内容を知る上で役に立った」については、70歳以上が100%と最も高く、（B-18）「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」では、40歳代、70歳以上が最も高かった。

（B-19）「新しい知識が身につき視野が広がった」、（B-20）「この科目的内容を全体としてよく理解できた（理解度）」と（B-21）「この科目的内容には全体として満足している（満足度）」では、20歳代、40歳代、70歳以上が100%で、他の年代より高かった。

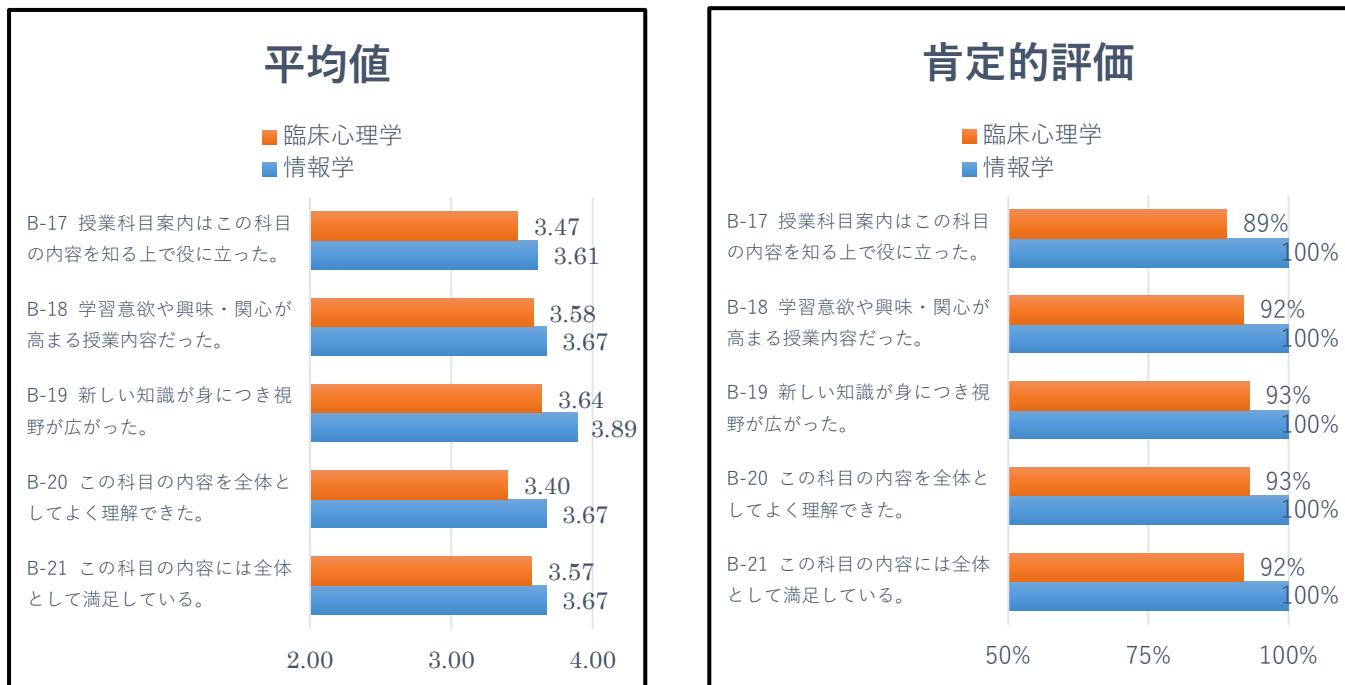
図2-6-5【大学院】年齢階層別の全体評価



所属プログラム別に全体評価を見ると（図2-6-6）、すべての項目で「情報学」の評価がそれぞれ100%と高い評価であった。

反対にすべての項目で、「臨床心理学」が89%～93%にとどまった。

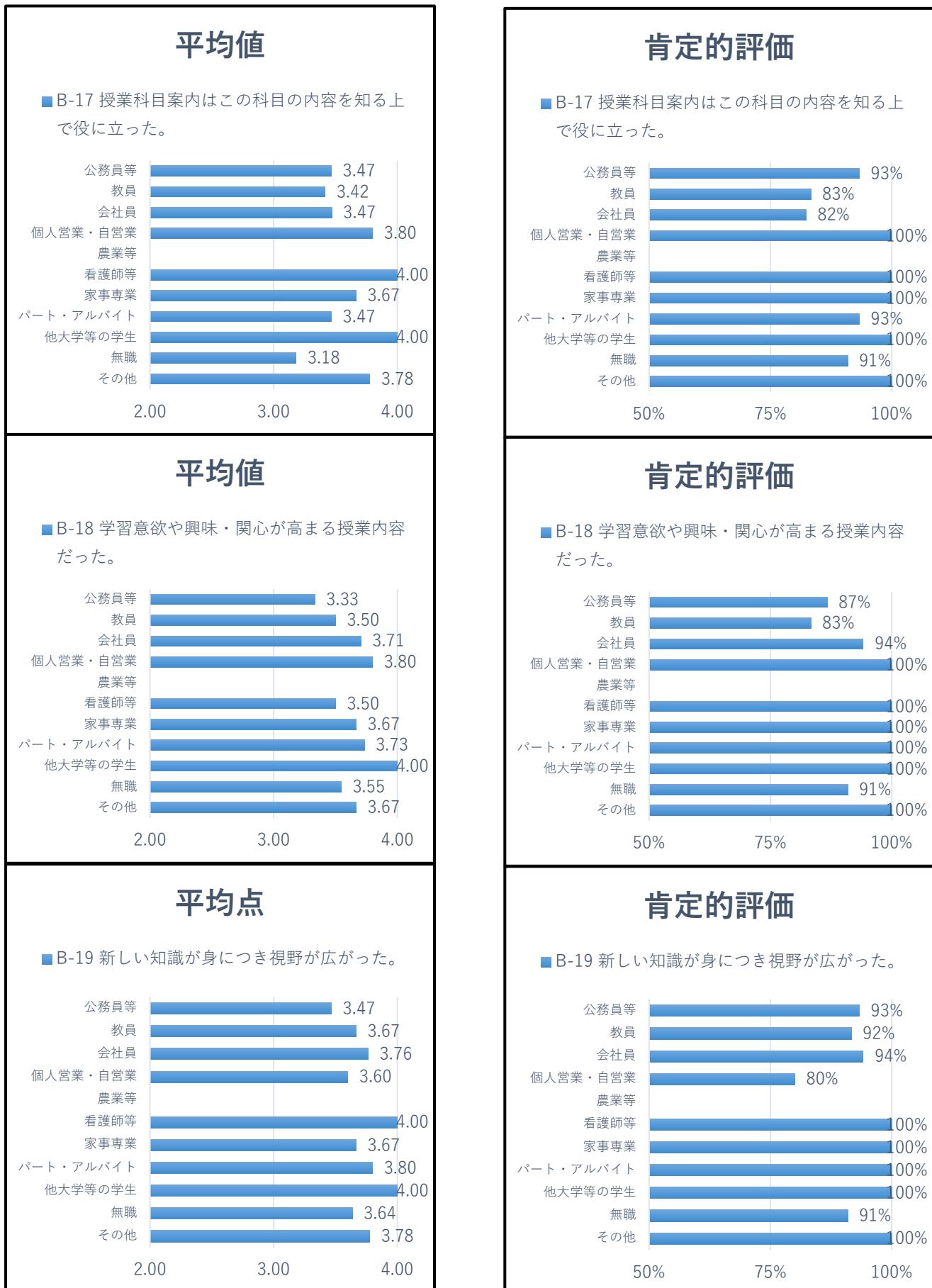
図2-6-6 【大学院】所属プログラム別の全体評価



職業別（次頁図2-6-7）では、ほぼ全体で「看護師等」「家事専業」「他大学生等の学生」「その他」の評価が100%と高かった。

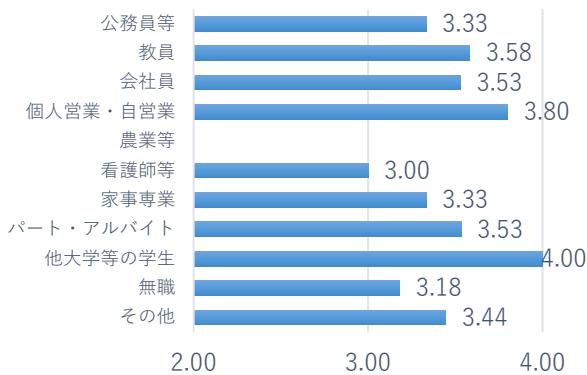
(B-21)でも「個人営業・自営業」「看護師等」「家事専業」「パート・アルバイト」「他大学生等の学生」が100%と、最も高く、「公務員等」「教員」「会社員」「無色」「その他」が88~93%であった。

図2-67【大学院】職業別の全体評価



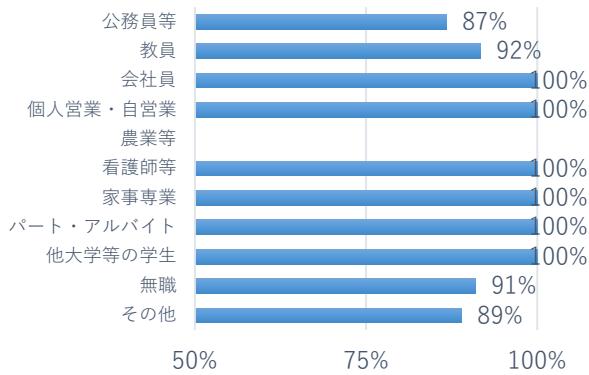
平均値

■ B-20 この科目の内容を全体としてよく理解できた。



肯定的評価

■ B-20 この科目の内容を全体としてよく理解できた。



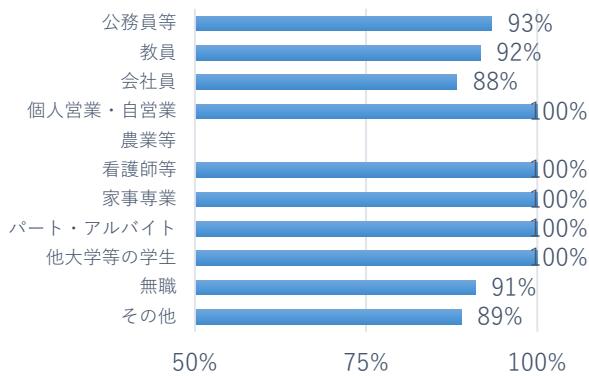
平均値

■ B-21 この科目の内容には全体として満足している。



肯定的評価

■ B-21 この科目の内容には全体として満足している。

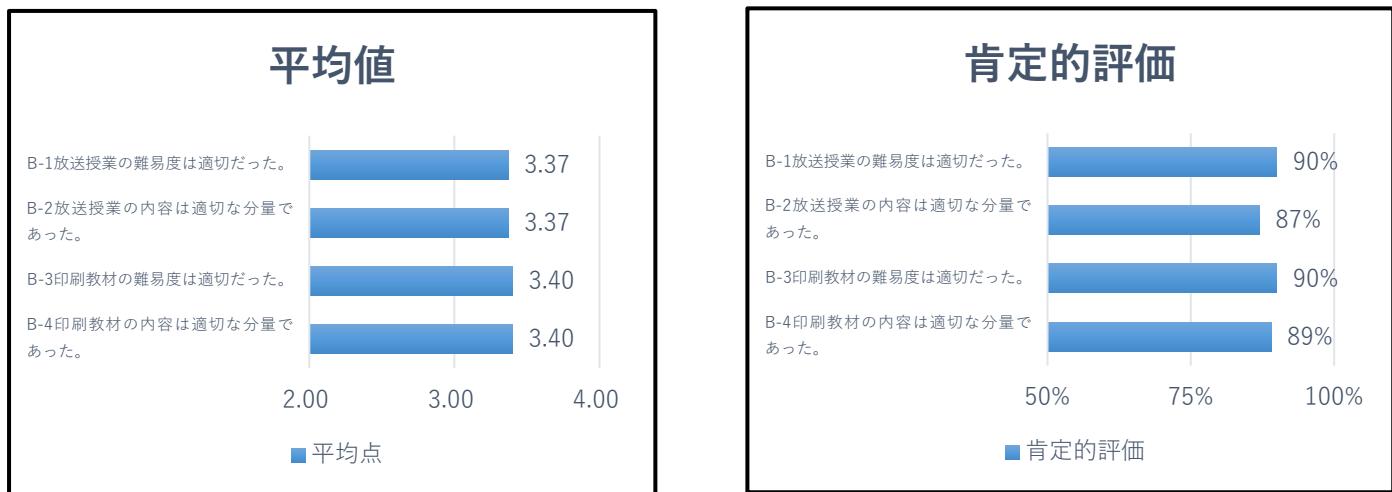


(2) 授業の難易度・分量

次に授業の難易度・分量について評価項目ごとに見ていく。

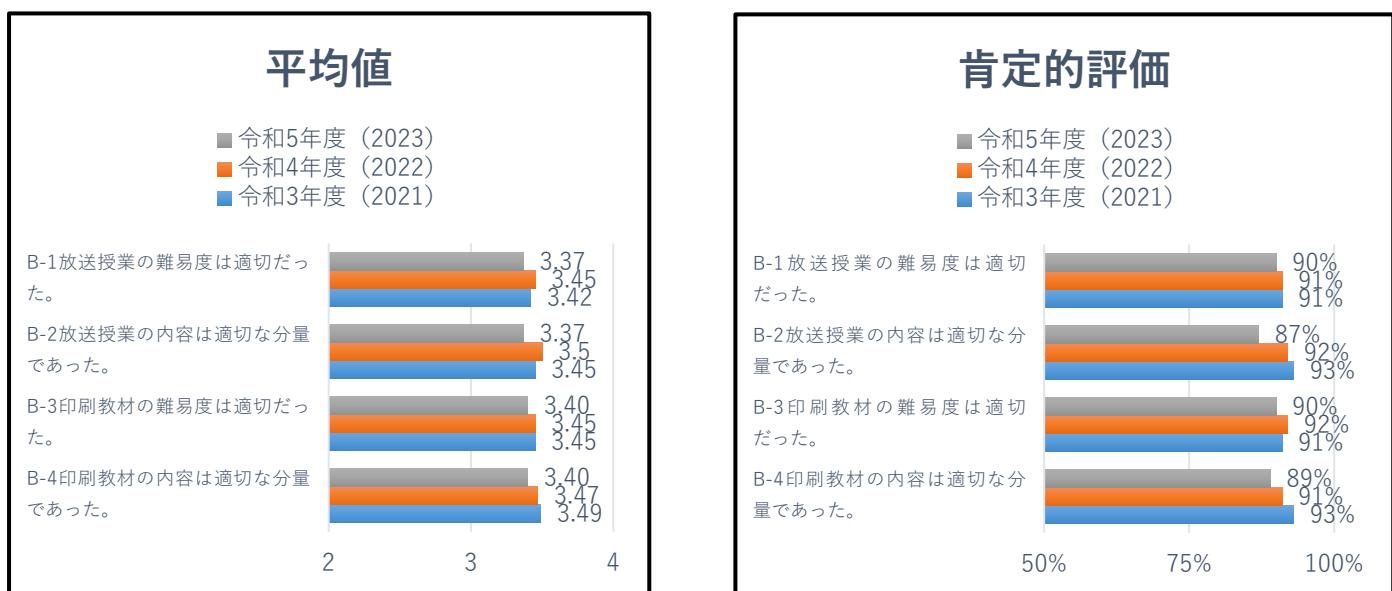
授業の難易度・分量の評価は(図2-6-8)は、全ての項目で87~90%の評価であった。

図2-6-8 【大学院】回答者全体の授業難易度・分量の評価



開設年度別では(図2-6-9)、本年度と昨年度を比較すると、全体に下降傾向、特に(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」の下降幅が大きく5pt下がった。

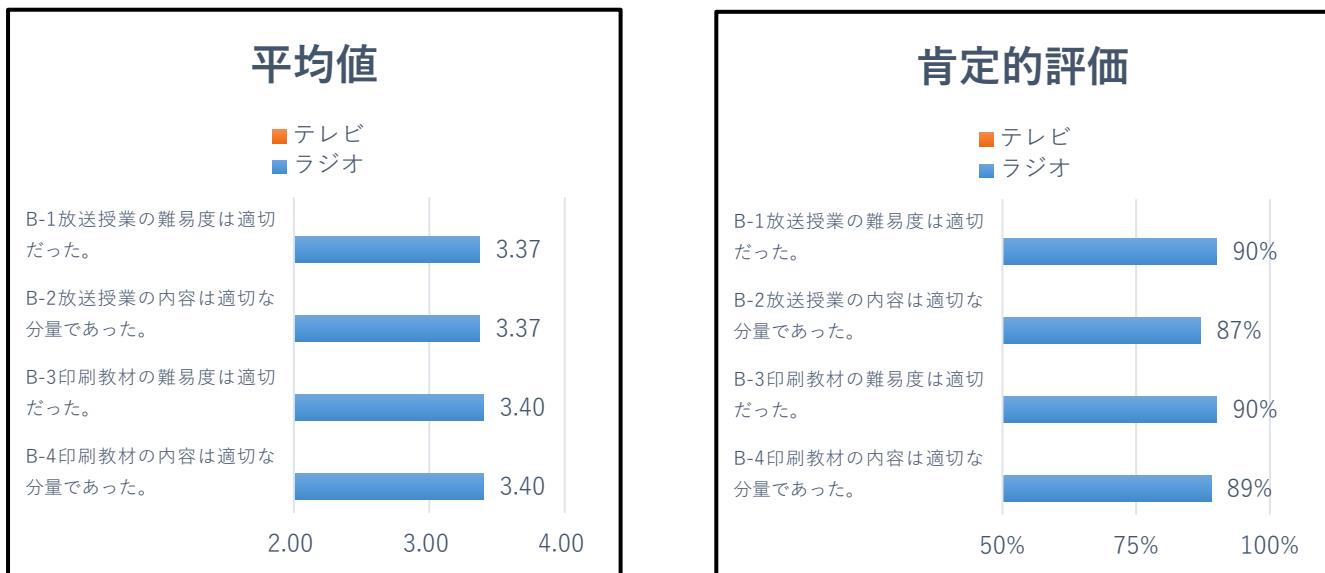
図2-6-9 【大学院】回答者全体の授業難易度・分量の評価(開設年度比較)



ラジオ科目では、授業の難易度・分量を見ると（図2-70）、（B-2）「放送授業の内容は適切な分量であった」以外の項目では概ね評価が高かった。

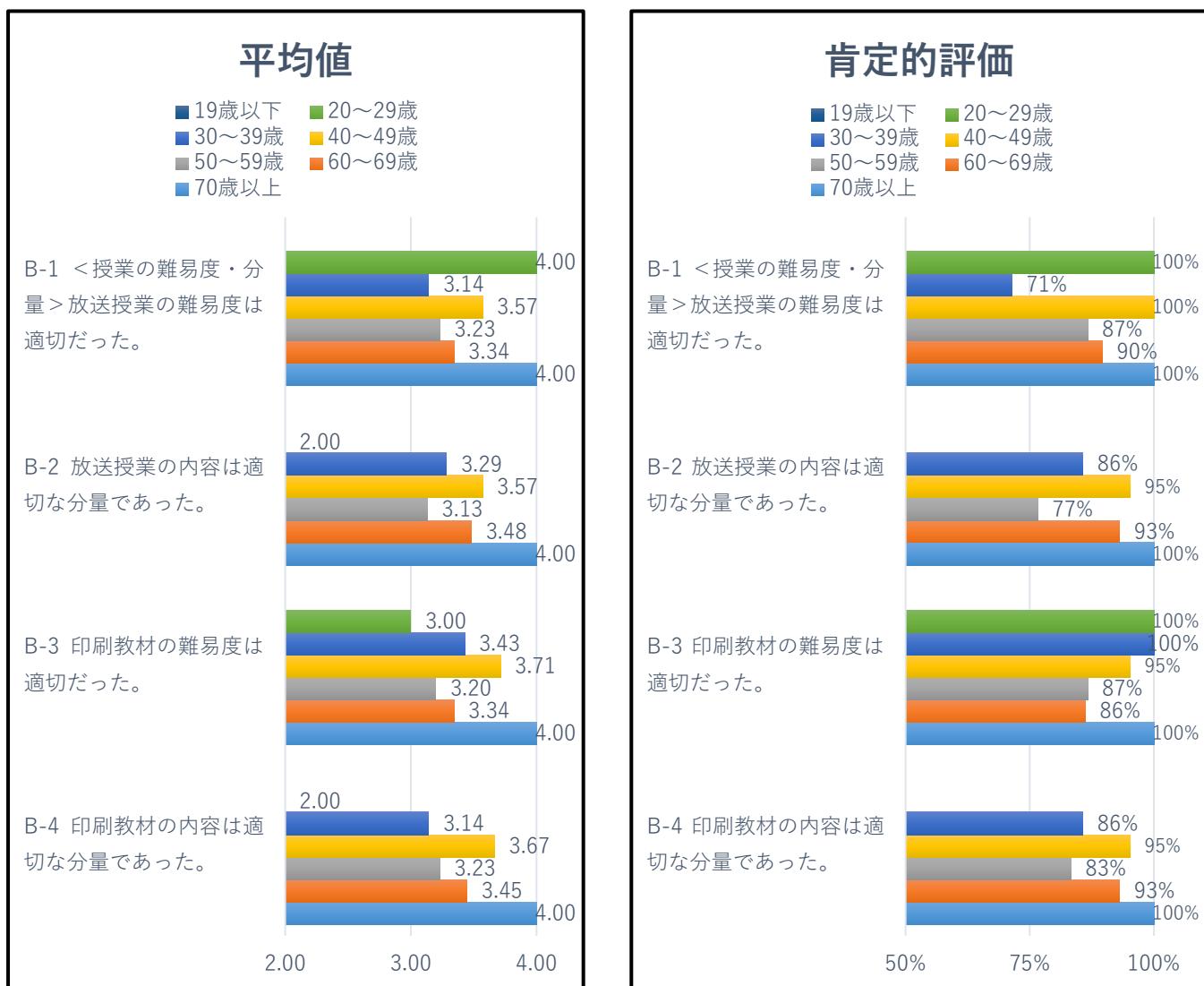
図2-70【大学院】メディア別の授業難易度・分量の評価

※本年度のメディア授業は、ラジオ授業のみとなっています。



年齢階層別に授業の難易度・分量を見ると（図2-7-1）、（B-1）「放送授業の難易度は適切だった」は20歳代、40歳代、70歳以上の評価が100%と最も高かったが、それ以外の3項目では50歳代の評価が低く、77%～87%であった。

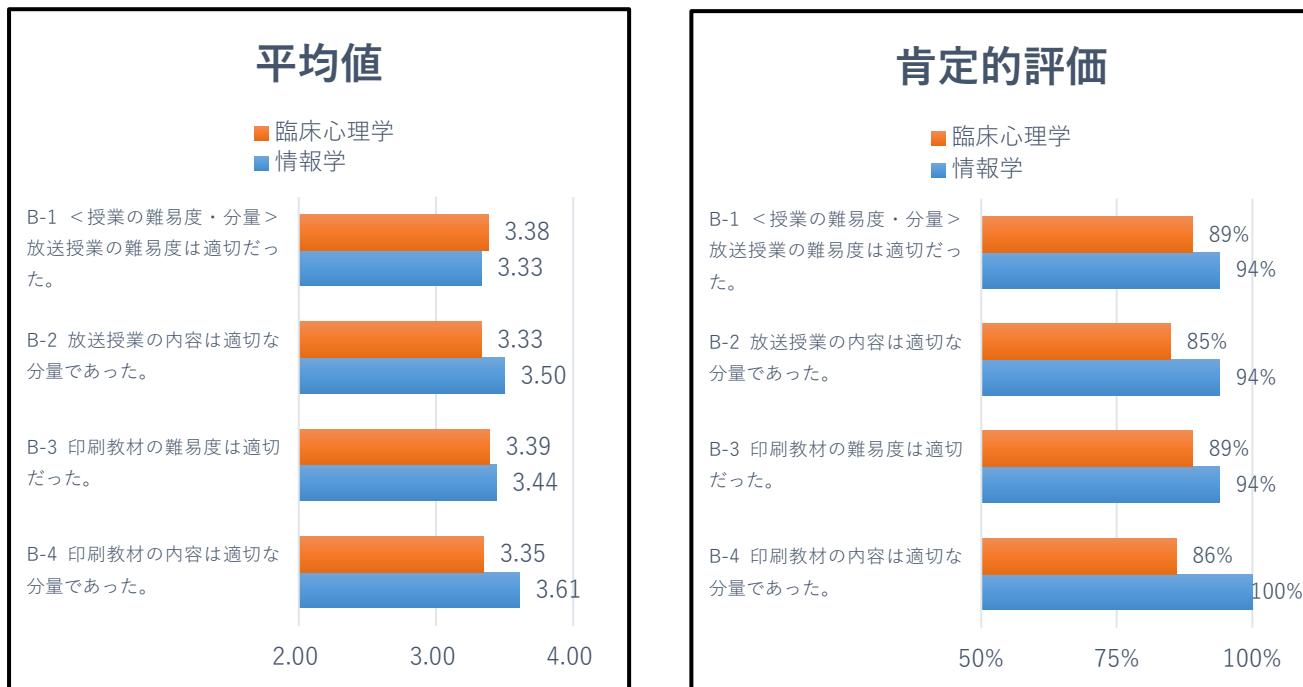
図2-7-1 【大学院】年齢階層別の授業難易度・分量の評価



所属プログラム別に授業の難易度・分量を見ると（図2-7-2）、全体的に情報学の評価が高く、臨床心理学との差は5pt以上であった

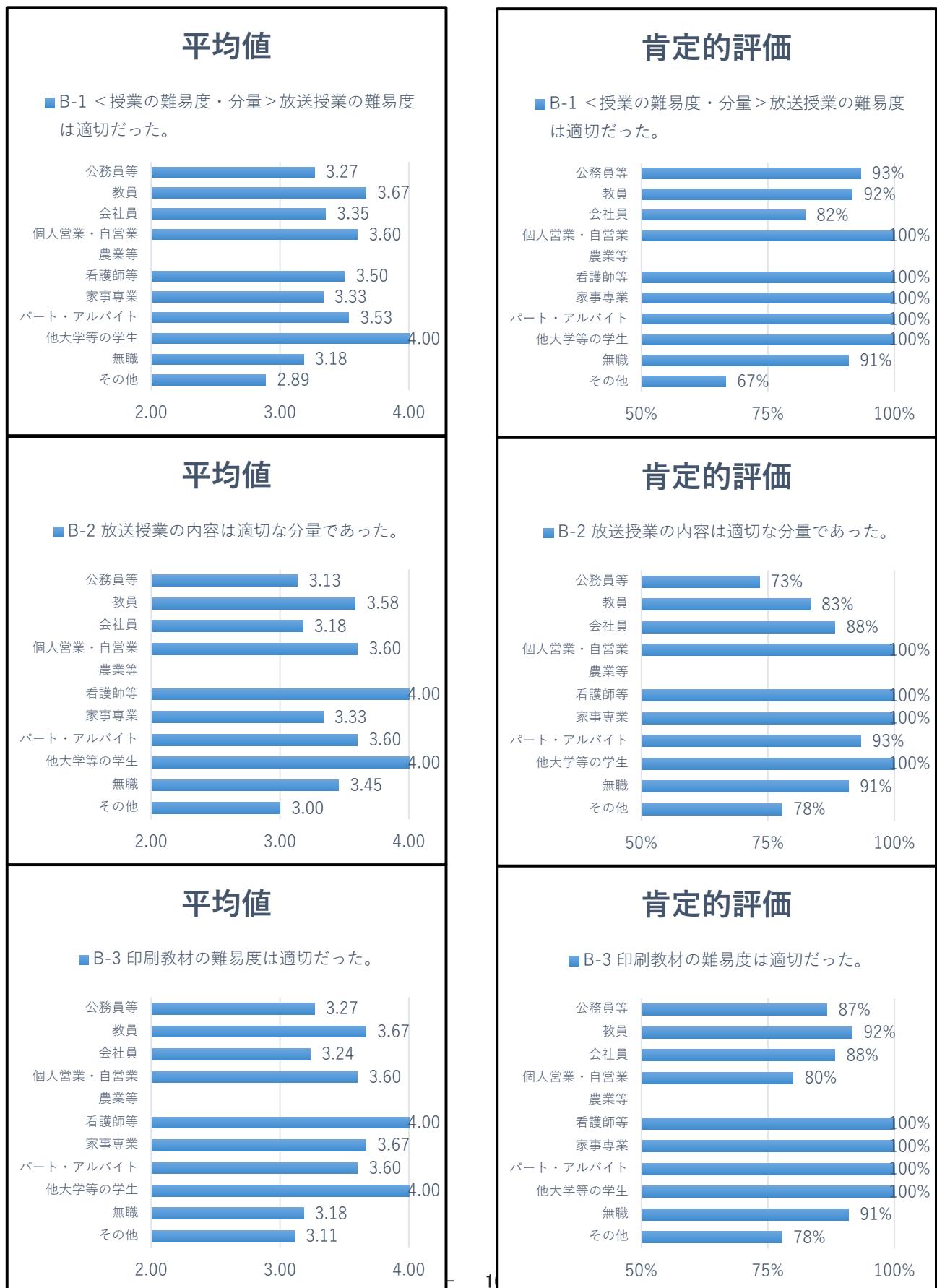
とりわけ（B-4）「印刷教材の内容は適切な分量であった」では、14pt差にのぼった。

図2-7-2 【大学院】所属プログラム別の授業難易度・分量の評価



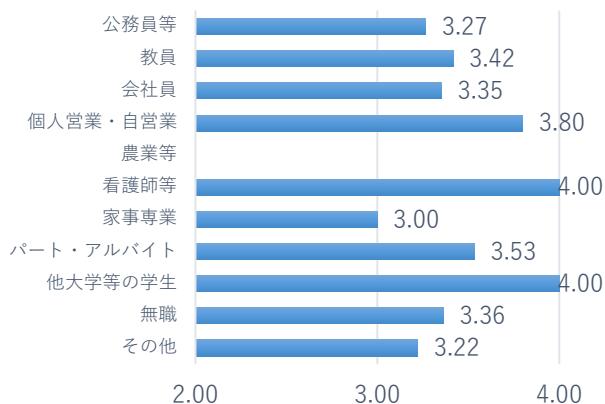
職業別に授業の難易度を見ると（図2-73）、では、全体として、「個人営業・自営業」「パート・アルバイト」（回答者数が少ない「看護師等」「他大学生等の学生」を除く）の評価が高かった。

図2-73 【大学院】職業別の授業難易度の評価



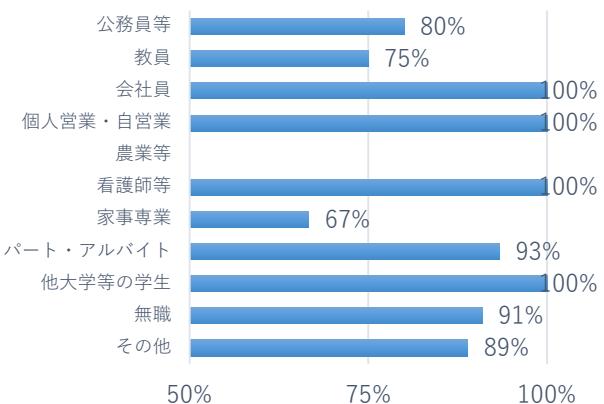
平均値

■ B-4 印刷教材の内容は適切な分量であった。



肯定的評価

■ B-4 印刷教材の内容は適切な分量であった。



(3) 放送授業

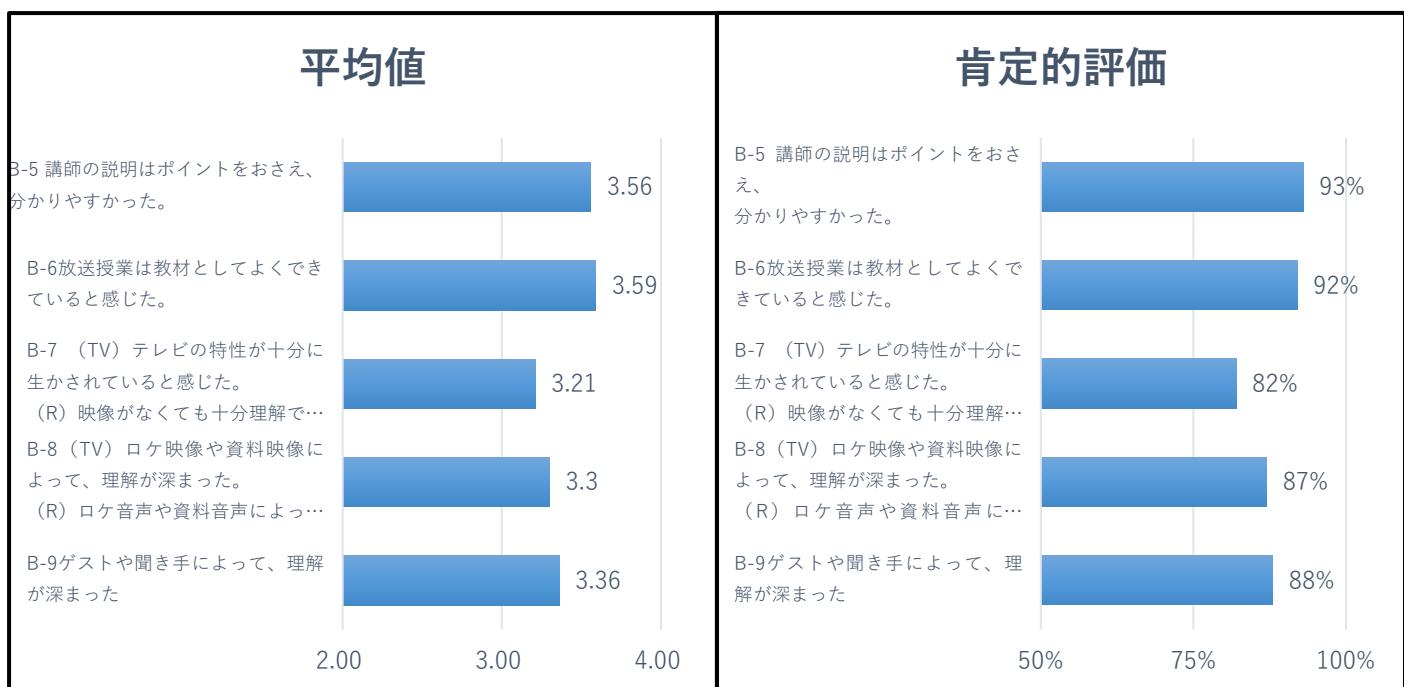
ここからは放送授業について評価項目ごとに見ていく。

放送授業に関する評価項目を見ると(図2-74)、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」、(B-6)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」はそれぞれ92%～93%で、他の項目より高かった。

(B-7)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた/【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は、82%と前2項目と比べかなり評価が低かった。

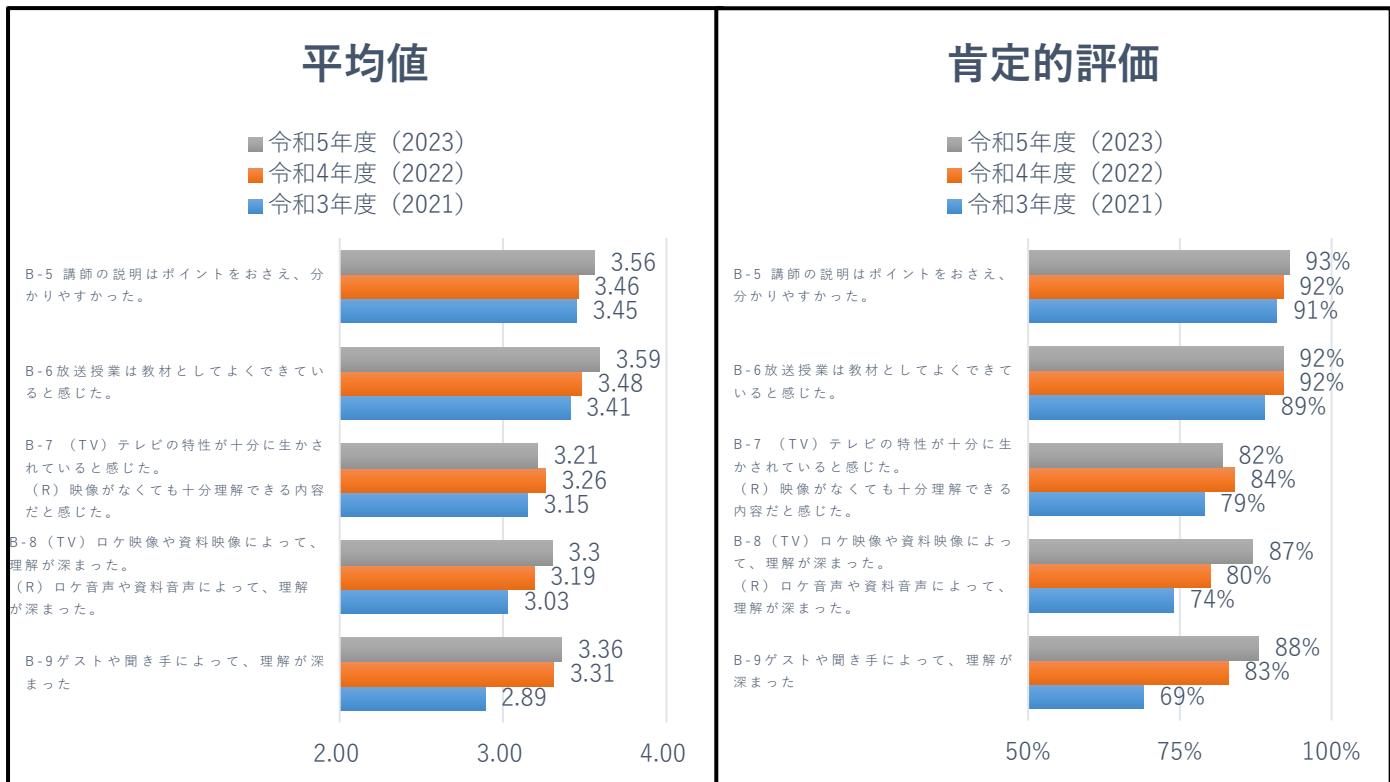
(B-8)と(B-9)の評価は、他の項目と比べて相対的に低くなっていた。

図2-74 【大学院】回答者全体の放送授業の評価



放送授業の評価を時系列で見ると（図2-75）、B-7以外の項目で、評価が年々上向いている傾向が見られた。中でも、昨年度に特に評価が低かった（B-8）「ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった」では、プラス7ptに上昇していた。

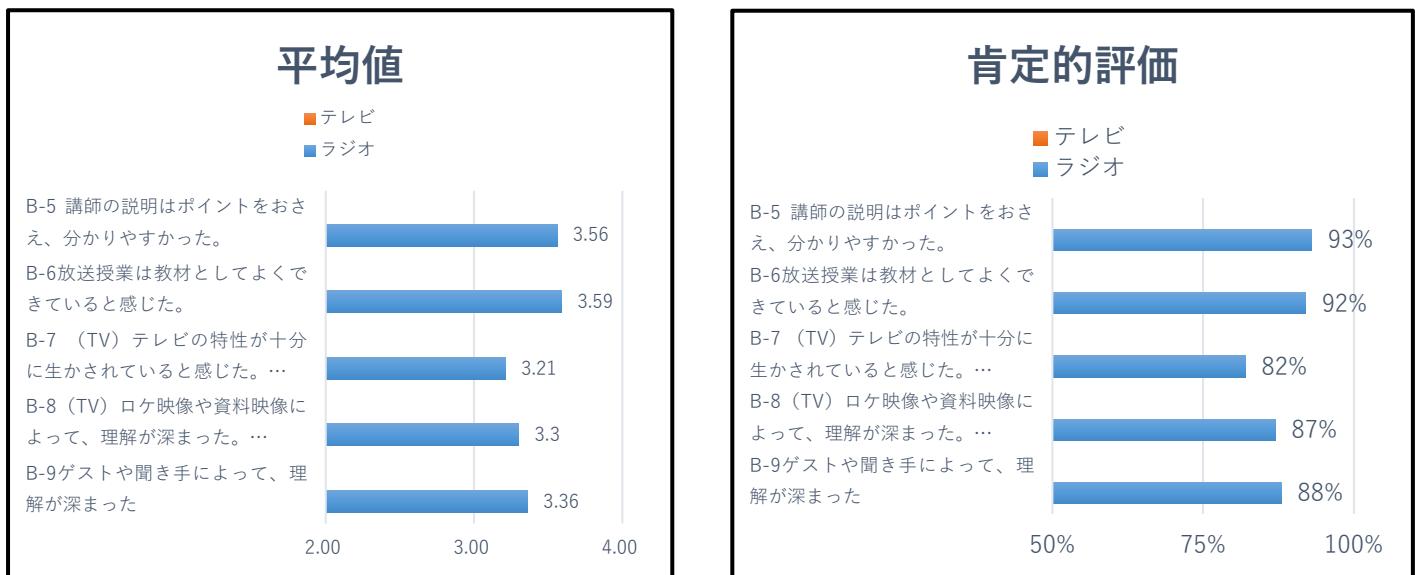
図2-75 【大学院】回答者全体の放送授業の評価（時系列）



ラジオ科目的放送授業の肯定的評価を見ると（図2-7-6）」、（B-7）「（TV）テレビの特性が十分に生かされていると感じた。（R）映像がなくても十分理解できる内容だと感じた。」以外の項目で評価が高く、特に（B-5）「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。」は、93%と、高い評価であった。

図2-7-6 【大学院】メディア別の放送授業の評価（時系列）

※本年度のメディア授業は、ラジオ授業のみとなっています。



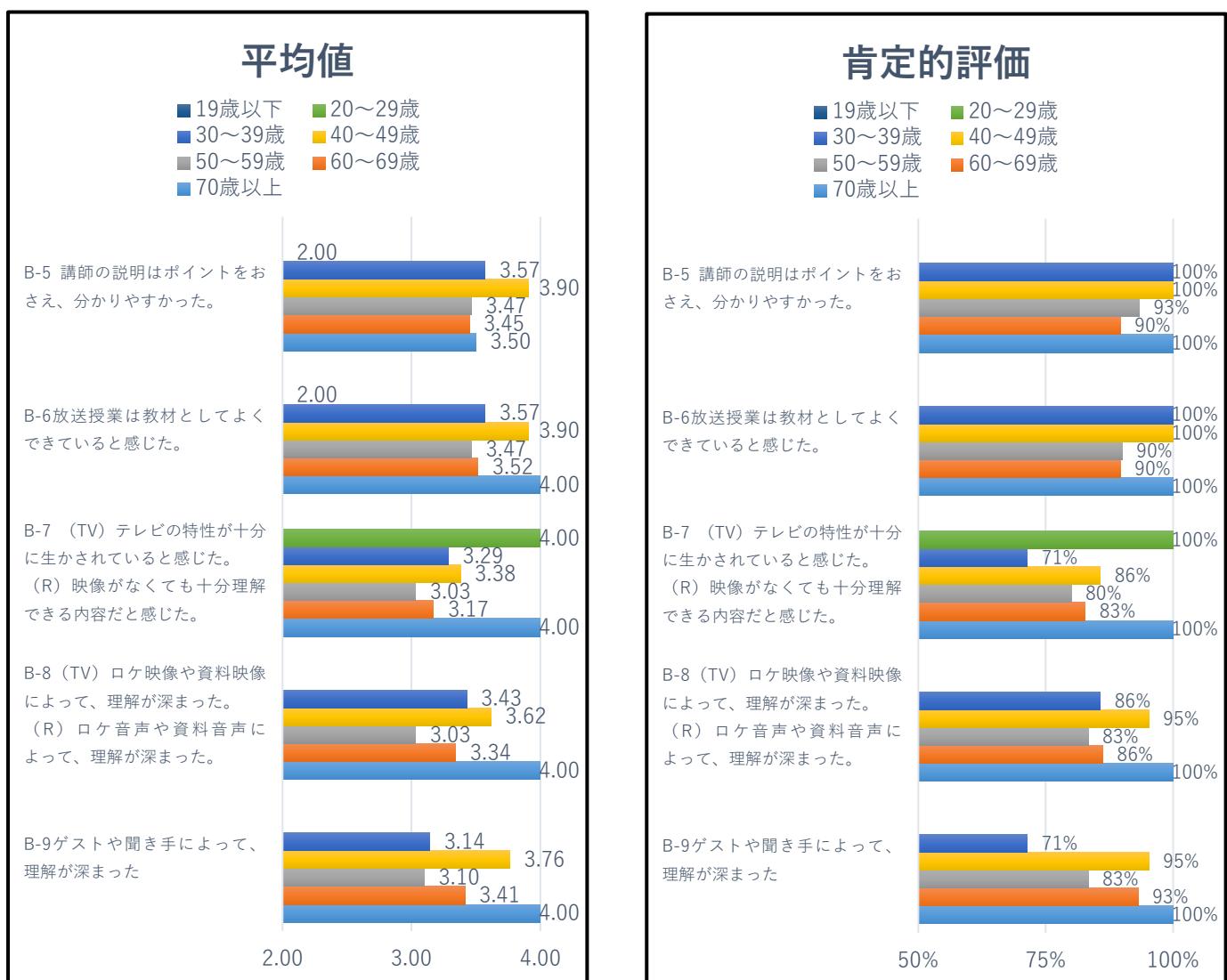
年齢階層別では（図2-77）、（B-5）「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」と（B-6）「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は、30歳代、40歳代、70歳以上で100%以上と高かった。

（B-7）「【TV】 テレビの特性が十分に生かされていると感じた/【R】 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」の評価は30歳代で71%と最も低かった。

（B-8）「【TV】 ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった/【R】 ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった」は、50歳代が83%と最も低かった。

（B-9）「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」は、30歳代が71%と低かった。

図2-77 【大学院】年齢階層別の放送授業の評価

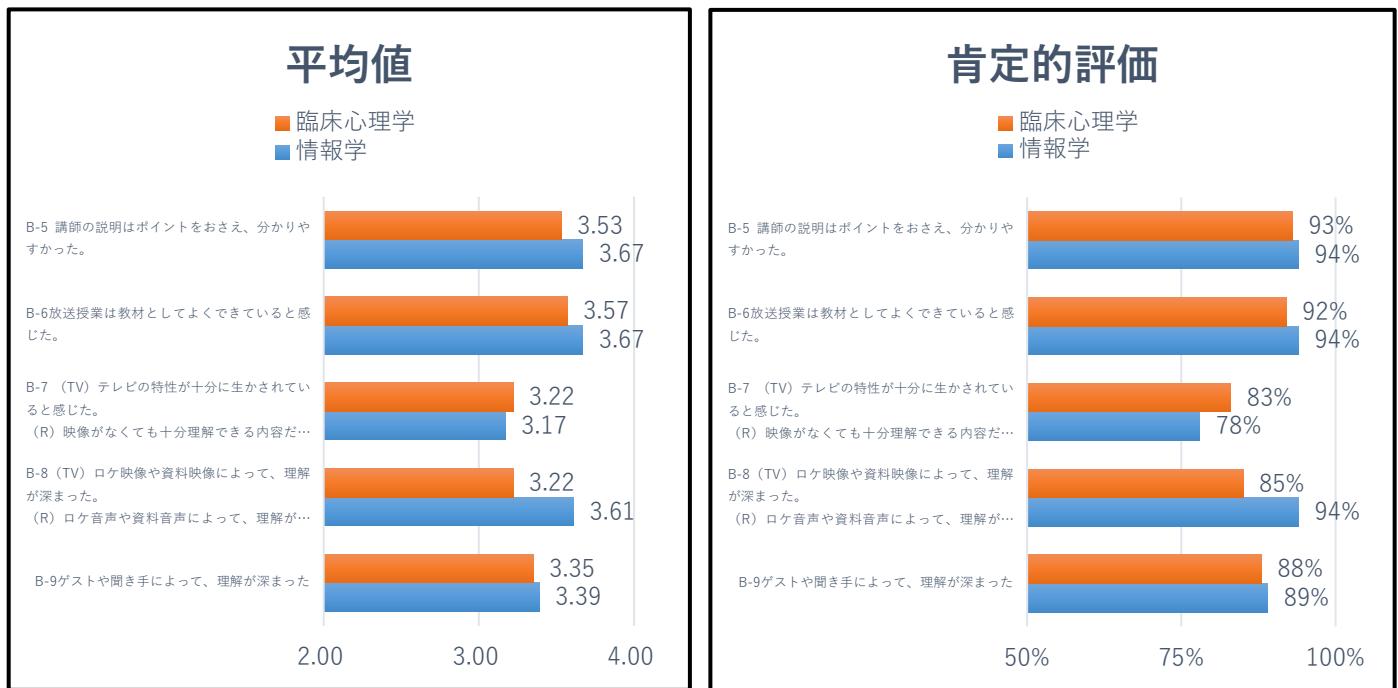


所属プログラム別では（図2-7-8）、（B-7）「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた/【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」以外は、いずれも85～94%と高い評価であった。

（B-8）「【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった/【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった」では「情報学」が94%と高く、臨床心理学より9ptも差がついた。

（B-9）「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」は「情報学」「臨床心理学」で概ね同じ評価であった。

図2-7-8 【大学院】所属プログラム別の放送授業の評価

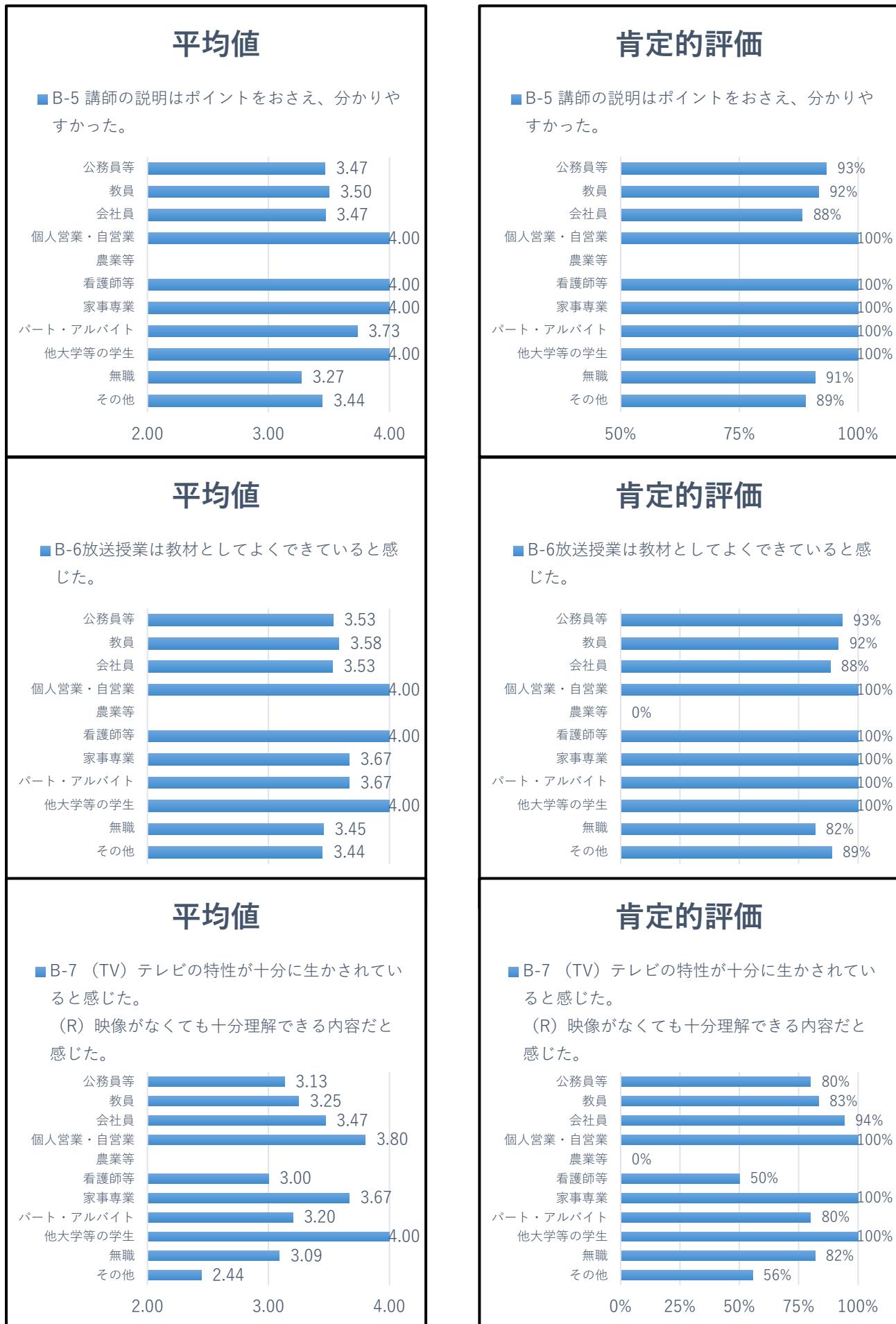


職業別では（次頁図2-79）、（B-5）「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」、（B-6）「放送授業は教材としてよくできていると感じた」では「個人営業・自営業」「看護師等」「家事専業」「パート・アルバイト」「他大学生等の学生」で100%と評価は高かった。

（B-7）「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた/【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」では、「個人営業・自営業」「家事専業」「他大学生等の学生」では評価が高かった。

（B-8）「【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった/【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった」では、「家事専業」が67%と極端に低い評価であった。

図2-79 【大学院】職業別の放送授業の評価



平均値

■ B-8 (TV) 口ヶ映像や資料映像によって、理解が深まった。

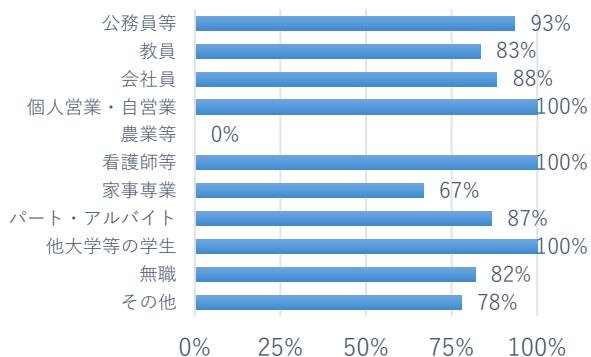
(R) 口ヶ音声や資料音声によって、理解が深まった。



肯定的評価

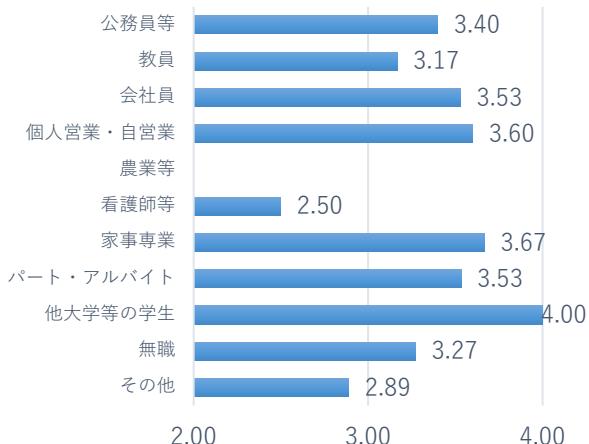
■ B-8 (TV) 口ヶ映像や資料映像によって、理解が深まった。

(R) 口ヶ音声や資料音声によって、理解が深まった。



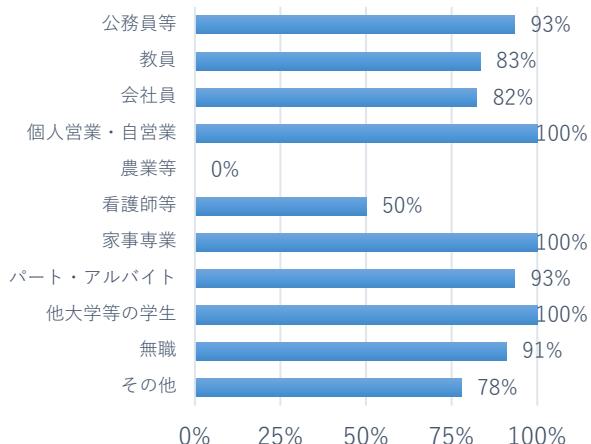
平均値

■ B-9ゲストや聞き手によって、理解が深まった



肯定的評価

■ B-9ゲストや聞き手によって、理解が深まった



(4) 印刷教材

ここからは印刷教材について、評価項目ごとに見ていく。

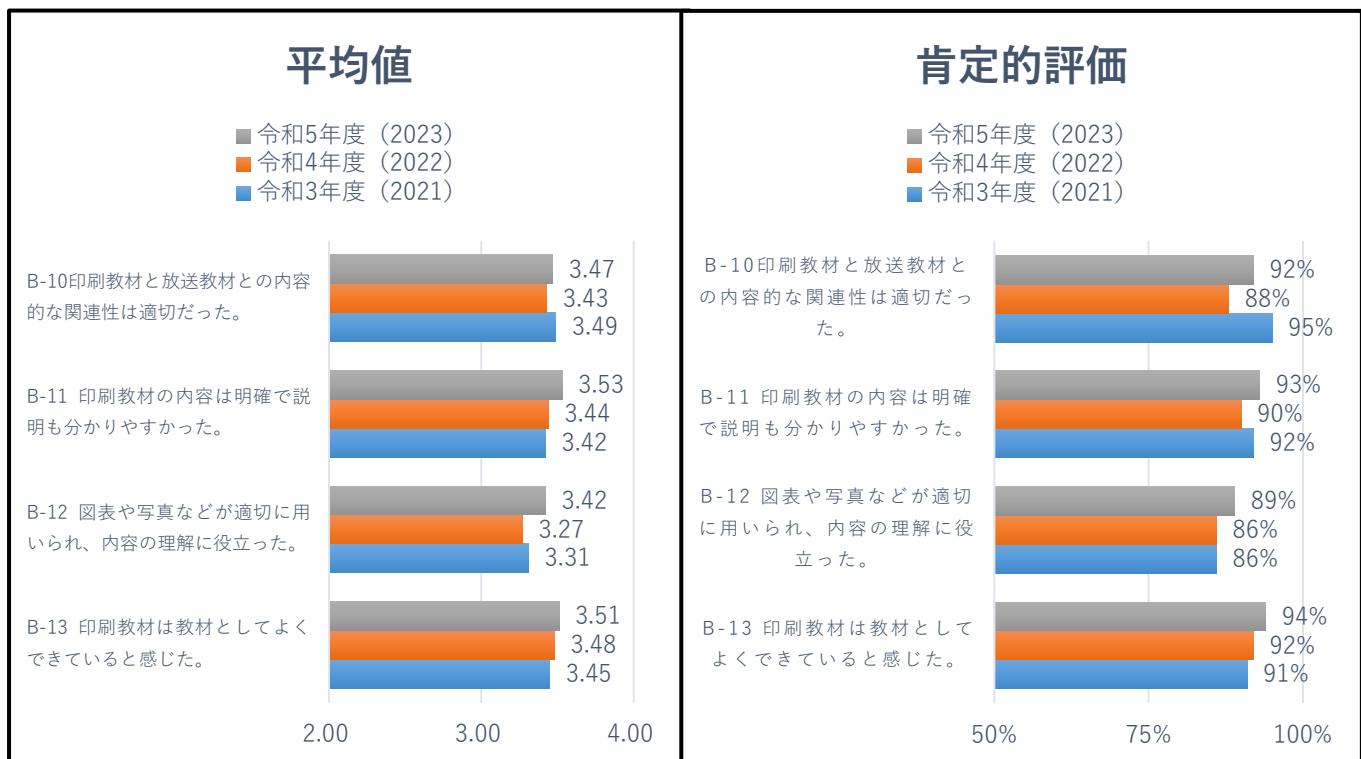
印刷教材の評価項目では（図2-80）、（B-13）「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」が94%と最も評価が高く、（B-12）「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」が89%と低い評価であった。

図2-80 【大学院】回答者全体の印刷教材の評価



印刷教材の評価を時系列で見ると（図2-8-1）、本年度は昨年度と比べ、すべての項目で概ね評価が大きく上回った。

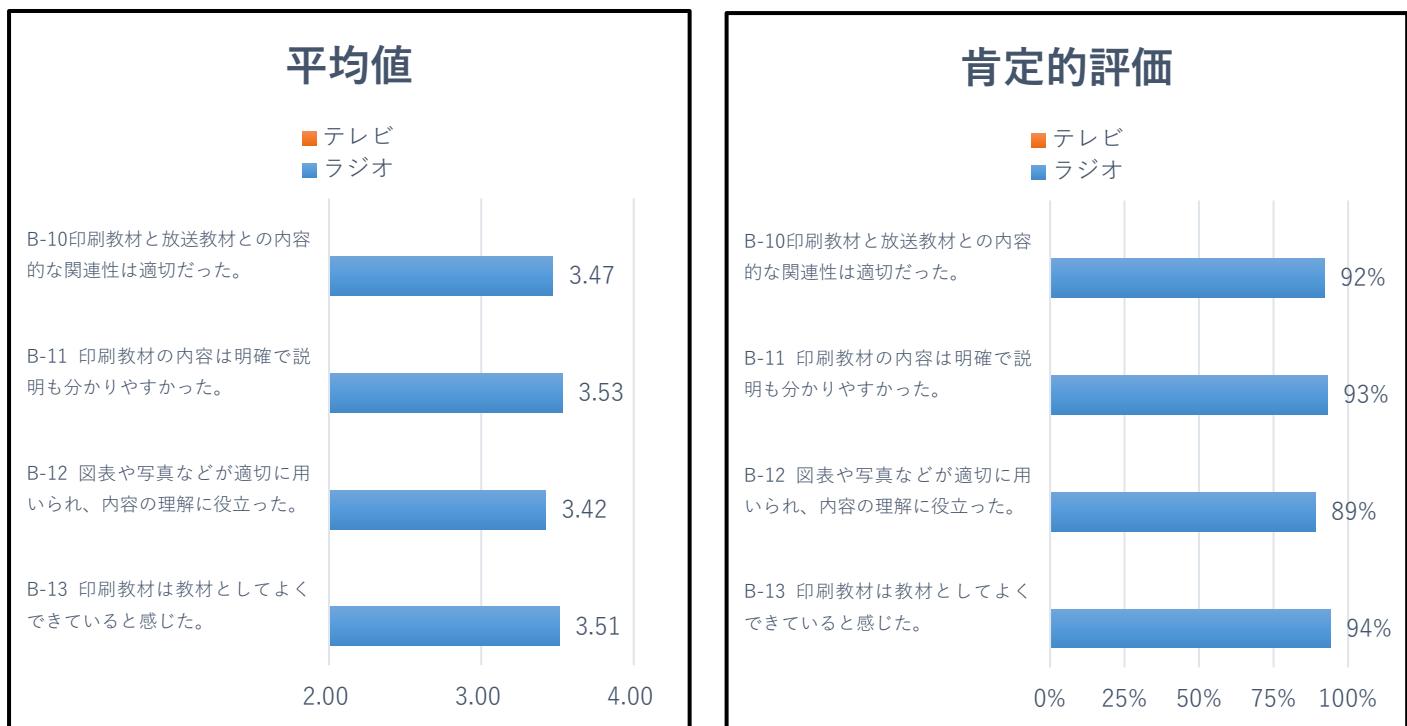
図2-8-1 【大学院】回答者全体の印刷教材の評価（時系列）



ラジオ科目では、印刷教材の評価を見ると（図2-8-2）、（B-11）「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」、（B-13）「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は評価が高くなっていた。

図2-8-2 【大学院】メディア別の印刷教材の評価

※本年度のメディア授業は、ラジオ授業のみとなっています。



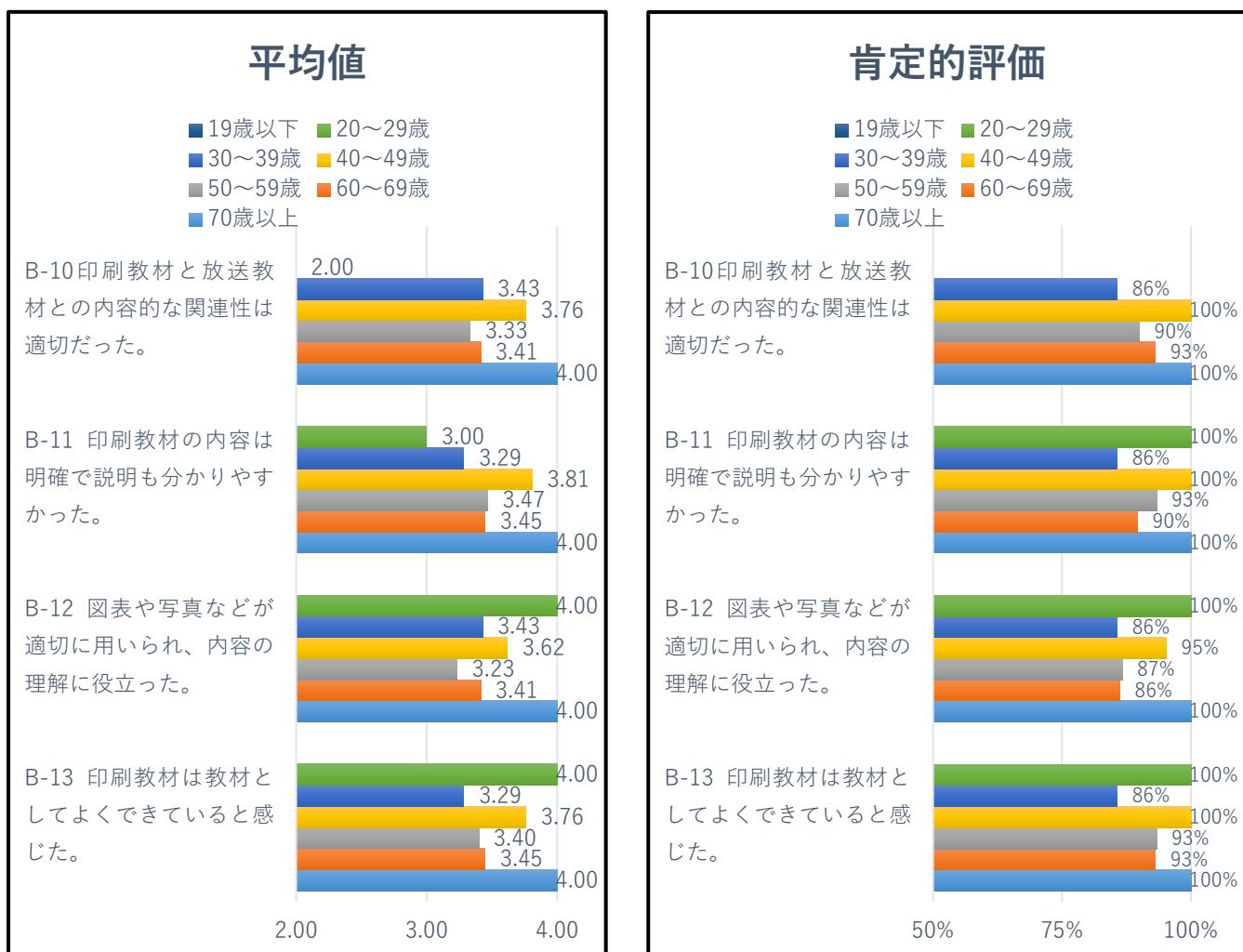
年齢階層別の評価（図2-8-3）は、(B-10)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」は、40歳代と70歳以上の評価が100%と最も高くなっていた。反対に、30歳代は86%と評価が低かった。

(B-11)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」は、30代は86%と低かった。

(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」は、30歳代と50歳代、60歳代の評価が低かった。

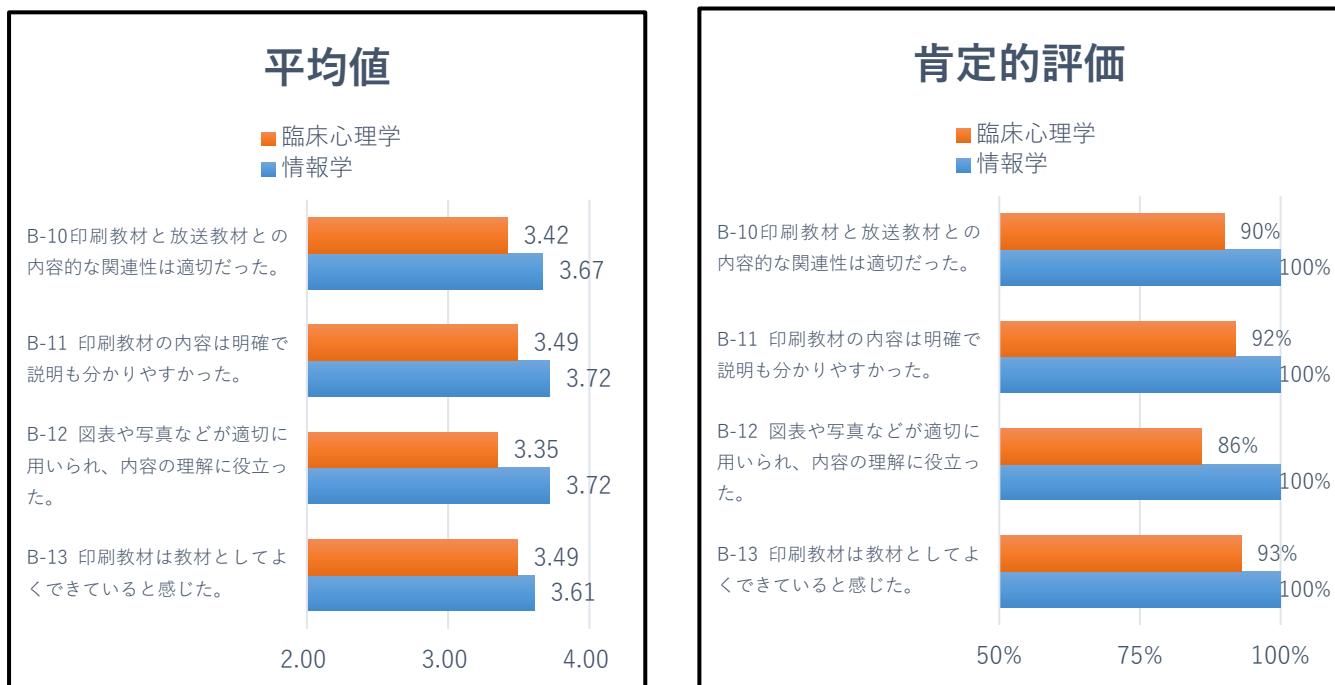
(B-13)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は、30歳代が86%と低い評価であった。

図2-8-3 【大学院】年齢階層別の印刷教材の評価



所属プログラム別の評価を見ると（図2-84）、「情報学」は全項目で100%と非常に高い評価であった、一方、「臨床心理学」はそれより7~14ptほど低い評価で、中でも、(B-12)は最も低い評価であった。

図2-84【大学院】所属プログラム別の印刷教材の評価



職業別では（次頁図2-85）、全項目で「個人営業・自営業」「看護師等」「家事専業」「他大学生等の学生」の評価が100%で評価が高くなっており、「パート・アルバイト」も（B-12）を除いて100%の高い評価であった。

反対に評価が低かったのは、（B-10）「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」と（B-12）「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」では、「教員」、（B-11）「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」と（B-13）「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」では、「会社員」で、いずれも80%代であった。

図2-85【大学院】職業別の印刷教材の評価

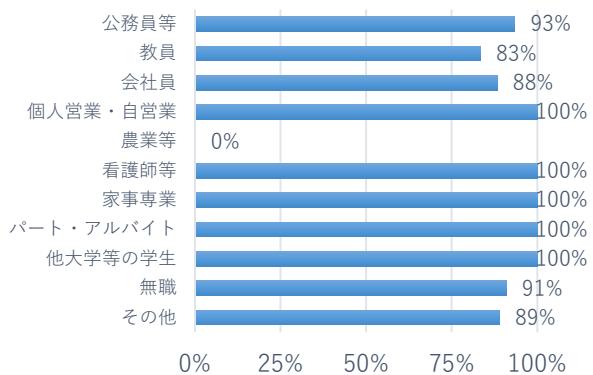
平均値

■ B-10印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった。



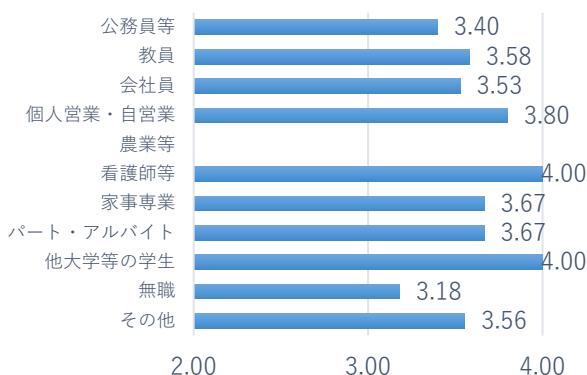
肯定的評価

■ B-10印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった。



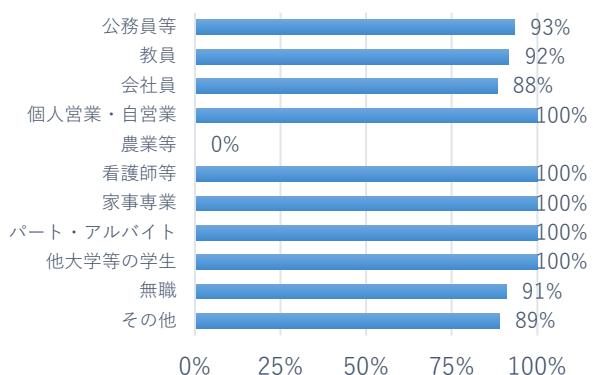
平均値

■ B-11 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。



肯定的評価

■ B-11 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。



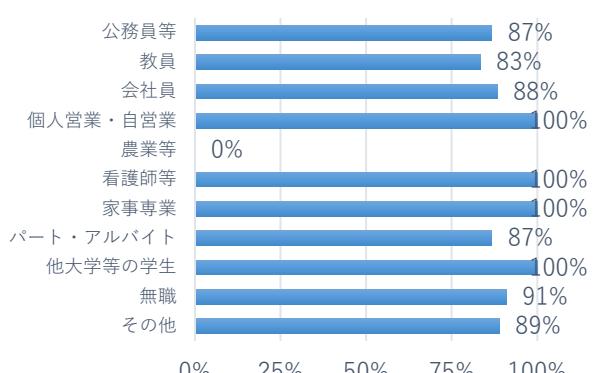
平均値

■ B-12 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。



肯定的評価

■ B-12 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。



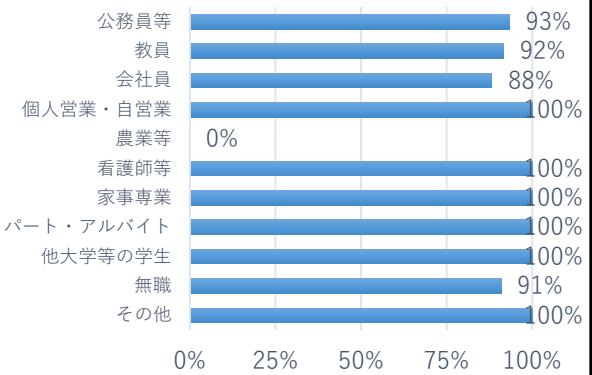
平均値

■ B-13 印刷教材は教材としてよくできていると感じた。



肯定的評価

■ B-13 印刷教材は教材としてよくできていると感じた。



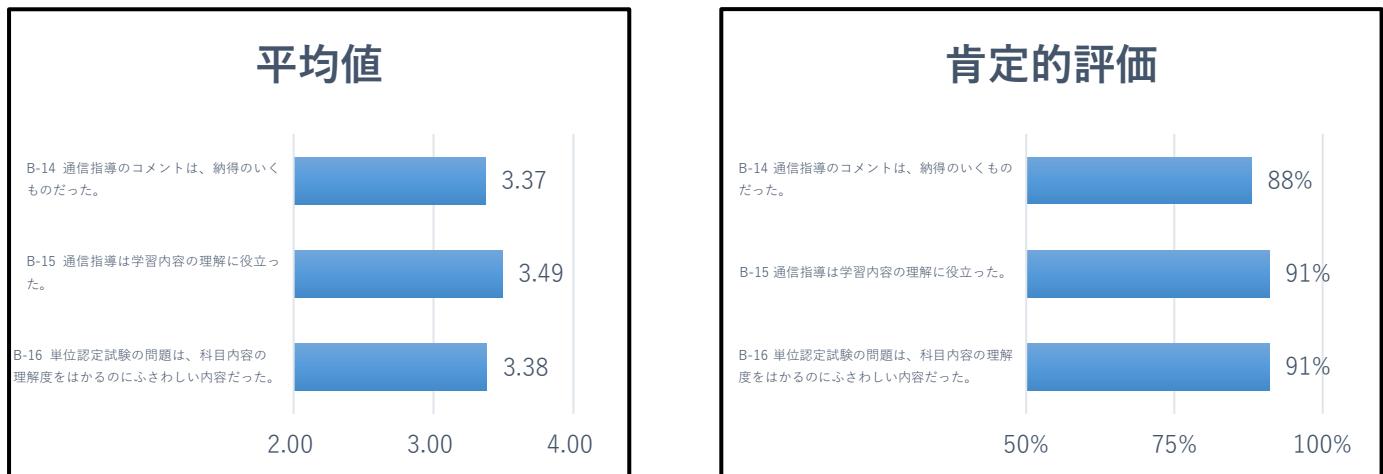
(5) 通信指導・単位認定試験

最後に通信指導・単位認定試験の評価について項目ごとに見ていくことにする。

(図2-8-6)の通信指導については、(B-16)「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」と(B-15)「通信指導は学習内容の理解に役立った」はそれぞれ91%であった。

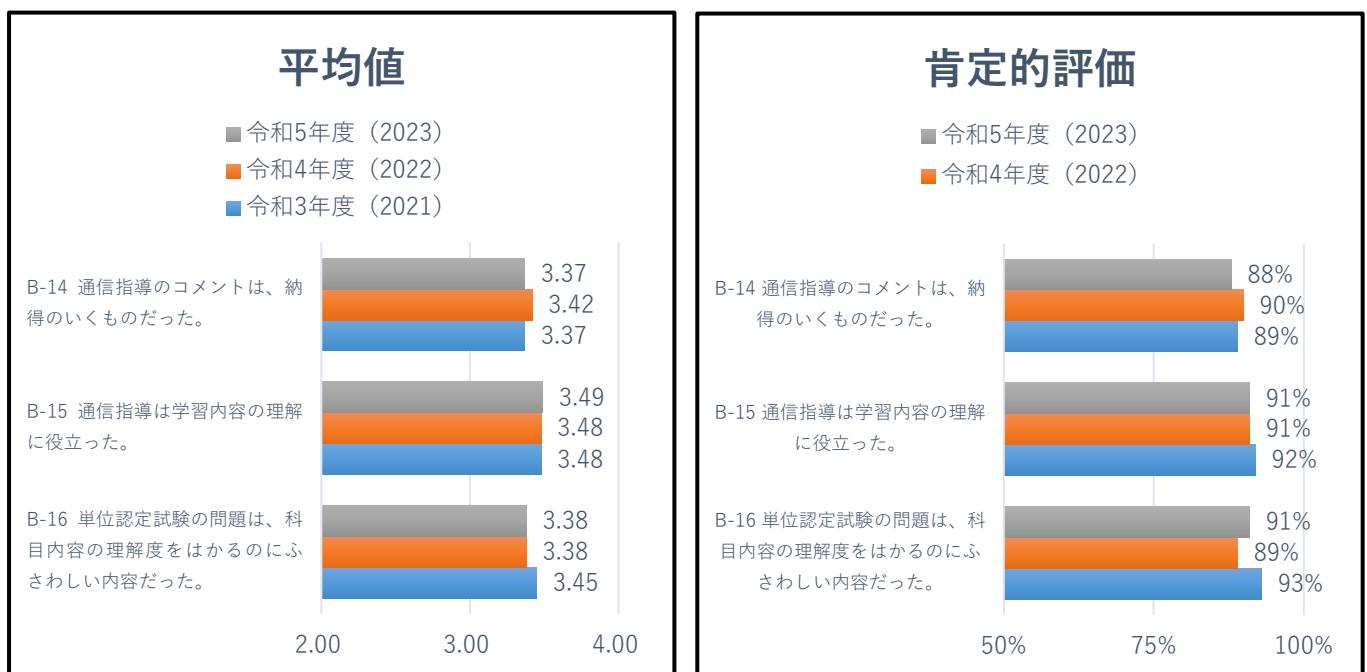
(B-14)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」は、88%であった。

図2-8-6 【大学院】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価



通信指導・単位認定試験の評価を時系列で見ると(図2-8-7)、(B-15)「通信指導は学習内容の理解に役立った」、(B-16)「単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」はそれぞれ91%で、全体では概ね昨年と同評価であった。

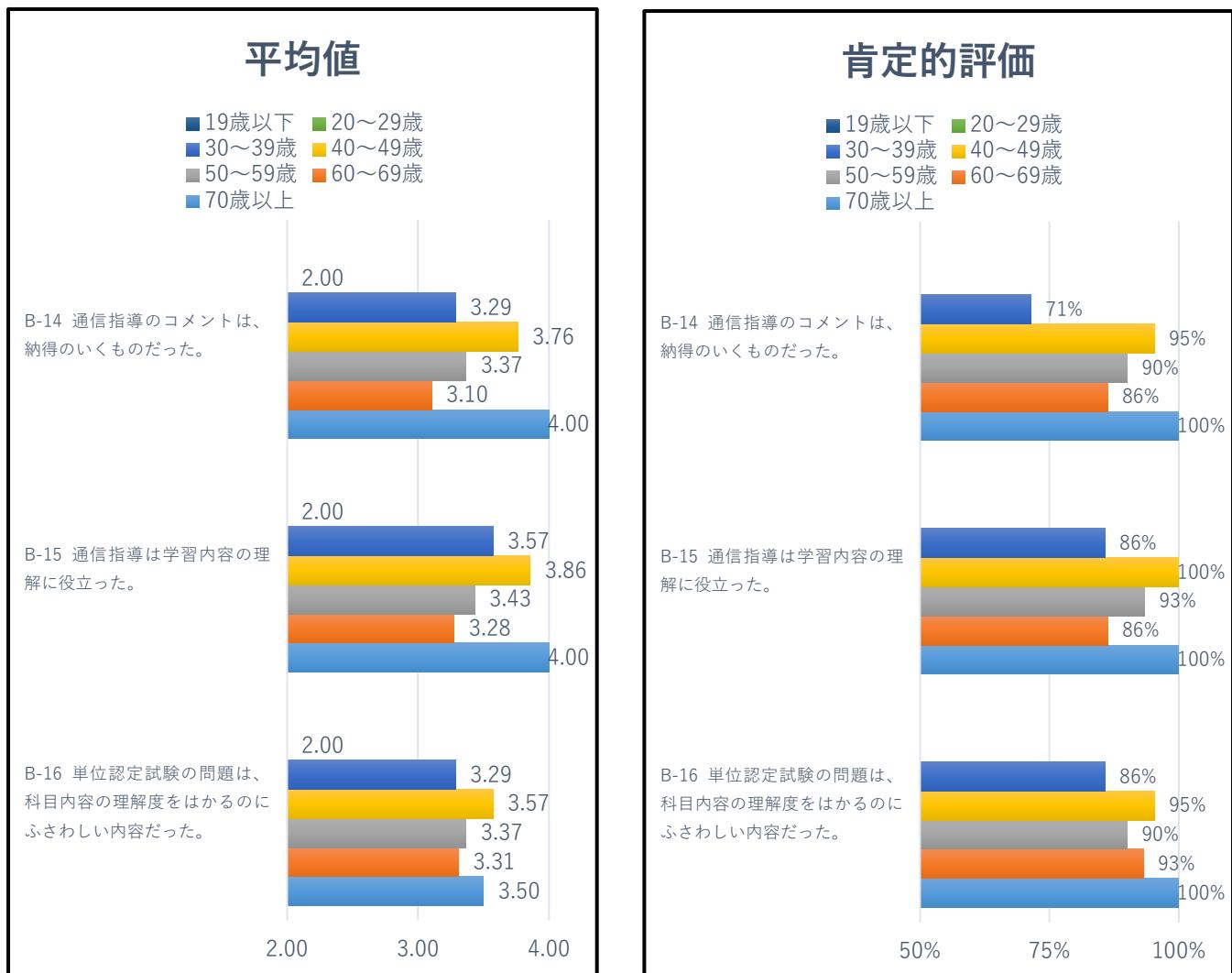
図2-8-7 【大学院】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価 (時系列)



年齢階層別の評価（図2-8-8）では、全項目で70歳以上の評価が最も高かった。反対に、すべての項目で最も低評価なのは、30歳代であった。

（B-15）「通信指導は学習内容の理解に役立った」では、60歳代の評価も86%と低かった。

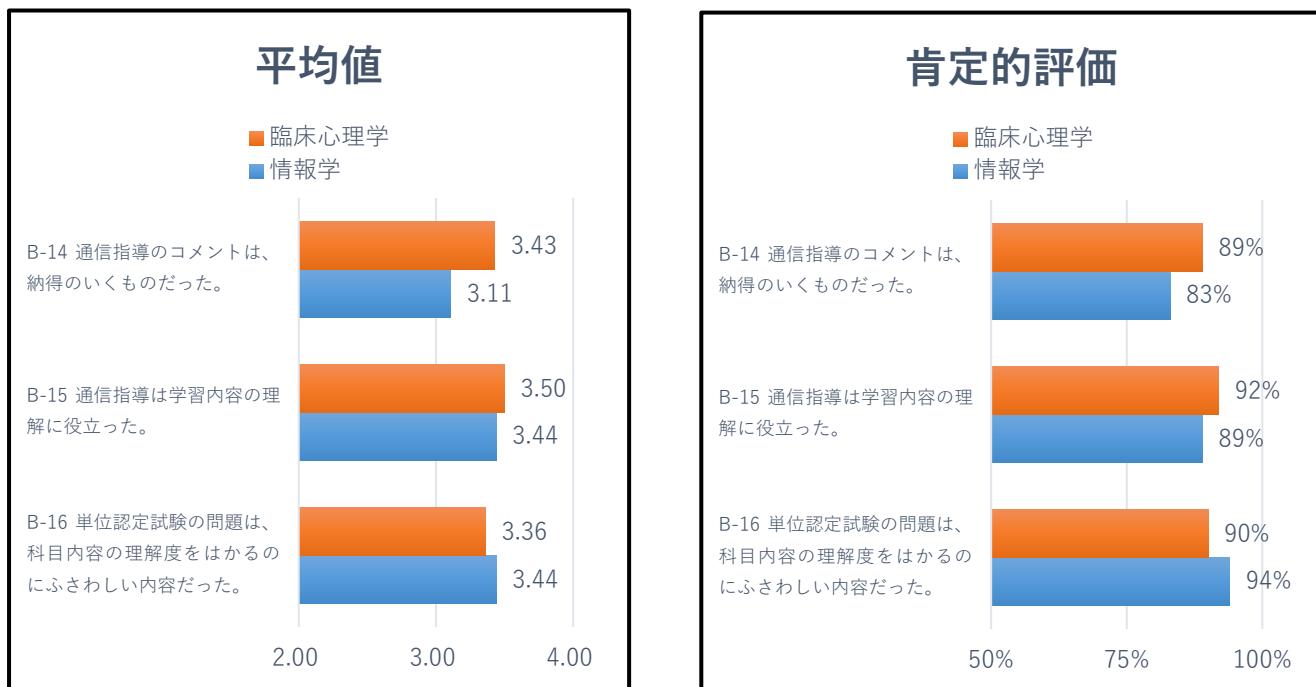
図2-8-8 【大学院】年齢階層別の通信指導・単位認定試験の評価



所属プログラム別では（図2-8-9）、（B-14）「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」と（B-15）「通信指導は学習内容の理解に役立った」は、「臨床心理学」の評価が89～92%と高く情報学を上回った。

（B-16）「単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」は、「情報学」94%で高い評価であった。

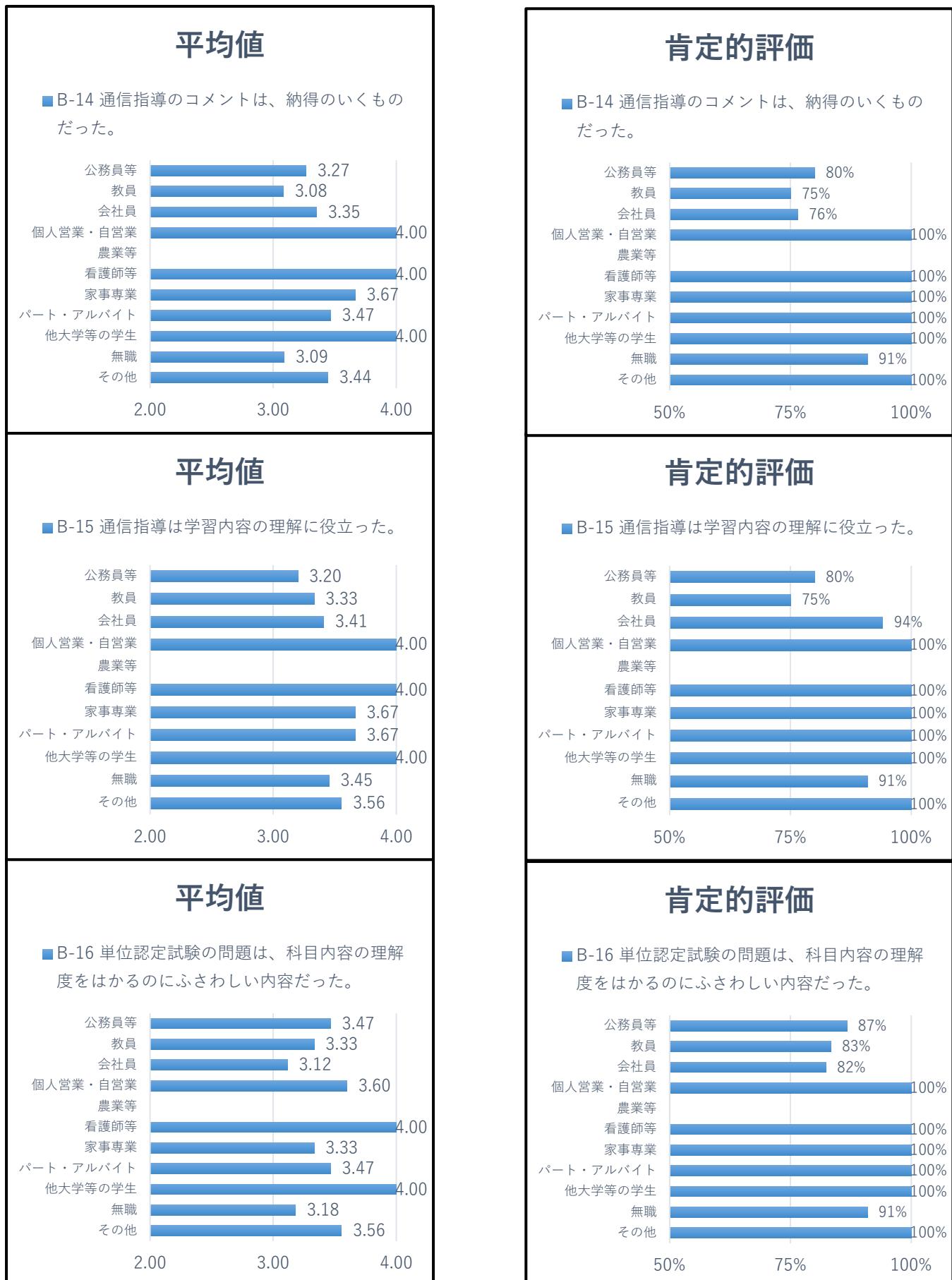
図2-8-9 【大学院】所属プログラム別の通信指導・単位認定試験の評価



職業別では（次頁図2-90）、全項目で「個人営業・自営業」「看護師等」「家事専業」「パート・アルバイト」「他大学生等の学生」「その他」の評価が100%で高い評価になっていた。

反対に評価が低かったのは、(B-14)で「教員」「会社員」が75%～76%、(B-15)で「公務員等」(80%)、「教員」(75%)、(B-16)で、「会社員」(82%)と評価が低かった。

図2-90 【大学院】職業別の通信指導・単位認定試験の評価



II-2-4. 大学院の重回帰分析

大学院でも学部同様、重回帰分析を試みた。

重回帰分析とは、数量データである目的変数と説明変数の関係を調べ、重回帰式（モデル式）を導き出す解析手法である。

今回も、全体の満足度（B-21）「この科目の内容には全体として満足している」を目的変数とし、調査票 I.A 「授業への取り組み姿勢」を除く B-1～B-20 の各項目を説明変数として分析を試みる。

本調査の選択肢はカテゴリーデータであるが、平均値の算出と同様『あてはまる→4』のように数値をポイント化する事で数量として扱い、重回帰分析を適用する。

最終的には「全体の満足度」に寄与する項目を明らかにすると共に、その影響力の強さを知る事を目的としている

項目名	変数	対象
目的変数	y	全体の満足度：B-21
説明変数	x ₁ x ₂ 、…	各項目 B-1～B-20：全20問（項目）
係数	a ₁ a ₂ 、…	重回帰分析によって得られる偏回帰係数

重回帰式 $y = a_0 + a_1x_1 + a_2x_2 + \dots + a_{20}x_{20}$ (説明変数が全20問の場合)

サンプルサイズが十分でない場合や説明変数が多くすると、全体の満足度を表すのに適した重回帰式を得られない事が経験的に分かっているため、重回帰分析の中で、説明

変数間で強い相関関係がある場合、その一方の項目を自動的に削除する「変数減少法」を用いて解析を行った。

使用したデータは質問項目 I.B の全設問を全て回答した 90 人のローデータを使用した。その結果は以下の通りとなった。

■ 分析精度

自由度修正済み決定係数とは、得られた重回帰式が目的変数に対してどれだけ説明力(寄与度)があるかを示す指標で、「1」に近いほど良い結果で、この分析では 0.802 となった。

ダーヴィンワトソン比とは、残差同士の系列相関（自己相関）を示す指標で 0～4 までの値を示し、1 以下や 3 以上だと残差（誤差）に規則性があり、解析自体あるいはデータ自体に問題があり、「2」近辺の値ならよいとされるもので、その値は 2.096 となった。以上の結果から、問題のない結果が得られた事が示されている。

◆ 分析精度

決定係数	0.802
自由度修正済み決定係数	0.790
ダーヴィンワトソン比	2.096
誤差の標準偏差	0.282

今回の重回帰分析は、分散分析表が示すとおり、有意水準 0.01 の判定で、かなりの精度で式の当てはまりの良さが確認できた。(有意水準とは危険率と同義で 0.01 の場合、判定を誤る確率が 1% である事を表している。)

◆分散分析表

変動	偏差平方和	自由度	不偏分散	分散比	p 値	判定
全体変動	33.956	90				
回帰による変動	28.014	13	2.15	27.925	0.000	[**]
回帰からの残差変動	5.942	77	0.0772			
				凡例	有意水準	判定
				[**]	0.01	[*]
						0.05

下表にある標準偏回帰係数とは説明変数の相互比較を可能にするためのもので、

各説明変数の目的変数に対する影響力の度合いがこれで分かる。

その結果から「全体の満足度(B-21)」に寄与する項目で、その寄与度が最も高かったのは、B-11「印刷教材の内容は明確で説明もわかりやすかった」で 0.353、次いで B-18「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」(0.343)、他に B-13「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」(0.213) と続いていた。

説明変数の影響力の度合いを比較するために、表中の標準偏回帰係数の中で最も小さい B-4 (-0.145) を基準に、他の項目がその何倍となるか算出してみた。(表中の右端の数値) その結果、高い順に B-11 : 2.43 倍、B-18 : 2.37 倍、B-13 : 1.47 倍となった。

この結果を踏まえ、今後、「全体の満足度」 (本年度の肯定的評価 91%) を上げるために、上位 3 項目、「B-11 印刷教材の内容は明確で説明もわかりやすかった」、「B-18 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」、「B-13 印刷教材は教材としてよくできていると感じた」、この 3 項目の肯定的評価を上げる事が、効果的であると考えられる。

この 3 項目の肯定的評価について見ると、B-11 : 93%、B-18 : 93%、B-13 : 94% で、それぞれの肯定的評価を上げる余地は、まだ残っていると思われる。

目的変数	標準偏回帰係数	説明変数	判定	B-7との対比
B-21全体の満足度	0.353	B-11印刷教材の内容は明確で説明もわかりやすかった	[**]	2.43
	0.343	B-18学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	[**]	2.37
	0.213	B-13印刷教材は教材としてよくできていると感じた	[**]	1.47
	0.148	B-2放送授業の内容は適切な分量であった	[**]	1.02
	-0.145	B-4印刷教材の内容は適切な分量であった	[**]	1.00
	定数項		[**]	

III. 自由記述のまとめ

自由記述については、オンラインを除く放送授業受講者には以下の4問の質問を行った。

C-1.この科目を受講してよかったですと思う点

C-2.この科目を受講して、放送授業をさらによくするために改善すべきだと感じた点（例：ロケ、ゲスト、図表等の画像、演出の工夫等）

C-3.この科目を受講して、その他のことで改善すべきだと感じた点

C-4.この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想

また、オンライン受講者には、下記3問の質問であった。

B-19.この科目を受講してよかったですと思う点

B-20.この科目を受講して改善すべきだと感じた点

B-21.この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想

掲載した内容は、自由記述のグラフ、代表的な意見の抜粋、個々の記述内容を要約し、それぞれをカウントした、度数カウント表である。

グラフ化した質問内容は、放送授業では前掲のC-1～C-3を、オンライン授業ではB-19、B-20である。

III-1. 学部（放送授業）

ここからは、全体との比較で当該科目がどういう傾向にあったのかを見ていきたい。

よかつた点は、当該科目について回答された項目が3%以上となったものを掲載した。改善点は、当該科目について回答された項目が3%以上か、比率の高い上位5項目を掲載した。

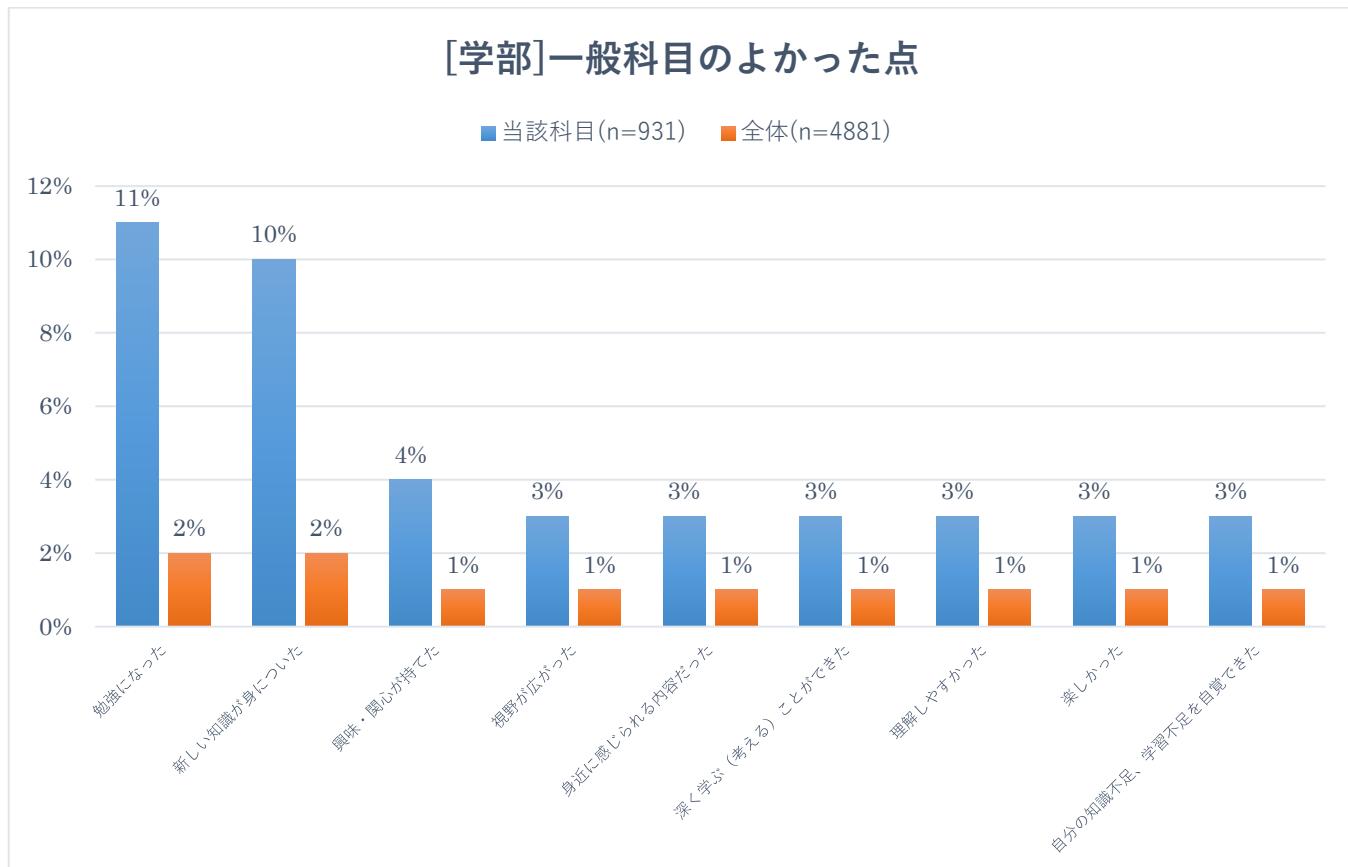
※改善すべき点については、前ページのC-2とC-3の問い合わせをまとめて集計した結果を用いた。

【学部】「基盤科目（一般科目）」の傾向

よかつた点

「勉強になった」(11%)、「新しい知識が身についた」(10%)、「興味・関心が持てた」(4%)、が上位に挙げられていた。

図3-1 【学部】よかつた点

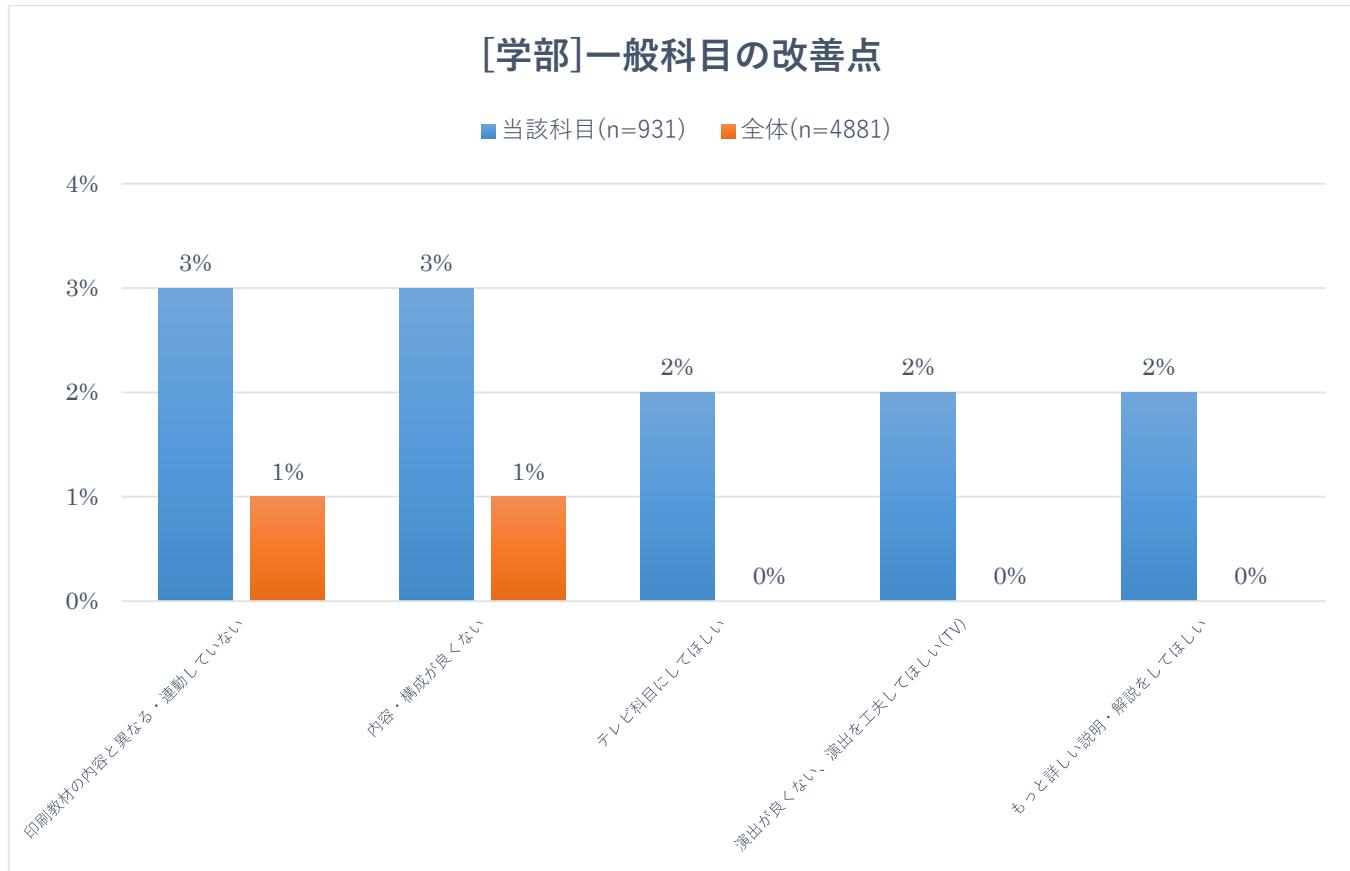


【学部】「基盤科目（一般科目）」の傾向

改善点

「印刷教材の内容と異なる・連動していない」（3%）、「内容・構成が良くない」（3%）が最も高く、次いで、「テレビ科目にしてほしい」「演出が良くない、演出を工夫してほしい（TV）」「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」がそれぞれ2%で挙げられていた。

図3-2 【学部】改善すべき点



【学部】「基盤科目（一般科目）」抜粋

よかつた点

- 「クリティカル・シンキング」という題材を、さまざまな観点から学ぶことができました。身近な題材・事例が多く取り込まれており、興味を持続させて学ぶことができたと思います。
- 聞き手のクロサワさんが分かりやすく良かった
- 学校教育の中での図書館の役割がよく分かった。学校図書館司書に求められる役割についてもわかった。
- 大学レベルの教養としての思考法を身につけるには、適切な内容であった。今後、放送大学のどのコースでも必要とされるクリティカルシンキングに資するものであった。
- クリティカルシンキングについてより具体的に知識を得ることができた。特に認知心理学の観点からの知識が付いた。
- 「ウェイソンの4枚カード問題」について、以前、放送大学の別の授業で習ったときはよく理解できていなかったが、今回この「より良い思考の技法」の授業でよく理解でき「なるほど！」と思った。また、クリティカル・シンキングの三部構造モデルについて、システム2がさらに2つに分かれていることを知り、興味深かったし、理解しやすかった。
- バイアスについて考えるようになった。
- 物事を多面的に見る様々な考え方を広く学べました。クリティカルシンキングは厳しいようなイメージがあったけれど、適切に情報を扱うのに欠かせないものだと理解できました。日常でもデータを見る時に簡単に信じないなど活かせますし、心理学の授業で学んだことを更に深められました。
- これからの時代にクリティカルシンキングの重要性が分かったこと。
- 私は普段から『書く』ことをよく行う。それは感情に流されると苦しくなるだけの気持ちを論理的に整理することで楽にしてきたということ。例えばトラブルに遭遇した時、目の当たりにした事実、そして場面ごとに相手と自分の間にどんな感情が起きたのかを書き出し、自分の気持ちを整理する。また誰に見せる訳でも無いが、社会における問題について私見を書き留めたりもしてきた。この科目を見つけた時、これまでの自分流の“論理的”が少しは正しく行えていたのか確認したい気持ちもあり受講した。結果として私にとっては期待以上に学ぶことが多かった。何より『メタ認知』、『多種のバイアス』、『公正世界仮説』、『精緻化』など、これまで自分の中ではイメージだけがあった事象にちゃんと名前があることも知ることができた。

【学部】「基盤科目（一般科目）」抜粋

改善点

- 話がずっと入ってくるには、聞き手の力量が重要ですね。講師から話を振られて受け止める際のコメントが、講義の本線から外れないようにしてもらえると良いと思います。講師からの問い合わせに対する返答が、講義のシナリオの本筋から外れたような感じだと、そのことが気になって、大事な講義の本筋シナリオが頭に入ってこないので…
- 放送時間の拡大
- どことなく会話がぎこちない感じがしたので、もう少し自然な流れのほうが良いかなあと。
- 授業中のモニターの資料を写し印刷したいのですが、一時停止すると画面下にそのラインが表示されて資料の下の方が隠れてしまうので、ご配慮頂きたい。
- 三段論法などの理論をもっと図解などで分かりやすく示してほしかった
- 錯覚シアターが学びの視点を広げる意味で大変良かったと感じた。
- アシスタントの黒澤さんは十分な知識をお持ちだと思うのに、学習者の代表として時折わからないふりをさせられていると感じる場面があり、そこを少し残念に思いました。
- どこが重要か分かりずらく通信指導とテストの内容が全然違い通信指導の意味があるのかを感じた。
- 今まで充分分かりやすく楽しい授業だと思うので変更しないでください。
- 他の科目は字幕があるのに、この科目には字幕がなかった。今後検討していただきたいです。講義中で出てくるプレゼン資料と印刷教材の順序が違ったりしたので、分かりにくい部分があった。
- 芸術のコマにおいて具体的に絵画のどの部分が該当しているのか図解など（線遠近法の線を引いてみる等）があると更にわかりやすくなると思った。
- 特にありません。強いて申し上げるならば芸能関係の方と思われる聞き手の方、落語家の方の登場等でややエンターテインメント性が高い傾向にあると感じ、もう少し学術的な雰囲気の中で視聴したかったという思いはありますが、上記の要素があるからこそ楽しんで視聴できるということも言えるので嗜好の範疇、あるいは「ないものねだり」かもしれません。
- とても楽しかったので、この方向性で作っていただきたいです。
- 放送授業の中に「印刷教材」をどのように学習に活用すればよいかというアドバイスがあると良いと思う。
- 単位認定試験が難しすぎた。
- テキストの内容と比べて、放送授業のほうが内容が緩く感じた。導入科目なのでとっつきやすい演出を目指しているのは理解できるが、もう少し堅い雰囲気で進めてもらった方が、個人的には理解できた気がする。特に落語のコーナーはテキストとの関連性を感じないので、本当に必要なのかわからなかった。
- 番組視聴中に印刷教材の何ページを参照とかここが大事と言われた記憶が薄い。音楽が暗い、変えたほうが良い。京大の先生は、ちょっと聞き苦しかったところがあったと思います。
- 先生の説明や発言の終わりを待たずに、聞き手の方がコメントされることがあり聞き取りづらいと感じることがありました。積極的で活発な点は良いのですが、もう少し落ち着いてコメントされるとより授業全体がよくなるのではないかと思います。
- 聞き手のアナウンサーは熱心だったが、返答内容が耳障りに感じるところが多少あった。
- 構成として他の講座とは異なる試みがされており、新鮮だった。ただ、某有名テレビ番組と同じ手が使われている部分だけ少し気になった。
- 聞き取れない箇所があり、字幕を希望します。
- 落語をあまり普段、見ないこともあります、理解しにくい時がありました。

【学部】「基盤科目（一般科目）」

(単位:人)

よかったです

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった	99		99
新しい知識が身についた	94		94
興味・関心が持てた	38		38
視野が広がった	31		31
身近に感じられる内容だった	30		30
深く学ぶ（考える）ことができた	29		29
理解しやすかった	29		29
楽しかった	27		27
自分の知識不足、学習不足を自覚できた	26		26
具体的な事例、実践的な内容があった	18		18
今後に役立つ内容だった	18		18
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	12		12
体系的に学べた・理解できた	12		12
自分のペースで勉強できた	6		6
自分の意見・考えを持てるようになった	5		5
専門的な内容だった	5		5
全体として満足している	5		5
知識の整理に役立った	5		5
学習意欲・知識欲がわいた	4		4
受験・資格取得に役立った	4		4
科目の学問的性質、位置付けが分かった	3		3
最新の情報・研究が学べた	3		3
基礎的な知識が得られた	2		2
内容・構成が良かった	2		2
学校の対応（WAKABA、シラバスを含む）が良かった	1		1
現在の課題や身近な問題点を学べた	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
科目内容の理解度をはかるのに相応しい内容だった	2		2

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
引用・参考文献・アプリの紹介が良かった	3		3
演習問題が良かった	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
良い授業だった	10		10
講師が良かった	5		5
講師の解説が分かりやすかった	5		5
図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった	4		4
アシスタント・聞き手・ナビゲーターが良かった	3		3
ゲストを招いた授業が良かった、ゲストの話が良かった	2		2
スキット、ドラマが分かりやすかった、面白かった	2		2
メディアの特性に合った授業内容だった	2		2
印刷教材とのバランスが良かった	2		2
科目全体の内容・構成が良かった	2		2
現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった	2		2
理解しやすかった（放送授業）	2		2
講師の熱意・熱心さが伝わった	1		1
講師の話し方が良かった、声が聞き取りやすかった	1		1
授業各回の内容・構成が良かった	1		1
対談形式の授業が良かった	1		1

【学部】「基盤科目（一般科目）」

改善点

(単位:人)

科目全般				印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
内容・構成が良くない		8	8	練習問題等には詳しい解答や解説がほしい	5		5
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	21		21	練習問題がほしい、増やしてほしい		1	1
内容の詰め込みすぎ		12	12	放送授業の要約（まとめ）を載せてほしい		1	1
難しかった		10	10	文字が読みづらい		4	4
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい		9	9	難易度・分量が不適切だった		7	7
期待していた内容ではなかった	7		7	内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる		2	2
内容にまとまりがない	5		5	内容・構成が良くない（印刷教材）	1		1
幅広い視点でのカリキュラム編成をしてほしい	4		4	図・表・写真・イラストを増やしてほしい	1		1
授業科目案内は内容が不十分だった	4		4	図・表・写真・イラストが見づらい	2		2
科目全体の内容・構成が良くない	3		3	色刷りにしてほしい	2		2
科目の分類に疑問がある	4		4	詳細な解説がほしい	4		4
ジェンダー平等の精神がない、不足している	4		4	索引を充実させてほしい	4		4
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい		1	1	誤植がある		15	15
内容が浅い	3		3	具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい	1		1
内容が専門的で難しかった		3	3	印刷教材の形状が使いにくい	1		1
新しい科目、広い分野をカバーする科目がほしい	3		3	DVD・CD、模型等、付録の添付を考えてほしい	2		2
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい	3		3				
努力不足だった	2		2				
内容が基礎的で物足りなかった	1		1				
最新の内容を講義してほしい	1		1				
関連する科目・基礎科目を開設してほしい		1	1				
科目による難易度の差が大きい	1		1				

放送授業				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
例題・練習問題を増やしてほしい	7		7	課題（問題）の解答・解答例・解説がほしい	4		4
例題、演習問題を解きながら解説してほしい	10		10	課題（問題）が、放送授業・印刷教材と内容がずれている		2	2
理解しにくい	14		14	記述式、および記述に関して改善してほしい		2	2
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい		3	3	学習内容の理解・整理につながらない		1	1
放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい		2	2				
放送時間が違う時間帯の方が良かった	1		1				
聞き手が良くなかった、講師と合わなかった	13		13				
聞き手がいた方が良い	6		6				
文字が読みづらい	2		2				
内容に誤りがあった		12	12				
内容・構成が良くない	27		27				
単位認定試験と連動していない		1	1				
声が聞き取りづらい	7		7				
図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	18		18				
図・表・写真・イラストを増やしてほしい		9	9				
重要な情報はテロップ等で表示してほしい、長く表示してほしい	3		3				
授業のテンポが良くない（早い・遅い）	1		1				
授業に興味・関心が持てなかった	3		3				
手話通訳、または字幕がほしい	8		8				
字・図・表・写真・映像が見づらい		4	4				
視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい		2	2				
参考となる事例や資料の紹介がほしい	4		4				
講師の熱意が伝わらない	2		2				

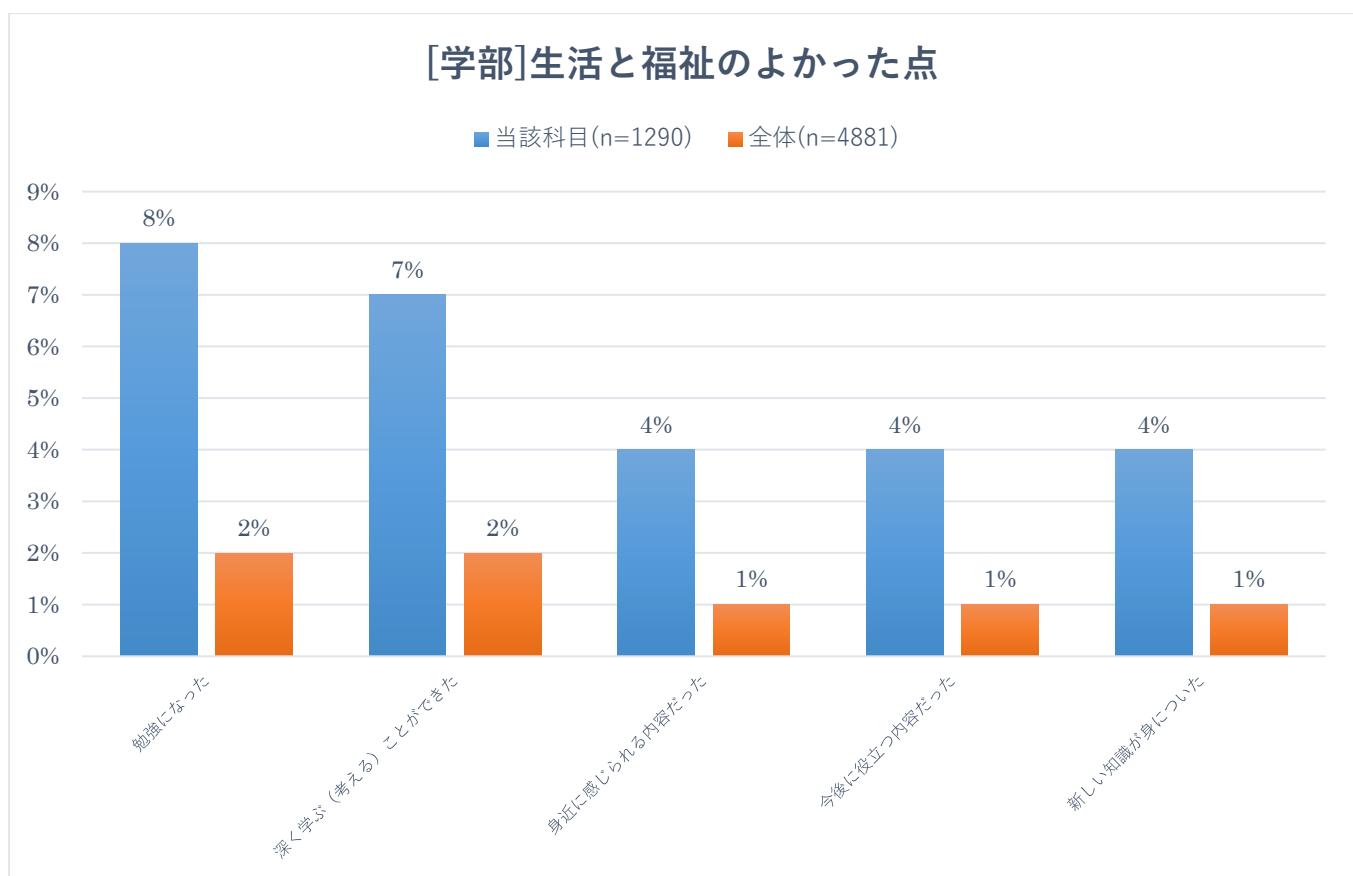
単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
問題数が多かった・範囲が広かった		2	2
難易度を下げるべき	5		5
通信指導や前学期と試験内容が同じだった	2		2
試験内容が授業・印刷教材・通信指導の内容と異なった	6		6
試験時間が短い、入力が間に合わない	1		1
験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある	9		9
記述式、および記述に関して改善してほしい		1	1

【学部】「基盤科目（外国語）」の傾向

よかった点

「勉強になった」が8%で、「深く学ぶ（考える）ことができた」が7%であった。
他では、「身近に感じられる内容だった」、「今後に役立つ内容だった」「新しい知識が身についた」がそれぞれ4%であった。

図3-3 【学部】よかった点

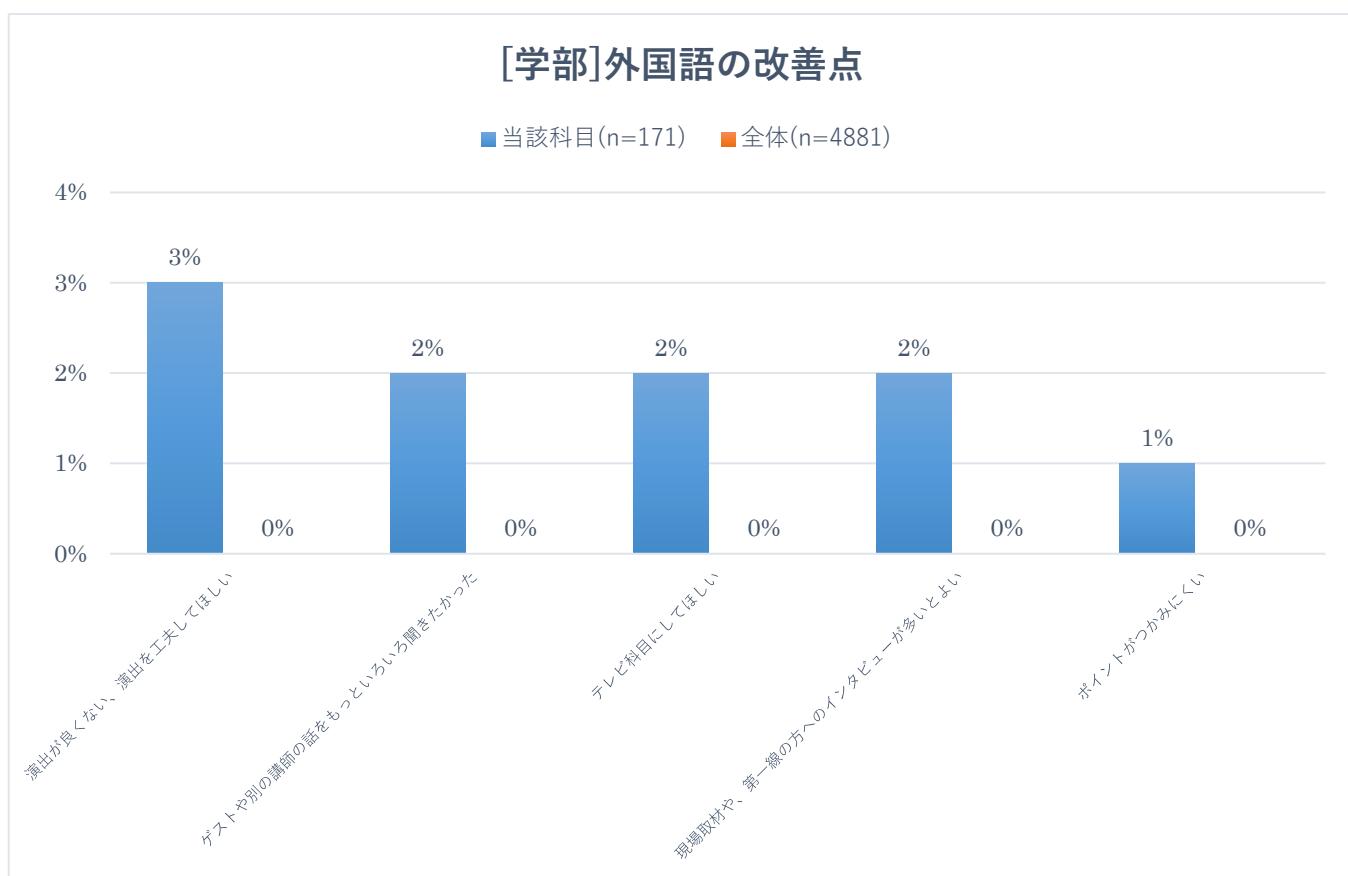


【学部】「基盤科目（外国語）」の傾向

改善点

「演出が良くない、演出を工夫してほしい」（3%）であった。
他では、「ゲストや別の講師の話をもっといろいろ聞きたかった」、「テレビ科目にしてほしい」、「現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい」がそれぞれ2%で続いていた。

図3-4 【学部】改善すべき点



【学部】「基盤科目（外国語）」抜粋

よかつた点

- ドイツ語の難しさが伝わった。語学は日々こつこつ積み上げないと上達しないと痛感した。難しいが面白い、学んで使えるようになりたい、という気分になった。ドイツ語圏の文化や学問にはとても関心がある。
- 受講前に何となくしか理解できていなかった文法や用法の理解を深めることができたこと。
- 1. 印刷教材が丁寧に作られている。2. ドイツ文化の理解の助けになった。3. 講師の先生方が丁寧に授業を進めてくれている。
- ドイツ語を読む気力がついた。
- ドイツ語は20年以上前に大学で学んだのですが、だいぶ忘れてしまったので履修しました。勉強しているうちにいろいろ思い出し、新たに学んだことも多少あったので役には立ったと思います。
- ドイツ語は、これまでNHKドイツ語講座などで独学で少し勉強したことがあったが、このように連続の講義を受けたのは初めてで、全15回の授業でたくさんの内容を学ぶことができました。
- 日本語にはないドイツ語独特の文法など、覚えるのがなかなか難しい言語だと思いましたが、クラウン先生のお話でドイツのある街やドイツ人の日常生活など知ることが出来まき、ドイツという国に興味がわきました。
- 単語の会話の中での使い方がわかった。
- 独学では、理解するのに難しいので、放送授業を受けて少しは理解することができたので良かったです。ぎりぎりの点数で独検4級合格しました。有り難うございました。
- 新しい言語の基礎が学べてよかつた。
- ドイツ語の文法についてポイントを押さえて解説していただいたところです。文法に関しては説明が丁寧でした。
- ドイツ語のしくみがわかった
- この授業を受けてからドイツのことをもっと知りたいと思うようになり、ドイツの文化や歴史に興味が湧いてきた。ドイツ語IIも学習して、近い将来にドイツ旅行を実現させたいと思うようになった。
- ドイツに語学留学をしてみたいと思いました。
- ドイツ語の難しさを知ったこと。時間がなく中途半端になってしまったが、とてもいい内容であった。
- ドイツ語の基礎を分かり易く理解することができた。
- ドイツ語の歌詞や旅行のガイドブックが少し読めるようになりました。
- ドイツ語の初歩を思い起こしてくれた。
- ヨーロッパに旅行に行った際に役立ちそうな点。あと、ドイツ語由来の英語の単語を覚えやすくなった。
- すでにドイツ語は長年勉強していたため、授業を通して復習できた
- ドイツはこんなところなんだという予備知識が得られたこと
- ドイツ語は若い頃勉強したが、ここ100年以上は話たり手紙などを書く機会もなく、かなり忘れてしまったのではと思い、プラッシュアップをしたくてこの科目を受講した。CDが付録教材として付いていたので、特に会話の箇所を最初は放送教材を見ながら聞こえてくる声を真似ながら一緒に読んだり、慣れたらテキストを見ずにCDの声と同時にしゃべる練習などができる非常に役に立った。文法、格変化もたまにどうだったかと迷うこともあったが、放送教材の説明を読んでなるほどと納得できた。さらなる学習をしてプラッシュアップを進めていきたいと思ってよかつた。

【学部】「基盤科目（外国語）」抜粋

改善点

- Lektion内に出てくる建物や訪れたところなどを、『地図上ではここ』という映像とともに、実際のその建物や街などの映像もあった方が、イメージが湧きやすく、想像しながらLektion内の会話が聞けると思う。
- 1. 印刷教材に音楽の歌詞があることについて、取り上げた理由を書いていただければありがたい。 2. 印刷教材で使用された単語の意味が辞書のように印刷教材に添えられているのは、大変ありがたいのですが、時々、日本語の意味がついていないこともあるので、日本語訳があるとありがたい。
- もう少し一般的な内容の方が（1つの町の歴史に絞らず、食生活、健康、病気についての内容など）、学びやすいかなと思った。
- 印刷教材のはじめに発音が重要だというお話があったので、発音練習の時間や、発音のコツの説明などが多くあるのかと思いましたが、あまりありませんでした。ほぼ、印刷教材の単語や例文をクラウス先生が1回読むだけみたいな感じの時が多くかった気がします。リピートや、単語を入れ替えて文を作りリピートみたいな練習の時間がもっと欲しかったです。ダイアログ・テキストやモノローグ・テキストの説明と訳だけで、多い時で30分ほどかかっていて、文法説明がオマケみたいな状態の回があり、残念に思いました。テキストには「これはドイツ語IIで習います」みたいな未習の文法が多く含まれていてかなり難しく、何のためのテキストなんだろうと思ってしまいました。文化や歴史にも触れるというお話だったので期待しましたが、そういう話は思ったほどませんでした。
- 練習問題についてのアドバイスがあればもっとよかったです。
- ドイツ語だけではなく、英語もそうですが、読んでいるときに、早くついていけないのですが、日本語と違い、単語を一つ一つ読んでいるわけではなく、それぞれの単語の前後を省略している飛ばし読みをしているから滑らかに発音できていると思いますが、読み方のコツなどあればありがたいです。
- アニメーションが決して悪いわけではないのですが・・・教材のストーリーが単調でしんどくなることがあります。フランス語Iのようにドラマ仕立てになっていると楽しいなと思いました。
- ドイツ語は難しかったので、文法的な学習が主となるのは仕方ないとも思われますが、ドイツ語圏の文化などが感じられるロケなどが少しでも入るとより意欲・関心が増したと思われます。
- クラウス先生のあいさつの後のお言葉が理解できなかったので字幕を付けてほしいと思った。Thumbs-upのポーズに励されました。
- 印刷教材の表記が難しかった。
- 授業中に練習問題の一部を解説していただければ、理解が深まると思います。
- テキストが奇をてらい過ぎ。基本路線を外れているように思う。
- 他の外国語科目にも言えますが、先生が一人か二人にその言語をこれから学ぶ生徒を一人の形にした方がわかりやすいです。NHKの語学講座(旅するためのドイツ語講座など)を参考にしてください
- 中国の文化の紹介を含むスキットがあるとよいと思います。
- 日本国内を留学生2人が移動する内容で日本人との絡みもなくわかりやすかった。
- ピンインが前後の音の流れで異なった発音になる点を、もう少し概観して理解できるようにしてほしい。
- スキットの俳優の方々が慣れていないのか、ちょっと演技が不自然だった。ロケの様子はとても雰囲気があって東京の下町から郊外まで、良い場所を選んでおられると思った。
- スキットが字幕あり、字幕なしで繰り返される点、その後、蘆建先生が改めて発音して下さる点など何度も聴くことで、とても覚えやすく、またスキットの会話文の解説から文法の説明に入るところなど流れがスムーズで特に問題と感じる点はありませんでした。

【学部】「基盤科目（外国語）」

よかつた点

(単位：人)

科目全般				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
勉強になった	29		29	
興味・関心が持てた		10	10	
学習意欲・知識欲がわいた	6		6	
深く学ぶ（考える）ことができた	5		5	
理解しやすかった		5	5	
楽しかった	4		4	
基礎的な知識が得られた	4		4	
体系的に学べた・理解できた		4	4	
内容・構成が良かった（科目全般）		3	3	
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	2		2	
現在の課題や身近な問題点を学べた	2		2	
今後に役立つ内容だった		2	2	
自分の知識不足、学習不足を自覚できた		2	2	
新しい知識が身についた	2		2	
内容・構成が良かった	2		2	
自分のベースで勉強できた	1		1	
自分の意見・考えを持てるようになった	1		1	
受験・資格取得に役立った	1		1	
全体として満足している	1		1	
知識の整理に役立った	1		1	
難易度・分量が適切だった	1		1	

印刷教材				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
演習問題が良かった	1		1	
良い教材だった	1		1	

放送授業				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
発音を聞くことができた（語学）	6		6	
講師の解説が分かりやすかった		5	5	
理解しやすかった（放送授業）	2		2	
ゲストを招いた授業が良かった、ゲストの話が良かった	1		1	
スキット、ドラマが分かりやすかった、面白かった	1		1	
ポイントがつかみやすかった	1		1	
印刷教材とのバランスが良かった		1	1	
講師の熱意・熱心さが伝わった	1		1	
図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった	1		1	

通信指導				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
指導内容・コメント・対応が良かった	1		1	

【学部】「基盤科目（外国語）」

改善点

(単位：人)

意見			
意見	テレビ	ラジオ	合計
関連する科目・基礎科目を開設してほしい		1	1
内容の詰め込みすぎ		1	1

意見			
意見	テレビ	ラジオ	合計
色刷りにしてほしい		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
理解しにくい	2		2
聞き手がいた方が良い		1	1
内容・構成が良くない		2	2
声が聞き取りづらい	2		2
図・表・模型等のどこを指し示しているのかわからない	1		1
図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	2		2
図・表・写真・イラストを増やしてほしい		2	2
手話通訳、または字幕がほしい	1		1
参考となる事例や資料の紹介がほしい	1		1
講師の解説・指導が良くなかった		2	2
講師・ナレーター・ゲスト等の話し方が良くない、声が聞き取りづらい		1	1
現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい		3	3
具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい	2		2
解説中の印刷教材のページが分かりにくい	2		2
演出が良くない、演出を工夫してほしい	5		5
印刷教材をもっと活用してほしい		1	1
印刷教材の内容と異なる・連動していない		1	1
印刷教材と異なる講義が聞きたい		1	1
ポイントがつかみにくい		2	2
テレビ科目にしてほしい		3	3
システム面の改善が必要	1		1
ゲストや別の講師を招いてほしい、増やしてほしい	1		1
ゲストや別の講師の話をもっといろいろ聞きたかった	3		3
(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい		1	1

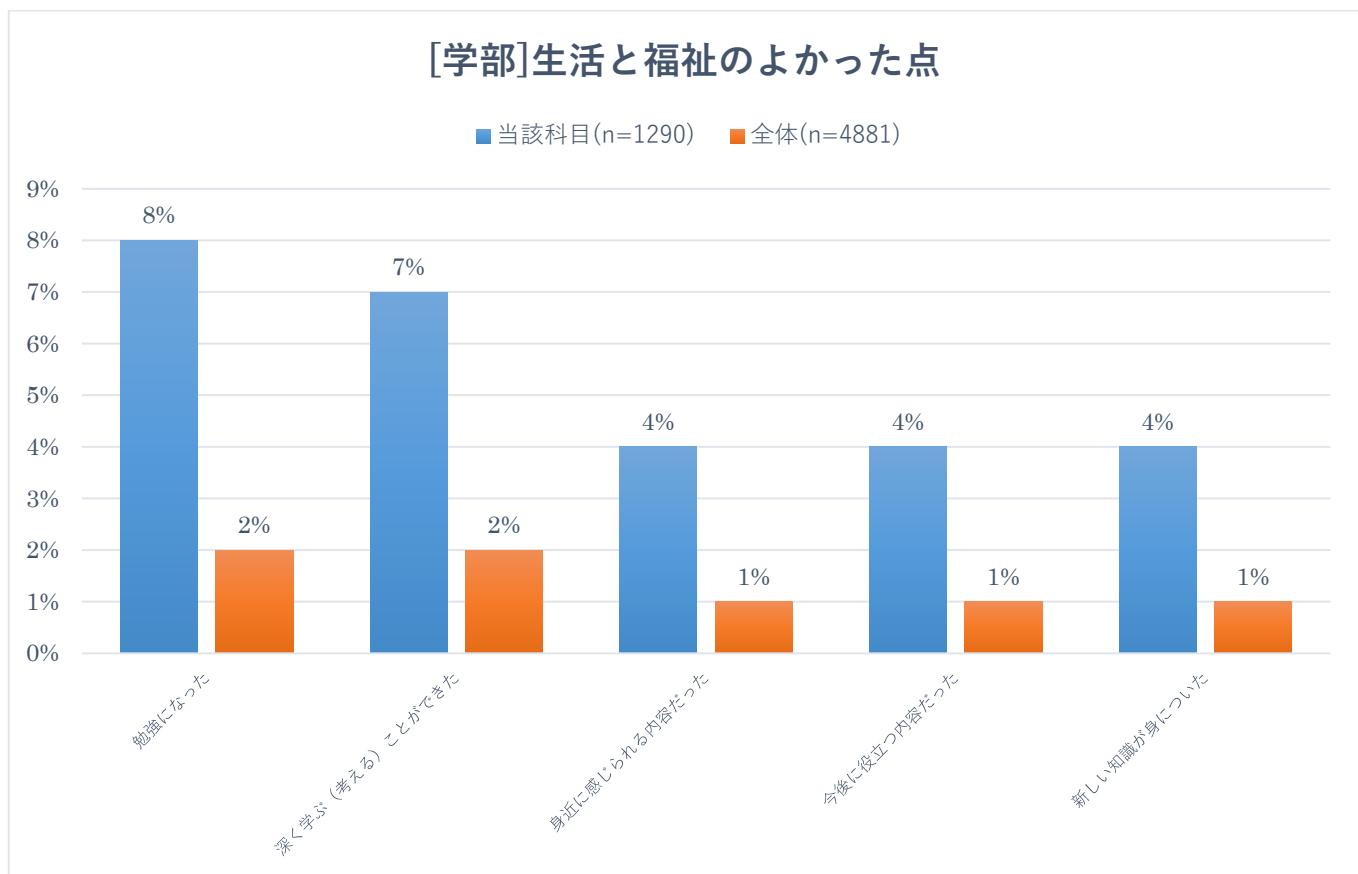
単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難易度を下げるべき		1	1

【学部】「生活と福祉」の傾向

よかった点

「勉強になった」が8%と最も高かった。また、「深く学ぶ（考える）ことができた」も7%と高かった。他では、「身近に感じられる内容だった」、「今後に役立つ内容だった」、「新しい知識が身についた」などが4%で続いていた。

図3-5 【学部】よかった点

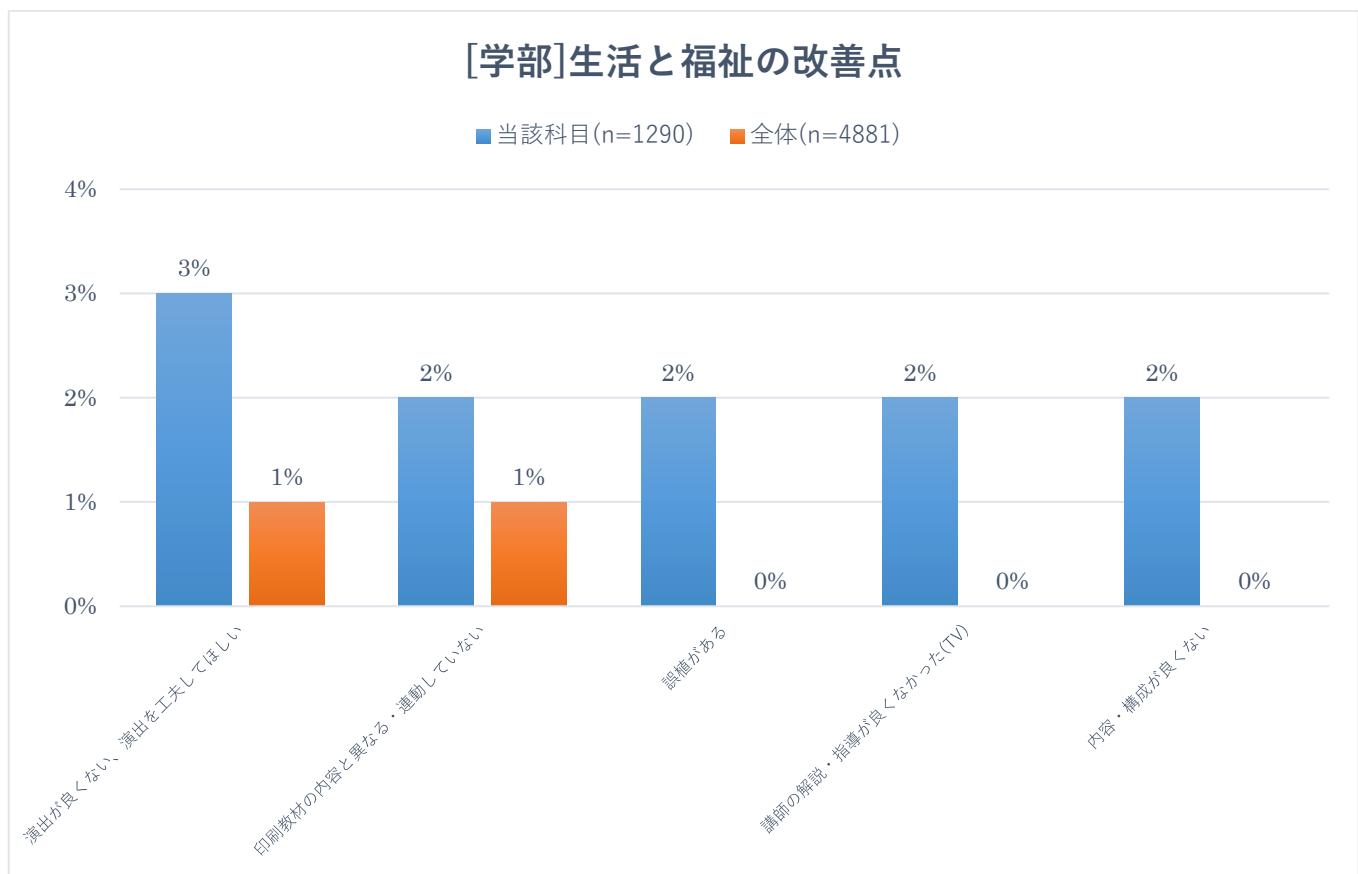


【学部】「生活と福祉」の傾向

改善点

「演出が良くない、演出を工夫してほしい」(3%)が最も高かった。他では、「印刷教材の内容と異なる・連動していない」「誤植がある」、「講師の解説・指導が良くなかった(TV)」、「内容・構成が良くない」がそれぞれ2%で続いていた。

図3-6 【学部】改善すべき点



【学部】「生活と福祉」 抜粋

よかつた点

- 健康や個人と社会の関わりなど、重要であることだけ認識していて内容については日常的な感覚で捉えることに終始していた要素が概念化され、今後学習を深化させてゆきたい分野であると考えることができるようになりました。また内面的・精神的な要素をどのように定量的に把握するか等、他分野への応用も可能な基本的な視点も得ることができました。ご指導誠にありがとうございました。
- 健康科学の分野にはもともと興味を持っていたので、健康について社会的な視点から深められたのがとても良かった。
- 基礎を復習できる
- 第3章社会によりもたらされる健康のコラムアベセダリアン・プロジェクト、第6章ストレスとともに生きるの良質な人生の重要性（メモをして冷蔵庫の隅に貼りました）、第13章医療化と健康の医療化には光と影の側面があることなど、受講してよかったです。
- 健康に掠る社会的な総論を学べ他店。
- 良かった点という内容ではないが、病気など新しいとらえ方を学んだ。例えば、病気の経験であるとか、役割を生きるなど、自分の経験ではない表現方法だった
- 健康問題などに対する興味が深まった。
- 看護専門学校を卒業した後に行われた研究の結果や論文の引用など、新しいデータや情報、知識を得ることができた。もっといろんな科目を学んでみたいと感じる。
- 社会になかで生きていくこととは、健康とは、とても興味のある内容で、何となく知っていたことはあっても講義の中でより詳しい解説のおかげで、そういうことだったのかと理解を深めることができたこともあり、自分が生きていく中で糧となる材料を見つけられた内容だった。
- 健康と社会の関わりについて、深く掘り下げることができました。健康そのもののについての考え方、見方が変わりました。
- 自分の関心と近い健康についての新しい知識を得られた。
- 現在の医療やその課題や問題点などについて、自身の中でアップデートできたこと
- 今まで健康であることは個人の環境、努力によるものと漠然と考えていた。健康とは何かということを深く考えたことはなかった。この科目はそもそも健康とは何かという定義から始まり、健康についての考え方について学ぶ事ができた。健康の定義、予防や格差、差別や偏見その他の社会的な面から考えていく健康について学び、健康と言っても多角的な視点から見ることの必要性を知った。国内の保険医療制度以外に海外の医療制度についても学ぶことができて勉強になった。個人的には保険医療の専門家と患者の力、医療化の光と影について興味深く学ぶことができた。この科目を受講し健康と社会を関連づけて考えることで視野が広がったと感じている。
- 現在までの健康政策の取り組みと今社会や個人が求められている事、健康に対する考え方の幅が広がった。私は健康への探求も受講していたので、関連性がありより分かりやすかったです。先生の提出問題や自習問題が沢山あり少し辛いと思いましたが受験する時は問題数も少なくて楽に感じる事が出来ました。でもきちんと勉強をしていないので結果は不安です。
- 1学期に複数科目を学習していましたが、その中でもとりわけ、「健康と社会」「公衆衛生」がとても興味深かったです。健康と社会はじっとしたまま聴いていると歩かなきゃという気分になるので夕食後ウォーキングをしながら視聴していました。先生の声も聞きやすく、またゲストインタビューの回も学びが深りました。
- 健康に生活するために病気の予防に力をいれていることが良く分かった。
- 健康への力の探求の授業内容と関連するところがあって理解が深めることができて良かったです。

【学部】「生活と福祉」抜粋

改善点

- 意外とラジオ科目で映像がない中でもわかりやすかったと思うが、改善できる点が見つかればその都度、よくしていただきたい。
- 教材として使用したのが、ほぼ印刷教材だった。ラジオは画面が黒いため眠気を誘ってしまう。テレビも45分ではあるが、単調な語りだと飽きが来る。ゲストがいる場合より一人で抗議されるときは、単調になると飽きてしまう
- 印刷教材の内容の中で、これは重要なのは？と感じた部分が放送では省略されていたり、ゲストの方のお話の割合が少し多いかな？と感じた放送回があった。(第7章、第14章)
- 視聴を途中で中断せざるを得ない場合、区切り地点を迷いました。
- 今の内容と構成で十分と思いました。
- やっぱりテレビ科目の方がいいなあと思ってしまいました。
- 教科書を読むだけではなく、重要なところや覚えておくべきところを伝えてほしいです。
- テレビ授業の方がロケやインタビューなどを取り入れると、理解が深まると思う。
- ロケゲストの方々の話しがもっとあってもよかったです。
- ラジオ放送よりテレビ放送で視聴したいです
- 興味のある授業でしたがラジオでしたので映像があった方がもっと理解しやすかったと思います。
- ほぼ印刷教材を読み上げているだけなのは残念だと思った。
- 他の科目『死生学のフィールド』などと一緒に学習したのである事柄に対してはどちらの科目で学習したのか混乱してしまった。ゲストの話は理論を実践している人だけにとてもリアルで学ばせてくれるものがあるのでわずかな時間であってもゲストのような人の話の時間を入れてほしい。
- ラジオ授業全般の話になるかもしれないのですが、やはり音声だけだとゲストとの対談など伝わりにくい部分もあるように感じます。
- 文章的な説明は印刷教材にて行い、放送授業としてはよりロケ、ゲストによる構成部分を増やしていただきたいと感じた。
- イラストや図などをさらに多用し、映像にないビジュアル的な資料で理解をさらに深めさせるとよい、と感じた。
- 図や写真をもっと増やしてほしい。グラフは適切な量だった。
- 図表の文字が小さくて見にくい、黒塗りの中の文字が読み取りづらいです。
- ゲストを迎えての授業は興味を増す内容であった。
- ゲストがいる方が理解が深まる
- ラジオでも良いがテレビの方がリアリティがあって良いと思う。医師のインタビューや患者の話は表情を確認しながらできるとより理解が深まると思いました。
- 図解や図表がもう少しあればと思いました。
- このままラジオで良いと思いますが、ゲストや取り上げる問題が偏っていると感じた。
- 単位認定テストの解答について5問の内の2つ選べの形式であり、2問共正解でないと点がもらえず、見直しの時間がなくなった。この形式の変更を望む。

【学部】「生活と福祉」

よかった点

(単位：人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった		108	108
深く学ぶ（考える）ことができた		90	90
身近に感じられる内容だった		55	55
今後に役立つ内容だった		50	50
新しい知識が身についた		50	50
興味・関心が持てた		32	32
視野が広がった		29	29
現在の課題や身近な問題点を学べた		20	20
学習意欲・知識欲がわいた		19	19
自分の意見・考えを持てるようになった		13	13
具体的な事例、実践的な内容があった		12	12
最新の情報・研究が学べた		12	12
体系的に学べた・理解できた		12	12
知識の整理に役立った		12	12
科目中、特に理解でき良かったと思う内容があった		11	11
内容・構成が良かった（科目全般）		9	9
自分の知識不足、学習不足を自覚できた		7	7
内容・構成が良かった		6	6
理解しやすかった		5	5
楽しかった		4	4
受験・資格取得に役立った		4	4
基礎的な知識が得られた		3	3
専門的な内容だった	2		2
難易度・分量が適切だった		2	2
引用・参考文献・補助教材・問題集、アプリの紹介が良かった	1		1
自分のベースで勉強できた		1	1
全体として満足している		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
理解しやすかった	5		5
手元に置き、今後も読みたい内容だった		2	2
良い教材だった		2	2
内容・構成が良かった	1		1
様々な事例、具体的な事例が学習に役立った	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
記述式が良かった		1	1
指導内容・コメント・対応が良かった	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった		21	21
講師が良かった	7		7
講師の解説が分かりやすかった		7	7
良い授業だった		7	7
講師の熱意・熱心さが伝わった		6	6
図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった		6	6
理解しやすかった（放送授業）		6	6
講師の話しが良かった、声が聞き取りやすかった	5		5
対談形式の授業が良かった	5		5
ゲストを招いた授業が良かった、ゲストの話が良かった	3		3
印刷教材とのバランスが良かった	3		3
授業各回の内容・構成が良かった		2	2
アシスタント・聞き手・ナビゲーターが良かった	1		1
科目全体の内容・構成が良かった	1		1
楽しかった	1		1

【学部】「生活と福祉」

改善点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
例題・練習問題を増やしてほしい	3		3
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	3		3
幅広い視点でのカリキュラム編成をしてほしい	3		3
難しかった	7		7
内容の詰め込みすぎ		4	4
内容にまとまりがない(R)		2	2
内容にまとまりがない(TV)	1		1
内容が浅い	1		1
内容が専門的で難しかった	2		2
内容が基礎的で物足りなかった	1		1
内容・構成が良くない(TV)	10		10
内容・構成が良くない(R)		1	1
単位数の多い科目を増やしてほしい	1		1
授業科目案内は内容が不十分だった(TV)	3		3
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい(TV)	1		1
最新の内容を講義してほしい		1	1
講義内容と科目名に乖離がある		1	1
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい		2	2
関連する科目・基礎科目を開設してほしい		1	1
科目の分類に疑問がある	2		2
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	11		11
ジェンダー平等の精神がない、不足している	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
例題・練習問題を増やしてほしい	2		2
例題、演習問題を解きながら解説してほしい	2		2
理解しにくい(R)		1	1
理解しにくい(TV)	1		1
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	1		1
聞き手が良くなかった、講師と合わなかった	7		7
聞き手がいた方が良い	4		4
文字が読みづらい	3		3
内容・構成が良くない	20		20
対談形式の授業の方が良い(R)		3	3
対談形式の授業の方が良い(TV)	1		1
双方向性が必要、オンライン科目にしてほしい	1		1
専門家の意見が聞きたい	2		2
声が聞き取りづらい	2		2
図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	6		6
図・表・写真・イラストを増やしてほしい(R)		11	11
図・表・写真・イラストを増やしてほしい(TV)	1		1
重要な情報はテロップ等で表示してほしい、長く表示してほしい	1		1
授業のテンポが良くない(早い・遅い)	1		1
授業に興味・関心が持てなかった		2	2
手話通訳、または字幕がほしい		3	3
字・図・表・写真・映像が見づらい	8		8
最初やチャプター等の変わり目の音楽、効果音等は不要	2		2
講師は1人の方が良い	1		1

講師の解説・指導が良くなかった(R)		7	7
講師によって授業のレベルが違う	2		2
講師・ナレーター・ゲスト等の話しが良くない、声が聞き取りづらい(TV)	6		6
講師・ナレーター・ゲスト等の話しが良くない、声が聞き取りづらい(R)		1	1
現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい	7		7
具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい	8		8
解説中の印刷教材のページが分かりにくい		4	4
演出が良くない、演出を工夫してほしい	40		40
印刷教材をもっと活用してほしい	2		2
印刷教材の内容と異なる・連動していない		32	32
印刷教材の形状が使いにくい		1	1
印刷教材と異なる講義が聞きたい		4	4
一講義の授業時間がよくない(長い・短い)	3		3
メディアの特性に合わない授業内容だった		2	2
ポイントがつかみにくい		1	1
テレビ科目にしてほしい(TV)	15		15
テレビ科目にしてほしい(R)		3	3
システム面の改善が必要	1		1
ゲストや別の講師を招いてほしい、増やしてほしい	14		14
ゲストや別の講師の話をもっといろいろ聞きたかった	4		4
ゲストとの対話が込み合っていない、単調	1		1
インタビューやゲストの話が多い、時間を取られる、教材と関係のない話は不要		3	3

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
練習問題等には詳しい解答や解説がほしい	2		2
理解しにくい（印刷教材）		4	4
放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい	6		6
放送授業の要約（まとめ）を載せてほしい（R）		2	2
放送授業の要約（まとめ）を載せてほしい（TV）	1		1
文字が読みづらい	3		3
難易度・分量が不適切だった	1		1
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる		4	4
内容・構成が良くない（印刷教材）	6		6
追加情報・追加教材がほしい	2		2
図・表・写真・イラストを増やしてほしい（TV）	4		4
図・表・写真・イラストを増やしてほしい（R）		1	1
図・表・写真・イラストが見づらい		1	1
色刷りにしてほしい	11		11
詳細な解説がほしい	5		5
重要な言葉は太字や斜体、アンダーライン等わかりやすくしてほしい	1		1
索引を充実させてほしい		1	1
誤植がある		22	22
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	4		4
DVD・CD、模型等、付録の添付を考えてほしい	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
課題（問題）の解答・解答例・解説がほしい	1		1
指導内容・コメント・対応に不満がある	1		1
課題（問題）の解答・解答例・解説がほしい	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
問題数が多かった・範囲が広かった		2	2
難易度を下げるべき	4		4
通信指導や前学期と試験内容が同じだった	1		1
試験内容が授業・印刷教材・通信指導の内容と異なった	3		3
験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある		2	2
記述式、および記述に関して改善してほしい	1		1

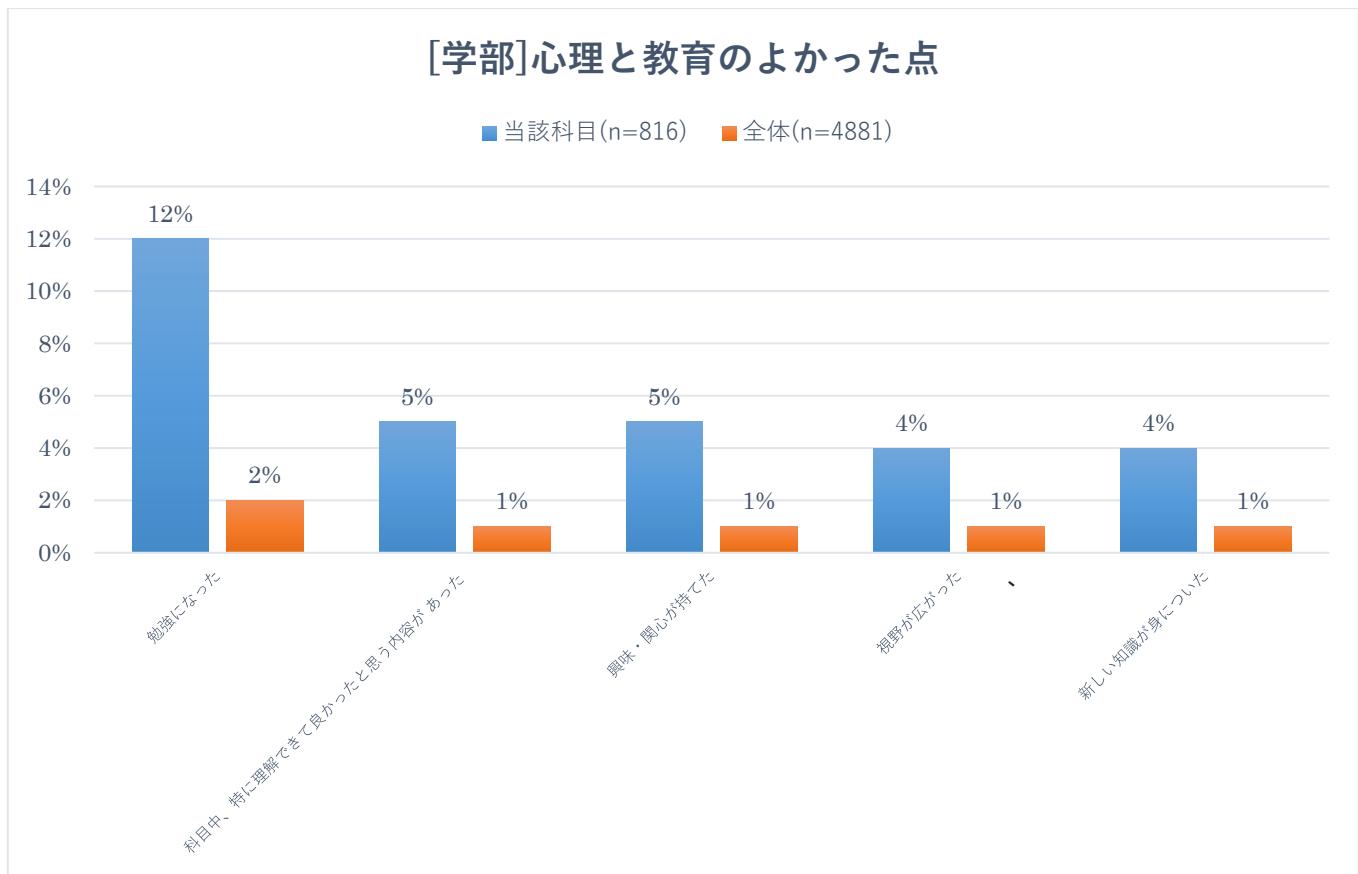
【学部】「心理と教育」の傾向

よかった点

「勉強になった」が 12% と最も高く、全体よりも大きく上回っていた。

他では「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」(5%)、「興味・関心が持てた」(5%)、「視野が広がった」、「新しい知識が身についた」(4%) などが続いていた。

図 3-7 【学部】よかった点



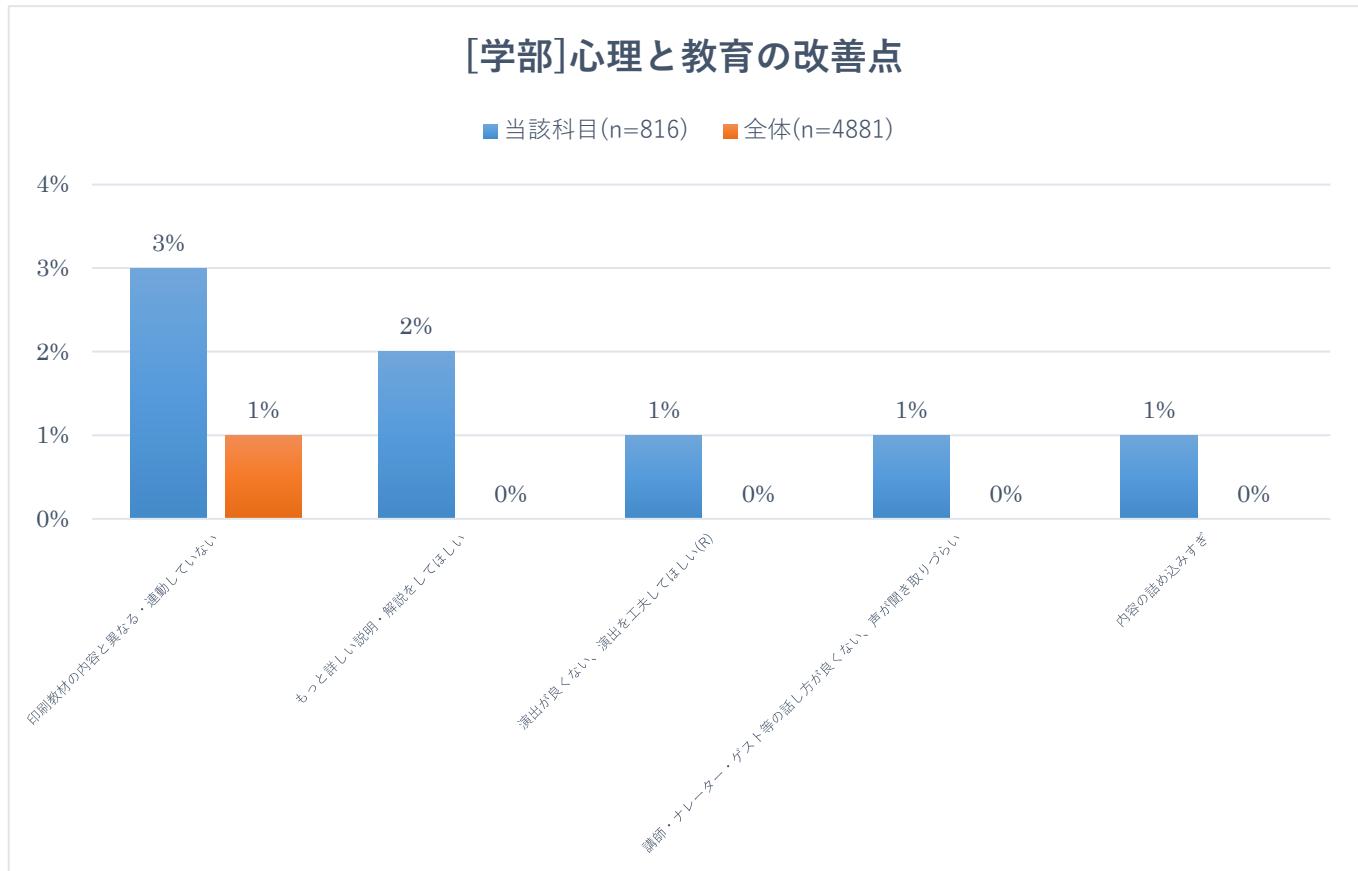
【学部】「心理と教育」の傾向

改善点

「印刷教材の内容と異なる・連動していない」(3%)、「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」(2%)が高く、全体を上回っていた。

他では、「演出が良くない、演出を工夫してほしい(R)」、「講師・ナレーター・ゲスト等の話し方が良くない、声が聞き取りづらい」、「内容の詰め込みすぎ」がそれぞれ1%で続いていた。

図3-8 【学部】改善すべき点



【学部】「心理と教育」 抜粋

よかつた点

- 進化論から人の心や行動を考える視点がとても興味深いものだった。「～である」と「～すべし」の混乱というのは、身近な日常生活においても、たびたび起こりうることだと思うので、意識的に考えるようにしようと思った。
- 「進化＝～すべき」ではないと知れたこと。職場で上司が言う男女の役割分担に疑問を感じていた。また、先生が、スーツ姿で表情を変えずに真顔で冗談や個人的な意見を言われるのがツボだった。また聞きたい。
- 十分に勉強した、とは言えないが、テキストを読めば読むほど面白い内容だった。
- 進化心理学というタイトルに興味を持ち受講しました。人の心の働きや行動、「～である」は「～すべし」と一致しないし「善い」というわけでもない。そのような事を今まで考えたこともなかったのでとても新鮮な学びができました。理論、実験検証、分析力と様々なテーマがあり、理解するのは大変でした。知識が増えました。
- 進化心理学を知るうえでの入門として適切な授業内容だった。
- すごく面白かった。
- 進化精神病理学等、興味をもっていたので、より基礎的なところが分かって、理解が深まった。やや十分に把握しきれないところもあったが、今後、他の分野を学んで行ったりするなかで、いろいろと役立つ知識が身についたと思う。
- 印刷教材はとても分かりやすい言葉遣いと説明でした。読むのが楽しかったです。自分には初めて目にする科目的名前でしたが、興味を覚えました。
- 生物学も進化論も、よく知らなかったので、知識が増えた。講師の説明も、わかりやすかった。
- 進化心理学というのが聞き慣れなかったのどんなものかと興味があってとりました。進化についての考え方も深まったと思いますし、どうあるべきかというのを考えさせてくれる内容でした。
- 興味ある内容で面白い授業でした。
- 進化学という生物の分野と心理学を接続する試みは面白かった。生物学や基礎医学の知識が役立った。
- 進化心理学を学ぶときには、その知見から一足飛びに価値判断をしないよう授業の中で何度も繰り返し念を押されていたのが印象に残っています。道徳的な対応だと「～である」と「～すべし」の混乱がおきている自分に気づかされました。
- ブログなどで注目していた領域のため基礎から学べてよかったです
- 心理学、人類学（ヒト学）を合体したような内容で、身近な話題が大きく発展するなど、ダイナミックな展開で大変楽しめました。
- これまで思いもよらなかった進化という視点から、人間の心理の成り立ちを知ることができた。
- 生物学と思っていた進化について、現代のヒトの行動に関係していることがわかり、不思議に納得がいった。適応的に進化してきたヒトが、人口転換し少子化へ向かっていることについて、未解決として説明があったことが学問としての面白さを感じた。
- 初めて知ることが多く、また身近な出来事との関連もある内容で大変面白かった。印刷教材が堅苦しくなく、優しく語りかけてくれるような文体でわかりやすく良かった。通信指導や単位認定試験の問題も適度な難易度で、なつかしく考えて作られているのが伝わった。

【学部】「心理と教育」抜粋

改善点

- ゲストが出演している講座は、実際の教育現場や施設の話が紹介されていて大変わかりやすいと感じる。
- 放送と印刷教材の内容が一緒なのは理解が深まりやすくていいと思うが、放送ならではの何かがあってもよかったかなあと思う。
- この前の設問には回答しているのですが、テレビやパソコンの前で視聴することがほとんどできませんでした。印刷教材での引き込まれる感じから、担当講師の方のお人柄や実際の画像を通しての対面授業に参加できなかったことを悔やんでおります。試験期間は終了しましたが学籍がある間に視聴したいです。
- 上記の質問B9のゲストに関しては出演の覚えがないのですが、なしでも十分丁寧な話で理解できました。
- 授業時間45分の15回で多くのことを詰込みすぎています。ですから、全てが中途半端な説明となっている。要点を絞りじっくりと説明して、学生が更に内容を深めたいと思う講義とし、自分で勉強に取り組むように導くようにすべきだと考えます。
- 参考文献をリンクしてもらったりすることができるとなおよい。また放送大学図書館にあるかないかも伝えてくれると親切。
- 科目や先生のお話は大変興味深く面白かったのですが、比較対照をする部分について抑揚があると理解のスピードが上がるのではないかと感じました。
- 大坪先生の表情が一定なので変化がほしい
- もっと社会心理学、や微生物・遺伝子・人類学などの分野の先生と交流するような展開も学問のダイナミクス(?)を表現する上で良いのではないか、と思いました。とにかく複数の科目を縦断するような学問であると感じました。
- 語り口も内容も良かったと思う。特に改善すべき点は思い浮かばない。
- B-8、B-9の設問でロケ、ゲストや聞き手がないので「あてはまらない」を選択した。先生の説明がわかりやすかったため、図表等の工夫はこれ以上必要ないと思う。
- インターネット配信に字幕をつけてほしい
- 講師の先生が内容をまとめられるときに、その要点を文字で表示してあるともっとわかりやすいかと思います。
- 講師の説明（音声）だけでも十分に理解できたので気にならなかったのですが、図表や映像の印象があまり残らなかったので、せっかくのテレビ放送なのでもう少し視覚から入る情報が目立っても良いのではと感じました。
- ある用語やキーワード、概念の説明のために、アニメーションや動画など動きのある視覚的教材を用いると、内容をより具体的／直感的に理解できるのでは、と思われる箇所があった。
- 放送授業において、印刷教材の補足的な図表などを適切に使われていたと思います。
- 至近要因と究極要因についての説明がわりとあっさりとしていたが重要な概念であることが感じられたので、もうすこし強調していただけると有り難いです。また、ハミルトン則についてはもう少し深く学習したかった。
- 改善すべき点は無く、1人でお話しさするのも、ひとつの演出として良いと思った。
- 色々な側面から進化心理学の内容を講義してくださっているので、広い視野を持って知識の習得や考察が得られる反面、多面的だからこそもう少し図解や表など視覚的にわかりやすいものがあった方が、より理解しやすいと感じました。また、質問をする聞き手をおくなどして、対話形式な部分があってもわかりやすく、講義内容をより身近な自分の実生活に落としこんだものとして捉えられるのではと思います。
- 画像は、印刷教材がモノトーン主体なので、放送内ではカラー画像がいい。

【学部】「心理と教育」

よかつた点

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった	100		100
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	41		41
興味・関心が持てた	37		37
視野が広がった	36		36
新しい知識が身についた	33		33
深く学ぶ（考える）ことができた	18		18
学習意欲・知識欲がわいた	16		16
今後に役立つ内容だった	14		14
楽しかった	12		12
身近に感じられる内容だった	8		8
体系的に学べた・理解できた	8		8
知識の整理に役立った	8		8
理解しやすかった	7		7
内容・構成が良かった（科目全般）	6		6
自分の意見・考えを持てるようになった	5		5
基礎的な知識が得られた		3	3
具体的な事例、実践的な内容があった	3		3
現在の課題や身近な問題点を学べた		3	3
受験・資格取得に役立った	3		3
内容・構成が良かった	3		3
最新の情報・研究が学べた		2	2
自分の知識不足、学習不足を自覚できた	2		2
全体として満足している		2	2
引用・参考文献・補助教材・問題集、アプリの紹介が良かった	1		1
科目の学問的性質、位置付けが分かった	1		1
専門的な内容だった	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
良い教材だった	4		4
読み物として面白い内容だった	2		2
理解しやすかった	2		2
引用・参考文献・アプリの紹介が良かった		1	1
学習内容の理解・整理に役立った		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師が良かった	7		7
講師の解説が分かりやすかった	6		6
理解しやすかった（放送授業）	5		5
良い授業だった	5		5
印刷教材とのバランスが良かった	4		4
楽しかった	4		4
講師の熱意・熱心さが伝わった	3		3
講師の話し方が良かった、声が聞き取りやすかった	2		2
図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった	2		2
ポイントがつかみやすかった	1		1
現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
指導内容・コメント・対応が良かった	2		2

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難易度が適切だった	1		1

【学部】「心理と教育」

改善点

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	11		11
内容・構成が良くない(TV)	10		10
難しかった	7		7
内容の詰め込みすぎ		4	4
例題・練習問題を増やしてほしい	3		3
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	3		3
幅広い視点でのカリキュラム編成をしてほしい	3		3
授業科目案内は内容が不十分だった(TV)	3		3
内容にまとまりがない(R)		2	2
内容が専門的で難しかった	2		2
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい		2	2
科目の分類に疑問がある	2		2
内容にまとまりがない(TV)	1		1
内容が浅い	1		1
内容が基礎的で物足りなかった	1		1
内容・構成が良くない(R)		1	1
単位数の多い科目を増やしてほしい	1		1
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい(TV)	1		1
最新の内容を講義してほしい		1	1
講義内容と科目名に乖離がある		1	1
関連する科目・基礎科目を開設してほしい		1	1
ジェンダー平等の精神がない、不足している	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
演出が良くない、演出を工夫してほしい	40		40
印刷教材の内容と異なる・連動していない		32	32
内容・構成が良くない	20		20
講師の解説・指導が良くなかった(TV)	20		20
テレビ科目にしてほしい(TV)	15		15
ゲストや別の講師を招いてほしい、増やしてほしい	14		14
図・表・写真・イラストを増やしてほしい(R)		11	11
字・図・表・写真・映像が見づらい	8		8
具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい	8		8
聞き手が良くなかった、講師と合わなかった	7		7
講師の解説・指導が良くなかった(R)		7	7
現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい	7		7
図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	6		6
講師・ナレーター・ゲスト等の話し方が良くない、声が聞き取りづらい(TV)	6		6
聞き手がいた方が良い	4		4
解説中の印刷教材のページが分かりにくく		4	4
印刷教材と異なる講義が聞きたい		4	4
ゲストや別の講師の話をもっといろいろ聞きたかった	4		4
文字が読みづらい	3		3
対談形式の授業の方が良い(R)		3	3
手話通訳、または字幕がほしい		3	3
一講義の授業時間がよくない（長い・短い）	3		3
テレビ科目にしてほしい(R)		3	3
インタビューやゲストの話が多い、時間を取られる、教材と関係のない話は不要		3	3

例題・練習問題を増やしてほしい	2		2
例題、演習問題を解きながら解説してほしい	2		2
専門家の意見が聞きたい	2		2
声が聞き取りづらい	2		2
授業に興味・関心が持てなかった		2	2
最初やチャプター等の変わり目の音楽、効果音等は不要	2		2
講師の熱意が伝わらない		2	2
講師によって授業のレベルが違う	2		2
印刷教材をもっと活用してほしい		2	2
メディアの特性に合わない授業内容だった		2	2
理解しにくい(R)		1	1
理解しにくい(TV)	1		1
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	1		1
対談形式の授業の方が良い(TV)	1		1
双方向性が必要、オンライン科目にしてほしい	1		1
図・表・写真・イラストを増やしてほしい(TV)	1		1
重要な情報はテロップ等で表示してほしい、長く表示してほしい	1		1
授業のテンポが良くない（早い・遅い）	1		1
講師は1人の方が良い	1		1
講師・ナレーター・ゲスト等の話し方が良くない、声が聞き取りづらい(R)		1	1
印刷教材の形状が使いにくい		1	1
ポイントがつかみにくい		1	1
システム面の改善が必要	1		1
ゲストとの対話がかみ合っていない、単調	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
誤植がある		22	22
色刷りにしてほしい	11		11
放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい	6		6
内容・構成が良くない（印刷教材）	6		6
詳細な解説がほしい	5		5
理解しにくい（印刷教材）		4	4
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる		4	4
図・表・写真・イラストを増やしてほしい（TV）	4		4
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	4		4
文字が読みづらい	3		3
練習問題等には詳しい解答や解説がほしい	2		2
放送授業の要約（まとめ）を載せてほしい（R）		2	2
追加情報・追加教材がほしい	2		2
放送授業の要約（まとめ）を載せてほしい（TV）	1		1
難易度・分量が不適切だった	1		1
図・表・写真・イラストを増やしてほしい（R）		1	1
図・表・写真・イラストが見づらい		1	1
重要な言葉は太字や斜体、アンダーライン等わかりやすくしてほしい	1		1
索引を充実させてほしい		1	1
DVD・CD、模型等、付録の添付を考えてほしい	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
課題（問題）の解答・解答例・解説がほしい	1		1
指導内容・コメント・対応に不満がある	1		1
課題（問題）の解答・解答例・解説がほしい	1		1

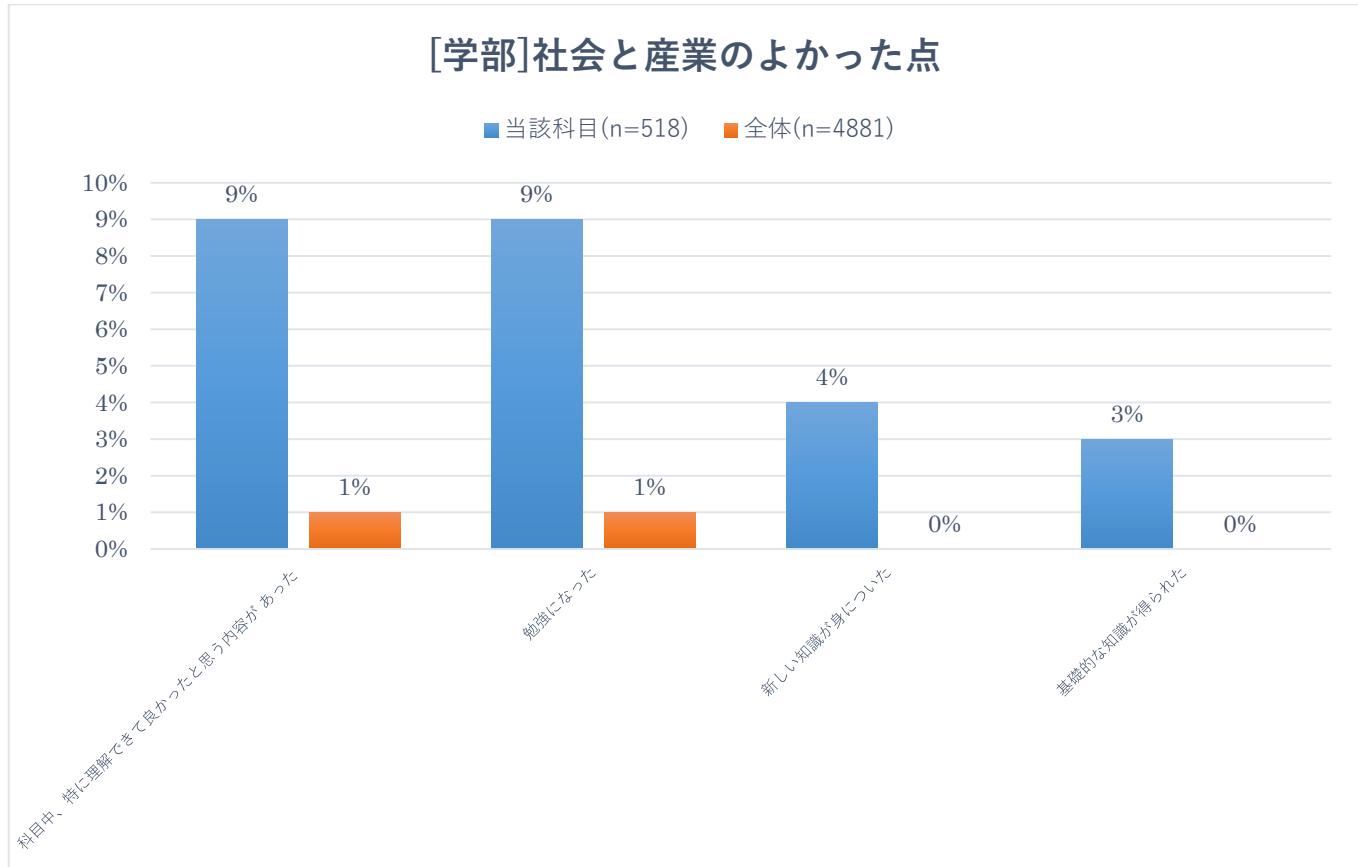
単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難易度を下げるべき	4		4
試験内容が授業・印刷教材・通信指導の内容と異なった	3		3
問題数が多くた・範囲が広かった		2	2
験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある		2	2
通信指導や前学期と試験内容が同じだった	1		1
記述式、および記述に関して改善してほしい	1		1

【学部】「社会と産業」の傾向

よかった点

「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」(9%)、「勉強になった」(9%)、「新しい知識が身についた」(4%)、「基礎的な知識が得られた」(3%) の順で続いていた。

図3－9 【学部】よかった点



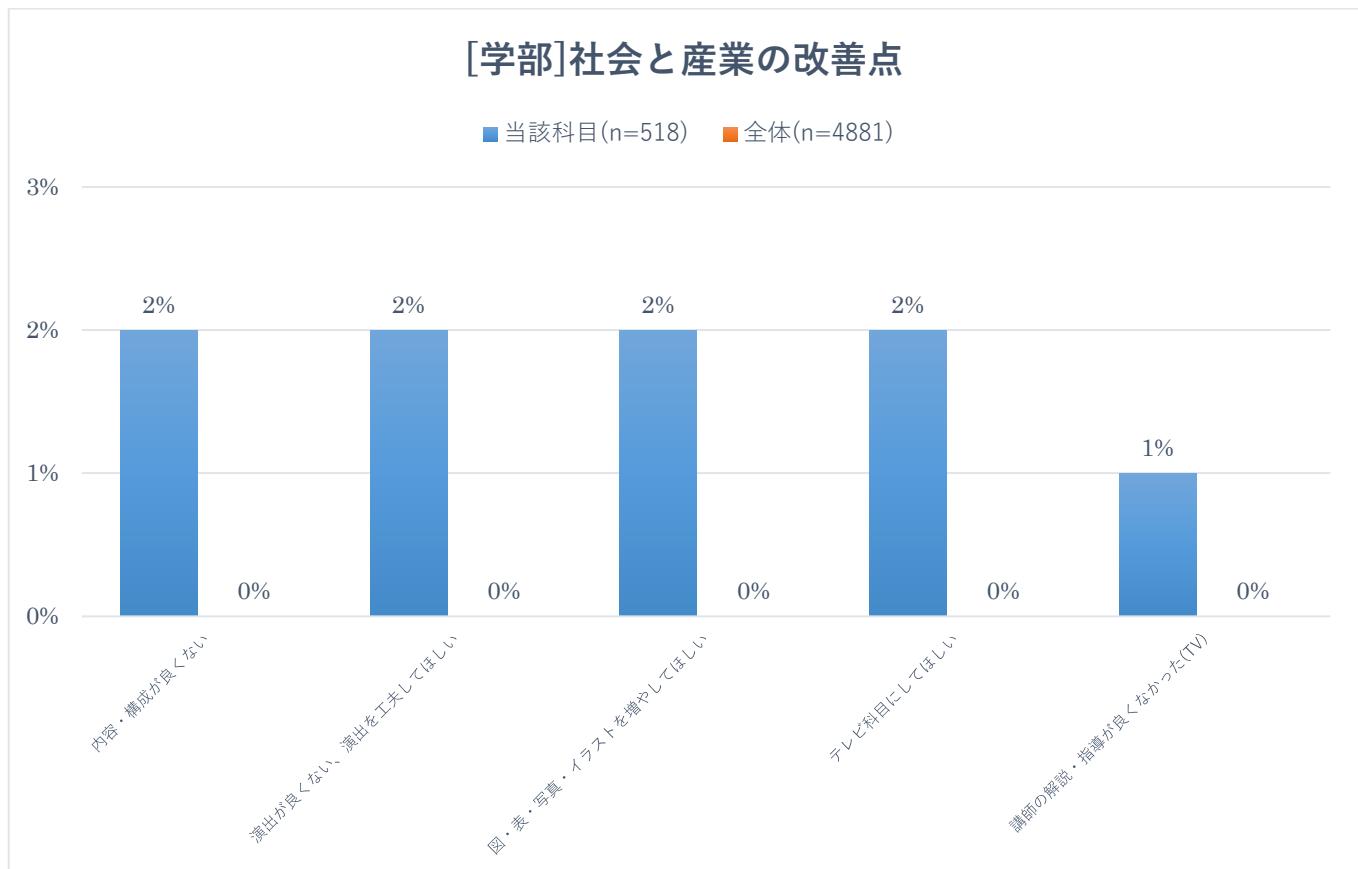
【学部】「社会と産業」の傾向

改善点

「内容・構成が良くない」「演出が良くない、演出を工夫してほしい」「図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい」「テレビ科目にしてほしい」が2%であった。

他に、「講師の解説・指導が良くなかった（TV）」が1%で続いていた。

図3-10 【学部】改善すべき点



【学部】「社会と産業」抜粋

よかつた点

- 法律のことが、わかりやすく解説されており、テキストと放送授業でとても理解しやすかった。
- 法学の入門とはいえ、難しい内容だったが法学に興味を持つ事が出来た事がよかつた。
- 知らなかった法律の基礎について知ることができた。
- 法学を学ぶ入門に多大に役立った。
- 章立て、教材等すべてがよく考えられていて、少し難しかったが何度も聞き直して楽しく学ぶことができた。講師は学生の素朴（すぎる）な質問にも誠実に答えて下さり、設問のとおり「この科目を受講してよかつた」と思う。講師に感謝したい。
- 法についてそれほど難しくは無かったことから、初心者にも理解できるように説明・記載されていたので良かったと思う。
- 法学系の入門講座で法律への理解・知識を拡大し深化できた点が良かった。法学入門書としてよくできた教材であったことは評価したい。
- 法令用語について学べたことが、他の勉強にすぐに役立てることができました。
- 法についての基礎的なことを理解できたと思えること
- 法学の基礎的な内容を広く知る機会になった点。
- 法律を学ぶ上での基礎的な知識を身に着けることができた。
- 帰納的知識整理と演繹的史的評価の2点
- 普段の生活では、知識として学ぶ機会がない法律について知ることができた点
- 法学入門の名前通り、難しい部分は少なかった。基本的なところを理解するのに適していたと思う。
- 今迄法律の入門のような科目がなかったので基本的なことがわかってよかつた
- 法律用語や法律の種類の違いが理解できた
- 心理学を専攻中で法学はあまり関係がないと思っていたが、心理臨床における法・倫理制度や司法・犯罪心理学を受講する上で、法学の基礎知識を学んでいるといないとではだいぶ見方が違うのではないか、関連する所は多いと認識できた。
- 関心があるものの敷居が高かった法律について、気負わずに学ぶ機会が得られたこと。私としては、過去に資格取得のために法律を学んだ際、基礎知識の不足を強く感じた経験があり、今回の受講で当時の不明点がいくつか解消されました。
- 改めて法学を学習する機会を得た
- 法律科目の基本的な事項を学習できた点。市販の法律の基本書も所有していますが、条文読み方や独特な用語の説明などを知る良い機会となりました。
- 入学するきっかけは法律の勉強ができる事であった。放送教材、授業放送も興味持てる内容であった。
- 日常用語と意味が異なる法令用語について理解を深めることができた。
- 第10章裁判制度の概要がとても面白く、興味深い内容でした。
- 法令の体系、構成を理解することができた。
- 国民としての基本であるが、これまで知らずに人生を過ごしてきたが、目から鱗の内容が多かった。
- 会社員なので後半の就業規則や会社法などは割と学ぶ機会があるが法律についてはかなりの期間が開いていて学び直しが新鮮でした。
- 法令用語や解釈について、知らなかったことが少し理解できたと思う

【学部】「社会と産業」抜粋

改善点

- 放送授業内容が淡々と教科書の内容を読み進めていくもので映像も無いため、教科書を読むだけの学習方法と大差ない気がした。
- あわ良くばテレビ視聴になればゲストの講義も含めより分かりやすくなるのでは。
- ゲストが説明する部分が多くあったが、それによって細部がよく理解できた。ただ、その説明の際に教材のどの部分を参考にして聞けばよいのか途中まで聞いて初めてわかるということがあったので「○○ページを参照しながら聞いてください」等指示があるとありがたい。
- テキストの内容を部分的にもう少し分かりやすく記載していると良い。
- 放送教材の誤植が多かった。これだけの内容なら講師本人だけの校正では間違いも多発するだろう。出版元の校正責任はないのか？
- ゲストの方のはなしと印刷教材とのつながりが分かりにくいくことがある
- ほとんどの授業が「教科書の読み上げ」に終始していたのが残念だった。ゲストが来られる回も、一問一答あるいは一方的に話す形だったので、講師とゲストのアクティブな対話行われたり、印刷教材と放送教材とがより補完し合う形であるとなおよかったです。
- ラジオ講座では教材を読んでいる感が否めない。引き込まれるような演出があればよいと思う。
- テキストをそのまま読んでいる部分が多く、もう少し工夫が有っても良かったのかなと思う。
- 地方の風習などはあまり言わないほうがいいのではないか。水引の黄白は私の住んでいるところと講義で言っていることと違います。
- 表、図形を多用した方がわかりやすい。
- ラジオ科目ですが講師の先生の声がとてもハキハキとしていて聞き取りやすかったです。15回目の後半では全15回の放送授業のポイントが説明されて、そちらをしっかりと押されたことにより単位認定試験の問題も解きやすかったです。
- 印刷教材の間違いが多すぎる。とても教科書とは思えない。担当講師は専門分野の内容があまりわかっていないのではないか。テキストを執筆・確認する能力がないのなら、他の専門家に執筆をさせるか、講師を辞任すべきである。これは事実で誹謗中傷ではないので、確実に担当講師に伝えてほしい。
- ラジオ放送の授業では、専門用語が難しくて理解しにくかった。聞いてるだけでは用語がわからぬため、メモが取りにくかったです。
- 教材の読み上げに等しい講義なので、もっと工夫して欲しい。
- 道路交通法や労働基準法など、普段の生活に関わりの深い法について取り入れて頂いたら普段の生活にも法を意識できると思います。
- 放送授業はゲストのお話を除くと印刷教材のテキストの読み上げに終始している印象があった。放送授業と印刷教材で内容上の重点をすこし変えてもいいのかなと思う。
- 音声がものすごく聞き取りにくくつらかったので、教科書を読むだけなら自動読み上げソフトなどの導入を検討していただければ幸いです。
- 図表があるとわかりやすかったので、まとめられるものは図表を使うと良いと思いました。
- ラジオ科目は、音声によるので教材に制限があるので、テレビ科目にできれば変更することが望ましい。
- 講師の話が日本語として聴き取りにくい箇所があった。ゲストも活用していたが講義全体をお任せする複数講師制でも良かった。

【学部】「社会と産業」

よかったです

(単位: 人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった		47	47
勉強になった		45	45
新しい知識が身についた		21	21
基礎的な知識が得られた		15	15
今後に役立つ内容だった		10	10
深く学ぶ（考える）ことができた		10	10
身近に感じられる内容だった		10	10
興味・関心が持てた		9	9
視野が広がった		8	8
学習意欲・知識欲がわいた	7		7
体系的に学べた・理解できた		7	7
自分の意見・考えを持てるようになった		6	6
自分の知識不足、学習不足を自覚できた	6		6
最新の情報・研究が学べた		5	5
知識の整理に役立った		5	5
内容・構成が良かった（科目全般）		5	5
内容・構成が良かった	4		4
現在の課題や身近な問題点を学べた		3	3
全体として満足している	3		3
難易度・分量が適切だった		3	3
理解しやすかった		3	3
具体的な事例、実践的な内容があった	2		2
引用・参考文献・補助教材・問題集、アプリの紹介が良かった		1	1
科目の学問的性質、位置付けが分かった	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
良い教材だった		2	2

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
良い授業だった		4	4
ゲストを招いた授業が良かった、ゲストの話が良かった		2	2
講師の熱意・熱心さが伝わった		2	2
図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった	2		2
理解しやすかった（放送授業）	2		2
印刷教材とのバランスが良かった		1	1
印刷教材と異なる内容で良かった		1	1
現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった	1		1
講師が良かった		1	1
講師の話し方が良かった、声が聞き取りやすかった		1	1
複数の講師の講義を聞くことができた	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
指導内容・コメント・対応が良かった		1	1

【学部】「社会と産業」

改善点

(単位：人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	5		5
内容・構成が良くない	4		4
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい		2	2
難しかった		2	2
内容が専門的で難しかった	2		2
授業科目案内は内容が不十分だった	2		2
最新の内容を講義してほしい	2		2
幅広い視点でのカリキュラム編成をしてほしい		1	1
内容の詰め込みすぎ	1		1
努力不足だった	1		1
資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい	1		1
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい		1	1
現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい	1		1
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	1		1
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	1		1
科目の分類に疑問がある	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容・構成が良くない	10		10
図・表・写真・イラストを増やしてほしい	9		9
演出が良くない、演出を工夫してほしい		9	9
テレビ科目にしてほしい		8	8
講師の解説・指導が良くなかった(TV)	7		7
具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい	6		6
印刷教材の内容と異なる・連動していない	5		5
図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	4		4
内容に誤りがあった	3		3
手話通訳、または字幕がほしい	3		3
講師・ナレーター・ゲスト等の話し方が良くない、声が聞き取りづらい		3	3
解説中の印刷教材のページが分かりにくい	3		3
印刷教材と異なる講義が聞きたい	3		3
ポイントがつかみにくい	3		3
システム面の改善が必要(R)		3	3
理解しにくい	2		2
聞き手が良くなかった、講師と合わなかった	2		2
声が聞き取りづらい	2		2
現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい		2	2
ゲストや別の講師の話をもっといろいろ聞いたかった	2		2
ゲストとの対話がかみ合っていない、単調	2		2
例題・演習問題を解きながら解説してほしい	1		1
放送授業中の資料・データ・ゲストの話を載せてほしい		1	1
文字が読みづらい	1		1
双方向性が必要、オンライン科目にしてほしい	1		1
専門家の意見が聞きたい		1	1
図・表・模型等のどこを指し示しているのかわからない	1		1
授業に興味・関心が持てなかった	1		1
字・図・表・写真・映像が見づらい	1		1
視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい		1	1

講師の解説・指導が良くなかった(R)		1	1
印刷教材をもっと活用してほしい		1	1
システム面の改善が必要(TV)	1		1
ゲストや別の講師を招いてほしい、増やしてほしい	1		1
インタビューやゲストの話が多い、時間を取られる、教材と関係のない話は不要	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容・構成が良くない（印刷教材）	2		2
DVD・CD、模型等、付録の添付を考えてほしい	1		1
文字が読みづらい	1		1
誤植がある	1		1
講師により内容にバラつきがある・解説が異なる	1		1
詳細な解説がほしい	1		1
色刷りにしてほしい	1		1
図・表・写真・イラストを増やしてほしい	1		1
追加情報・追加教材がほしい		1	1
理解しにくい（印刷教材）	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
課題（問題）の範囲・難易度・量が適切ではない	2		2
手書きでなくWeb提出を認めてほしい	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある	2		2
誤植があった、数字の誤りがあった	1		1
試験内容が授業・印刷教材・通信指導の内容と異なった	1		1
難易度を下げるべき	1		1

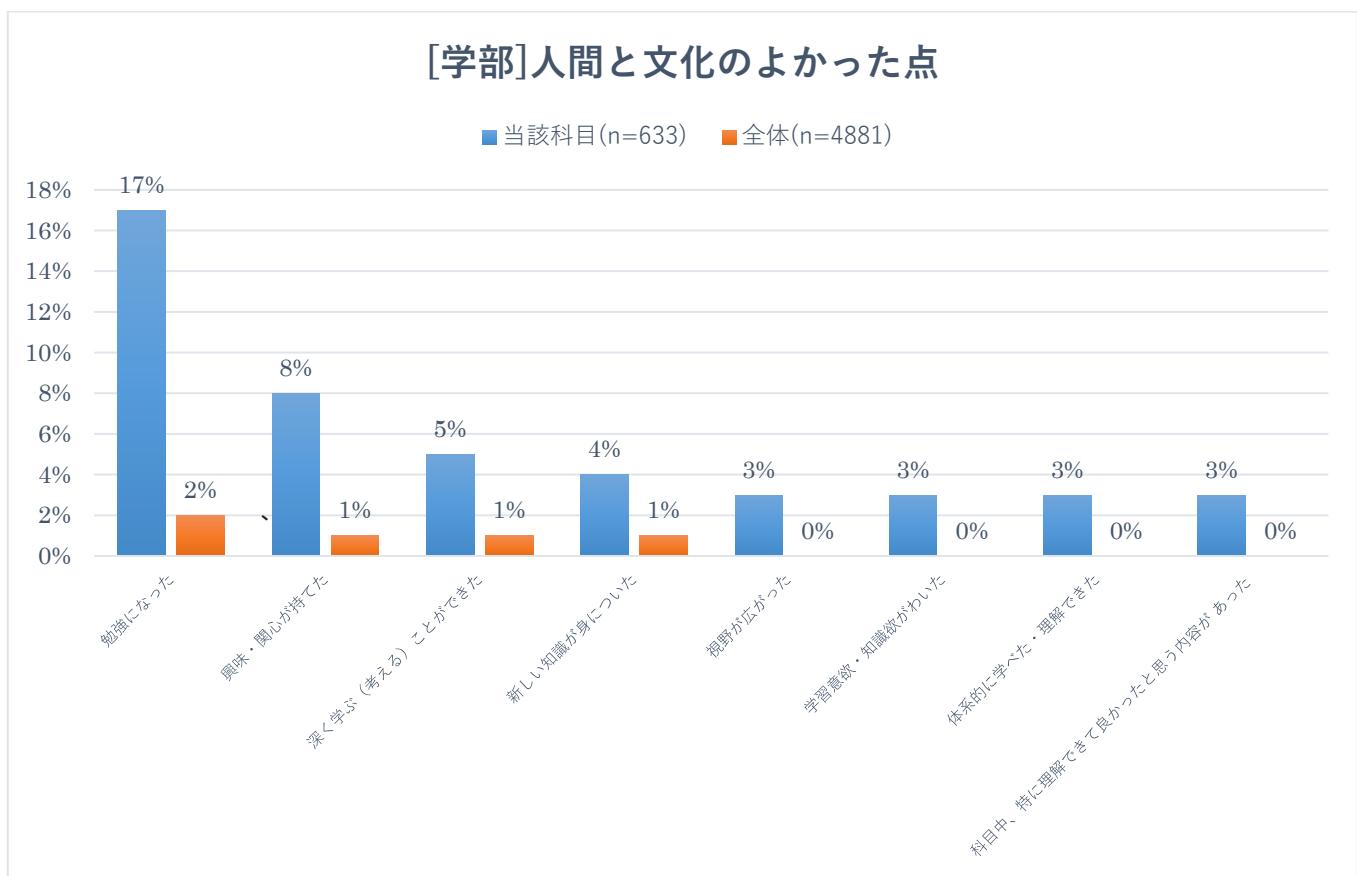
【学部】「人間と文化」の傾向

よかった点

「勉強になった」が1割を超えた。

他に「興味・関心が持てた」(8%)、「深く学ぶ（考える）ことができた」「新しい知識が身についた」などが4%以上で続いた。

図3-1-1 【学部】よかった点



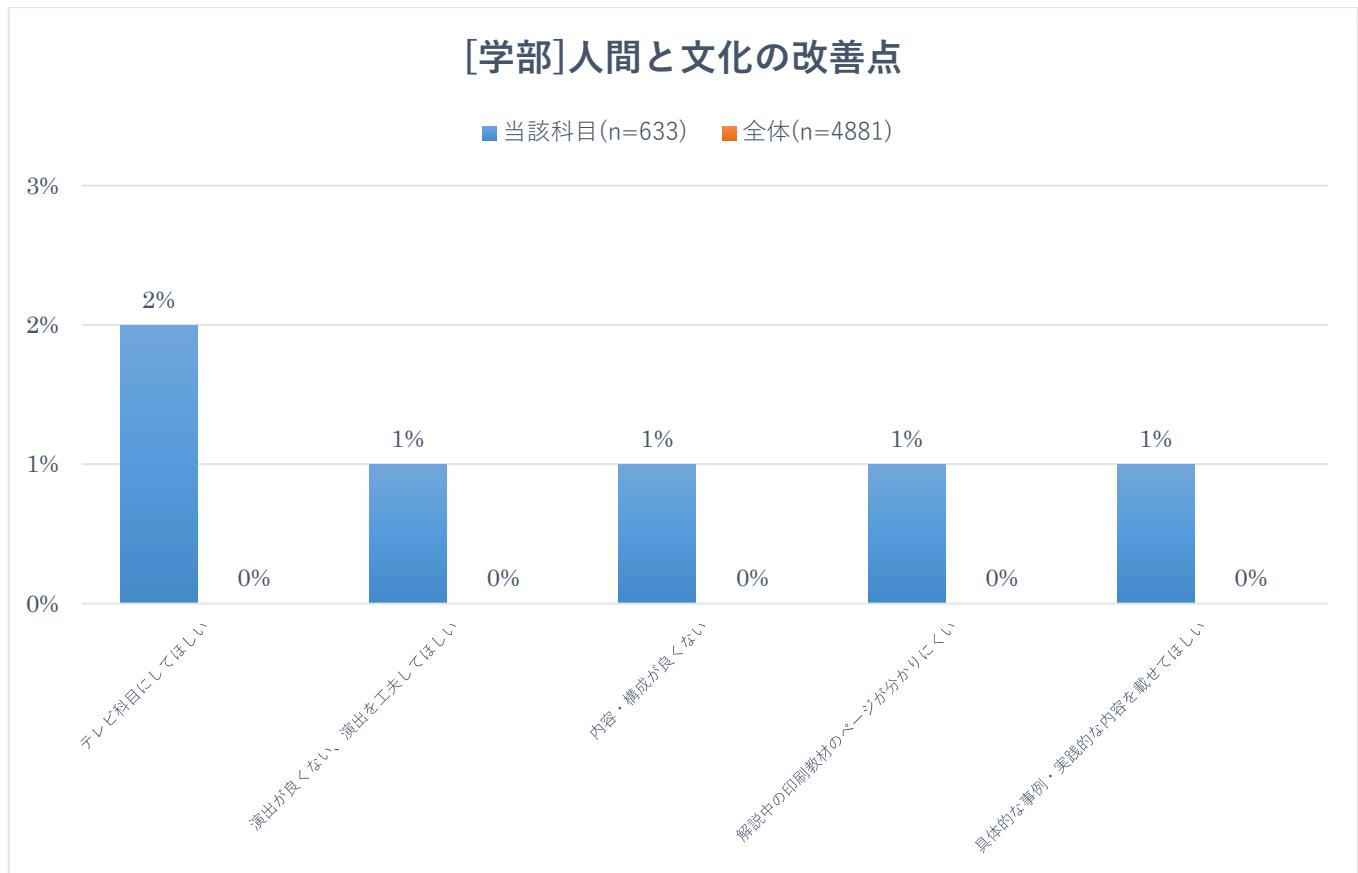
【学部】「人間と文化」の傾向

改善点

「テレビ科目にしてほしい」(2%)、であった。

他では、「演出が良くない、演出を工夫してほしい」(1%)、「内容・構成が良くない」(4%)、「解説中の印刷教材のページが分かりにくい」(1%)、「具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい」(1%)などがあげられていた。

図3-1-2 【学部】改善すべき点



【学部】「人間と文化」抜粋

よかったです

- 新規科目で最新の情報に基づいた内容だったのでよかったです
- 博物館の運営や展示方法等について理解が深まった
- 博物館で見る視点が増えた事
- コロナ以降の最新の現状等について知ることができ、よかったです。
- 博物館の多面的な役割について理解を深めることができた
- 博物館に対しての理解が深まった点。博物館にはよく行くが、今いままでとは見方が変わると思う。海外の博物館で行った所も出ていたので、背景が知れて面白かった。
- 博物館の裏側や博物館の岐路、見るだけじゃない博物館を知れた。
- 博物館の観る側ではない側から、様々な役割や、内容を知ることができ、今後、今までと違う視点で、鑑賞することができると思います。受講してよかったです。どの回も勉強になりましたが、15回の須賀川については、全く思ったことのない視点を学べて感謝しています。
- 今まであまり博物館や美術館に縁のない生活を送ってきました。敷居の高いものという印象でした。なので、これから先にチャレンジしたいと思い、本講義を受講しました。色々な面からたくさんの知識を得ることが出来ました。早速、美術館に行く予定を立てました。楽しみたいと思います。
- 地元の博物館には度々通っているが、この科目を履修することにより、博物館がどういう施設なのか、展示にどのような工夫を凝らしているかについて知ることで、今後の鑑賞をより深くすることができたように思う。
- 博物館の何たるかを、人生で考えたことがなかったので、受講して、まったくの新たな知識を得られたこと。
- 幅広い知識を得られた。
- 博物館に対する認識が改められた。
- 博物館には良く行くので、これからも展示方法など視点を変えて見てみたいと思う反面、年齢的にもう少し早くに会いたかったと残念に思う。
- 何気なく出かけていた博物館、美術館の運営について知ることができました。また、展示の良し悪しは学芸員の皆様の熱意と工夫によるところが大きいことも理解しました。今後博物館や美術館を訪問した時には展示資料の見方がなるよう思います。どうも日本という国は博物館学に限らず学問の基礎的分野への投資意識が乏しいように感じています。
- 今後博物館関連の授業を履修するにあたって良いガイダンスとなりました。この手の科目は事例が重要なので、新しく設定された授業の方が良いですね。鶴見先生の話し方はわかりやすいですし、展示論と情報・メディア論は鶴見先生の来年度の授業を履修しようと思います。
- 博物館系の授業はすべて受講しており、博物館概論はまとめのような科目だった。
- 博物館の歴史や種類だけじゃなく、最近の博物館の取り組みなども理解できて大変役に立ちました。
- 博物館の歴史や裏側など全体的に学べたことで、今後実際に博物館に足を運んだときに、授業内容を参考にしながら今までとは違った角度で見ることができると思った。
- 今まで、何気なく見ていた博物館や美術館の展示にこんなにも奥深い意味があったことに感動しました。この講義を受けた今から博物館を訪れるのが楽しみです。見方が変わると思います。たくさんの博物館を訪れたくなりました。人生における世界も広がったと思います。
- いろいろな博物館の歴史、文化、取り組みについて、国内および国外について学び知識を深めることができた。また、博物館や学芸員の立場・問題について、考えたことがなかったので、今後はそういう視点からも博物館へ行った際は、気にかけていきたい。
- 博物館・美術館で新たな視点で展示物を観ることができるようになった。学芸員、研究者のご苦労や取り組みがわかり、より興味を持って観察できる。

【学部】「人間と文化」抜粋

改善点

- 今回の授業のロケ地は、あまり行ってみたいと思えなかった。
- 最新の情報が盛り込まれていて良かったが、文化財の修復について具体例をあげてもう少し深く解説いただけとさらに良かった。
- どの講義もそうですが、歴史的な流れや、法律関係を学ぶ際、年表のようなものがあった方が、時系列的にもわかりやすい気がします。
- ロケは印刷教材の内容を具体的に示していく興味深く見ることができた。特に改善すべき点は見当たらないが、強いて言えば博物館全体の構成を図表で示してくれればよかったです。
- 実際にポケット学芸員を利用した。放送の中で使ってもらいたかった。
- せっかくの画像が不鮮明なのが残念だった。
- 放送授業では時間的制約があるので仕方ない部分もありますが、現地取材の映像紹介に時間がとられ、印刷教材の記載への言及が少なくなってしまっていた回がありました。工夫は可能でしょうか？
- 他の博物館系の科目を受けていないと、分からぬ内容もあった。
- 少し紹介される博物館に偏りがあるよう感じました。
- 博物館を学術的・体系的に初めて学び、難しいところが多々あった。マニアックに点も多く少しだけ難しく、もっと分かり易い、とっつきやすい内容を期待していた。
- 仕方ないと思うが情報が少し古くなり、その点が少し不満です。
- 音量を大きくしてほしいです。聞き取りにくいと感じる時がありました。
- 文化財の保存に関して、文化資材論のように商業にもとづく関連した旨の実例などあげるのも面白いと思った。
- 45分間ずっと印刷教材の内容を読み上げている回があり、ちょっと辛かった
- いくつかの映像途中でQ&Aのクイズ演出を挟みながら、映像が進行するのも面白味があってよろしいかなと思いました。
- 色々な場所の博物館が紹介されているのはとても興味深くてよかったです。スタジオ内のテキスト棒読みみたいな場面は少なかったが、今後もゲストを迎えるなどしてなるべくテキストをただ読むだけ…のような形は減らしてもらいたい。
- 教材や授業で紹介の各博物館の、展示内容について、写真・映像でさらに詳しく見たいと感じた。
- 今回は放送授業より教科書を中心に学習しました。
- 少し単調になりがちなので、ロケやインタビューを多めにされても良いかと思います。
- 全体的に様々な博物館のことが紹介されていてよかったです。
- 各施設や運営団体によるWebサイトの活用事例等を紹介してほしい。
- 印刷教材の中に画像や図表が増えるといいと思う
- 妥当だと思う。
- 全体的にメリハリをつけてくれるとわかりやすくなると思う。
- 以前、専門科目の「博物館資料論（オンライン授業）」のようなロケ・内容を期待したい。
- 上に述べたように、博物館概論というと博物館に勤務する、あるいは資格をとりこれから働きたい人に向けてと思われがちだが、良い科目なので、広く勧めるようなピーアールがあると良いのではないか。

【学部】「人間と文化」

よかつた点

(単位：人)

科目全般				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
勉強になった		108	108	
興味・関心が持てた	48		48	
深く学ぶ（考える）ことができた		32	32	
新しい知識が身についた		25	25	
視野が広がった		21	21	
学習意欲・知識欲がわいた	19		19	
体系的に学べた・理解できた		19	19	
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった		16	16	
最新の情報・研究が学べた	12		12	
楽しかった	11		11	
今後に役立つ内容だった		10	10	
身近に感じられる内容だった		6	6	
現在の課題や身近な問題点を学べた		5	5	
自分の意見・考えを持てるようになった	5		5	
知識の整理に役立った	4		4	
自分の知識不足、学習不足を自覚できた		3	3	
内容・構成が良かった		3	3	
理解しやすかった		3	3	
科目の学問的性質、位置付けが分かった		2	2	
具体的な事例、実践的な内容があった		2	2	
全体として満足している		1	1	
内容・構成が良かった（科目全般）		1	1	

印刷教材				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
引用・参考文献・アプリの紹介が良かった		2	2	
図・表・写真・イラストが良かった		2	2	
内容・構成が良かった	2		2	
理解しやすかった		2	2	
良い教材だった		2	2	
手元に置き、今後も読みたい内容だった		1	1	
読み物として面白い内容だった	1		1	

放送授業				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
講師が良かった		12	12	
講師の解説が分かりやすかった		5	5	
印刷教材とのバランスが良かった		3	3	
図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった	3		3	
良い授業だった		3	3	
メディアの特性に合った授業内容だった	2		2	
講師の話しが良かった、声が聞き取りやすかった		2	2	
複数の講師の講義を聞くことができた		2	2	
理解しやすかった（放送授業）	2		2	
ポイントがつかみやすかった		1	1	
楽しかった	1		1	
現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった	1		1	
講師の熱意・熱心さが伝わった		1	1	
授業各回の内容・構成が良かった	1		1	

通信指導				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
記述式が良かった		1	1	

【学部】「人間と文化」

改善点

(単位：人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容・構成が良くない		5	5
もっと詳しい説明・解説をしてほしい(TV)	5		5
もっと詳しい説明・解説をしてほしい(R)		5	5
内容の詰め込みすぎ		3	3
授業科目案内は内容が不十分だった(TV)	3		3
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	3		3
難しかった(TV)	2		2
内容にまとまりがない		2	2
内容が基礎的で物足りなかった	2		2
最新の内容を講義してほしい	2		2
科目全体の内容・構成が良くない	2		2
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	1		1
難しかった(R)		1	1
努力不足だった	1		1
新しい科目、広い分野をカバーする科目がほしい	1		1
授業科目案内は内容が不十分だった(R)		1	1
質問箱での対応が良くない、質問箱は制限が多い	1		1
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい	1		1
講義内容と科目名に乖離がある	1		1
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にしてほしい		14	14
内容・構成が良くない		9	9
演出が良くない、演出を工夫してほしい		9	9
具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい	8		8
解説中の印刷教材のページが分かりにくい	8		8
印刷教材の内容と異なる・運動していない(R)		7	7
図・表・写真・イラストを増やしてほしい	6		6
講師・ナレーター・ゲスト等の話し方が良くない、声が聞き取りづらい		6	6
図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	5		5
講師の解説・指導が良くなかった		5	5
聞き手が良くなかった、講師と合わなかった	4		4
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	3		3
字・図・表・写真・映像が見づらい	3		3
印刷教材の内容と異なる・運動していない(TV)	3		3
印刷教材と異なる講義が聞きたい	3		3
インタビューやゲストの話が多い、時間を取られる、教材と関係のない話は不要	3		3
聞き手がいた方が良い		2	2
講師によって授業のレベルが違う		2	2
現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい	2		2
印刷教材をもっと活用してほしい	2		2
ポイントがつかみにくい	2		2
理解しにくい	1		1
内容に誤りがあった	1		1

対談形式の授業の方が良い	1		1
専門家の意見が聞きたい	1		1
参考となる事例や資料の紹介がほしい		1	1
講師の熱意が伝わらない	1		1
一講義の授業時間がよくない（長い・短い）	1		1
メディアの特性に合わない授業内容だった		1	1
システム面の改善が必要	1		1
ゲストや別の講師を招いてほしい、増やしてほしい	1		1
(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
式、および記述に関して改善してほしい	1		1
(問題)に誤りがあった		1	1
(問題)の解答・解答例・解説がほしい	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
誤植がある		8	8
放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい	3		3
図・表・写真・イラストが見づらい		3	3
文字が読みづらい	2		2
内容・構成が良くない（印刷教材）（R）		2	2
色刷りにしてほしい（R）		2	2
色刷りにしてほしい（TV）	2		2
引用・参考文献・補助教材・問題集を紹介してほしい		2	2
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	2		2
理解しにくい（印刷教材）		1	1
放送授業の要約（まとめ）を載せてほしい	1		1
難易度・分量が不適切だった	1		1
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる		1	1
内容・構成が良くない（印刷教材）（TV）	1		1
追加情報・追加教材がほしい	1		1
図・表・写真・イラストを増やしてほしい（TV）	1		1
図・表・写真・イラストを増やしてほしい（R）		1	1
詳細な解説がほしい		1	1
具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい		1	1
印刷教材の形状が使いにくい		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある	6		6
試験内容が授業・印刷教材・通信指導の内容と異なった	2		2
記述式、および記述に関して改善してほしい	1		1
受験の要領がわかりにくい	1		1
難易度を下げるべき		1	1
問題数が多かった・範囲が広かった		1	1

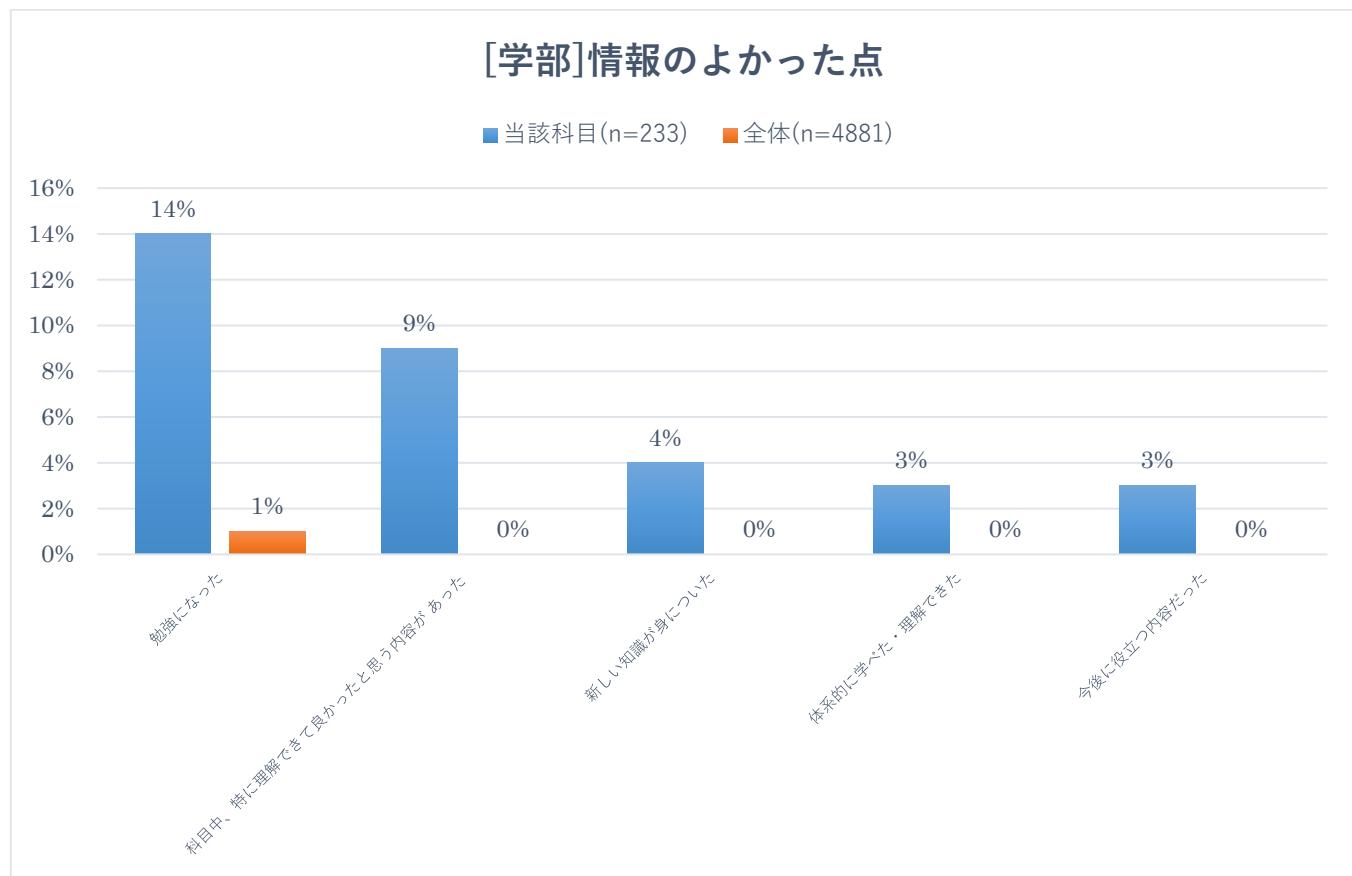
【学部】「情報」の傾向

よかった点

「勉強になった」が 14%、「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」が 9%、「新しい知識が身についた」 4%で上位に挙げられていた。

他では「体系的に学べた・理解できた」、「今後に役立つ内容だった」が 3%で続いていた。

図 3-1-3 【学部】よかった点



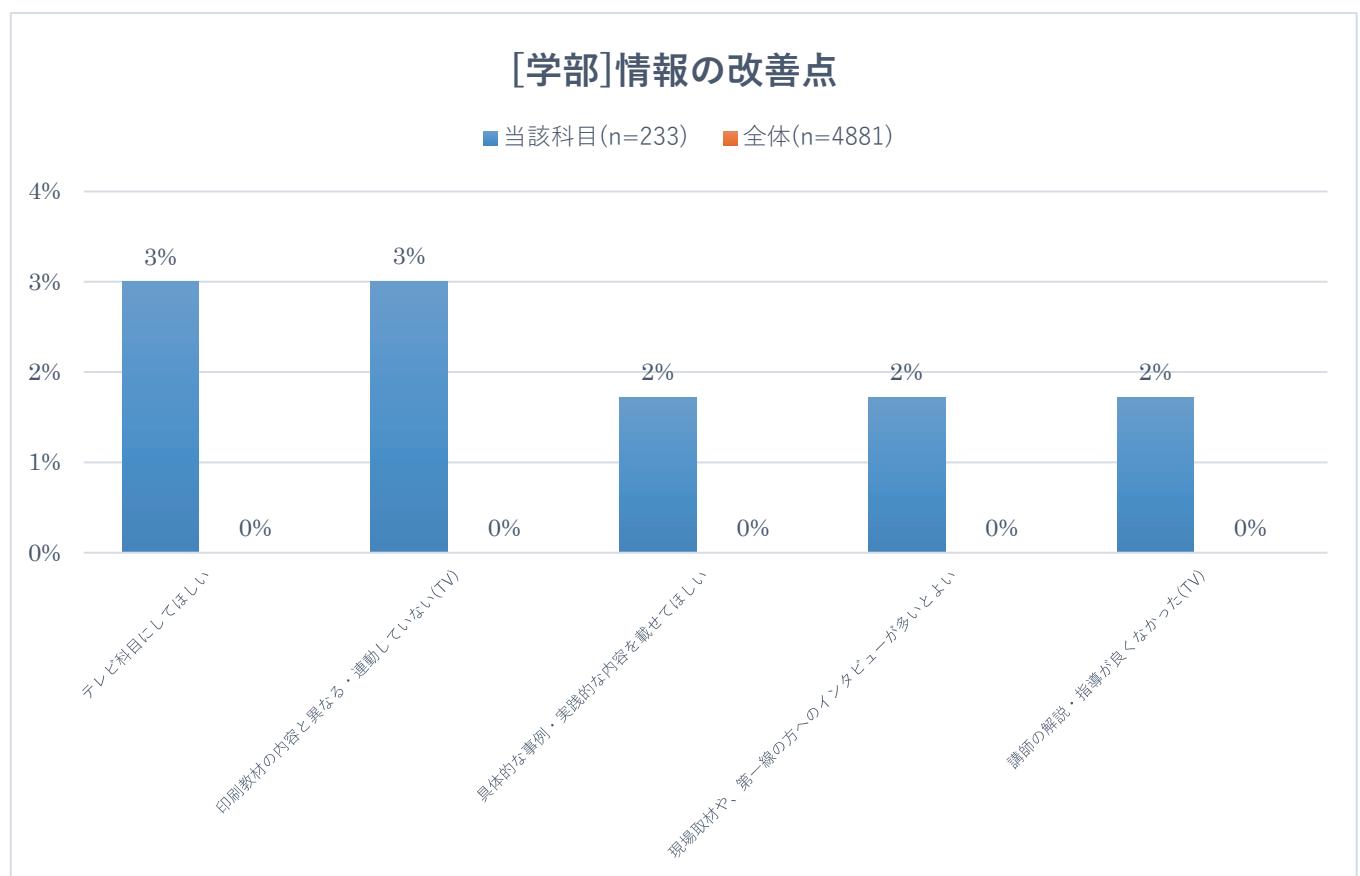
【学部】「情報」の傾向

改善点

「テレビ科目にしてほしい」、「印刷教材の内容と異なる・連動していない(R)」がそれぞれ 3%で上位に挙げられており、全体を上回っていた。

他では、「具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい」(2%) ことや「現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい」(2%)、「講師の解説・指導が良くなかった(TV)」(2%) などが挙げられていた。

図3-14 【学部】改善すべき点



【学部】「情報」抜粋

よかつた点

- データベースに関する基礎的な知見を習得することが出来た
- 最初はデータベースのプログラミングについて主に教えてもらえるのかなと思ったら、予想以上に内容が充実していて勉強してよかったです。
- データベースの歴史の授業内容でデータベースの起源を知ることができて良かった。
- 「もう一度みたい名講義」のような、シンプルな説明ながら完成度の高いオーソドックスな講義で何度も視聴できる。印刷教材で復習、さらに発展学習できる。このような講義が増えて欲しい。最近多い「学生役」がいたり、ドラマ仕立ての講義は完成度が低かったり、印刷教材なしでは理解できず、二度と見ようとは思わない。
- データベースの概要が理解できた。入門レベルとしては申し分ないと思う。
- データベースというものの全体像と、どういう個々の技術が使われているのかの概要がわかつた
- 日頃利用するデータベースシステムについて、その仕組み、歴史、因って立つ学問特に数学、SQL、正規化の概念など、普段目にしない関連知識を網羅的かつある程度深く学習することにより、自らの知識として身につけることができたこと。
- 日常生活においてデータベースが多方面で実用化されているかまたデータの整合性が確保されているのかよく理解できました。
- データベースの知識をアップデートするのに役立った
- データベースの基本がさらえてよかったです
- データベースの基本的な内容から学ぶことができた
- 独学での勉強よりは、分かりやすいが、youtubeとかに、あればそちらと比べてしまう。
- 基本情報技術者試験の勉強に役立った。
- データベースの歴史から現在の活用形態まで学べてよかったです。
- データベースとはデータの集まりという認識しかなかったが、データベースの仕組み、リレーショナルデータベースの数学的理論、さらに、歴史、実例、新しいデータベースの考え方なども知ることができ、データベースに対する認識が深まった。
- グラフデータベースを学ぶことができ、リレーショナルデータベースとの違いを理解できること。
- 過去の実務経験を理論的、体系的に再確認することができた。
- データベースに関する知識の復習と新しい知識(NoSQLやグラフSQLなど)を取り入れられた
- データベースは独学で学んでいたが、いろいろな種類があることは勉強になった。少し早く抗議を選んだようだ
- データベースについて、網羅的に学ぶことができた。
- パソコンが苦手で、データベースなど言葉は知ってても内容は全く分かっていない所学者でしたが、理解することができました。後半は少し難しくて苦労しましたが。この学習のおかげで少し頑張って勉強を続けようと思えました、ありがとうございました。
- データベースの基礎的な理論と最近の話題がちょうどよく盛り込まれていて、全体像を理解するのに役立った。
- DBについて理解深まった
- まったく受講してよかったですとは思わなかった。先生はテキストを読むだけで、難しい内容を理解できなかった。

【学部】「情報」抜粋

改善点

- 具体的にデータベースでどういうコンピュータが使われているかなどの写真や映像があったらいいなと思った。
- 実際にデータベース管理システム（Access MySQL）など操作している映像などがあると、興味がわくと思いました。
- 全問に回答した通り、数少ない良質のテレビ授業で、ほぼ完成されていると感じた。情報の授業に関して言えば、インターネット授業が多いので受講しにくい。つまり私の通信環境、あと年齢で、小さい画面で分かり辛く、先生が何を仰っているのかさっぱり聞き取れない。放送大学の良さである、テレビ授業をもっと増やして（数を戻して）欲しいと思う。
- 講義で使用した表や図をファイルとして配布してもらうと、ノートの作成が楽になり、理解も深まると思う。
- 印刷教材の演習問題を解説してほしい。または印刷教材に回答を載せてほしい。
- 敢えて言えばデータベースの歴史の部分で映像を使うと更に学生の興味を引くことができるようと思われる。
- 内容が濃厚でした。データベースの基礎、技術面とネット上での運用されている実用面と2部に分けても良いと感じました。身の回りのデータベースとして検索エンジン等をそれぞれ独自に作成、運用、管理、問題点を取り上げても良いと感じました。
- 中途半端に使い方があったので理論と使い方を分けて欲しい。
- もう少し演習を増やしていただけだとありがたいと思いました
- 放送授業の特性が活かされていない。データベースの概念について図表や動画がもっとあっても良い
- データベースの知識を増強していくためにやるべきことなどを教えてもらいたい。
- スライドもよく出来ており、指示棒による視線誘導もあり、この科目の内容であれば、これで十分だと思う。
- 印刷教材を読めば理解できる項目を減らし、理解が困難な項目について深く説明してもらいたい。
- 当科目に関しては、ロケ、ゲストとの応答は、あまり必要性を感じなかった。テキストに沿って、より深く解説、実演、立証してもらうだけで良い。
- 後半の授業が、難しかった。
- グラフィックスの使い方に工夫が足りないと感じた。
- プログラムなど教材を読み解きながらなんなくわかったようなつもりで学習を進めていましたが、イメージがわきづらく苦労しました。実際に練習できるようなもの（CDなど）あれば実践しながらできたかも。
- 内容が広いので盛り込むのは難しいと思いますが、もう少し実際のビジネスの現場についての情報が入っているといいなと感じました。
- 用語の説明を丁寧に。
- 講師がテキストを読むだけでは理解しがたいので、まとめた内容の図表や演出を工夫してほしい。
- 放送授業は教科書を棒読みしているだけで、図表などは印刷教材に書いてあることがほとんどで、途中で見るのが辛くなって、途中で視聴をやめた。
- 他の授業の様に聞き手がいた方がわかりやすいように思う。

【学部】「情報」

よかつた点

(単位：人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった	32		32
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった		20	20
新しい知識が身についた	10		10
体系的に学べた・理解できた		8	8
今後に役立つ内容だった		6	6
学習意欲・知識欲がわいた	5		5
深く学ぶ（考える）ことができた	5		5
理解しやすかった		3	3
楽しかった	2		2
興味・関心が持てた	2		2
視野が広がった		2	2
受験・資格取得に役立った		2	2
全体として満足している	2		2
知識の整理に役立った	2		2
内容・構成が良かった（科目全般）		2	2
最新の情報・研究が学べた		1	1
自分の知識不足、学習不足を自覚できた		1	1
専門的な内容だった	1		1
内容・構成が良かった	1		1
難易度・分量が適切だった		1	1

放送授業

意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材とのバランスが良かった	1		1
講師が良かった	1		1
図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった	1		1

印刷教材

意見	テレビ	ラジオ	合計
良い教材だった		1	1

【学部】「情報」

改善点

(単位：人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しかった		3	3
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	3		3
内容の詰め込みすぎ	2		2
授業科目案内は内容が不十分だった	2		2
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	2		2
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	1		1
幅広い視点でのカリキュラム編成をしてほしい(R)		1	1
幅広い視点でのカリキュラム編成をしてほしい(TV)	1		1
内容・構成が良くない	1		1
努力不足だった	1		1
最新の内容を講義してほしい	1		1
現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
課題（問題）の解答・解答例・解説がほしい	1		1
通信指導の返却が遅い	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にしてほしい		8	8
印刷教材の内容と異なる・連動していない(TV)	7		7
具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい		5	5
講師の解説・指導が良くなかった(TV)	4		4
講師の解説・指導が良くなかった(R)		4	4
現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい		4	4
内容・構成が良くない	3		3
図・表・写真・イラストを増やしてほしい		3	3
演出が良くない、演出を工夫してほしい		3	3
理解しにくい	2		2
図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい		2	2
印刷教材の内容と異なる・連動していない(R)		2	2
インタビューやゲストの話が多い、時間を取られる、教材と関係のない話は不要	2		2
声が聞き取りづらい		1	1
授業のテンポが良くない（早い・遅い）	1		1
講師によって授業のレベルが違う		1	1
印刷教材と異なる講義が聞きたい		1	1
ポイントがつかみにくい	1		1
システム面の改善が必要	1		1
ゲストや別の講師の話をもっといろいろ聞きたかった	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
問題数が多かった・範囲が広かった	2		2
試験内容が授業・印刷教材・通信指導の内容と異なった	2		2
試験時間が短い、入力が間に合わない		1	1

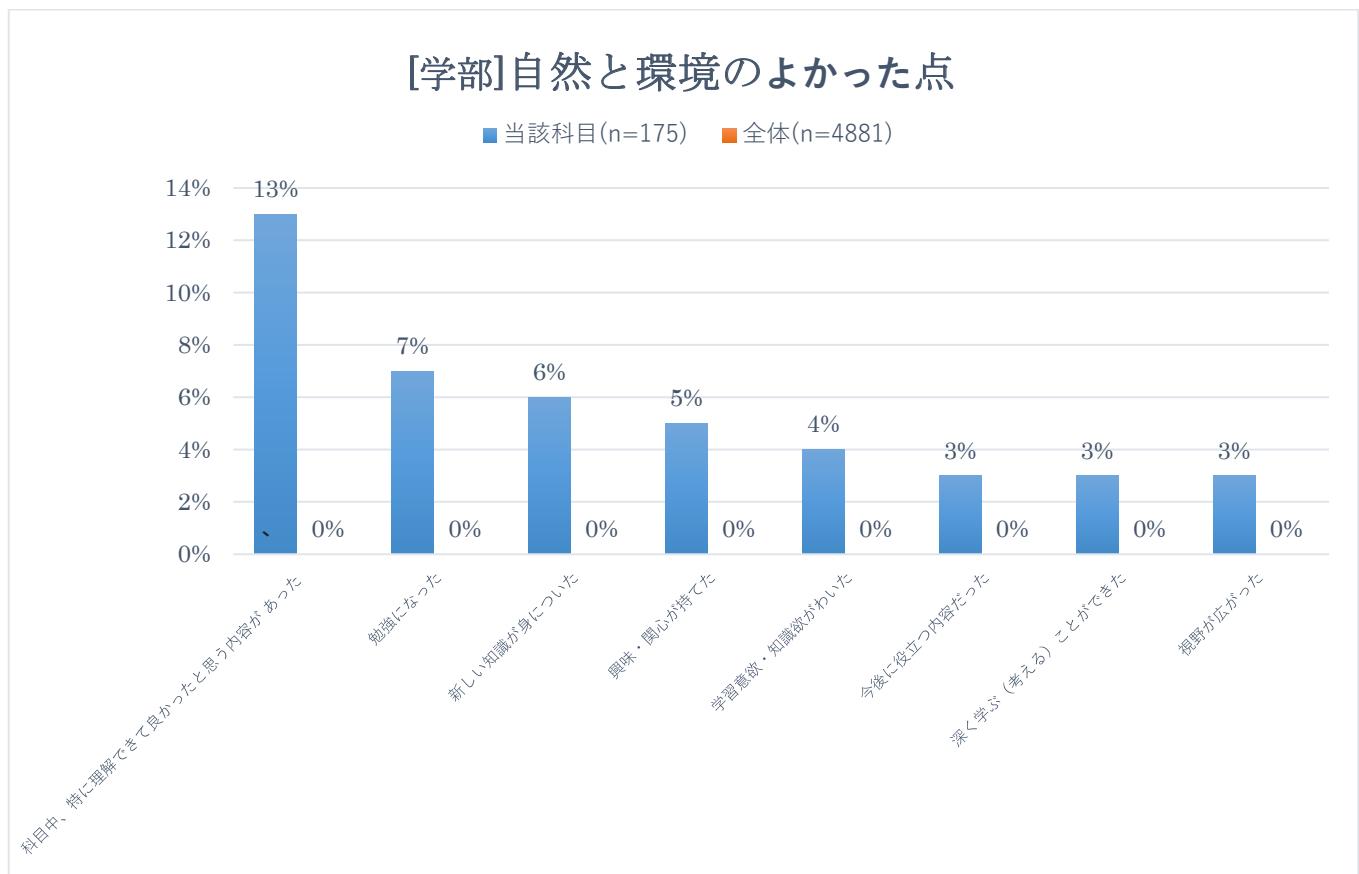
印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容・構成が良くない（印刷教材）	3		3
誤植がある		3	3
図・表・写真・イラストを増やしてほしい		2	2
練習問題等には詳しい解答や解説がほしい	1		1
理解しにくい（印刷教材）	1		1
放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい	1		1
放送授業の要約（まとめ）を載せてほしい	1		1
引用・参考文献・補助教材・問題集を紹介してほしい	1		1

【学部】「自然と環境」の傾向

よかった点

「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」が13%と特に高く、全体を上回っていた。他に上位に挙げられていたのは「勉強になった」(7%)、「新しい知識が身についた」(6%)で、後は5%以下で続いていた。

図3-15 【学部】よかった点

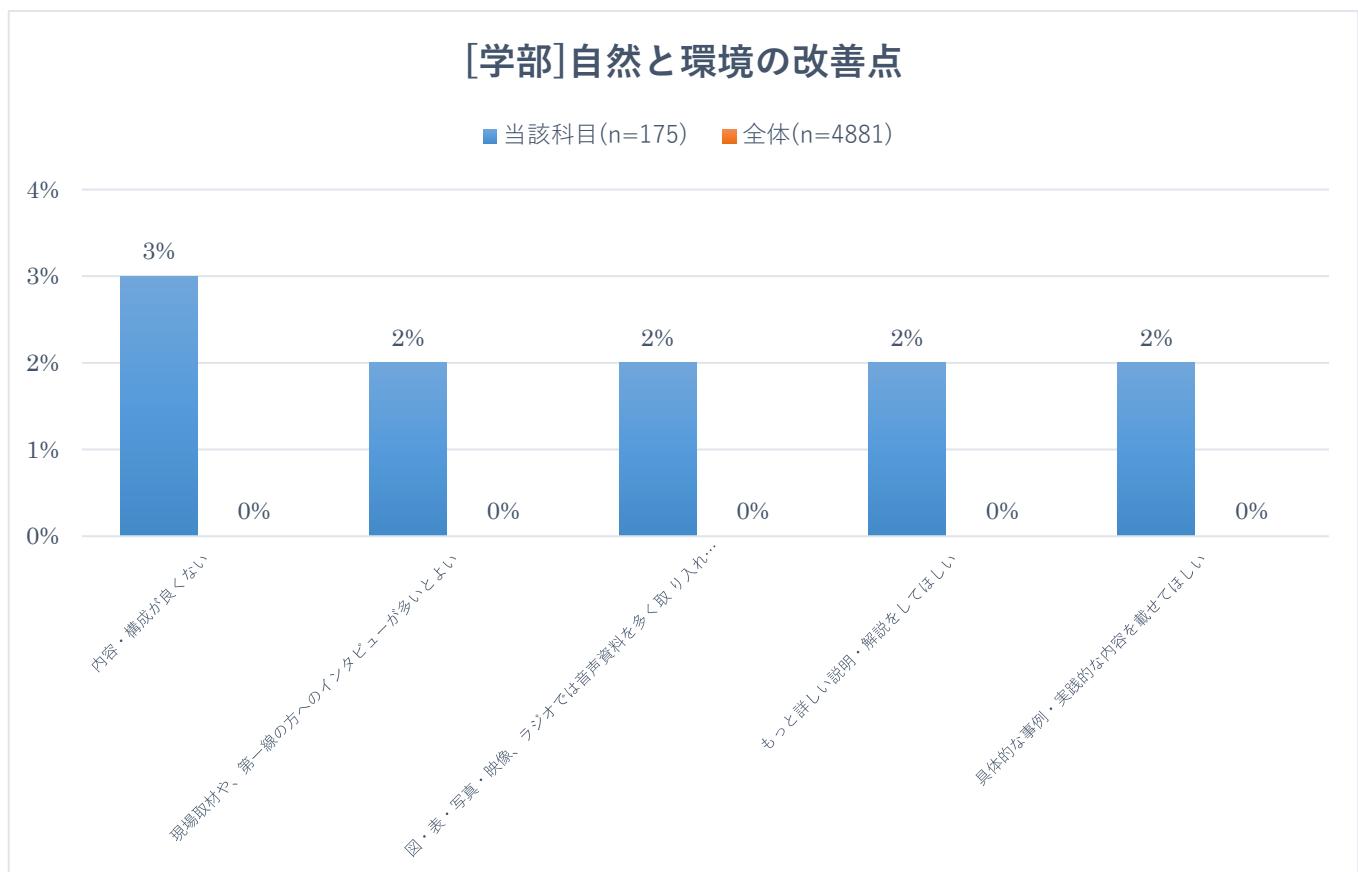


【学部】「自然と環境」の傾向

改善点

「内容・構成が良くない」が3%で、他に、「現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい」、「図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい」、「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」、「具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい」が2%で続いた。

図3-16 【学部】改善すべき点



【学部】「自然と環境」抜粋

よかつた点

- 化学の基礎をしっかりと学ぶことができた。
- 新しい知見が増えた
- タイトル通り、化学的な視点で周りのものを見る体験ができたことはよかつた。
- 特定の物質どうして反応がなぜ起きるのか、反応速度に違いがあるのはなぜか、など理屈を理解できた。
- 普段の生活では化学を意識していなかったが、様々な化学反応や反応生成物を日常的に利用していることを認識できた。
- 変化から分子を考えることで分子の特性がイメージしやすくなった
- 分子の変化を通して身の周りの現象を把握するという「化学的視点」が詳しく説明されており、実に興味深かった。しかし、高校までの知識が前提とされている内容であるため、理解できないうことが多いあり、その際は、インターネットで分からぬところを自習する必要があった。
- 実験、図表により化学に対する理解が深まったと思います。
- 今まで知らなかったことを知ることが出来た（生物環境の科学）。今まで断片的にしか理解できていなかったものがつながった（分子の変化から見た世界）。
- 40年前の化学の知識の隔たりを埋める学習ができた。授業案内をよく読まず興味のままに受講して理解に時間がかかった。再試験になったが自分のためになると考えている。
- 生物学の電子伝達系が化学の視点で理解できたこと。
- 化学反応をエネルギー的視点から見たことは勉強になりました。
- 熱力学の基礎を復習した上で化学変化を系統的にとらえている点が良かった。
- 第3章第4章のエントロピー、反応ギブズエネルギーの提示に基づき、一貫して、反応ギブズエネルギーの具体例を挙げながら、化学反応の進み方を論理的に説明されています。化学は暗記の学問ではなく、反応ギブズエネルギーと平衡定数に基づいて、論理的に理解できると解明されている点が本科目の特徴です。そういう意味で、本科目は優れた著作です。
- 今学期は化学を4科目受講したのでそれぞれの科目間で補完しあうことができ、科学の考え方を理解することに役立った。
- 普通の反応速度論の教科書だと、いきなり反応速度に関する微分方程式から始まったりするが、熱力学との関係から入っていくので速度論と熱力学の関係、また、平衡定数の意味が分かりやすかった。また、化学反応に酸塩基概念と酸化還元の2つが柱になっていることが、特に講義を見る上で理解できた。
- 有機化学の入門として、最新の題材を用いているなど、現在の立地点が良く分かった。
- 自然界で起こっている事や生体内で起こっている事を化学の切口で知れた事は良かったです。面白かったです。
- この科目は大変興味のある項目です、全項目熟読し、制覇したいとおもってます
- 私は30年ほど前、大学の工学部で、連続体としての材料・流体・熱力学等を学ばせて頂いたのですが、当時から転位や材料欠陥、高温高圧条件等、それでは不十分で、分子運動で基礎づける動きがありました。その後、実社会の現場で、益々、自分の知識や学問をアップデートしていくかしないといけない必要性を痛感し、分子運動や分子の基礎となる本講義を受講させて頂いて、分子間力や量子化学の基礎と計算法の初步を教えて頂いた事に感謝しております。
- 量子論、高分子化学、生命科学、工業化学と幅広く知ることができた。

【学部】「自然と環境」抜粋

改善点

- 数学的式、計算が 少し難しかった
- ゲストの方は化学的なバックグラウンドがない方のように思えた。導入科目というのもあるかもしれないが、ナンバリングが230と30番台であることを考えると、化学的な下地は必要なのではないかと思った。
- (1)講師の説明は簡潔すぎて、なぜそうなるのかという過程をもっと説明してほしかった。(2)もっと専門知識を持った人をアシスタントを起用すべきだった。台本どおり話しているという印象が強く、またとてつけたようなやりとりは時間の無駄だった。(3)分子の動きなどはもっと動画を使って説明してほしかった。
- 図表を書き写そうとすると画面が切り替わってしまい、放送教材を巻き戻し（？）することが多いので、重要な図表は画面分割などで長時間表示してほしい。
- もう少しテキストと放送授業の内容が分かりやすく一致してほしい。
- 平衡定数が出てくる分野と生化学の分野はやはり難しかったです。生化学の実験ももう少しあると科目的特徴が出るかと思いました。
- テキスト教材の一部にやや難しいところがあり何回読んでもなかなか理解できない部分があった。放送事業でも触れられていない部分でもあり本当にテキスト教材に含める必要があるのか疑問に感じるところもありました。やや不消化感あり。（分子の変化から見た世界）
- 科目全体を通して、説明のスピードについていけなかった。何度も聞き直したりパターンを書き取ったりすることに時間がかかってしまった。もう少し要点を簡潔にしてほしいと感じた。（基礎となる教科を受講しておくことが前提なので力不足が原因なのではあるが。）
- 標準電極電位のところ測定実験をやってもらえたと良かった。
- 本科目の放送教材はよくできています。主任講師の先生とゲストの方の掛け合いは息が合っていて、大変聞きやすいです。ロケでは、沖縄県での洞窟での海水酸性度の測定や、山口県秋吉台の石灰岩や鉄鉱石と奈良県との関係の箇所は特に興味深く視聴しました。このような屋外ロケをさらに増やされると、テキストの理解が一層深まると思います。
- テキストをもう少し分厚くして詳しい説明を書いてほしいと思った。
- ゲストの質問にやらせ感を感じる。また、講師のパーカッションの披露は無くてよい。
- 特にありません。スライドがよくまとまっているので、画面を止めて、書き写しました。お蔭様で、試験準備を効率良く進める事ができました。
- できるだけ図形、映像をつかい初心者への指導として教示していただければと思います
- アシスタントの方の理解が素晴らしいのが感心した短い時間に、難しい計算など 無理があるかと思う
- 科目としての難度は難しい問題だと感じた。印刷教材の説明が高度すぎる。分からぬことを教えるのが教師の仕事である。一方で、大学化学としての矜持を感じた。例えば、将棋の高段者は練習対局では、格下の相手に手加減をして指すが、本体局では手加減はせずに全力で指す。それが相手への礼儀であるからだ。この科目に対してはそれを感じた。
- 自然科学系の授業全般に当てはまることがあるが、専門家にしか理解できないような用語の使い方はやめてほしい。式を与える、温度に依存する、反応に寄与する、数値が求まる、熱量を評価する、多重結合が許される、この動きが禁止される・・・一般にはこういう使い方はしないだろうという表現が多く見受けられた。
- 放送授業を見ることができる人ばかりではないと思うので、テキストに書かれていない、放送授業でしか説明しなかったことを単位認定試験に問題として出すのは疑問に思った（放送で説明していない、テキストに書かれている分には問題ないと思います）。

【学部】「自然と環境」

よかったです

(単位:人)

科目全般				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	22		22	
勉強になった	12		12	
新しい知識が身についた	11		11	
興味・関心が持てた	8		8	
学習意欲・知識欲がわいた	7		7	
今後に役立つ内容だった	6		6	
深く学ぶ（考える）ことができた	6		6	
視野が広がった	5		5	
身近に感じられる内容だった	4		4	
体系的に学べた・理解できた	4		4	
最新の情報・研究が学べた	3		3	
楽しかった	2		2	
現在の課題や身近な問題点を学べた	2		2	
内容・構成が良かった	2		2	
内容・構成が良かった（科目全般）	2		2	
科目の学問的性質、位置付けが分かった	1		1	
自分のベースで勉強できた	1		1	
自分の意見・考えを持てるようになった	1		1	
自分の知識不足、学習不足を自覚できた	1		1	
全体として満足している	1		1	
知識の整理に役立った	1		1	
理解しやすかった	1		1	

放送授業				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
講師の熱意・熱心さが伝わった	3		3	
講師の解説が分かりやすかった	2		2	
図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった	2		2	
ポイントがつかみやすかった	1		1	
印刷教材とのバランスが良かった	1		1	
楽しかった	1		1	
現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった	1		1	
授業各回の内容・構成が良かった	1		1	
理解しやすかった（放送授業）	1		1	

放送授業				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
講師の熱意・熱心さが伝わった	3		3	
講師の解説が分かりやすかった	2		2	
図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった	2		2	
ポイントがつかみやすかった	1		1	
印刷教材とのバランスが良かった	1		1	
楽しかった	1		1	
現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった	1		1	
授業各回の内容・構成が良かった	1		1	
理解しやすかった（放送授業）	1		1	

【学部】「自然と環境」

改善点

(単位：人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	4		4
内容の詰め込みすぎ(R)		2	2
内容の詰め込みすぎ(TV)	2		2
内容が専門的で難しかった	2		2
最新の内容を講義してほしい	2		2
幅広い視点でのカリキュラム編成をしてほしい		1	1
内容にまとめがない	1		1
内容が基礎的で物足りなかった	1		1
内容・構成が良くない	1		1
講義内容と科目名に乖離がある		1	1
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい	1		1
期待していた内容ではなかった	1		1
学校の対応(WAKABA、シラバスを含む)が不十分だった	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
課題(問題)の範囲・難易度・量が適切ではない	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容・構成が良くない	5		5
図・表・写真・映像・ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	4		4
現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい	4		4
具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい	3		3
図・表・写真・イラストを増やしてほしい		2	2
手話通訳、または字幕がほしい	2		2
講師の解説・指導が良くなかった	2		2
講師・ナレーター・ゲスト等の話しが良くない、声が聞き取りづらい(TV)	2		2
演出が良くない、演出を工夫してほしい	2		2
印刷教材の内容と異なる・連動していない		2	2
理解しにくい	1		1
聞き手が良くなかった、講師と合わなかった	1		1
聞き手がいた方が良い	1		1
双方向性が必要、オンライン科目にしてほしい	1		1
最初やチャプター等の変わり目の音楽、効果音等は不要		1	1
講師・ナレーター・ゲスト等の話しが良くない、声が聞き取りづらい(R)		1	1
解説中の印刷教材のページが分かりにくい	1		1
科目全体の内容・構成が良くない		1	1
印刷教材をもっと活用してほしい	1		1
テレビ科目にしてほしい		1	1
システム面の改善が必要	1		1
ゲストや別の講師の話をもっといろいろ聞きたかった	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある	1		1
問題数が多かった・範囲が広かった	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
DVD・CD、模型等、付録の添付を考えてほしい	1		1
誤植がある	1		1
講師により内容にバラつきがある・解説が異なる	1		1
色刷りにしてほしい	1		1

【学部】「夏季集中科目」の傾向

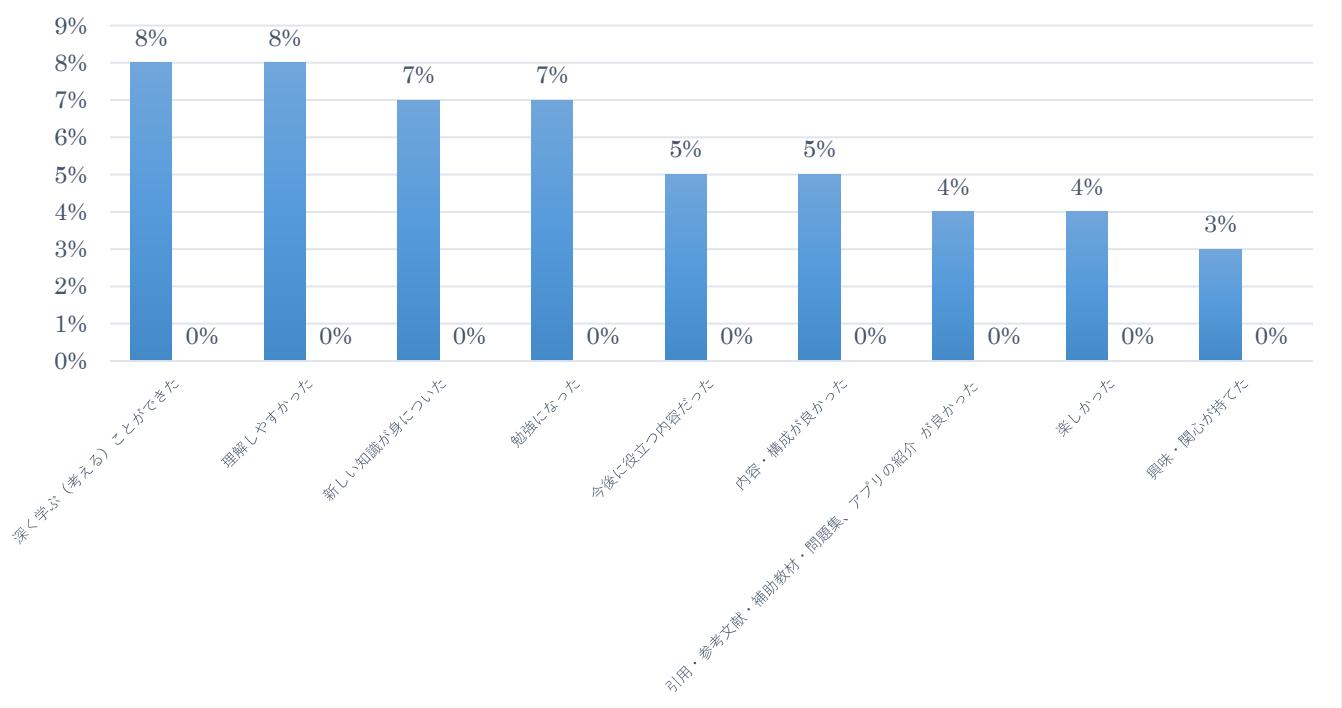
よかった点

「深く学ぶ（考える）ことができた」、「理解しやすかった」、が 8% と高く、「新しい知識が身についた」、「勉強になった」が 7% で続いていた。

図 3-1-9 【学部】よかった点

[学部]夏季集中科目のよかった点

■ 当該科目(n=114) ■ 全体(n=4881)

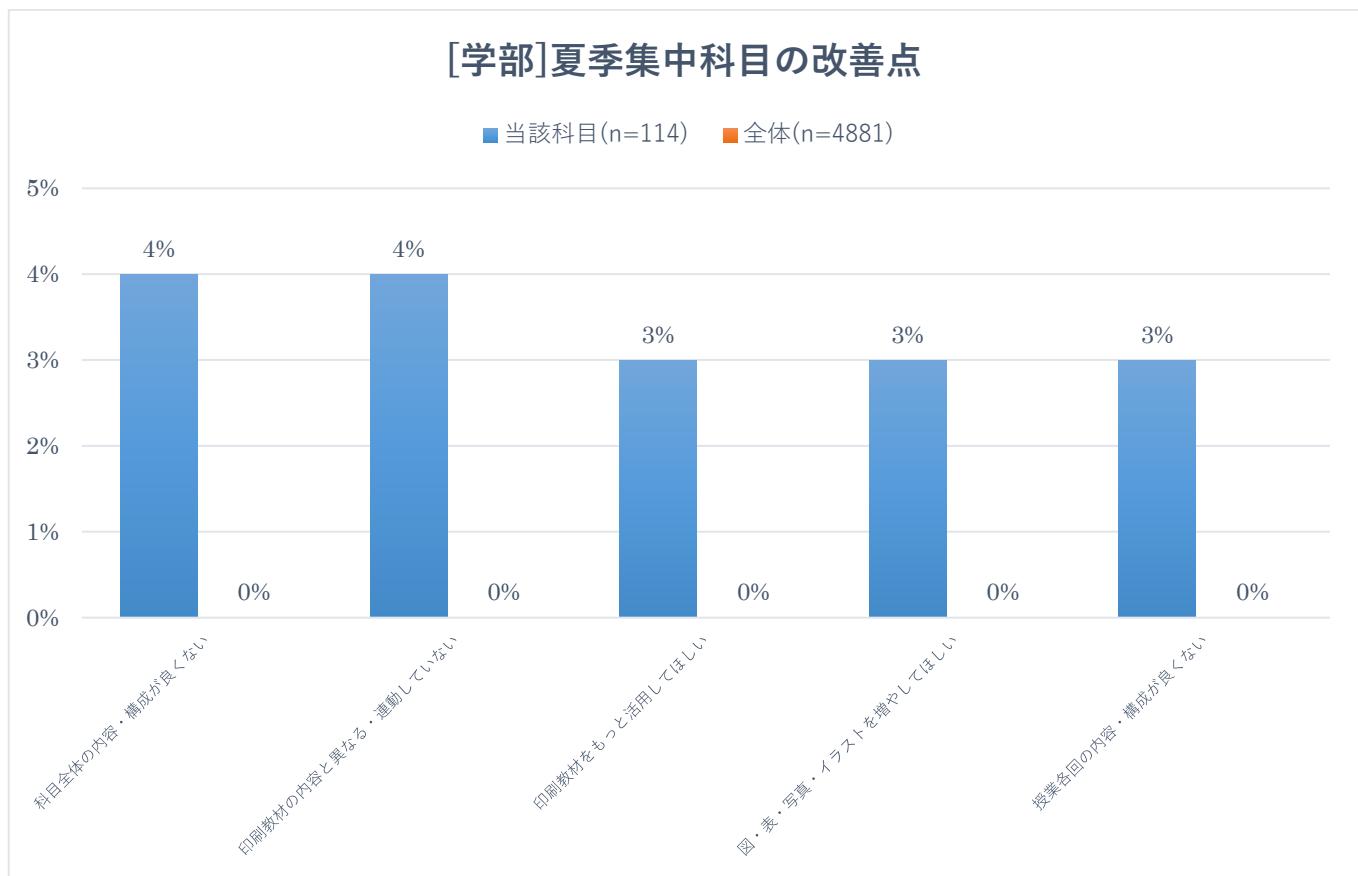


【学部】「夏季集中科目」の傾向

改善点

「科目全体の内容・構成が良くない」、「印刷教材の内容と異なる・連動していない」が4%で、他に、「印刷教材をもっと活用してほしい」、「図・表・写真・イラストを増やしてほしい」、「授業各回の内容・構成が良くない」が3%で続いていた。

図3-20 【学部】改善すべき点



【学部】「夏季集中科目」抜粋

よかつた点

- 司書教諭資格取得のための学習として、最初に取り組むべき科目とあったので、スムーズに学習に取り掛かれた。
- 時間があまりとれない中で、放送教材と印刷教材の両方があってとても助かりました。
- 図書館で本を探すときなど分類や配架の意味がよくわかったです。
- 学校教育の中での図書館の役割がよく分かった。学校図書館司書に求められる役割についてもわかった。
- 学校現場でも生かすことができる
- 図書館担当者となり知識のないまま取り組んでいたので、その意義や役割、仕事内容をしっかりと理解できた点がよかったです
- 興味関心がある分野のことをより深く学べ、今後の糧になった。
- 学校司書と司書教諭の立場の違いが明記されていた点。学校図書館活用の具体的な実践例が掲載されていた点。
- 基本的な内容を知ることができました。視野が広がりました。印刷教材だけでは理解しにくくこともあり、放送教材で理解が進んだと思います。学校としての取り組みはこれからの自身の課題にしていきたい。
- 現場で指導していると経営という視点に立ち辛いため、PDCAサイクルの重要性などが目からうろこであった。
- 野口先生の話し方がとても聞きやすく、内容がすんなり頭に入ってきた。前田先生の授業後のおまけコーナーが興味深く、授業全体を通して学校図書への熱い想いが伝わってきて、励みになった。
- 図書館司書について詳しく知ることができた。
- 私は体育教員であるが、自分自身の視野を広げられる良い機会になりました。
- 映像視聴だけで授業内容についていけるか心配でしたが、印刷教材があり分かりやすく嗅いてあり、見直すこともできました。視聴しながら教材にメモもできて学習機能しやすかったです。
- 知らならなかった学校図書館について学べて役に立った。
- 学校図書館の現状と課題を概観できたと思います。しかし一方で、理想論を述べたり、全国の理想的成功事例が羅列されるのみで、受講生に対する実現可能性を担保しているとは言い難い面もあるように感じました。
- 今まで学校司書と、司書教諭の明確な役割についてわからないところもありましたが、具体的に職務内容が示してあり、わかりやすかったです。
- 実践例が写真入りで多く紹介されていたことが新たな知見を広げる上でとても役立った。
- とにかくこの夏受講した科目の中で1番面白かったです。前田先生の熱意がオンラインでもよく伝わりました。授業は知識を得るものですが、知識以上に図書館司書の素晴らしいややりがいが伝わり、本当によかったです。
- 学校では探究活動を推進する課に所属していたため、非常に参考になった。読書をどの場面で取り入れたら良いのか、とても考えさせられた。
- 資格取得ができ、新たな見聞を得られた。
- 足りなかった知識を補うことができた。分かりやすい説明で意欲も高まった。
- 図書館司書教員の面白さ、奥深さを感じられました。ありがとうございます。
- 触れることのなかった世界や考え方に対する機会が得られた。

【学部】「夏季集中科目」抜粋

改善点

- 印刷教材の内容をそのまま説明するだけでなく、プラスアルファの情報が欲しかった。
- ラジオ科目も分かりやすかったが、映像や資料提示があるとさらに理解が深まると思います。
- 分類番号の説明をもっと詳しくおしえてほしかった。ここだけはどうもよくわからず時間がかかった。
- 教科書を先に読んでいたのであまり気にならなかったけれど、教科書のどこと対応しているのかをもう少し丁寧に説明があつてもいいかもしれません。
- 図形や表、実践例をたくさん掲載していただけするとより興味をもち取り組むことができると思います
- すべてインターネット配信にしてもらえるとよい。
- もっと対談形式を増やしてはどうかと思います。その他の演出は理解しやすいものだと思います。
- TVと書籍が相互に関連しあうというよりも、本の映像化されたもの（または書籍を映像化したもの）という感が強く、「わかりやすくするためのもの」という感があまりありませんでした。
- 授業の内容的に今のままで妥当かと思われる。
- 映像を具体的なものにかえると分かりやすいです。
- 貴科目のテキストの内容を羅列し、列挙し、テキストの内容をただ単に読み合わせしているのでは、ラジオ授業でも問題なく、滞りなく実施できると思いました。そのため、テレビ授業の特性を活かして視聴する受講生が、自身の現任校でも実施したいと思うような学校経営と学校図書館の関係性の構築を容易に想像できるような実現可能性のある、放送授業・ロケ・演出の工夫等に励んでいただければと思いました。授業ありがとうございました。
- おさえるべき内容がまとめてあり、途中動画を止めながら印刷教材を学習する上で、とてもわかりやすかったです。
- おまけコーナーを是非増やしてください…！
- ゲストの方々の映像もとてもおもしろく、とても勉強になりました。印刷教材の図は大きいですが、写真は小さいように感じました。
- 映像授業において、倍速機能が1.25倍、1.5倍、1.75倍あたりまで、もう少し細かくあると嬉しく思いました。
- 話の内容を短くポイントをまとめた図があるとありがたいです。
- GIGAスクール構想の一つで一人一台の端末を使用するようになってからの学校図書館の利活用の実状を、ロケとして入れて頂けたら、現場に落としやすい実践例になると感じた。
- さまざまな図書館の取り組みや施設などが映像で見られたことで授業内容への理解が深まった。ただ、印刷教材に書かれていない部分を文字画像で説明する際、画面に映っている時間が短く、何度も画像を止めて書き写さなければならなかつたのは残念でした。
- 他の図書館の様子など、メディアを通して見るもの面白いかなと思いました。
- 画面の切り替わりが早すぎて、何度も止めなければならなかつた
- 現役教員なので、課題の教材、提出課題が膨大でした。
- ロケ、ゲスト、はとても良いアイデアだと感じました。ロケのなかで、アニメーションについての実践事例があれば、ぜひ参考にしたいと思いました。
- 印刷教材の内容と放送授業の内容がほぼ同じ時もあったので、放送授業でしか聞けない内容などあるとより興味深く視聴できると思いました。

【学部】「夏季集中科目」

よかつた点

(単位：人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
深く学ぶ（考える）ことができた	9		9
理解しやすかった	9		9
新しい知識が身についた	8		8
勉強になった	8		8
今後に役立つ内容だった	6		6
内容・構成が良かった	6		6
引用・参考文献・補助教材・問題集、アプリの紹介が良かった	4		4
楽しかった	4		4
興味・関心が持てた	3		3
科目の学問的性質、位置付けが分かった	2		2
視野が広がった	2		2
受験・資格取得に役立った	2		2
専門的な内容だった	2		2
具体的な事例、実践的な内容があった	1		1
自分の意見・考え持てるようになった	1		1
難易度・分量が適切だった	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
理解しやすかった	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
科目内容の理解度をはかるのに相応しい内容だった	1		1

【学部】「夏季集中科目」

改善点

(単位：人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	2		2
科目全体の内容・構成が良くない	1		1
講義内容と科目名に乖離がある	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
課題（問題）の範囲・難易度・量が適切ではない	2		2

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
科目全体の内容・構成が良くない	5		5
印刷教材の内容と異なる・連動していない	4		4
図・表・写真・イラストを増やしてほしい	3		3
授業各回の内容・構成が良くない	3		3
印刷教材をもっと活用してほしい	3		3
例題、演習問題を解きながら解説してほしい	2		2
理解しにくい	2		2
図・表・模型等のどこを指し示しているのかわからない	2		2
講師の解説・指導が良くなかった	2		2
解説中の印刷教材のページが分かりにくい	2		2
印刷教材の形状が使いにくい	2		2
システム面の改善が必要	2		2
例題・練習問題を増やしてほしい	1		1
放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい	1		1
放送時間が違う時間帯の方が良かった	1		1
内容に誤りがあった	1		1
内容・構成が良くない	1		1
双方向性が必要、オンライン科目にしてほしい	1		1
専門家の意見が聞きたい	1		1
図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	1		1
重要な情報はテロップ等で表示してほしい、長く表示してほしい	1		1
視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい	1		1
講師の熱意が伝わらない	1		1
講師・ナレーター・ゲスト等の話し方が良くない、声が聞き取りづらい	1		1
印刷教材と異なる講義が聞きたい	1		1
メディアの特性に合わない授業内容だった	1		1
インターネットでの視聴方法が分かりにくい・使いづらい	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
Web 試験では出力できないので計算や記入ができず難しい	1		1
記述式、および記述に関して改善してほしい	1		1
問題の解答・解説・用紙がほしい	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難易度・分量が不適切だった	1		1
内容・構成が良くない（印刷教材）	1		1
追加情報・追加教材がほしい	1		1
図・表・写真・イラストが見づらい	1		1
講師により内容にバラつきがある・解説が異なる	1		1
具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい	1		1

III-2. 学部（オンライン授業）

ここからは、各部オンラインの全体との比較で、当該科目がどういう傾向にあったのかを見ていきたい。学部のオンライン科目については、科目別（中区分）の自由記述の集計結果から、よかつた点については、回答された項目が3%以上の場合、改善すべき点は、回答された項目が3%以上か、比率の高い上位5項目を掲載した。

【学部オンライン】「一般科目」の傾向

よかつた点

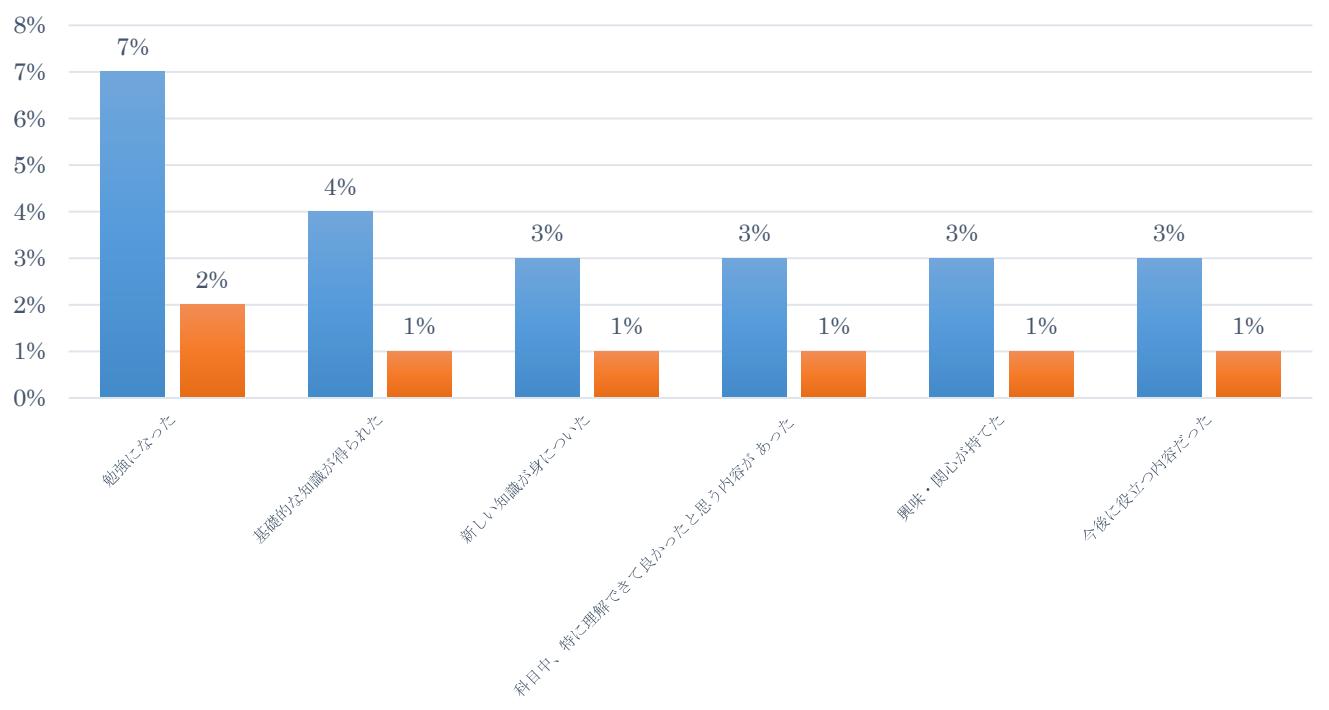
「勉強になった」（7%）が上位に挙げられていた。

他に、「基礎的な知識が得られた」（4%）で、「新しい知識が身についた」、「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」、「興味・関心が持てた」、「今後に役立つ内容だった」（3%）が続いた。

図3-21 【学部オンライン】よかつた点

[学部OL]一般科目のよかつた点

■当該科目(n=375) ■全体(n=1144)

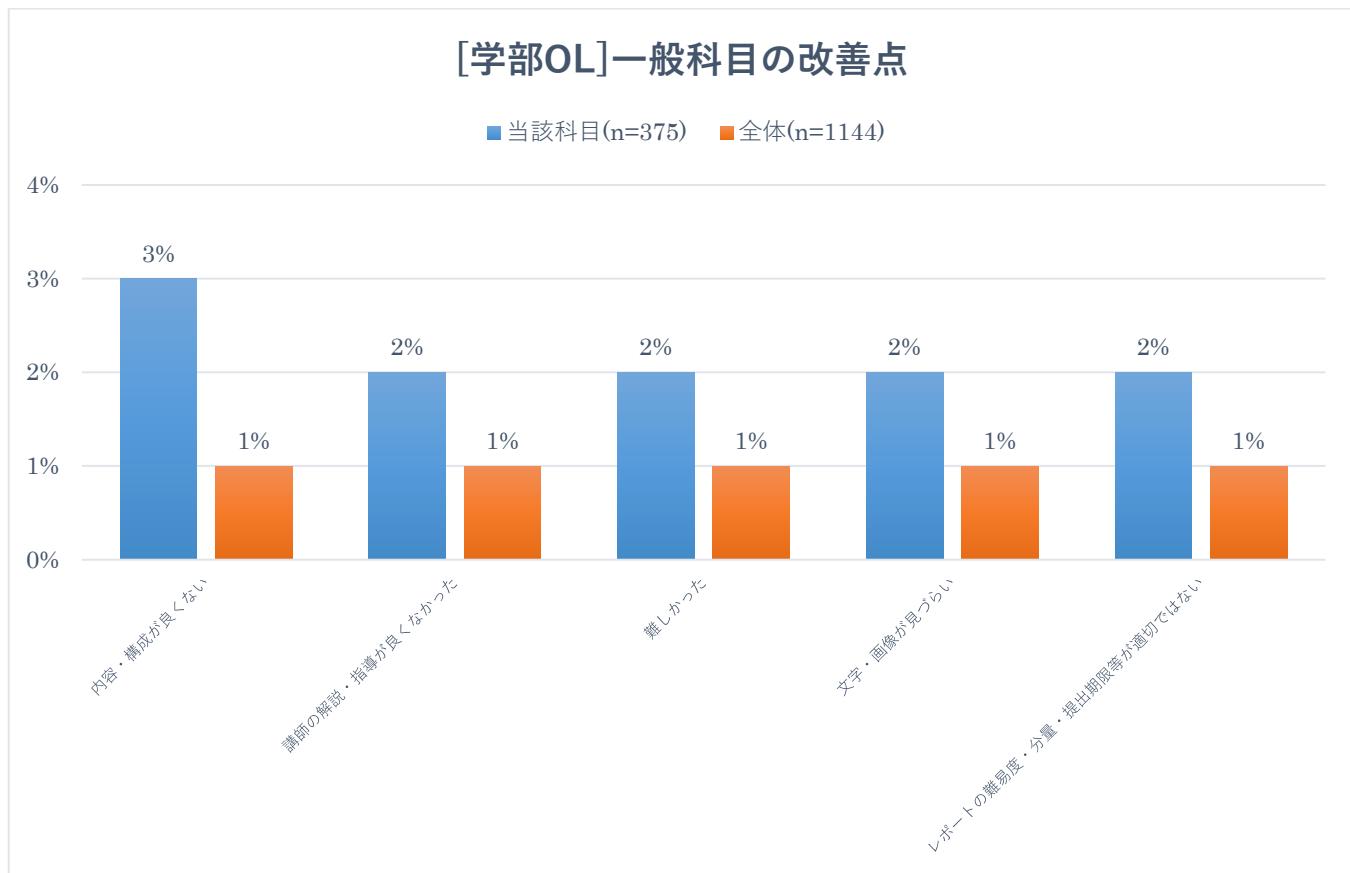


【学部オンライン】「一般科目」の傾向

改善点

「内容・構成が良くない」(3%)、「講師の解説・指導が良くなかった」、「難しかった」、「文字・画像が見づらい」、「レポートの難易度・分量・提出期限等が適切ではない」(2%)で続いた。

図 3-2-2 【学部オンライン】改善すべき点



【学部オンライン】「一般科目」抜粋

よかつた点

- 新しい知識を取得できた。
- データサイエンスの導入としては良かったです。
- 内容が初心者向けでわかりやすかった。
- IoTやAIについて具体例を交えて学べた点
- 昨今の情勢とデータサイエンスのつながりのついて、知ることができた
- 自宅のオンラインで時間を選ばずにできることは便利だと思う。セクションごとに短めの時間に分かれていて、集中が途切れずに終えられた。
- 情報について何ひとつわからなかっただけどこのオンライン授業をうけたことによって知識がひとつあがってよかったです。
- 分かり易い画面で、聞き取りやすいスピードでの授業でした。
- データサイエンスやAIについて何もわからず恐怖心があったけれど、この科目で学習したことで恐怖心がなくなり、積極的に学び、活用していこうという気持ちになったことです。
- データサイエンスの始めとして、理解できる内容だったと思う。また、画面上に覚えるべきキーワードが表示されているのは、効果的に覚えられた。
- 自分には新しい分野であり初めて知ること、内容であったため勉強にはなったと思う。
- AIの基礎をしたので良かった。
- ビッグデータや、人工知能の理解が深まった。
- 新しい知識に触れ、継続して学習したいという意欲を持つことができた。
- 一回の映像が数分ごとに切られていること、小テストを挟んで理解を促していることなど工夫を感じた。他の教科もこのようにするべきかと思う。"
- 専門的な話が多くとても社会勉強になった。専門的に学ぶ人にとっては初步的な内容であろうが、専門家ではない人に説明するとはこういうことです、というような授業内容でとても興味が湧いた。
- データを正しく理解し活用するための知識を得ることができた
- データサイエンスの概要を具体例を通して知ることができた
- デジタルサイエンスの今後の発展がますます楽しみになった。特に自動運転についての発展を望む。
- 自身のIT知識がなんとなく理解していたつもりになっていたものであることを痛感した。講義を通じて基礎がしっかりとったと思う。
- 現代のデータ活用の重要性が理解できた。
- 「データサイエンス・リテラシ導入」という科目名から、セキュリティについての講義かと想像していたが、ビッグデータやIoTによる機械学習や深層学習や、匿名化技術、人工合成によるシミュレーション、自動運転の現状などの内容で、とても勉強になった。
- 新たなる知見が身についた
- 私たちがこれから何を学んでいくべきか、一度振り返るきっかけになった。
- 人工知能の働きが脚光を浴び始めました。過去にブームがあったが冬の時代を越えて第3回AIブームに到達したことが分かった。そして、今回のAIブームとは違いハードウエアの高度化、機械学習、深層学習によりいよいよ人にとて代わりそうな勢いである。人で不足、高齢化、等諸問題の解決につながる事が期待できそうなことが解り良かった。

【学部オンライン】「一般科目」抜粋

改善点

- 第2回・第3回の講義ノートは著作権の問題を一部でもよいかクリアしてノートとして資料として欲しかった。
- レポートのお題の意味がわかりづらかったです。
- 参考のできる文献があれば「それぞれ100文字」が容易に書けるが、
- 一部の課題には授業ではそこまで深い内容ではなく、それぞれ100文字は厳しいなと感じました。
- 難しい専門用語にはテロップを入れてほしい。聞き取れなかった言葉がいくつかあった。
- レポートの設問1、2の内容を動画から学び取るのが大変だった。
- 公開講座の内容だけでなく、オンライン授業ならではの内容がもう少し多ければよりいいと感じた
- 双方向性でこちらが作業や操作ができるような体験があればよい。
- データサイエンス・リテラシの導入にあたる科目でしたが、難易度が高く理解が難しく感じた部分がありました。
- キーワードが表示されていない部分は、覚えるのに時間がかかった。
- レポートのまとめ方が難しかった。
- 導入と聞いてデータサイエンスの初心者でも理解できるように工夫されていると思ったが、全く新しい言葉が多く正直理解できない部分も多かった。
- 専門用語のインデックスや導入の導入の授業もあってもよかったと思う。
- 練習問題の種類（パターン）を増やしてほしい。
- 初心者には、なじみの無い用語が多いように感じた。具体例についても専門的な内容が多く、説明時間が短いと感じた。
- 映像自体はそれと興味深く惹きつけられた。ただテストの設問やレポートを書く時に、自分の勉強不足かもしれないが、結びつかなかったり、深掘りされてなかったと思う。
- 小テストの設問。特に誤ったものを選ぶ場合に一般的に考えにくいことを表現している選択肢があった。学習内容が修得できていなくても正答できてしまうのではないかと感じた。
- 統計の理解でサブ教材が有ったらしいと思った。
- 「Autoencoder」、「ベイジアンネットワーク」など、具体的にイメージしにくいものがあった。
- 講師の講義を聞いていても言葉が頭に入らないことがあった。できれば印刷教材もあれば良いと思った。
- 導入・基礎・心得と3種類のデータサイエンス科目があるが「どれが最も平易で」「どれが最も応用、実務的」かが分かりづらい。
- レポートはより実務的な内容の方が「データサイエンスっぽくて」良いと思う。
- 基本的な知識や情報を100文字前後使って、詳細に書くのは正直難しいです笑
- 自分の理解が不足していたため、事前にもっと易しい内容を学習する必要があると感じた。
- 講義内容によっては、理解が難しいことを専門用語のまま、特に注釈もなく話が進んでいくので、途中から理解が難しくなる講義もあった
- 講師自身にとって知っていて当然のことだが、基礎科目としては難易度を高く感じる回もあった

【オンライン学部】「一般科目」

よかったです

(単位:人)

科目全般	
意見	合計
勉強になった	25
基礎的な知識が得られた	14
新しい知識が身についた	13
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	12
興味・関心が持てた	10
今後に役立つ内容だった	10
最新の情報・研究が学べた	9
自分の知識不足、学習不足を自覚できた	7
知識の整理に役立った	7
身近に感じられる内容だった	6
具体的な事例、実践的な内容があった	5
体系的に学べた・理解できた	5
深く学ぶ（考える）ことができた	4
内容・構成が良かった	4
理解しやすかった	4
学習意欲・知識欲がわいた	3
現在の課題や身近な問題点を学べた	3
視野が広がった	3
自分の意見・考えを持てるようになった	3
科目の学問的性質、位置付けが分かった	2
自分のペースで勉強できた	2
専門的な内容だった	1
全体として満足している	1
難易度・分量が適切だった	1

オンライン教材	
意見	合計
オンラインの特性が生かされていた	3
講師の解説が分かりやすかった	3
良い授業だった	3
ゲストを招いた授業が良かった、ゲストの話が良かった	1
パソコン上で実際にソフトを動かしながらの解説が分かりやすかった	1
楽しかった	1
講師が良かった	1
手話通訳・字幕が良かった	1
理解しやすかった（放送授業）	1

放送授業	
意見	合計
理解しやすかった（放送授業）	3
複数の講師の講義を聞くことができた	2
良い授業だった	2
楽しかった	1
講師が良かった	1
講師の解説が分かりやすかった	1
講師の熱意・熱心さが伝わった	1
講師の話しが良かった、声が聞き取りやすかった	1
図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった	1

質問回答	
意見	合計
演習課題が良かった、楽しかった	2
レポート作成が楽しかった	1

【オンライン学部】「一般科目」

改善点

(単位：人)

科目全般	
意見	合計
内容・構成が良くない	10
難しかった	8
内容が専門的で難しかった	5
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい	3
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	2
授業科目案内は内容が不十分だった	2
ジェンダー平等の精神がない、不足している	1
科目の分類に疑問がある	1
科目全体の内容・構成が良くない	1
最新の内容を講義してほしい	1
質問箱での対応が良くない、質問箱は制限が多い	1
新しい科目、広い分野をカバーする科目がほしい	1
単位数の多い科目を増やしてほしい	1
内容が浅い	1

設問回答	
意見	合計
レポートの難易度・分量・提出期限等が適切ではない	8
出題の仕方が不適切だった	7
小テスト（確認テスト）の難易度・分量・制限時間等が適切ではない	4
小テスト（確認テスト）の解答・解説に不満がある	3
レポートにコメントを記載してほしい	2
レポート提出の方法がわかりにくい	2
講義内容と演習課題に隔たりを感じる	2
小テスト・練習問題の問題数を多くしてほしい	2
練習問題・資料は印刷可能な形にしてほしい、必要分だけ出力したい	1

オンライン教材	
意見	合計
講師の解説・指導が良くなかった	9
操作・説明がわかりにくい	4

講義ノート・テキスト	
意見	合計
文字・画像が見づらい	8
オンラインであっても冊子のテキストが必要	5
印刷したPDF資料（講義ノート等）が見づらい	1
講義ノート・テキストを印刷するのは大事	1
内容を充実させてほしい	1
理解しにくい	1

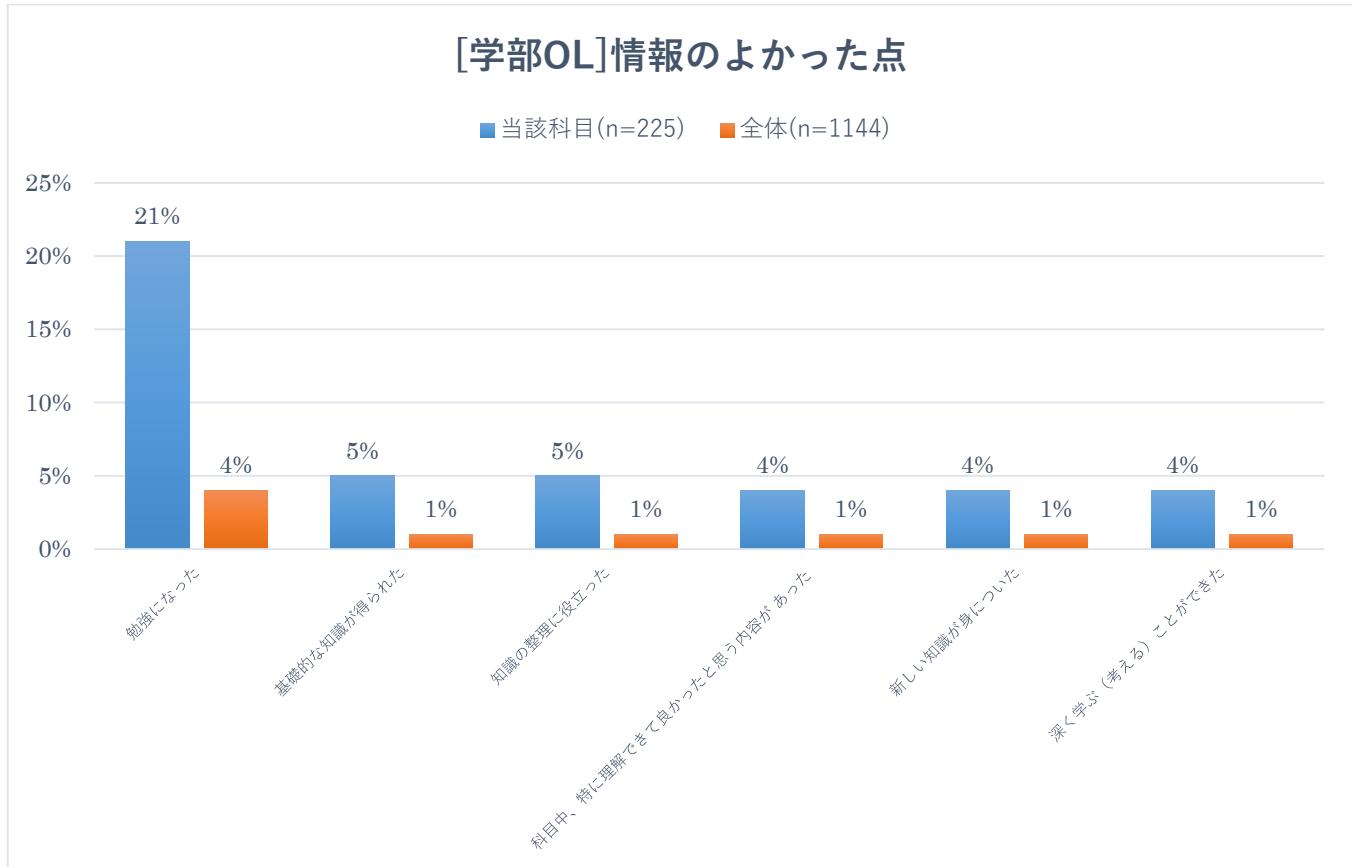
【学部オンライン】「情報」の傾向

よかったです点

「勉強になった」(21%) が最も多かった。「基礎的な知識が得られた」(5%)、「知識の整理に役立った」(5%) がこれに続いていた。

「勉強になった」以外は全体的に大きな差はなかった。

図 3-2-3 【学部オンライン】よかったです点

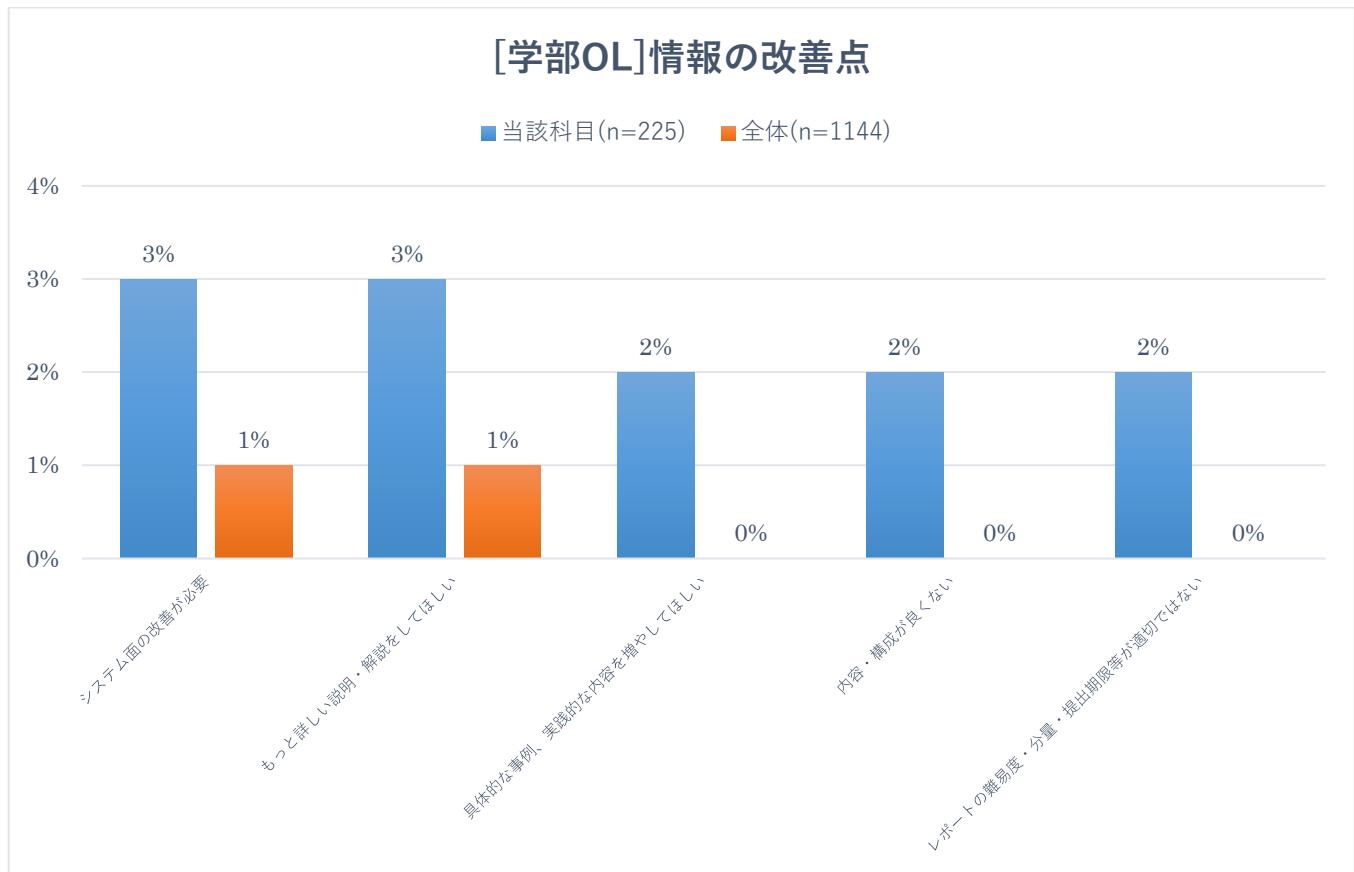


【学部オンライン】「情報」の傾向

改善点

「システム面の改善が必要」、「もっと詳しい説明、解説をしてほしい」がそれぞれ 3%で、「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」、「内容・構成が良くない」、「レポートの難易度・分量・提出期限等が適切ではない」、がそれぞれ 2%で続いていた。

図 3-2-4 【学部オンライン】改善すべき点



【学部オンライン】「情報」抜粋

よかったです

- 2年ほど前に前回を履修しまして、この度新設されるとのことで受講しました。やはり、C言語はポインタが肝であると再認識しました。今でもセキュアプログラミングの定番の課題となるような懸案を意識しながらレポートを作成しました。シフト演算の課題でしたが、例えば、「ビット単位の演算子は符号無しオペランドに対してのみ使用する」「負のビット数のシフトやオペランドのビット数以上のシフトを行わない」などの点に注意してレポートを作成しました。C言語は、モダンな高級言語と比べると考えなければならないことが多すぎて生産性は高くなのかもしれないですが、痒い所に手が届く感じが好きです。メモリを直接操作している感覚が（アセンブラー言語以外では）最も感じることができるのが好きです。その感覚を講義においても十分感じることができました。
- 参考書で独学するより、内容が簡潔でわかり易かった。
- C言語基礎演習を履修した後にこの科目を履修したことで、より知識と技術が身についた。
- C言語をつかわなくなつて30年以上となり、コマンドも忘れかけていたが、この講座を受け知識がよみがえった。特にCでプログラムを書いていた頃よく理解していなかつたポインタを理解でき、よかつた。ポインタは他の言語でも使われるようになり、プログラムを書くのに必須の理解が困難な知識だと思います。
- よく練られた講義内容で、非常に興味深く学習できました。ポインタとか構造体の扱い方とか、学生時代はぼんやりした知識だったのが頭の中で整理整頓されました。コミュニティでは森本先生の熱意が感じられます。
- C言語を受講した際に、もう少し先をと思いアンケートに書かせていただいたが、すぐに続C言語が開設され感謝している。学習範囲はC言語の際に感じた不足範囲を網羅していてとても学びの多い科目になつてゐる感じました。
- 自分のプログラミングの知識がどの程度で、どのような内容が不足しているかを知ることができた。ポインタや多様体について、今後の学習で習熟していきたい。
- 森本先生の教材は十分に推敲されており受講生からの信頼も厚く私も交流フォーラムに参加してみたかったのですが、レベルが高すぎて浮きうるやうなのでやめときました。
- 前学期に受講したC言語基礎演習（'20）に引き続き良質な教材で、くじ引きや乱数の確率など数学の勉強にもなつて良かったです。
- C言語への興味を持続することができた。
- C言語基礎演習の続編ということで、ポインタなど実践的な項目について学ぶことができたこと
- C言語基礎演習で扱いきれていない部分を学習できた。特にポインタは以前挫折したので、今回改めて学習し、基本的な部分が理解できたので、この先本を見て勉強できそうなところまで行けたと思う。
- 「C言語基礎演習」を受講後に本科目「続・C言語基礎演習」を受講したことにより理解が深まつた。
- 40年くらい前に福岡工業大学の夏季集中講義(2週間程)で、柴田望洋先生からC言語を直接教わりました。まだ当時若かった柴田先生のC言語とは何かを語る独特の熱弁は、柴田先生の多くの著作とは一味違つた魂を感じました。今回の受講でその時の感動が再び甦つたような気分になりました。
- この科目は、私にとっては、最高最良の講義でした。有難うございました。続編に期待します。

【学部オンライン】「情報」抜粋

改善点

- 時間的な制限やソースコードの長さの制限があるかと思いますが、もう少しセキュアコーディングの点の指摘があればなお良いと思います。
- 難しいですし面倒くさいことですが、結局のところ、これらが無意識にできれば生産性が上がるわけですし。
- main関数とその他の関数との値のやり取りについて、別解や値の動きを具体的に可視化するなどがあれば、より理解しやすいかと思いました。
- プログラム作成の量を、倍くらいに増やすほうが良い。
- Cに限らず、続編があれば受講したいと思います。
- ポインタの実用例がもう少しあると理解が進むと思う。
- 改善ではなく私自身の課題として、ポインタや配列、構造体は自在に使いこなせるまでの理解には至っておらず少し復習しないと、と思っています。
- アンケートで「印刷した」にチェックしたのは学習を進めながらでは無く受講後の復習用の為です。
- 今後学習の参考になる文献を示してほしい
- 教科書がテキストベースで、解説の為の図や動画が少なかった。
- C++に触れた回があっても良いと思います。
- 特にありませんが、簡単なファイルの扱いに関する項目があれば、プログラミングの面白さをより感じられるのではないかと思います。
- ゆっくりじっくりやって行った為に、最後の構造体についての理解が今一つで、最後の提出課題を作り送信完了して、プログラムは動きますが、未熟すぎるので もっと深めていこうと思っています。
- つまづきやすい点について、もう少し講師の解説動画があるといい。
- 「C言語基礎演習」と「続・C言語基礎演習」の間のギャップが私には広くて高いものでした。(急に難しくなったと感じました)。
- 先生の丁寧なご指導で、間もなく乗り越えられましたが…。
- 期末のレポートもかなり程度が高かったです。(学びがいがありましたが…。)
- 小テストの提出が1回だけなので、やりっぱなしで終わってしまって教育効果が低いと思う。最高点で評価して何度も受け直せる方が小テストとしては意味のあるものになると感じた。
- オンラインだけでなく実際に講義を受けてみたいと感じた。
- バブルソートについては自分でプログラムを書けるまで深く理解できなかった。
- 講義の内容に比べて、レポートが難しい
- 題意がさっぱりわからない、問もあった
- 講義と同じレベルに下げてほしい。
- C言語のポインター関連のエラー対処はデバッガを使いこなすことが求められるので、講義に取り入れてほしい。
- 最後の 課題B-3 以降 プログラムのアルゴリズムの流れをもう少し具体的に示してほしかった。
- どういうで 処理の流れで 作成すべきかピンとこなかった。
- 各回終了後、練習問題の解答を印刷できるようにしてほしい。

【オンライン学部】「情報」

よかつた点

科目全般	
意見	合計
勉強になった	48
基礎的な知識が得られた	12
知識の整理に役立った	11
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	10
新しい知識が身についた	9
深く学ぶ（考える）ことができた	9
交流フォーラムが良かった	3
体系的に学べた・理解できた	3
学習意欲・知識欲がわいた	2
興味・関心が持てた	2
具体的な事例、実践的な内容があった	2
現在の課題や身近な問題点を学べた	2
最新の情報・研究が学べた	2
自分の知識不足、学習不足を自覚できた	2
内容・構成が良かった	2
楽しかった	1
今後に役立つ内容だった	1
視野が広がった	1
自分のペースで勉強できた	1
専門的な内容だった	1
全体として満足している	1

オンライン教材	
意見	合計
パソコン上で実際にソフトを動かしながらの解説が分かりやすかった	2
講師が良かった	2
講師の解説が分かりやすかった	2
理解しやすかった（放送授業）	2
講師の熱意・熱心さが伝わった	1
設問解答・小テスト（確認テスト）等と連動していて良かった	1

【オンライン学部】「情報」

改善点

科目全般	
意見	合計
オンライン教材	合計
システム面の改善が必要	7
オンラインの特性が十分に生かされていない	1
図・表・写真・映像を多く取り入れてほしい	1
操作・説明がわかりにくい	1

設問回答	
意見	合計
レポートの難易度・分量・提出期限等が適切ではない	4
小テスト・練習問題の問題数を多くしてほしい	4
小テスト・練習問題に誤りがある	3
講義内容と演習課題に隔たりを感じる	1
出題の仕方が不適切だった	1
小テスト（確認テスト）の解答・解説に不満がある	1

科目全般	
意見	合計
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	6
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	4
内容・構成が良くない	4
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	2
例題・練習問題を増やしてほしい	2
テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい	1
科目全体の内容・構成が良くない	1
学校の対応（WAKABA、シラバスを含む）が不十分だった	1
講義回数を増やしてほしい、受講期間を長くしてほしい	1
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい	1
資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい	1
質問箱での対応が良くない、質問箱は制限が多い	1
新しい科目、広い分野をカバーする科目がほしい	1

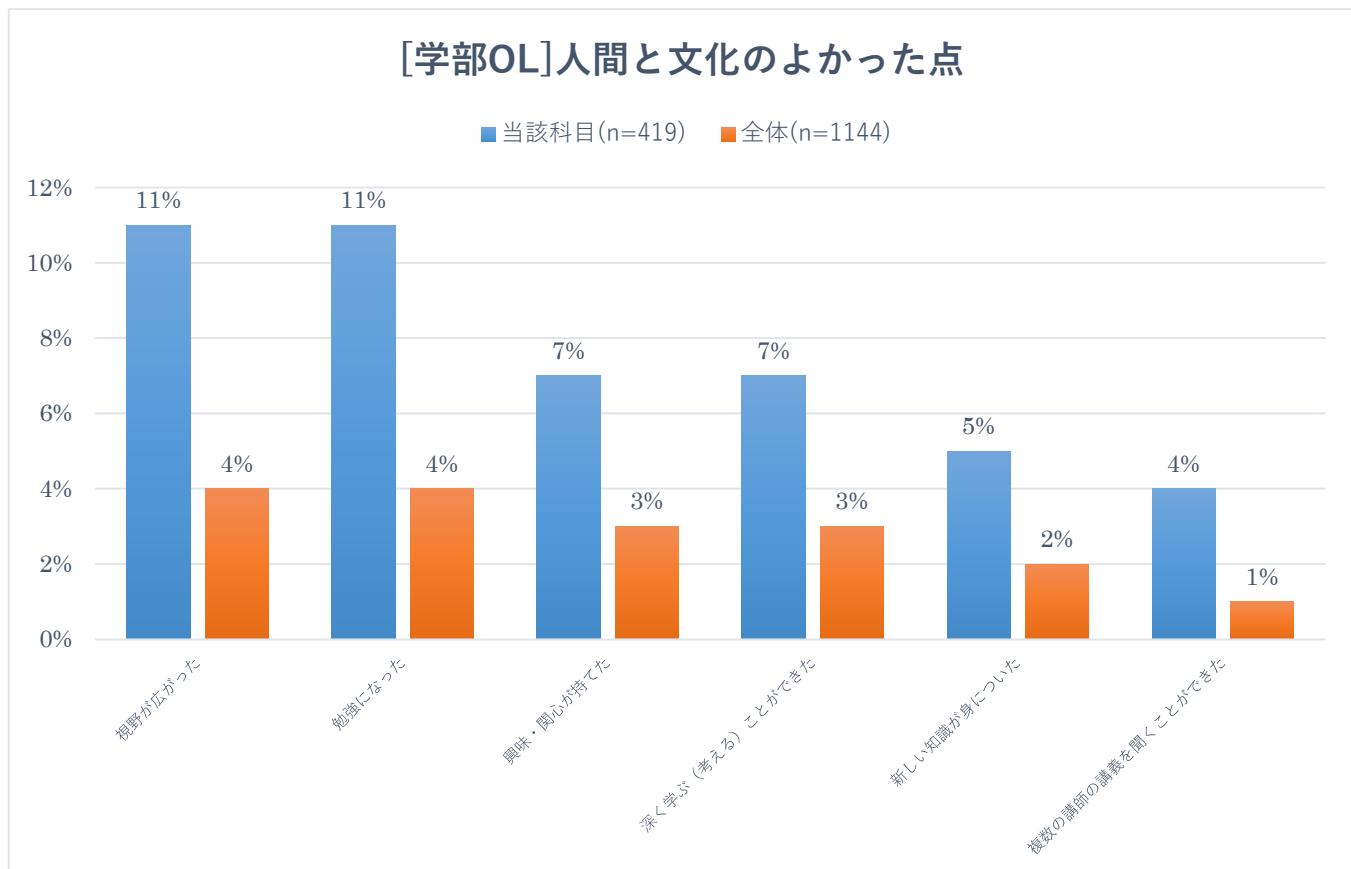
講義ノート・テキスト	
意見	合計
オンラインであっても冊子のテキストが必要	2
講義ノート・テキストを印刷するのは大事	2
印刷したPDF資料（講義ノート等）が見づらい	1
内容を充実させてほしい	1
文字・画像が見づらい	1

【学部オンライン】「人間と文化」の傾向

よかったです点

「視野が広がった」、「勉強になった」(11%) が最も多く、「興味・関心が持てた」、「深く学ぶ（考える）ことができた」(7%) がこれに続いていた。

図3-2-3 【学部オンライン】よかったです点



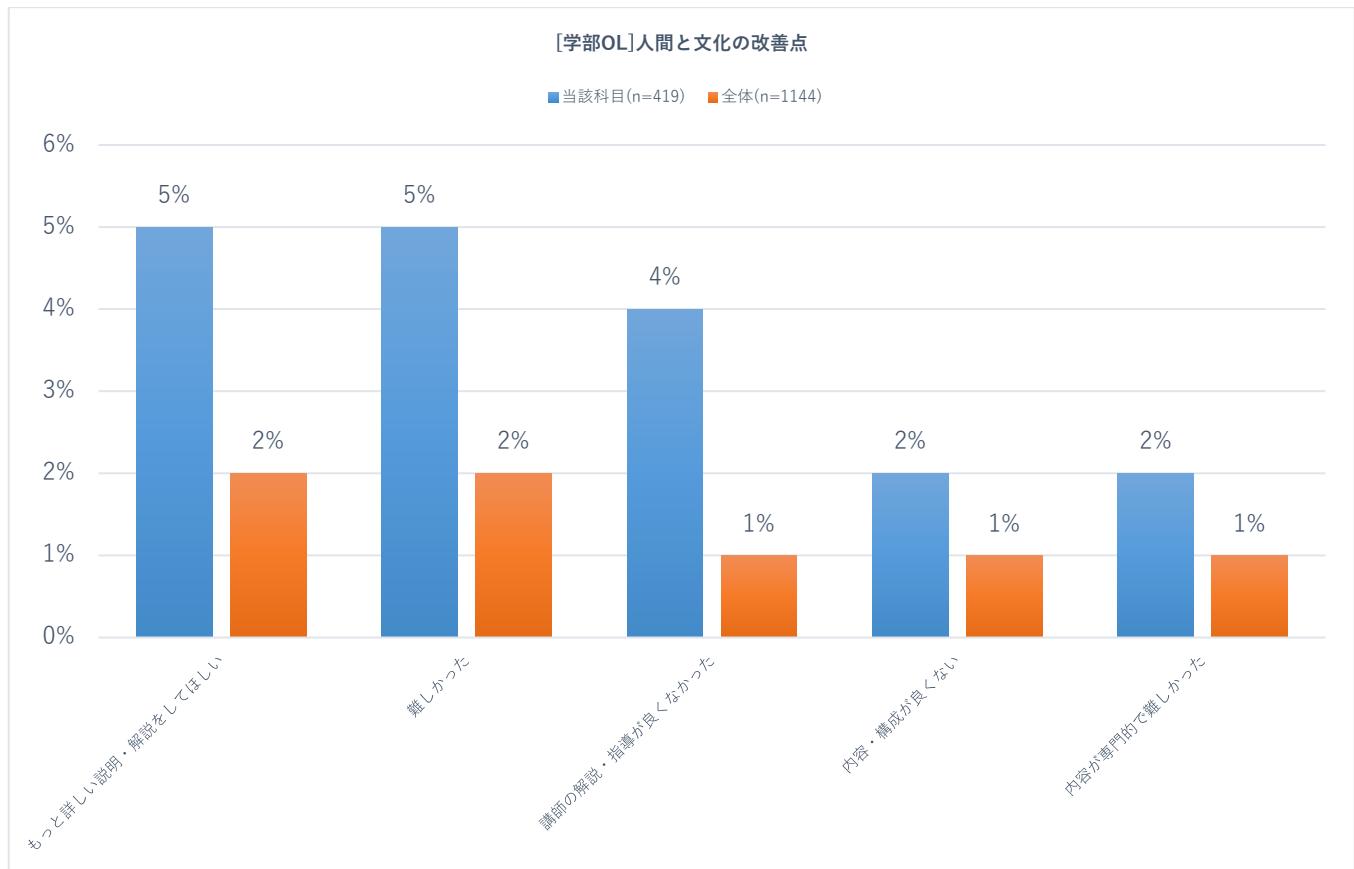
【学部オンライン】「人間と文化」の傾向

改善点

「もっと詳しい説明、解説をしてほしい」、「難しかった」がそれぞれ 5%と高く、「講師の解説・指導が良くなかった」が 4%であった。

「内容・構成が良くない」、「内容が専門的で難しかった」がそれぞれ 2%で続いていた。

図 3-24 【学部オンライン】改善すべき点



【学部オンライン】「人間と文化」抜粋

よかったです

- 物事を客観的かつ体系的に捉えられるところ
- 講義自体は興味深く拝見いたしました。講師のみなさんが違う分野の方々で、それぞれの視点の違うお話を大変面白かったです。
- 時間について、それぞれの専門講師の立場から、様々な観点からしてして頂き、今後の学習につながるよい考察のきっかけを与えていただいた。この科目を受講したことにより、学際的に視野が広まった。
- 文理の枠を超えて様々な領域から学ぶことができ、視野が広がったと思います。
- ① 1つの学問的テーマに対しいろいろな角度から考察し、それぞれの専門分野の先生から学べたこと
② どの先生も最新の研究成果をわかりやすく、熱意をもって教えられたこと"
- 時間という一つの軸をもとに複数の分野を横断的に学べる点
- 時間という生活に必要不可欠なテーマを、物語、物理、心理学まで幅広くかかわりながら知ることができたところ。普段とは違った脳の動きを感じることができ、毎回の講義が楽しくて仕方なかった。モモも何度も読んだし、相対性理論はわからなくても実験風景にはわくわくした。生活に直結し、今までの固定観念を変えてくれた想像以上の濃い内容だった。音の実験、先生方の手書きスケッチブックも授業の一方通行を緩やかにする効果があったと思う。対面授業を受けている、一緒に参加しているような感覚をオンライン授業で初めて感じた。
- 時計の表示以外に、心理、文化、音楽等で、今まで知らなかった「時間を意識する世界」があることがわかりました。時間は追いかけてくるようなイメージでしたが、客観的に落ち着いて、時間を見られるようになりました。
- ゲストの先生からも様々な話題提供があり、とても良かったです。
- 自分が想像もできなかった内容で、新しい教養が身についた。
- 自身の年齢からも「老いの時間」について興味をもって受講しました。
- また、「時間の相対性」、「哲学と時間」の説明など大変、参考になりました。
- 自分の生活の糧になる説明が多くて満足度の高い受講となりました。
- 自分の時間概念の捉え方の狭さに気づき、より深く知りたい、考えたいと思うようになりました。
- 社会人の学び直しとしてとてもよくできている。シンポジウム的な構成もためになった。
- この科目の講義から参考図書などの繋がりで、関心が広がった。
- 物理学とハイデガーの回は申し訳なく思うほど理解できませんでした。ですけれどまったく知らないことに触れられた喜びはありました。
- 魚住先生の講義はいくつかとったことがあるのですが、学識の深さに感心します。"
- 普段取り立てて考えることのない時間について、多方面から考えることができた。
- 「時」についてさまざまな捉え方、表現、歴史などに触れて、認識が広がりました。
- 時に追われるのではなく、その時を楽しめるようになることが目標です。"
- 時間という題目を様々な視点から切り口を変えながら議論するというとても興味深く、幅広く、底は見えず、毎回講師の先生方の議論や解説もとても楽しい授業でした。モモの時間の花と科学の回が印象に残りました。
- 私は闘病中ですが、健全な思考過程で時間を捉える人のロジカルな生き方も学ぶことが出来てそれも新たな刺激になりました。

【学部オンライン】「人間と文化」抜粋

改善点

- オンラインという形式上仕方のないことだと思いますが、双方向のやりとりがもう少しあるとよいと思いました。
- 改善ではなく……わたくし個人の体調不良と、勘違いによる締め切り日を逃してしまった最後まで受講できませんでした。こちらの授業は再受講ができないので、悔やまれます。
- 今回もう一度受講する予定です。
- はじめてで、システムをはっきり理解できていなかったものもあるので、色々な注意事項をよく読んで、今回は気をつけたいです。
- 3件のレポートは主任先生方の講義に限定せず、受講生がそれぞれ自分の好きな分野を選択できればよかったです。
- 哲学の回は非常に難解で何度か動画を見返してもなかなか理解が及びませんでした。多分野を一つの科目で学べる利点と引き換えに1つの分野にさける時間は短いので初学者にやさしく説明するにも限界があるとは思いますが、講義内容を補足するような初学者向けの参考文献などを紹介いただけたと理解を深める助けになるかなと思いました。
- また、設問の解説がもう少し充実していると嬉しいです。
- 2023年から始まったのですよね。
- みなさんからのアンケートをもとに更にバージョンアップした時間を極める、を受けてみたい！
- 物理現象の説明は、数式に加えて、具体的にイメージできる日常的な事例があれば良いと思います。
- 分野を広げすぎてまとまりが無いように思えた
- 日々の予定のために、ディスカッションができない、アーカイブを視聴する形式で講義受けている。新聞社主催のオンライン形式の後援会でチャットを書き込んだことはあるが、この講義ではオンライン授業に慣れていないことから、ディスカッションなどオンライン授業ならではのメリットを生かせなかった。
- 「時間」という言葉がどの分野で、どのように論じられているかの、総論が当初の回で展開されるほうが、以後の回のつながりが分かり易いと思った。初回で為されていたのかもしれないが、私には分かりにくかった。
- オンラインをもっと生かせた方が実りある講義になるのではないかでしょうか。
- 放送授業と現状では差はありませんと感じました。
- 一部講師が興奮したのか突然早口になったりしたため十分に理解ができないまま進んでしまったので、再度再生して理解に努めた。
- ディスカッションに参加しなかった。コミュニケーションに参加しなかったので、私の努力不足です。
- 練習問題や小テストに誤記で問題が解きにくかったところを改善していただきたいです。
- 適切でないものを答える問題の解説について、「正解は○○である」という表現に齟齬があり、その選択肢が適切であると錯覚し得る。こうした問題の場合は「○○が不適切で××が正しい。よって正解は(1)」などに統一したほうが良かった。
- パソコンとタブレットを併用しながら学習を進めました。特に不自由は感じませんでしたが、パソコンのグレードアップが必要かなと思いました。
- 哲学の講義は授業の時間が短かく理解が困難。

【オンライン学部】「人間と文化」

よかつた点

科目全般	
意見	合計
科目全般	
意見	合計
視野が広がった	48
勉強になった	44
興味・関心が持てた	30
深く学ぶ（考える）ことができた	30
新しい知識が身についた	20
身近に感じられる内容だった	10
今後に役立つ内容だった	8
学習意欲・知識欲がわいた	7
楽しかった	5
自分の意見・考えを持てるようになった	5
内容・構成が良かった（科目全般）	4
知識の整理に役立った	3
具体的な事例、実践的な内容があった	2
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	1
交流フォーラムが良かった	1
自分のペースで勉強できた	1
自分の知識不足、学習不足を自覚できた	1
全体として満足している	1
体系的に学べた・理解できた	1

設問回答	
意見	合計
レポート作成が楽しかった	1

オンライン教材	
意見	合計
複数の講師の講義を聞くことができた	15
良い授業だった	6
オンラインの特性が生かされていた	4
講師が良かった	4
授業各回の内容・構成が良かった	3
対談形式の授業が良かった	3
楽しかった	2
講師の熱意・熱心さが伝わった	2
ゲストを招いた授業が良かった、ゲストの話が良かった	1
科目全体の内容・構成が良かった	1
講師の解説が分かりやすかった	1
図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった	1
設問解答・小テスト（確認テスト）等と連動していく良かった	1
理解しやすかった（放送授業）	1

【オンライン学部】「人間と文化」

改善点

科目全般	
意見	合計
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	23
難しかった	23
内容・構成が良くない	7
内容が専門的で難しかった	7
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	6
科目による難易度の差が大きい	3
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい	3
内容の詰め込みすぎ	3
科目全体の内容・構成が良くない	2
学校の対応（WAKABA、シラバスを含む）が不十分だった	2
講義回数を増やしてほしい、受講期間を長くしてほしい	2
授業科目案内は内容が不十分だった	2
努力不足だった	2
内容にまとめがない	2
現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい	1
講義内容と科目名に乖離がある	1
質問箱での対応が良くない、質問箱は制限が多い	1
新しい科目、広い分野をカバーする科目がほしい	1
単位数の多い科目を増やしてほしい	1
幅広い視点でのカリキュラム編成をしてほしい	1
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	1

設問回答	
意見	合計
小テスト（確認テスト）の解答・解説に不満がある	7
出題の仕方が不適切だった	6
レポートの難易度・分量・提出期限等が適切ではない	4
小テスト（確認テスト）の難易度・分量・制限時間等が適切ではない	3
レポート提出の方法がわかりにくい	1
各問題の解答・解説がほしい	1
小テスト・練習問題に誤りがある	1
小テスト・練習問題の問題数を多くしてほしい	1

オンライン教材	
意見	合計
講師の解説・指導が良くなかった	15
システム面の改善が必要	5
オンラインの特性が十分に生かされていない	1
ディスカッション・グループ学習は改善が必要	1
内容・構成が良くない	1

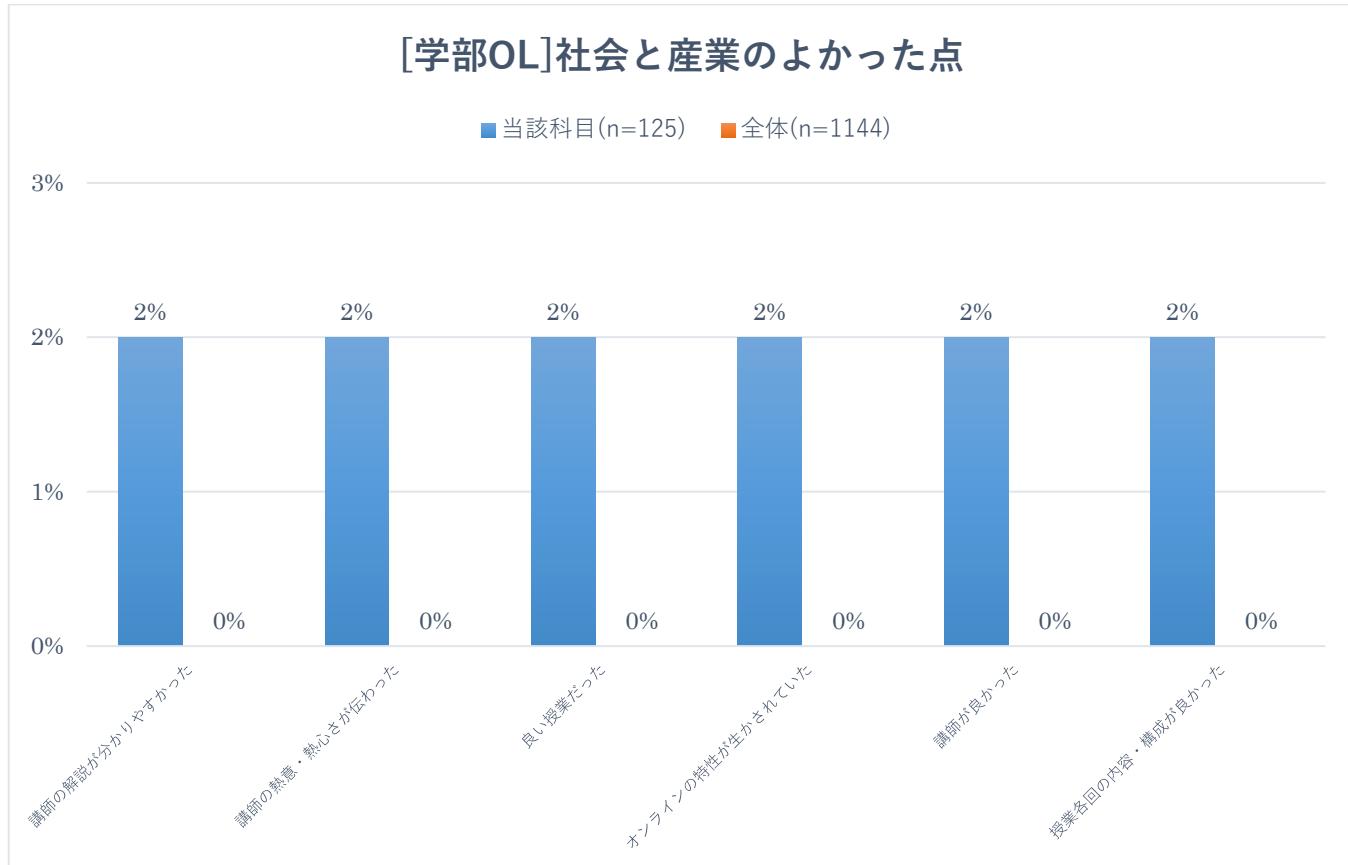
講義ノート・テキスト	
意見	合計
オンラインであっても冊子のテキストが必要	5
内容を充実させてほしい	3
文字・画像が見づらい	2
印刷したPDF資料（講義ノート等）が見づらい	1

【学部オンライン】「社会と産業」の傾向

よかつた点

「講師の解説が分かりやすかった」、「講師の熱意・熱心さが伝わった」、「良い授業だった」、「オンラインの特性が生かされていた」、「講師が良かった」、「授業各回の内容・構成が良かった」がそれぞれ（2%）であった。

図3－23 【学部オンライン】よかつた点



【学部オンライン】「社会と産業」の傾向

改善点

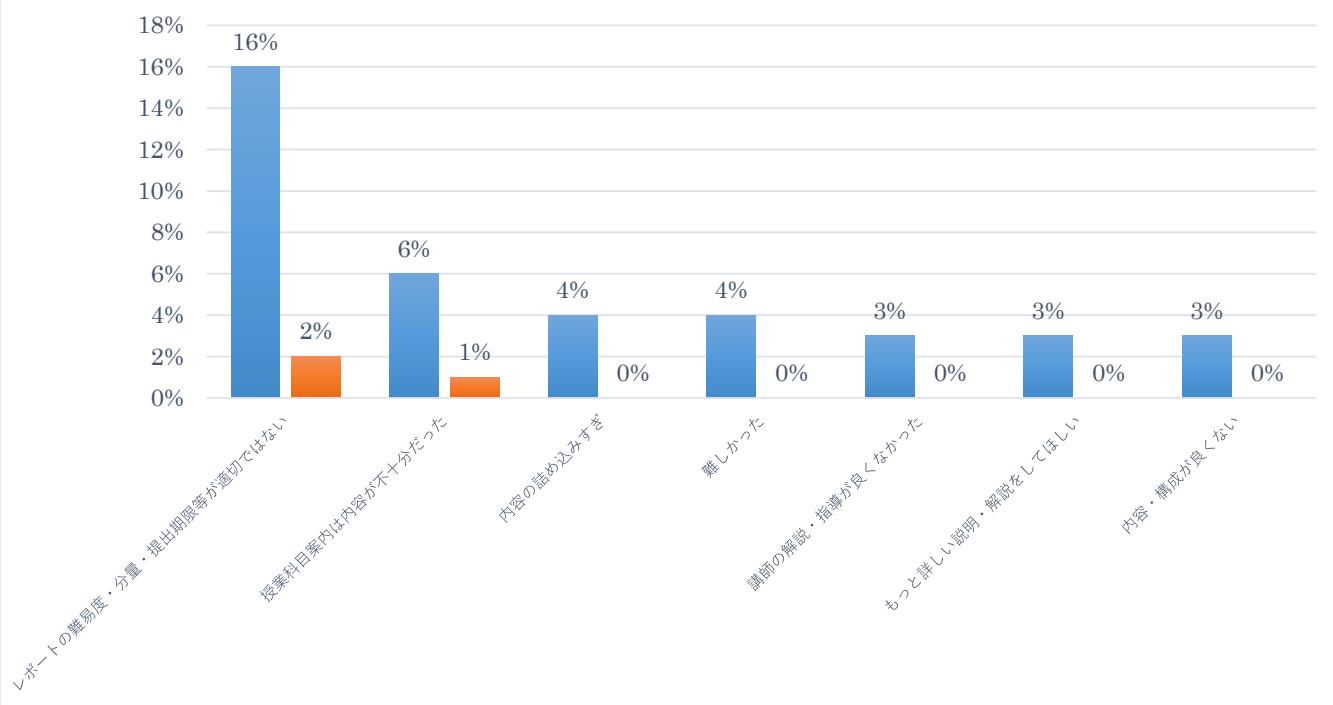
「レポートの難易度・分量・提出期限等が適切ではない」が 16%と最も高く、「授業科目案内は内容が不十分だった」が 6%で続いていた。

「内容の詰め込みすぎ」、「難しかった」がそれぞれ 4%であった。

図 3-24 【学部オンライン】改善すべき点

[学部OL]社会と産業の改善点

■当該科目(n=125) ■全体(n=1144)



【学部オンライン】「社会と産業」抜粋

よかったです

- 新聞やテレビのニュースなどの見方に、多角的な視点で見たり聞いたりという心構えを持つことを意識するようになった。
- 内容はむつかしかったが、何回か聞くうちに少しづつ理解できて来た。
- 内容が充実して非常によかったです。毎回のレポートにかならず評定コメントがあり、りっぱな教授だと思いました。我々最後の全共闘世代で、「日常性への埋没」「非政治的世界への逃避」を決め込んで50年、この政治世界の変遷を学ぶことができました。
- 講師の先生の熱意が十分に伝わった。レポートに対し、コメントを頂けたことは大変有難かったです。本講師のラジオ科目は何回か受けたが、オンライン授業を通して、山岡先生の思想の一端に触れることができ、とても嬉しかった。
- 全体主義と現代のネオリベラリズムへのつながりが、政治理論の立場から良く理解が出た。
- これまで全体主義や新自由主義という用語を知ってはいたものの、きちんと学んだことはなかつただけに少しはそれらの理論を意識するようになった点。
- 様々な思想家の理論的なものの考え方があることとその歴史的な時間の流れを感じることができたことです。
- よく知らない哲学者の考え方等を学べたことや、政治哲学というものに触れたことは、大変参考となった。
- 『アカデミックライティング』の一端を経験できて良かった。
- 英語圏の政治理論について代表的な理論家を取り上げ、ポイントを押さえた解説がよかったです。知らない理論家も多く参考になった。21世紀の政治状況を理解したり俯瞰したりする枠組みを一部なりとも得られたことが大きい。例示された参考文献のうちマイケル・フリーデン「リベラリズムとは何か」やバーリンの著作をよんだが、他の参考文献も読んでみたいと思います。
- たぶん放送大学で一番良くできた講義だと思います。
- 西洋政治思想の重要な論点を学ぶきっかけとなったこと。
- 毎回のレポートのほぼすべてに率直なコメントをいただき、講義内容についての理解が不足しているところがわかった点
- 全部は理解できず結局はついていけなかつたが、全体の流れや大まかな考え方について知ることができて良かった。いずれ機会があれば今回の知識を元に広げて行けたらと思う。
- 知識が身に付き、世界を見る視野が広がったように感じます。
- 放送大学の授業全体から比較して難易度が高かったと感じているが、腰を据えて取り組まねばならない内容であることをシラバスを確認した時点で把握することができたので問題なく取り組むことができた。政治・社会について当たり障りのない範囲を超えて学べる授業が少ないと感じていたため、このような授業をこの形態で受講することができてよかったです。
- レポートにとても丁寧なコメントが返ってくるので驚いた。内容が濃かったです。
- フィードバックが丁寧に行われていたことに驚きました。今までのオンラインの科目で最も丁寧だったと思います。私はあまり良い生徒ではありませんが、見ていただいているのだと思うと学習意欲も保てました。
- 政治哲学を学習するのは初めてでしたが、大変勉強になりました。
- 政治哲学について、おおよそは理解できたと思う。しかし内容は難しかった。リベラリズムを何とか生かそうとする学者の真摯な努力が理解できたことは私としては、幸いであり、希望を将来にもてた。自分の勉強不足を思うが、なかなかの難しい授業であったと思う。今後の勉強の糧になった。
- もっとも関心の高かったテーマを、正面から取り上げている講義で、たいへん面白かった。
- 関心はあっても政治に関して全く無知の者としては、政治を考える軸となるものとか、思索するための枠組みなどからの説明があり、道筋を示していただけたように思う。
- 有名な政治理論について理解を深めることができてよかったです。講義が充実していました。

【学部オンライン】「社会と産業」抜粋

改善点

- できれば、講評をもっと早く返信してもらいたい。
- 話だけでなく、まとめの図解した表があったら、もう少し理解が進んだかもしれない。
- 内容が充実していたので、他の授業もこの授業のレベルまで改善していただければ良いと思います。
- 内容的に専門的過ぎて難しいと感じはしたが、講師の説明の仕方もそれに拍車をかけるものだと考える。
- 説明が飛び飛びになっていたので、纏まりのある理解しやすい内容にしてほしい。
- すべてのレポートにコメントを頂くことは、大変有難かった。ただ、特に卒業にこだわらない再入学であり、合否に関しては精神的余裕があった。学部卒業で学位を目指す学生にとっては、きつい内容だったと察している。山岡先生に薰陶を受けたい学生にとっては、とても有難い授業である。
- 各回のレポート、最終レポートでの課題文が短すぎて、講師の意図が捉えきれなかった。
- 各回のレポートでは、講義の内容以外を書いてはいけないなどの指摘があったため、最終レポートではどのように自分の意見や考えを入れていいのか大いに悩んだ。
- 講師の全体批評において、レポート内容に対する不満があったが、受講者としてはもっと丁寧に課題文を書いていただければ、このような講師の意図の取り違いによる回答内容のズレが少なくなったと思った。
- また、各回レポート評価において、丁寧な解説を頂いたが、300字制限中に、あれやこれを入れたほうが良かったと言われても、何が一番大事なのか理解できておらず非常に難しかった。
- また、オンライン授業のため、講義の内容が文章化されておらず、復習に支障を感じた。印刷教材で文章化されていれば、難しい内容も何度も読み返して理解が深まったと思った。"
- 論理的な思考を理解する上で身近に感じられる例えを増やしていただけだと理解がより進むかもしれません。
- 難しい言葉がたくさん出て来て、それに慣れるのが大変で合った。もう少し、難しい単語の解説があつても良かったのではないかと思う。
- 1回の講義で一人の理論家を取り上げているが、一週間で一人の思想家の理論を理解することが難しかった。また、講師が時間的制約のもと早口でたくさんの中をしゃべらなければ成らず、よく聞き取れないところが有った。第15回のレポートと最終レポートが重なり、最終レポートが2日の差で間に合わなかった。最終レポート提出期限を一週間ずらしてもらえた良かったです。
- 内容が豊富すぎて駆け足になっていると思われる。できれば2期に分けて開講していただければ理解が進む。
- 欲を言うと、最終レポートについても個別にコメントをいただきたかったです。
- 進行が拙速すぎます。
- 私の力不足かもしれません、ボリュームが多く、学習時間が想定以上に必要でした。
- せっかく動画なのにほとんどは文字が映っているだけだったので、映像や写真などの視覚的な資料がもっとあるとよかったです。
- 一回の授業の内容が濃いので、一単位にして二部構成の方が学習意欲を保てるようと思いました。毎回のレポートのことも考えると、二単位の授業だと正直しんどく思う面もありました。
- 各回講義視聴時間が80分を超えており、4単位授業並みの視聴と準備時間となっている。2単位授業との差異の解消が必要かと感じる。
- あらかじめ予習しておくべき項目が多岐に渡るので、それをこなしておく案内と、覚悟が不足していた。
- 先生がかなりの量を入れようとされたことからと思うけれど、時々早く話され老人の私は理解できなかったところがある。先生に異議を申しあげているのではありません。私の責任ですから。

【オンライン学部】「社会と産業」

よかつた点

オンライン教材	
意見	合計
講師の解説が分かりやすかった	3
講師の熱意・熱心さが伝わった	3
良い授業だった	3
オンラインの特性が生かされていた	2
講師が良かった	2
授業各回の内容・構成が良かった	2
ポイントがつかみやすかった	1
科目全体の内容・構成が良かった	1
設問解答・小テスト（確認テスト）等と連動していて良かった	1

【オンライン学部】「社会と産業」

改善点

科目全般	
意見	合計
授業科目案内は内容が不十分だった	7
内容の詰め込みすぎ	5
難しかった	5
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	4
内容・構成が良くない	4
内容が専門的で難しかった	2
科目による難易度の差が大きい	1
科目全体の内容・構成が良くない	1
期待していた内容ではなかった	1
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	1
現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい	1
講義回数を増やしてほしい、受講期間を長くしてほしい	1

設問回答	
意見	合計
レポートの難易度・分量・提出期限等が適切ではない	20
出題の仕方が不適切だった	2
レポートにコメントを記載してほしい	1
小テスト・練習問題の問題数を多くしてほしい	1

オンライン教材	
意見	合計
講師の解説・指導が良くなかった	4
システム面の改善が必要	2
図・表・写真・映像を多く取り入れてほしい	2
内容・構成が良くない	1

講義ノート・テキスト	
意見	合計
オンラインであっても冊子のテキストが必要	3

Ⅲ-3. 大学院（放送授業）

ここからは、全体との比較で当該科目がどういう傾向にあったのかを見ていきたい。

大学院については、専攻プログラム別（中区分）の自由記述の集計結果から、よかつた点は、当該科目について回答された項目が5%以上となったものを掲載した。

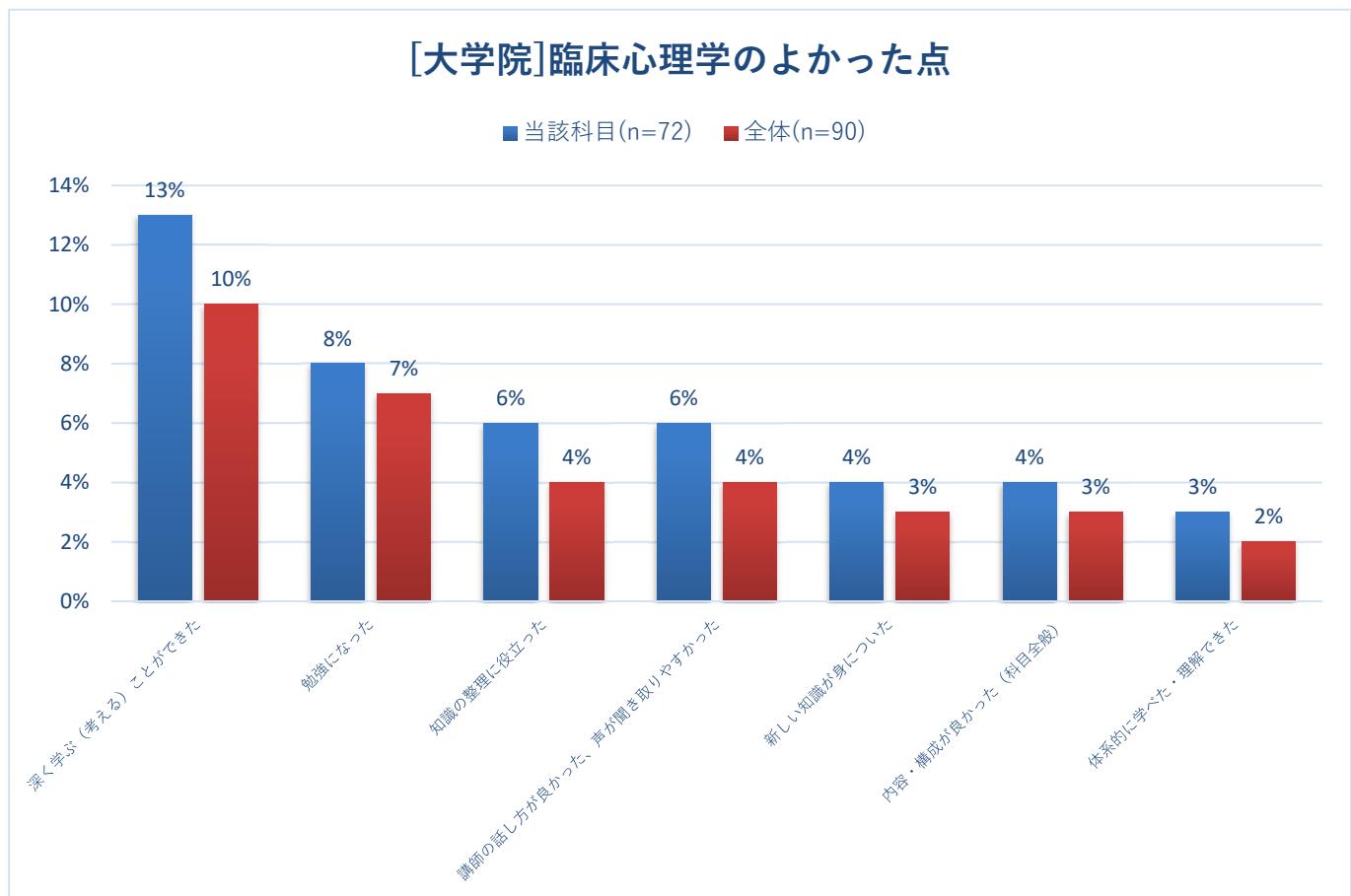
改善点は、当該科目について回答された項目のうち、5%以上、または上位5項目について掲載した。

【大学院】「臨床心理学」の傾向

よかつた点

「深く学ぶ（考える）ことができた」が13%と最も高く、次いで「勉強になった」が8%で続いていた。「知識の整理に役立った」「講師の話しが良かった、声が聞き取りやすかった」がそれぞれ6%であった。

図4-1 【大学院】よかつた点



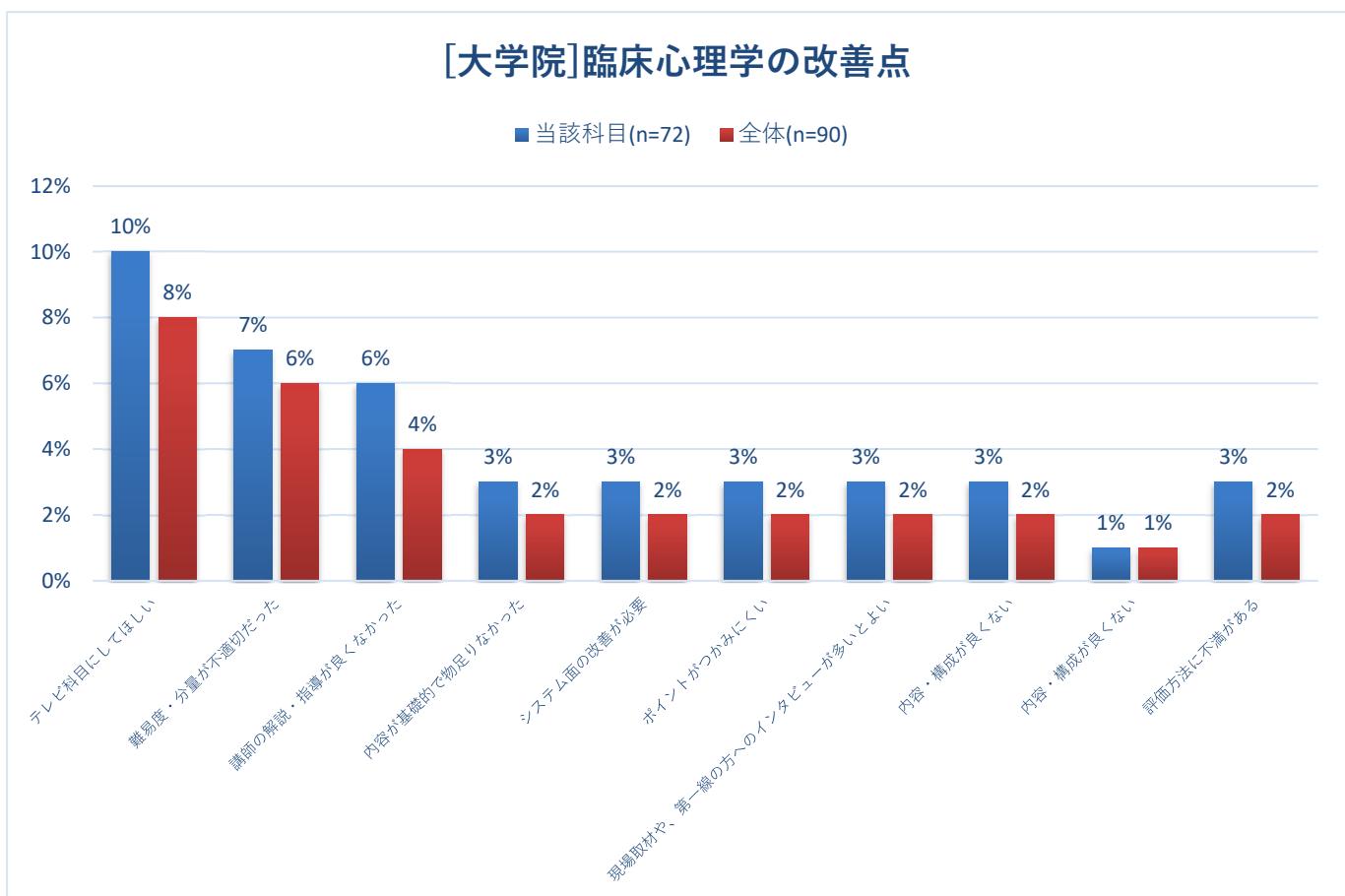
【大学院】「臨床心理学」の傾向

改善点

「テレビ科目にしてほしい」が10%と最も高く、「難易度・分量が不適切だった」が7%、「講師の解説・指導が良くなかった」が6%で続いた。

「内容が基礎的で物足りなかった」「システム面の改善が必要」「ポイントがつかみにくい」「現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい」、「内容・構成が良くない」「評価方法に不満がある」がそれぞれ3%で続いていた。

図4-2 【大学院】改善すべき点



【大学院】「臨床心理学」抜粋

よかった点

- 臨床心理学を概括的に学の役立ちました。全体像をつかみにくい学問なので、大学院科目ではあります、入門編的に活用しました。
- 全30回、よくここまで創り込まれたと思いました。一生の宝になる科目でした。今後の学習をしていく際に、この授業で学んだことが指針となると感じています。
- 今期からの改訂科目として履修したが、前期までの同科目と比較しても内容が刷新され良い学習になったと感じる。主任講師陣の変更によるところは大きいとは思うが、前期までの同科目内容が悪いとかではなく、新しい別の角度からの切り込みによって理解が深まったと感じる。
- 臨床心理学の基本的な事柄について、詳しく学ぶことができたこと。ラジオによる補足で更に分かりやすく、今まで疑問だった箇所も理解することができました。
- 臨床心理学の新しい地検に触れるができる内容だった。
- 学部で学んだ臨床心理学の知識を深めることができた
- 全体として、臨床心理学における全4領域を網羅しており、臨床心理学の全体像を把握するにはちょうど良い教材だと感じた。特にアセスメントの内容の数回は、印刷教材だけではなかなか理解することのできない、アセスメントの考え方などを、放送授業によって具体的にわかりやすく説明してくださっていたので、とても楽しく学ぶことができ、満足している。
- 大学で心理学を学んでいないことから、臨床心理学全体を学ぶことができてありがたい科目でした。ゲストの回は現場の方のお話が聞けて、臨床心理士がどのような仕事をしているのかイメージを持つことができました。数人の先生が科目を分担されている点も、飽きずに視聴できたポイントかなと思います。
- 文献紹介が参考になりました。
- 学部で勉強したことのおさらいとしてはよかったです。
- 臨床心理学についての知識が一通り復習できたこと
- 臨床心理学とその周辺の広い範囲の知識を得られた。このことによって、自分自身でいろいろな分野に深めていく可能性が開ける。臨床現場に携わる人、学者のインタビューが実践的でよかったです。
- 今まで学んできた内容の総括と、これから指針を示していただきました。このタイミングで受講できることは、まさに僥倖です。今後も印刷教材を傍らに置いて、折を見て見直します。特に大山泰宏先生の授業では、今後どのように学習を進めていかを、考えさせられました。
- 思っていた内容とは違ったが、だからこそ、思ってもみなかったところで活かせそうな知識が得られた。
- 臨床心理学のいろいろな課題や、背景までよく理解できました。
- 臨床心理学特論として全体的にどのような内容を学ぶのかの理解が得られた。社会生活で種々の問題が発生しているが掘り下げて見る視点や対処方法について学んだ。
- 基本的な内容で中核をなす教科であり知識の整理ができたことは良かったです。なお、私の場合は本科目が必須科目であるため受講は必須でした。
- 学部での学びをさらに深めることができた。
- 全体を掴んでいくにはとても勉強になった。放送では実際にはい現場で働かれている方の話を中心に印刷教材と分けたの内容もあり、より実践的なお話が興味深かったです。大山先生の授業は語りかけるようでとても聴きやすいです。
- 学部で学んできた臨床心理学の復習が出来たとともに、更に一步掘り下げて、心理職としての心構えが随所に散りばめられていたこと。
- これまで臨床心理学を避けて、発達心理学を楽しんできていたが、臨床心理学の内容がどんな内容なのかを理解できた。心身に障害がある人への理解の仕方の参考になった。

【大学院】「臨床心理学」抜粋

改善点

- 私自身は視覚的に学んだ方が理解が深まるので、やはりフリップボード等をテレビ映像で見たいです。
- 30回という抗議回数を、どこにも粗を感じることなく学習することができました。時間を作り、いつか2週目をするときが来ると思います。ここが臨床心理学の学びの本当のスタートラインだと思える科目です。迷ったらここに帰ってくるでしょう。
- 臨床心理学は実践の学びが全科生でも少ないため、放送授業の中に実践としての内容、ゲスト講師によるものなどをもう少し増やしてもいいと感じる。
- ただ、表面をさらっと流しただけの内容に終始して、深まりは感じなかった、
- 放送授業ではゲストの回が多くたが、印刷教材の内容も一通り触れて頂けると良いと思った。
- 印刷教材をそのまま読むだけの授業だと、時間がもったいない。発展的な資料を使っての説明などが欲しい。資料は放送大学のどこから生徒がダウンロードするなどして、教科書で読む以外の特典があるほうがよい。実験データなどの資料は、説明が不足しているところが多い。
- ゲストとの対談が長すぎると、逆に理解しづらい。放送授業印刷教材の流れに沿いながら、ゲストとの対談を挟んで、授業を進行いただくと、理解が深まる。
- 講師によって、テキストに準拠するかどうかが大きく変わる。テキスト通りの順番でお話しされる先生もいれば、あちこちに飛び先生もいて、受講スタイルを確立させられなかった。また、ゲスト講師の方のお話は参考になるところもあったが、一方で、その時間を確保するために早口で講義内容をまくしたてている回もあり、追いつくだけで精一杯だった。
- もっと、ゲストのお話しが聞ければよかったです。
- 放送授業を聞きながらテキストを見るのは、1回分のテキストの分量が多く、視覚と聴覚がついていけないと感じました。私の場合は、先に放送・テキストのどちらかで学んでから（予習）、もう片方で復習するのが効率的と思いました。ですので、放送授業では聴覚だけで理解できるような構成が良いと感じました。
- 画面がないので描いていただいた絵の説明がやはりわかりにくいところがあった。
- ラジオの音声だけだと、テキストをかなり読み込んでおかないと内容についていけないことが多いです。もちろんそれは学ぶ側の問題ですが、テキストには書かれていないゲスト講師の話も、少しテキストに組み込んで頂ければと思いました。
- 責任講師は、1人でよい。
- 印刷教材に書いてない内容が多い講師が主任講師であり、その講師の授業は理解できなかったのが残念であった。学ばせたい内容は言葉で話し、文字にも表せば理解しやすく、多くの科目で実施されており、感謝している。ゲスト講師の話は興味深いが、学習内容の説明がなくなり、わかりにくくなることが多くあった。ゲスト講師の人柄が伝わり、よかったです。1回目の放送から理解できないということは初めてのことであった。
- ラジオ講座のため、視覚的な学習がなく、関連資料等は別に確認する必要があった。できれば映像があると良い。ゲストによるリアルな現場の話は興味深く聞くことができ、大変良かった。
- 例えば、臨床描画法などの授業では、ラジオよりもテレビでの授業の方が視覚に説明できるので理解しやすいと思います。
- 個人的な希望となります、放送授業の各回の冒頭などで前後のつながり（講師の視点で）の説明があると、より理解が深まるように感じました。
- ここでしか学べないので心理療法の内容をもっと増やして欲しいと思った。
- 図や表を多く使ってほしい
- もっと時間を短く、簡潔な内容にしてほしい。
- 特に無いのですが…スマホでもいつでも講義を聴くことができるは本当にありがとうございます。通勤や家事の時に繰り返し聴くことができました。

【大学院】「臨床心理学」

よかったです

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
深く学ぶ（考える）ことができた		9	9
勉強になった		6	6
知識の整理に役立った		4	4
新しい知識が身についた		3	3
内容・構成が良かった（科目全般）		3	3
体系的に学べた・理解できた		2	2
引用・参考文献・補助教材・問題集、アプリの紹介が良かった		1	1
学習意欲・知識欲がわいた		1	1
今後に役立つ内容だった		1	1
最新の情報・研究が学べた		1	1
自分の知識不足、学習不足を自覚できた		1	1
専門的な内容だった		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
手元に置き、今後も読みたい内容だった		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の話し方が良かった、声が聞き取りやすかった		4	4
ゲストを招いた授業が良かった、ゲストの話が良かった		1	1
現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった		1	1
複数の講師の講義を聞くことができた		1	1
良い授業だった		1	1

改善点

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
幅広い視点でのカリキュラム編成をしてほしい		1	1
内容が基礎的で物足りなかった		2	2
内容・構成が良くない		2	2
授業科目案内は内容が不十分だった		1	1
最新の内容を講義してほしい		1	1
期待していた内容ではなかった		1	1
科目の分類に疑問がある		1	1
もっと詳しい説明・解説をしてほしい		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難易度・分量が不適切だった		5	5
放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい		1	1
印刷教材の形状が使いにくい		1	1
図・表・写真・イラストが見づらい		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
理解しにくい		1	1
内容・構成が良くない		2	2
声が聞き取りづらい		1	1
講師は1人の方が良い		1	1
講師の解説・指導が良くなかった		4	4
講師によって授業のレベルが違う		1	1
講師・ナレーター・ゲスト等の話し方が良くない、声が聞き取りづらい		1	1
現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい		2	2
印刷教材をもっと活用してほしい		1	1
印刷教材の内容と異なる・連動していない		1	1
ポイントがつかみにくい		2	2
テレビ科目にしてほしい		7	7
システム面の改善が必要		2	2
ゲストや別の講師を招いてほしい、増やしてほしい		1	1
ゲストや別の講師の話をもっといろいろ聞いたかった		1	1
インタビューやゲストの話が多い、時間を取られる、教材と関係のない話は不要		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
評価方法に不満がある		2	2
験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある		1	1
受験の要領がわかりにくい		1	1
問題数が多かった・範囲が広かった		1	1

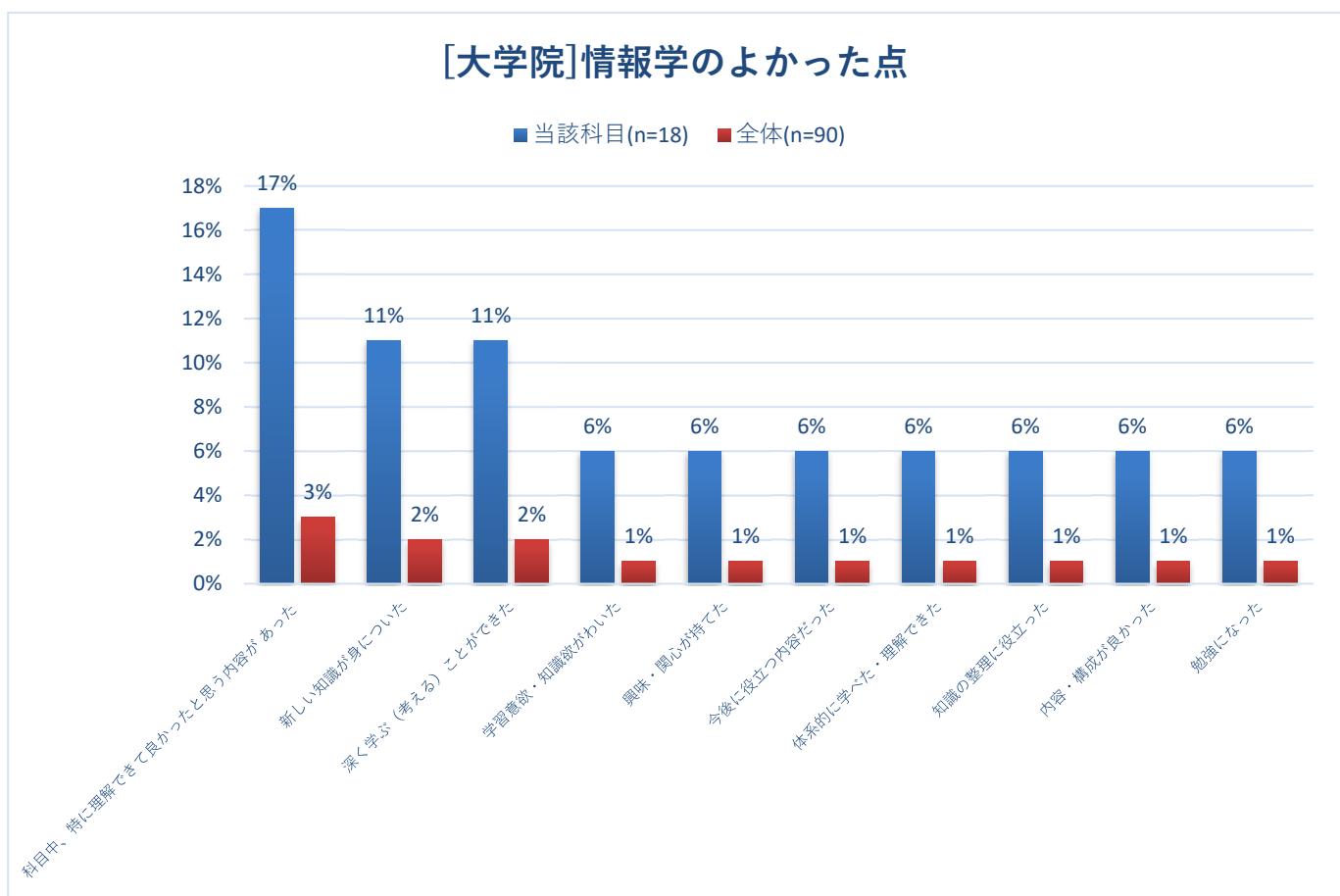
【大学院】「情報学」の概要

よかった点

「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」が17%と最も高く、次いで「新しい知識が身についた」「深く学ぶ（考える）ことができた」が11%で続いていた。

上記以外では、「学習意欲・知識欲がわいた」「興味・関心が持てた」「今後に役立つ内容だった」「体系的に学べた・理解できた」「知識の整理に役立った」「内容・構成が良かった」「勉強になつた」がそれぞれ6%で続いていた。

図4-3 【大学院】よかった点

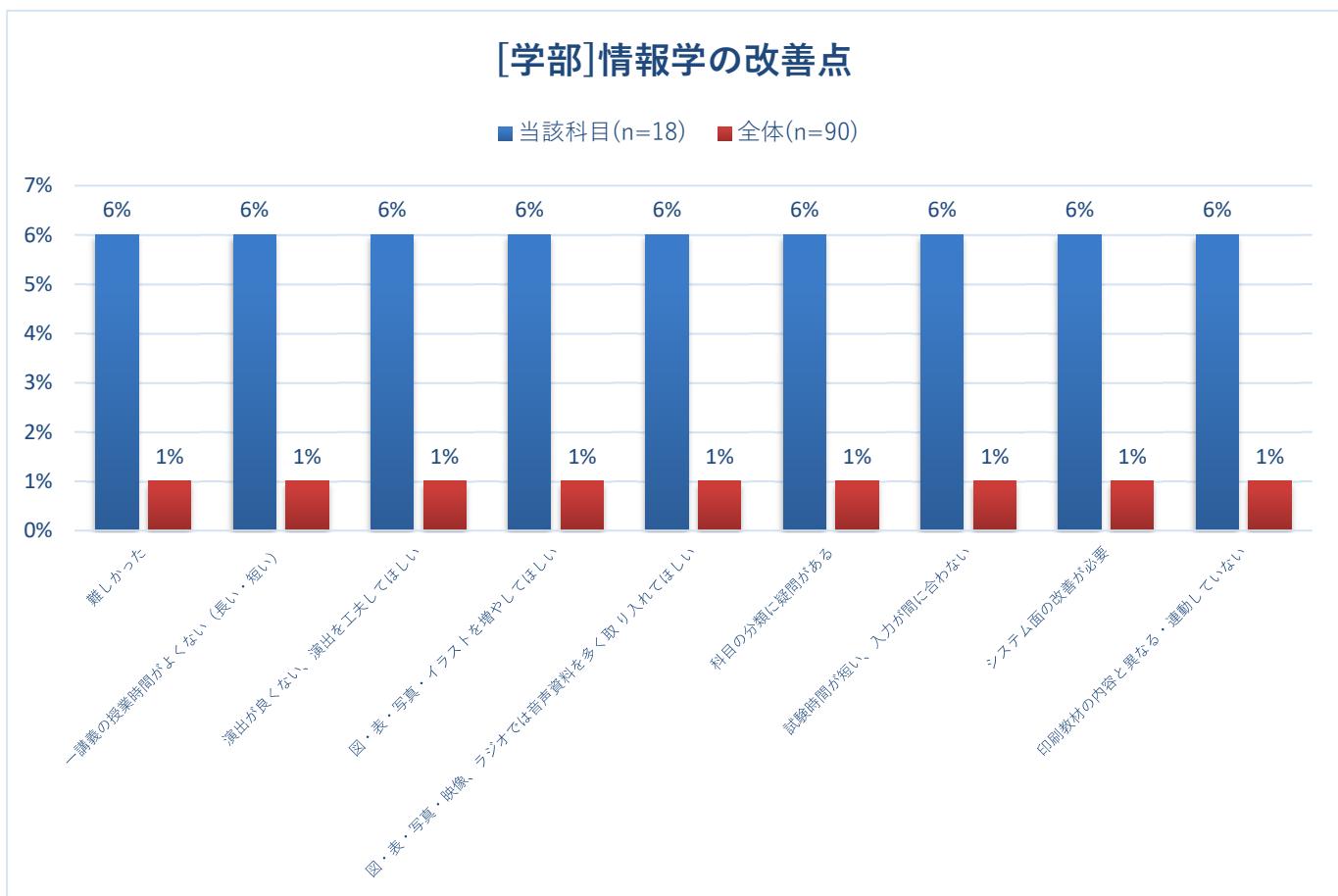


【大学院】「情報学」の概要

改善点

「難しかった」「一講義の授業時間がよくない（長い・短い）」「演出が良くない、演出を工夫してほしい」「図・表・写真・イラストを増やしてほしい」「図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい」「科目の分類に疑問がある」「試験時間が短い、入力が間に合わない」「システム面の改善が必要」「印刷教材の内容と異なる・連動していない」がそれぞれ6%であった。

図 4-4 【大学院】改善すべき点



【大学院】「情報学」抜粋

よかった点

- 知りたい疑問に思っていたことについて知ることができた。今後の勉強の方向性についても次の目標が定まった。こちらの質問についてわざわざ他大学まで問い合わせをして答えてくださった。内容についても目からうろこだったし、対象へのアプローチ方法も学際的で学ぶことが多かった。
- 新しい知識や、見る観点を知ることができて満足している。
- 耳に聞こえない超高周波を含むハイレゾ音源の音楽を再生した場合と超高周波を含まない音源の音楽で差があることを感じていたのですが、この科目を受講して疑問が解消できました。武満徹やシェーンベルクには関心があったので、いろいろ調べるきっかけとなり、良かったです。
- 元々、音楽や踊りをすると、とても楽しいという感触がありました。この授業を受講することで、その研究の歴史や音楽の素晴らしさやデジタル化の流れの中での音楽の将来等を考えるきっかけになりました。加えて、精神医療をはじめとする情報医療の分野への適用が進んでいることにも触れることができ、これからもフォローしていきたいと感じました。
- 音楽が生きていく中で必要なものだという事が良く理解できた。自然の音がある環境が生活の中で大切だとわかった。音は耳だけでなく、皮膚からも感受していることが理解できた。これから生きていく中で大切な事を学んだ。音楽という情報が薬にも匹敵する事を学んだ。大事な事を学んだ。
- ハイパーソニックエフェクトを少し理解できしたこと。 音楽と機器への興味が高まった。健康と音楽が結びついた。
- ハイパーソニック・エフェクトについては知らなかつたので知見が広がった。
- ハイパーソニック・エフェクトについての知識整理が出来た事。
- 音楽の重要性が体系的かつ科学的に説明されることで理解が深まった点。
- 日常業務として、睡眠脳波の解析に関わる仕事をしており睡眠脳波にみられる α 1、 α 2周波数帯についての興味が湧いてまいりました。覚醒時の α 波と睡眠脳波における α 波の意義の違いが歴然としているため、それを研究してみたいとさえ思いました。ハイパーソニックエフェクトはまた、私にとって大きな刺激となりました。研究発表の経験はありますが、論文は作成経験がなく修士課程に入学して一度は作成したいと考えております。
- 一般的な人文科学としての芸術研究で無く、自然科学的な芸術の研究に興味があったので良かったです。
- 音響が大好きなのでその延長で理解が深まった。またインドネシアに住んでいたためガムラン音楽が身近で内容の理解がすすんだ。ただし講師の思い入れと私の超高周波への感覚がずれているので、試験の答案等へ採点が厳しかったとおもう。芸能山城組に偏りすぎていると感じる。
- 音楽に興味のある人や音楽を作る・携わる人にとって、いろいろな視点から音楽を学ぶことができる良い教材だと感じました。
- 音が知覚される過程がよく分かった。先に近く認知心理学を受講していたが、実際に音を聞きそれが科学的にどのように認知されていくのかがある程度理解できた。

【大学院】「情報学」抜粋

改善点

- 授業内容を一新したばかりということであったが取り上げられている内容がおよそ20年位前の内容で最新の研究についての紹介がテキストでなくても放送だけでもほしかった。
- 解説の表現レトリックが、わかりやすいぶん、科学的ではないように感じられる箇所があった。また、可聴域では、音を音楽（旋律や音色）として捉えているのに対し、超高周波成分では「豊富に含む」という表現になってしまい、多いか少ないかだけで論じているところが、自分としては最後までしっくりこなかった。
- ハイパーソニック・エフェクトの効果について、もっと大きく表示すべきだと思います。102ページの図。図6-2。レポートに書くべき答えがここに示されているように感じるからです。
- 特別編では映像が理解を深めた。ラジオ番組よりもTV番組の方が理解は深まる。
- 機器や録音の問題で難しいとは思うが、実際にハイパーソニック・エフェクトを体感できる教材があれば良いと思う。
- 昨年度後期はインターネットでの視聴覚教材が付いていて興味が出たので、今年度前期の講座を受講した。残念ながらインターネットの視聴覚教材が、消えていたに気づいた。今後、インターネットでの視聴覚教材を再開することを期待します。
- 解剖学や生理学などの生物学的な知識を有しているほうが理解が深まる感じます。文系科目と存じますので、その辺りの説明がもう少しあるとよいのかと思いました。
- 教本に掲載されている資料などが不明瞭であることは大きな支障ではなく、興味が湧けばいくらでもwebを検索できるので問題はないと思います。
- 音響に関する科目なので、ハイレゾ音源を使った講義をやると良いと思う。Webであれば100kHzの音も提供できるでしょうし、私が持っている機材なら十分に音場を再生できるので、講師の意見と私の感覚の比較検証ができるとおもう。
- 音楽が感動を与えるという内容の講義にケチャやガムランを紹介していたが、印刷教材の写真だけではイメージもわからなかったのでインターネットの動画を見た。それによってより理解が深まったが、放送授業だけでは理解が深まらないと思った。
- 単位認定試験をオンラインで受験したのですが、回答は800文字以内となっているのに、回答欄は800文字以上入力が可能なようで、また、どのくらいが800文字という目安もありませんでした。そのため、おおよその文字数を計算しながら入力する必要がありました。試験時間も長くはないので、回答欄のしくみや問題の回答方法（例えば、800文字を多少超えてOKとか）を改善できないでしょうか。
- 図を大きくすることで、注意がそこに行き、理解しやすいのではと思いました。
- 中間レポートと最終レポートの課題が似通っており、理解判定にはふさわしくないと感じた。
- やはり映像がある方が良いと思う。
- 通信指導は積極的に取り組んだ。特に自分の体験を通じたハイパーソニック効果についての知見を、授業で学んだ内容を加えて述べた。通信指導の評価結果に対して、何も言える立場に無いが、評価結果は出題意図と違うということで、最低の評価点になったことは、非常にガッカリした。
- テストの際、文書の記載中誤ってダブルクリックした途端に送信が完了されたことは非常に残念でした。
- 上記の通り、超高周波の音源を通じて講義内容を説明していただきたい。

【大学院】「情報学」

よかったです

(単位：人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった		3	3
新しい知識が身についた		2	2
深く学ぶ（考える）ことができた		2	2
学習意欲・知識欲がわいた		1	1
興味・関心が持てた		1	1
今後に役立つ内容だった		1	1
体系的に学べた・理解できた		1	1
知識の整理に役立った		1	1
内容・構成が良かった（科目全般）		1	1
勉強になった		1	1

【大学院】「情報学」

改善点

(単位：人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しかった		1	1
科目の分類に疑問がある		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい		1	1
図・表・写真・イラストを増やしてほしい		1	1
演出が良くない、演出を工夫してほしい		1	1
印刷教材の内容と異なる・連動していない		1	1
一講義の授業時間がよくない（長い・短い）		1	1
システム面の改善が必要		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験時間が短い、入力が間に合わない		1	1

III-4. 大学院（オンライン授業）

ここからは、全体との比較で当該科目がどういう傾向にあったのかを見ていきたい。

大学院については、専攻プログラム別（中区分）の自由記述の集計結果から、よかつた点は当該科目について回答された項目が5%以上となったものを掲載した。

改善点は、当該科目について回答された項目のうち、5%以上、または上位5項目について掲載した。

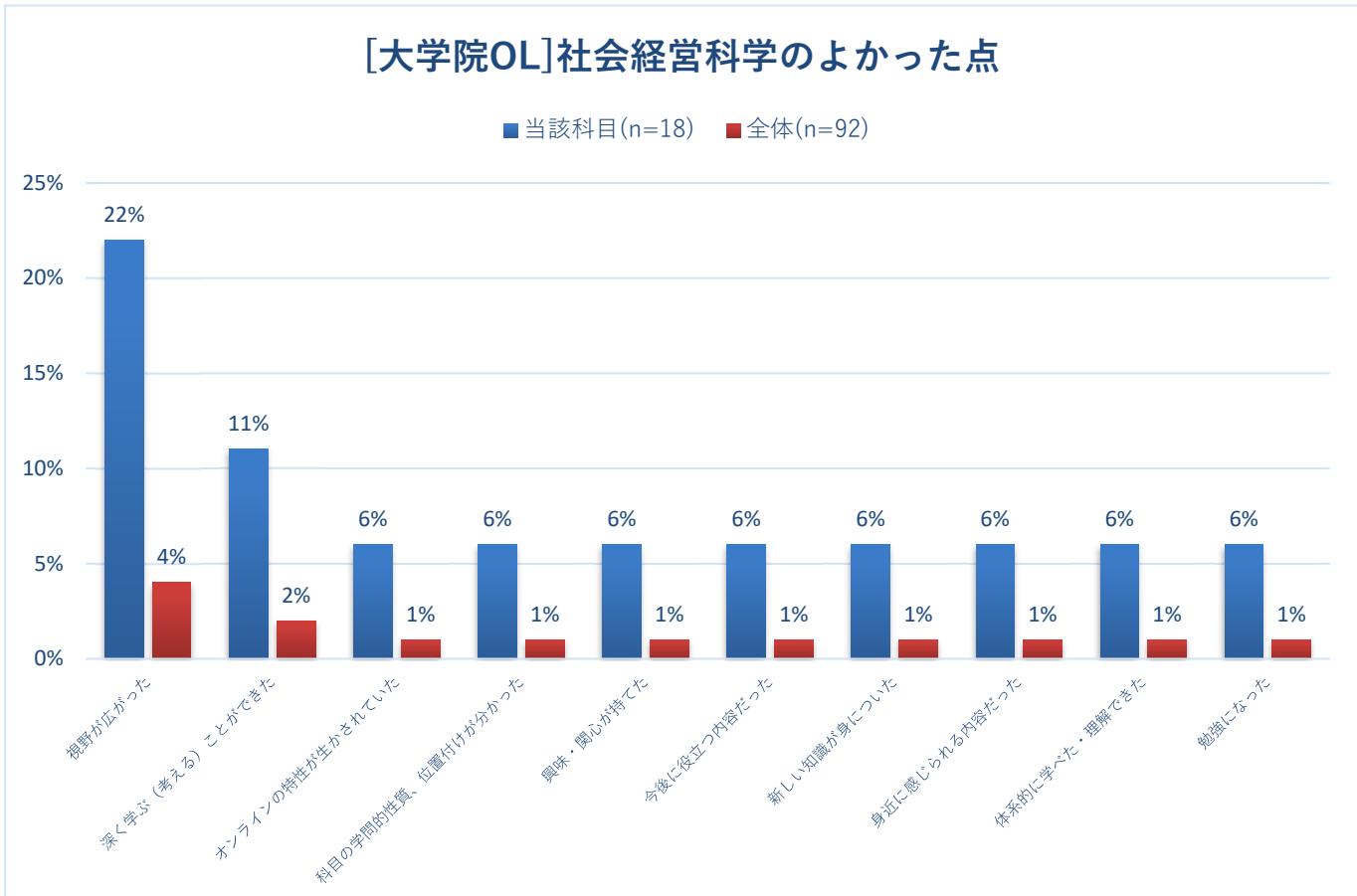
【大学院オンライン】「社会経営科学」の傾向

よかつた点

「視野が広がった」が22%と最も高く、次いで「深く学ぶ（考える）ことができた」が11%で続いていた。

他では、「オンラインの特性が生かされていた」「科目の学問的性質、位置付けが分かった」「興味・関心が持てた」などがそれぞれ6%で続いていた。

図4-5 【大学院オンライン】よかつた点

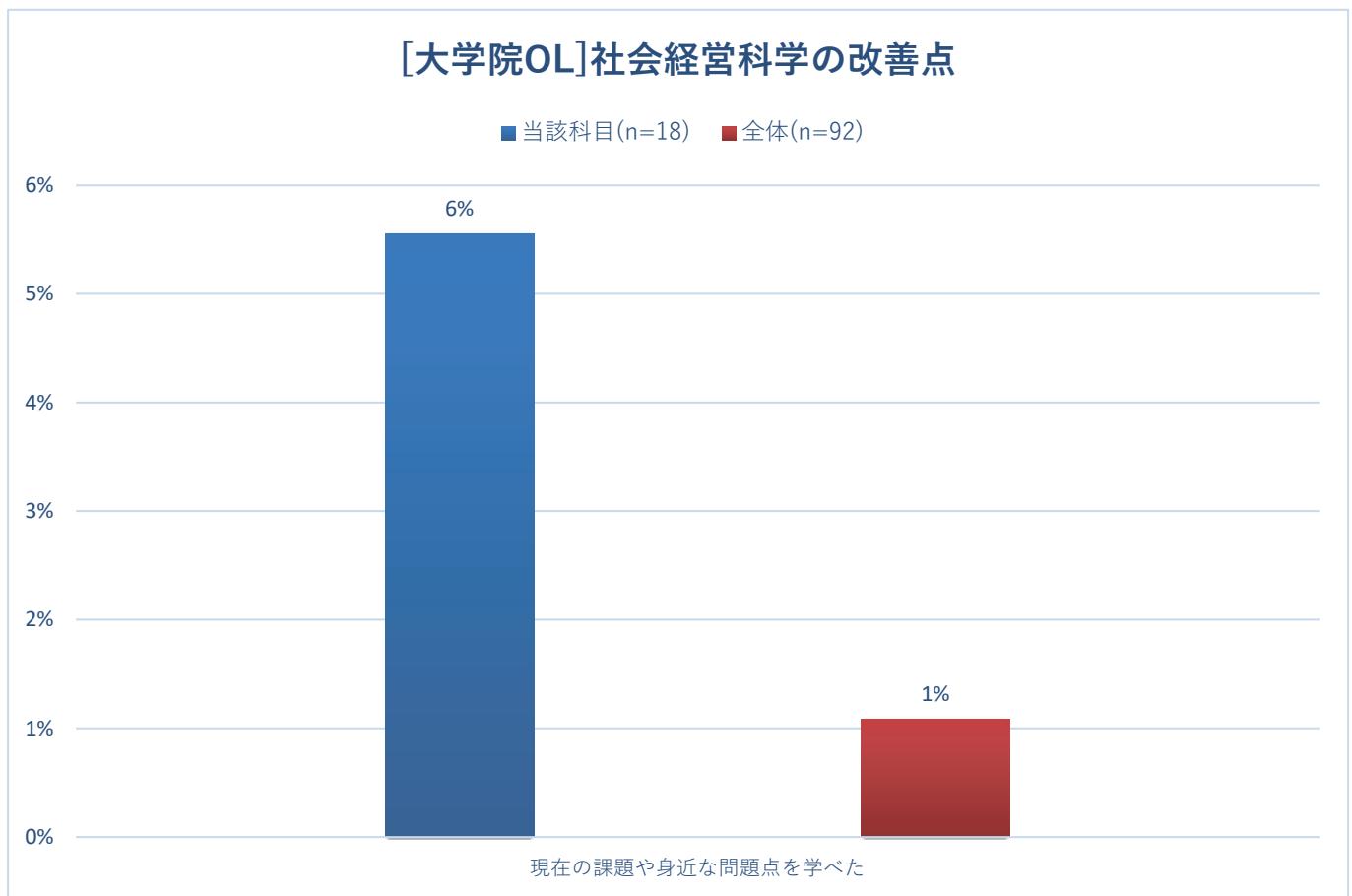


【大学院オンライン】「社会経営科学」の傾向

改善点

「現在の課題や身近な問題点を学べた」が6%であった。

図4-6 【大学院オンライン】改善すべき点



【大学院オンライン】「社会経営科学」抜粋

よかった点

- ①社会学、都市社会構造論というのはこれまで馴染みがなかった分野ではあったが、その内容を垣間見ることが出来て視野を広げることが出来たような気がする。
- ②期末レポート作成にあたっては、自分が居住している地域の社会構造について改めて考える契機となり、今後もそういう視点で地域を見つめていこうという思いを持つことが出来た。
- 「都市社会構造論」という系統の授業を始めて受けたが、自分自身の過去の記憶につながる部分が多く、とても興味深く学ぶことができとてもよかった。
- この社会学の科目は、閉講した科目と殆ど同じ内容（実際の作成者が同じ？）であったが、前の時はラジオ科目のために、理解度が良くなかった。今回はオンラインなのでテレビ科目と同じ型式であり、指導教官が映る画面は、授業を受けている感じがあり、ラジオによる授業よりも数段良いと思った。
- 以前、テキスト版の『都市社会構造論』（2018年）を読んだことはあったが、本科目を受講してより理解が深まったように思う。
- 今までとは違う視点で歴史を見られるようになった。
- 自分の住んでいる都市（川崎市）について深く考えるきっかけになった。また外国の諸都市について・都市の空間構造などが勉強になった。
- 社会福祉関係の研究テーマを考えているので、都市化の内容は関連があり視野も広くなった
- 授業の中には都市化についての具体的課題や課題の解決方法などがあり、地域のまちづくり活動を進めるのに役立てることが出来る。
- 身近な社会の構造について、考察する論点を学ぶことができました。
- 専攻科目の授業ですが、既に持つ知識の確認と新たな学び、学習範囲と視野を拡大することができました。
- 都市の構造について、今まで疑問に思っていたことを考えるようになりました。また、今回の受講を機会に都市の構造と歴史について、他の都市についても考えるようになると思います。新たな視点を与えられました。
- 都市の成り立ちがよくわかったことと。その中の「社会学」としての立ち位置が理解できたことが良かった。
- 都市社会構造について体系的に学ぶことができ、今後の業務にも大いに役立つと感じた。
- 普段では得られない視点から日常生活を鑑みる事ができた。
- 視野が広がったように感じるから。上記の通り、超高周波の音源を通じて講義内容を説明していただきたい。

【大学院オンライン】「社会経営科学」抜粋

改善点

- 図表をもっと多く使用して説明して欲しかった。
- 改善すべき点というわけではありませんが毎回の要約メモを見ながら予習復習をしていました。
- 科目修了後、授業資料が手元に何も残らないのであれば、学部の同名授業のテキストを購入するべきかと思っています。
- 1回分程度、対談のような形で科目の振り返りや科目についての最新の議論を紹介するような企画があるとよいと思います。
- 昔の文献からの図面等の資料は、詳細を「目視」できるほど鮮明ではなかったので、あえて資料中に載せる必要もないと思います。
- 口頭での内容説明や、箇条書きのボードで十分に把握可能です。
- 実際、出典の参考資料を手に取って読み込むことで、再度自ら確認することができました。

【大学院オンライン】「社会経営科学」

よかったです

(単位：人)

科目全般	
意見	合計
視野が広がった	4
深く学ぶ（考える）ことができた	2
科目の学問的性質、位置付けが分かった	1
興味・関心が持てた	1
今後に役立つ内容だった	1
新しい知識が身についた	1
身近に感じられる内容だった	1
体系的に学べた・理解できた	1
勉強になった	1

オンライン教材	
意見	合計
オンラインの特性が生かされていた	1

【大学院オンライン】「社会経営科学」

改善点

(単位：人)

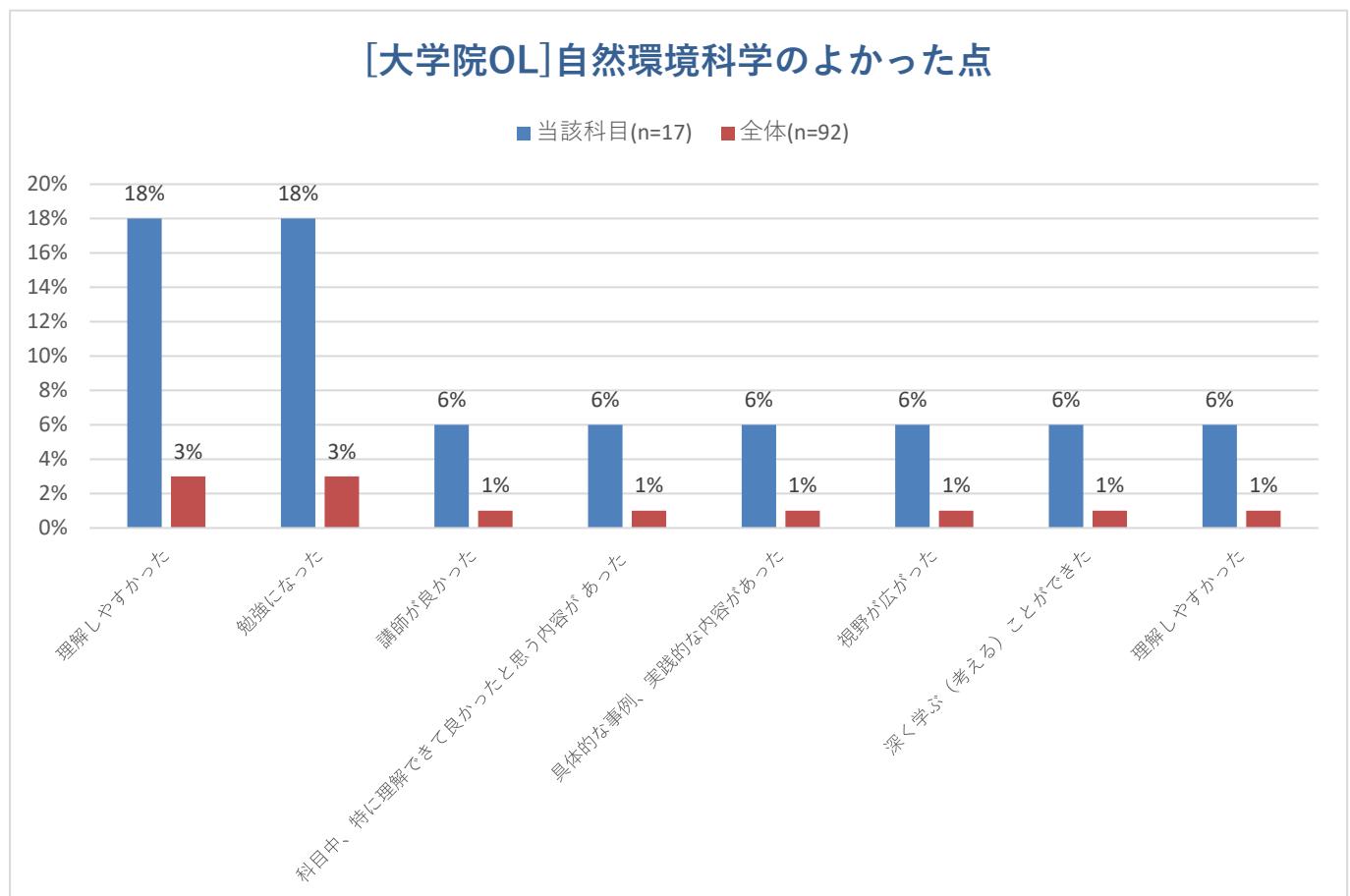
オンライン教材	
意見	合計
現在の課題や身近な問題点を学べた	1

【大学院オンライン】「自然環境科学」の傾向

よかった点

「理解しやすかった」「勉強になった」がそれぞれ18%で最も高く、次いで「講師が良かった」「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」「具体的な事例、実践的な内容があった」「視野が広がった」「深く学ぶ（考える）ことができた」「理解しやすかった」がそれぞれ6%で続いていた。

図4-7 【大学院オンライン】よかった点

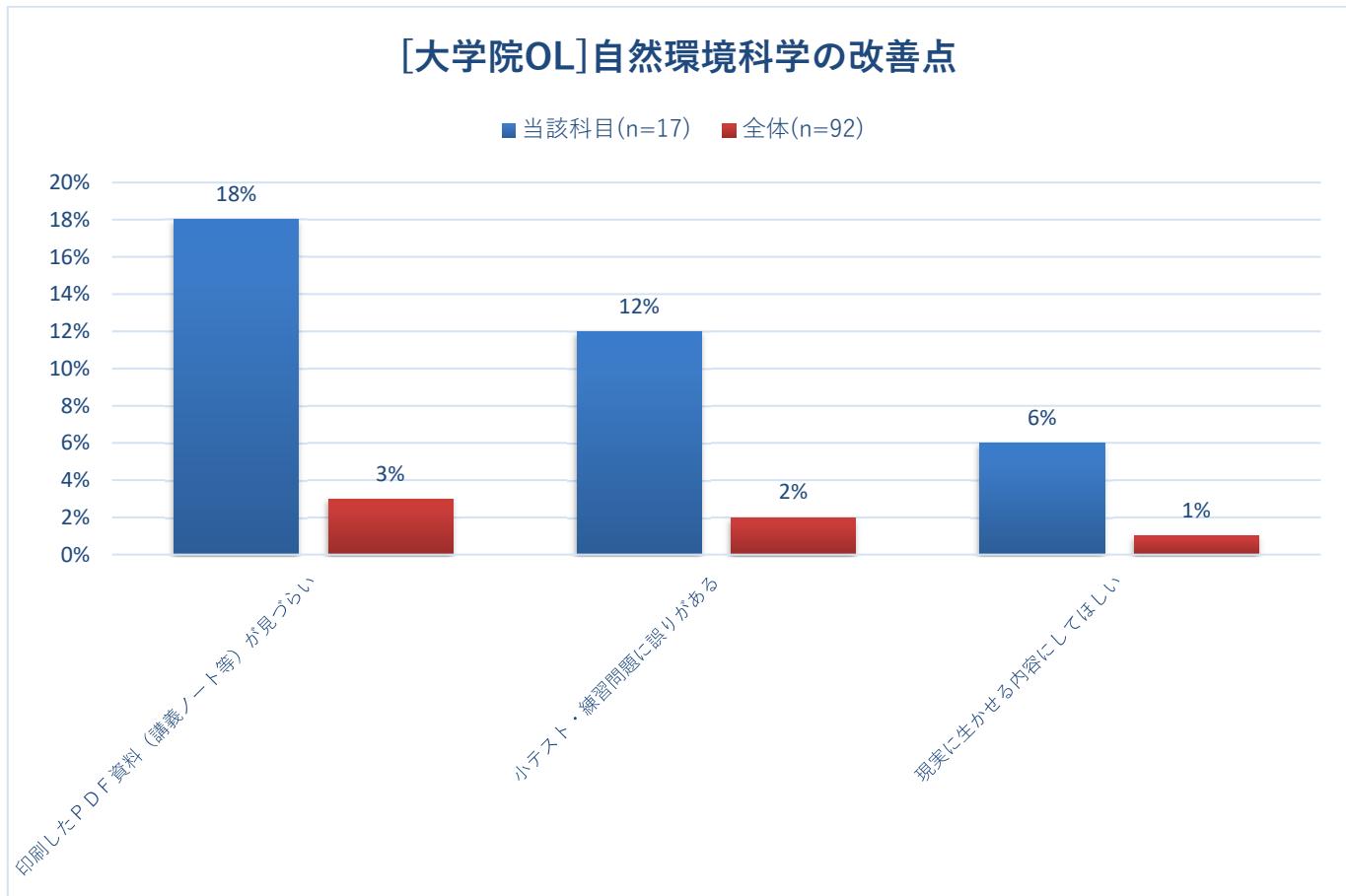


【大学院オンライン】「自然環境科学」の傾向

改善点

「印刷したPDF資料（講義ノート等）が見づらい」が18%で最も高く、「小テスト・練習問題に誤りがある」が12%、「現実に生かせる内容にしてほしい」が6%で続いていた。

図4-8 【大学院オンライン】改善すべ点



【大学院オンライン】「自然環境科学」抜粋

よかった点

- データの統計的なまとめ方について、必要事項が簡潔にまとめられ、わかりやすく説明されていたので大変役に立つと感じました。また、学術論文などでのデータの表やグラフの作成の一般的なルールについて知ることができたのも良かったです。
- 統計について、初学者からよくわかる講義展開でした。
- 各種のデータ処理を学ぶことができた。
- 論文図表を読み込む能力が向上したように思います。
- 統計の勉強をしないといけないと感じていたことと、グラフなどの作図について、研究レポート作成に直結する内容で勉強になった。
- データの分析方法をしっかりと学ぶことができた。
- データの扱い方が、わかりやすく説明されている授業だった。
- 種組成データの講義で理解しにくかった部分をこの講義で補うかたちで受講しました。とても分かりやすかったです。
- 統計分析を学ぶにあたり、事例が多く、分かりやすかったです。進め方も初心者向けで理解ができた。
- まだ、十分理解できていないところがあるが、自然界の現象や社会現象を統計を使って説明する重要性と統計学の幅の広さがよくわかってよかったです。
- 生態学を題材に調査結果を分析法を替えての講義は分かりやすく興味が湧きました。この講義を選んで良かったと思います。講師の講義の速さや声質、丁寧な説明はとても良かったです。
- データの扱い方について理解が深まった

【大学院オンライン】「自然環境科学」抜粋

改善点

- 事前学習用や講義中のメモなどに「視聴メモ」を利用しましたが、パワーポイントのスライドがそのまま縮小印刷されているだけなので、印刷した紙面での表やの数値の値やグラフのデータの動向などが小さすぎて見にくく、表やグラフ中への書き込みもできない点が不便に感じました。また次項に記載したように、授業終了後の復習用の利用にも適していないと感じましたので、重要項目は、別途、補足資料があると良いと思います。
- 映像教材の速度を変えられる様にして欲しい。難易度の高いところはゆっくりと聞くことができてよかったです、そうでないところでは 解説の速度を上げて時間を節約したいと思いました。
- 毎回データ分析を自分で行ってレポートし、指導を受けたいと思いました。
- できたばかりの科目なので、小テストなど間違いがあったらしいが、連絡がきて、これは仕方ないと思った。オンラインで、動画以外の先生のお話のスピードを変える（早くできたり）と有り難いので、お願いしたいです。
- 小テストなどの作成ミスが多いので、確認が必要です。
- 図はよいが、表の映像が相対的に小さいので、資料や講義ノートを通常のコピー用紙にプリントアウトすると字が小さすぎるうえ不鮮明になって識別が難しいもののがかなりあった。表の数字が小さすぎることや不鮮明だと自分でおさらいをするとき不便。図や写真は問題ない。
- 資料のパワーポイント図がやや小さくて読み取りにくいので大きいと嬉しいです。小テストの設問や解答が2, 3問違っていて困りました。
- 小テスト等の確認ミス

【大学院オンライン】「自然環境科学」

よかつた点

(単位：人)

科目全般	
意見	合計
勉強になった	3
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	1
具体的な事例、実践的な内容があった	1
視野が広がった	1
深く学ぶ（考える）ことができた	1
理解しやすかった	1

オンライン教材	
意見	合計
理解しやすかった（放送授業）	3
講師が良かった	1

【大学院オンライン】「自然環境科学」

改善点

(単位：人)

科目全般	
意見	合計
現実に生かせる内容にしてほしい	1

講義ノート・テキスト	
意見	合計
印刷した PDF 資料（講義ノート等）が見づらい	3

設問回答	
意見	合計
小テスト・練習問題に誤りがある	2

【大学院オンライン】情報学の傾向

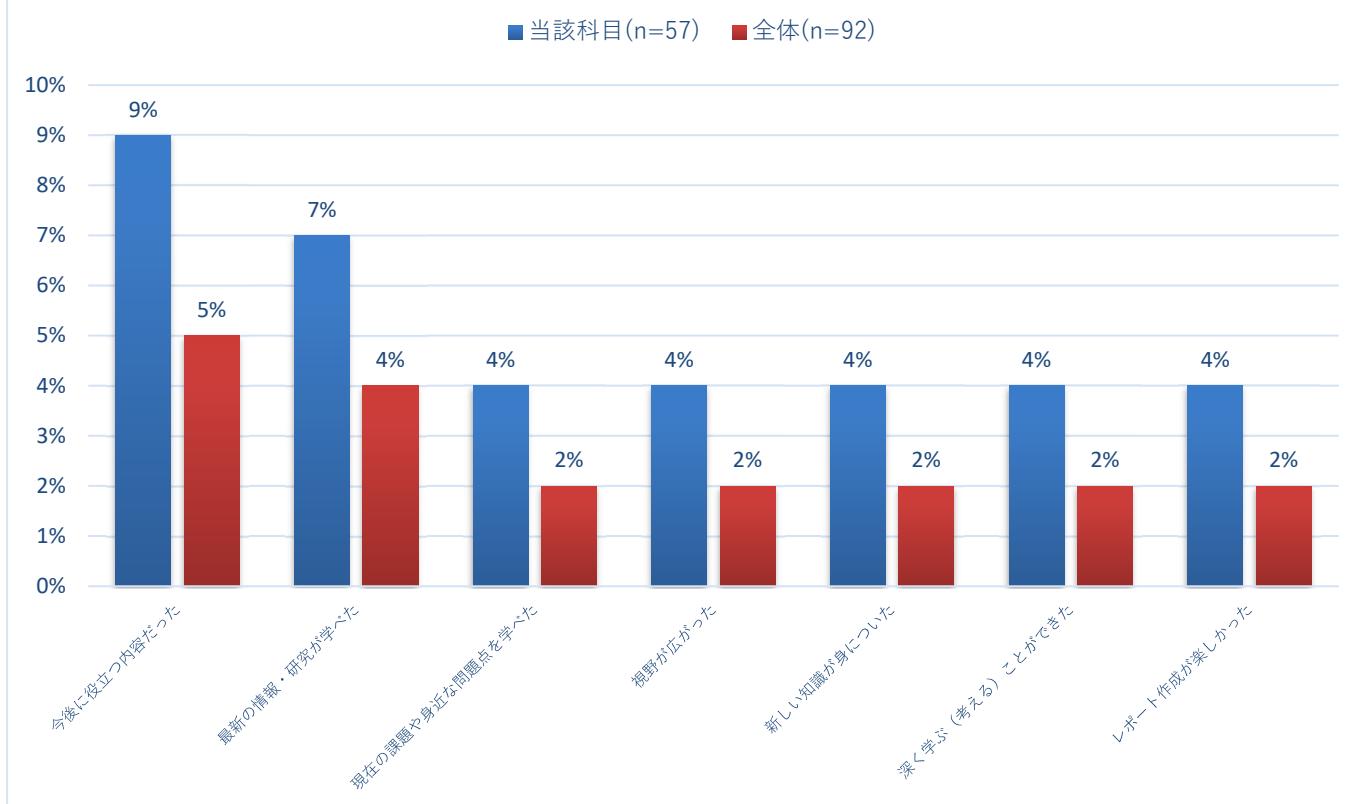
よかった点

「今後に役立つ内容だった」が9%で最も高かった。次いで「最新の情報・研究が学べた」が7%で続いていた。

他では、「現在の課題や身近な問題点を学べた」「視野が広がった」「新しい知識が身についた」「深く学ぶ（考える）ことができた」「レポート作成が楽しかった」がそれぞれ4%で続いていた。

図4-9 【大学院オンライン】よかった点

[大学院OL]情報学のよかった点

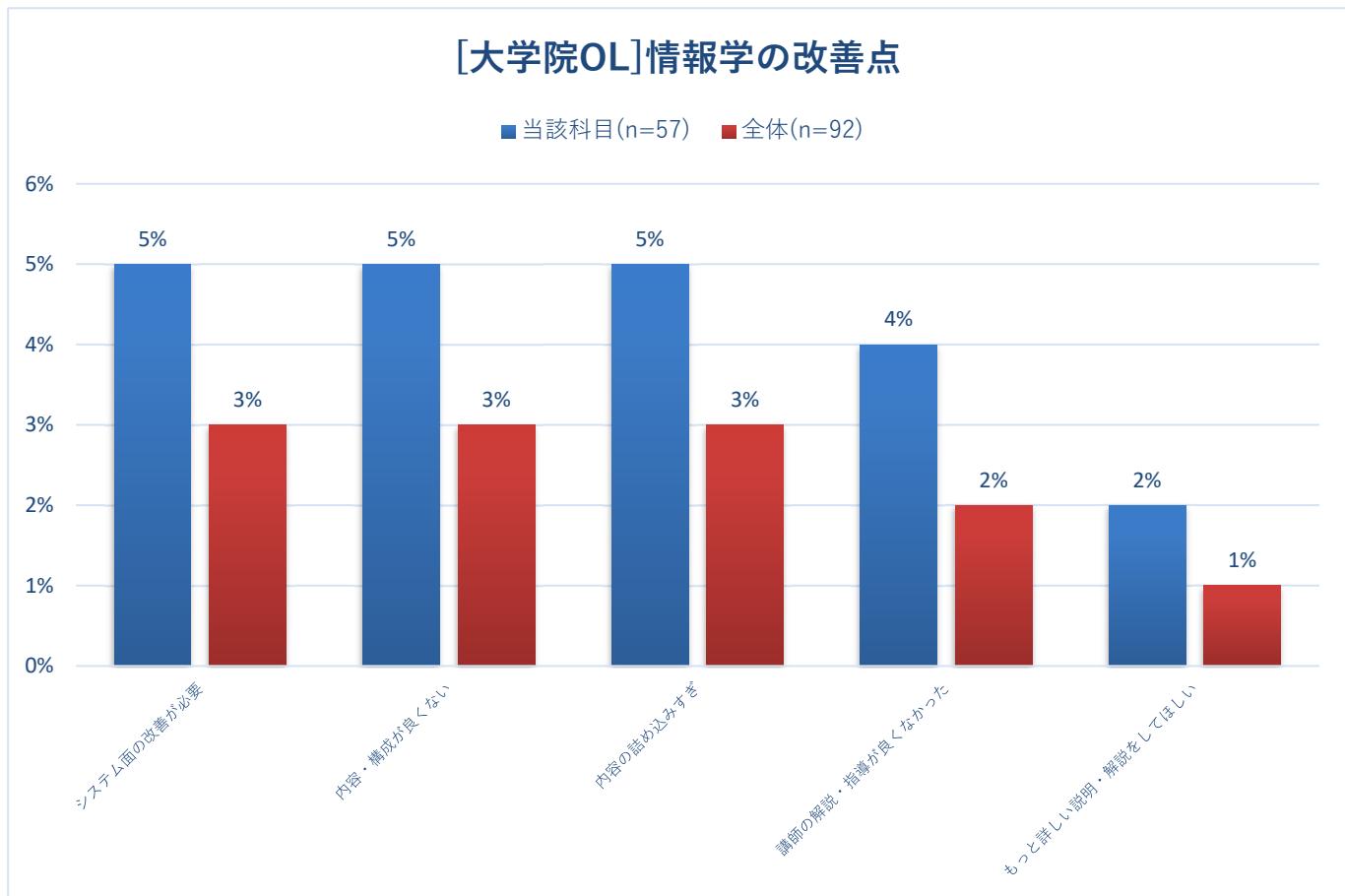


【大学院オンライン】「情報学」の傾向

改善点

「システム面の改善が必要」「内容・構成が良くない」「内容の詰め込みすぎ」がそれぞれ5%で、そのほかでは、「講師の解説・指導が良くなかった」が4%、「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」が、2%で続いていた。

図4-10 【大学院オンライン】改善すべき点



【大学院オンライン】「情報学」の傾向

よかった点

- 日頃あまり考えないことで、重要なことが沢山あることが分かった。テーマによっては理解できないことも沢山あったが、日にちをあけて再度トライすると、すこしづつ理解できてくる実感があった。テーマについて自分の考えを構成する手がかりが得られたときは、特にそう感じた。
- 情報伝達の歴史や方法、現在の課題まで幅広く確認できたことはよかったと思う。
- 毎回レポートを課されることで、文章を書く練習になった。
- AI等の比較的新しい内容が含まれていて、研究サイドの考え方なども知れてよかった。
- 情報化社会における最近の動向を知り、論点がどのように整理されているのかを知ることができた。
- いろいろな視点から情報コミュニケーション学が学ぶことができました。
- 幅広い内容で、しかも各回とも深い内容で学習できたことが良かったです。生成AIなど最新情報も盛り込まれていて、とても刺激を受けました。
- 情報とコミュニケーションという観点から、政治や経済などをとらえ、視野が広がり、これからさらに学んでいくきっかけとなった。
- 総合的に知識整理ができました
- 最も良かった点は、文章を沢山書く機会があった事だ。最初は書く事自体に苦労していたが、慣れると自分の考えをアウトプットする事への抵抗がなくなった。非常に良い経験だった。
- 私の知らない分野のことが時系列に紹介されるなど、理解しやすかった。
- オンライン授業は、BSラジオによる授業よりも分かりやすいので、情報学プログラムの授業は、できるだけオンライン授業にした方がよいと思う。
- 情報リテラシーとして満遍なく押さえておくべきことを、最新の事例やキーパーソンのお話も絡めて押さえられてた点についてよかったです。
- あらためてコミュニケーションという観点で、ITというものを俯瞰することができ、これから学習の方向性検討に役立った。
- 論文の文章を書く上で、大変参考・練習になりました。
- 講義映像の主任の先生方とのインタビューの先生方のお話が印象に残りました。
- 現代のデジタル社会の様々な課題を学ぶことができた

【大学院オンライン】「情報学」の傾向

改善点

- 同じグループの学生さんとの心理的な距離感を掴めずに終わってしまった、という思いが強い。年齢差が大きいことが原因なのかもしれない。これは、改善すべきこととしてコメントしているのではありません。
- 全体的にボリューム（オンラインの授業と小テスト）が多いかなと思った。
- 小テストが最初の結果で決まるより、最高結果の方が良い
- リーディング教材と動画の内容がほぼ同じ回があったこと。
- 課題が多すぎるよう感じた。特に、レポート1が6月中旬で、範囲が1～6回、その後にレポート2をやろうとすると、1ヶ月の間に7～15回（9回分）とレポート2をやることになり、かなり苦しい。
- 特に、その回までのすべての課題を提出済みでなければレポート1、レポート2の課題内容すら知ることができないというのは、かなり負担が大きいと感じた。
- せめて、レポート1、2の課題内容くらいは、それまでの各回の課題を全部提出済みでなくても参考できてもよいと思う。通信課題が受講者の学習状況によらず期日がくれば郵送されることを考え、課題内容すら見せないというこの科目は（言い方は悪いですが）講師の意地の悪さを感じてしまう。
- 講義内容は満足できるものだったが、進め方には工夫の余地があると感じた。技術的には、回答を用意しているのに、投稿の受け皿が準備されていないので戸惑った事があった。
- 小テストの設問では、クイズ番組のような質問が散見された。例えば、何年に誰がどんな事を言い出したか、に類する問いは、思考の積み重ねと無関係だと思った。講義内容の理解に関する質問に工夫が欲しかった。
- 相互評価が私には難しく感じました。しかも「評価も成績になる」というのは本当にやりづらかったです。
- 他の学生が書いたものを読むことで勉強になるというのはよくわかりました。しかし、評価するというのはどうしても「上から目線」のようになってしまふように感じ、中間の評価のようなものがなかったのも評価しづらい要因だと思います。
- 「話にならない」「問題がある」「少々問題がある」「良い」「大変良い」という評価でしたが、「少々問題がある」と「良い」のあいだに「普通」（5段階のうち3にあたるもの）のような良くも悪くもないととれる評価があると気持ちとしてつけやすくなると思いました。
- 「話にならない」というのは学生の立場としてはつけられません。あえてつけられないようなものを設定しているとしてもあまり気持ちの良いものではありませんでした。例えば「問題がある」「少々問題がある」「普通」「良い」「大変良い」という感じならばもう少し評価しやすくなるのではないかと思いました。「問題がある」という言葉がきつい印象を与えるのでこれでもまだ私は抵抗感があります。
- 小テストの内容が、講義映像の視聴有無のみを確認する内容である場合が多く、単元の学術的内容となっていないものが散見された。
- 私自身の反省点ですが、第1回目の課題提出を見過ごしていました。気が付いたのが締め切り後で、まにあいませんでした。残念でした。

【大学院オンライン】「情報学」

よかったです

(単位：人)

オンライン教材	
意見	合計
オンラインの特性が生かされていた	1
ゲストを招いた授業が良かった、ゲストの話が良かった	1
講師が良かった	1
講師の熱意・熱心さが伝わった	1
対談形式の授業が良かった	1

設問回答	
意見	合計
レポート作成が楽しかった	2

【大学院オンライン】「情報学」

改善点

(単位：人)

オンライン教材	
意見	合計
システム面の改善が必要	3
講師の解説・指導が良くなかった	2

科目全般	
意見	合計
内容・構成が良くない	3
内容の詰め込みすぎ	3
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1
科目による難易度の差が大きい	1

講義ノート・テキスト	
意見	合計
講義ノート・テキストを印刷するのは大事	1
内容を充実させてほしい	1

設問回答	
意見	合計
レポートの難易度・分量・提出期限等が適切ではない	1
レポート提出が少ないとよい	1
レポート提出の方法がわかりにくい	1
小テスト（確認テスト）の難易度・分量・制限時間等が適切ではない	1
小テスト・練習問題の問題数を多くしてほしい	1

付録) 2023年度学生による授業評価集計結果の概要について

2023年度学生による授業評価集計結果の概要

1. 調査の概要

自己点検・評価の一環として、本学学生の授業に関する理解状況等を把握することにより、

(1) 調査目的 本学における教育内容及び方法の改善に資すること

(2) 調査方法 システムWAKABAを用いたオンライン調査

(3) 調査対象

①対象科目

【学部】

	基盤科目(一般科目)	基盤科目(外国語)	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境	夏季集中科目	計
R5(2023)	1	4	9	7	10	7	4	4	1	47

【大学院】

	専門科目(臨床心理学)	専門科目(情報学)	計
R5(2023)	2	1	3

②対象者 2023年度第1学期履修登録者

(4) 調査時期 調査期間：7月26日～9月30日

調査結果の集計：10月

2. 集計結果

(1) 回収状況

	標本数(人)			有効回答数(人)			回収率		
	全体	学部	大学院	全体	学部	大学院	全体	学部	大学院
R5(2023)	26167	25824	343	4971	4881	90	19%	19%	26%

付録) 2023年度学生による授業評価集計結果の概要について

(2) 回答者の属性

【学部】

		新コース所属全科履修生					
		生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境
2021	11.6%	39.2%	8.2%	11.6%	4.3%	6.4%	
	旧専攻所属 全科履修生 (計)	全科履修生 (計)	選科履修生	科目履修生			
	0.1%	81.3%	14.8%	3.9%			
2022	新コース所属全科履修生						
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境	
	11.0%	23.8%	8.9%	11.8%	9.0%	6.4%	
2023	旧専攻所属 全科履修生 (計)	全科履修生 (計)	選科履修生	科目履修生			
	0.1%	70.9%	17.7%	11.2%			
	0.0%	76.3%	16.8%	6.9%			

	性別		年齢別						
	男	女	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
2021	39.2%	60.8%	1.2%	7.7%	8.8%	21.9%	30.8%	21.3%	8.2%
2022	45.0%	55.0%	2.2%	9.2%	11.3%	22.6%	26.4%	18.5%	9.8%
2023	43.6%	56.4%	1.2%	8.2%	8.9%	18.8%	29.5%	21.9%	11.5%

【大学院】

	新プログラム所属修士全科生							
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	文化情報学	情報学	人文学	自然環境科学
2021	3.2%	9.7%	6.3%	1.2%	-	1.5%	10.4%	1.2%
	修士全科生 (計)	修士選科生	修士科目生					
	33.5%	58.3%	8.3%					
2022	新プログラム所属修士全科生							
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	文化情報学	情報学	人文学	自然環境科学
	4.5%	2.4%	5.4%	7.2%	-	8.1%	3.3%	0.9%
2023	修士全科生 (計)	修士選科生	修士科目生					
	31.9%	59.9%	8.1%					
	新プログラム所属修士全科生							
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	文化情報学	情報学	人文学	自然環境科学
	-	2.2%	22.2%	2.2%	-	5.6%	2.2%	-
	修士全科生 (計)	修士選科生	修士科目生					
	34.4%	61.1%	4.4%					

	性別		年齢別					
	男	女	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
2021	50.7%	49.3%	1.5%	10.4%	15.8%	38.6%	23.8%	10.0%
2022	62.7%	37.3%	4.5%	6.0%	15.4%	29.8%	32.8%	11.4%
2023	53.3%	46.7%	1.1%	7.8%	23.3%	33.3%	32.2%	2.2%

付録) 2023年度学生による授業評価集計結果の概要について

(3) 評価結果 : 各質問項目に対する4段階評価（「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」）の項目に対して、順に4、3、2、1の得点を与え、平均値を算出した。)

【学部】

①項目別評価

	取組姿勢			授業評価全体			難易度・分量			放送授業			印刷教材			通信指導・ 単位認定試験			全体評価			
	全体 TV R			全体 TV R			全体 TV R															
	2021	3.34	3.35	3.34	3.30	3.28	3.33	3.28	3.25	3.33	3.23	3.23	3.22	3.28	3.26	3.31	3.37	3.34	3.42	3.36	3.34	3.41
2022	3.33	3.36	3.27	3.30	3.34	3.20	3.25	3.28	3.18	3.24	3.31	3.03	3.28	3.33	3.16	3.36	3.38	3.31	3.37	3.40	3.29	
2023	3.33	3.36	3.27	3.33	3.38	3.22	3.31	3.34	3.26	3.26	3.36	3.03	3.32	3.37	3.20	3.38	3.40	3.32	3.41	3.44	3.33	

【学部】

②【B-21】満足度「この科目の内容には全体として満足している」の専攻科目別等の評価

	全体		メディア別		コース・科目区分別							
	全対象科目		TV	R	基盤 科目	基盤科目 (外国語)	生活と 福祉	心理と 教育	社会と 産業	人間と 文化	情報	
2021	3.35(3.69~2.66)		3.31	3.42	3.38	3.33	3.49	3.27	3.48	3.28	3.52	
2022	3.37(3.73~2.33)		3.40	3.28	3.52	3.25	3.32	3.48	3.29	3.27	3.31	
2023	3.41(3.83~2.84)		3.46	3.30	3.59	3.11	3.47	3.29	3.31	3.40	3.20	

※ () 内の値は「最高値～最低値」

	コース・科目区分別		
	自然と 環境	看護師 資格取得	夏季集中 科目
	2021	3.35	-
2022	3.02	3.35	3.49
2023	3.48	-	3.55

	性別		年齢別							
	男	女	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	
2021	3.34	3.36	3.25	3.47	3.31	3.33	3.37	3.34	3.34	
2022	3.34	3.40	3.52	3.45	3.35	3.41	3.40	3.30	3.26	
2023	3.39	3.43	3.27	3.46	3.44	3.42	3.44	3.40	3.32	

【大学院】

①項目別評価

	取組姿勢			授業評価全体			難易度・分量			放送授業			印刷教材			通信指導・ 単位認定試験			全体評価			
	全体 TV R			全体 TV R			全体 TV R															
	2021	3.43	3.45	3.42	3.40	3.51	3.36	3.45	3.56	3.42	3.19	3.43	3.10	3.42	3.48	3.40	3.43	3.51	3.40	3.51	3.56	3.48
2022	3.43	3.34	3.46	3.43	3.53	3.40	3.47	3.56	3.45	3.34	3.53	3.29	3.41	3.52	3.38	3.43	3.51	3.41	3.50	3.64	3.47	
2023	3.41	-	3.41	3.45	-	3.45	3.38	-	3.38	3.40	-	3.40	3.48	-	3.48	3.41	-	3.41	3.57	-	3.57	

【大学院】

②【B-21】満足度「この科目の内容には全体として満足している」の専攻科目別等の評価

	全体		メディア別		コース・科目区分別							
	全対象科目		TV	R	生活健康 科学	人間発達 科学	臨床心理学	社会経営 科学	情報学	人文学	自然環境 科学	
2021	3.47(3.69~2.57)		3.62	3.48	3.49	3.48	3.43	-	-	3.69	3.29	
2022	3.52(3.85~2.84)		3.71	3.47	3.67	3.38	3.71	3.31	3.71	3.48	-	
2023	3.59(3.67~3.56)		-	3.59	-	-	3.57	-	3.67	-	-	

※ () 内の値は「最高値～最低値」

	性別		年齢別							
	男	女	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上		
2021	3.55	3.49	3.67	3.49	3.57	3.42	3.61	3.61		
2022	3.49	3.56	3.80	3.55	3.67	3.51	3.43	3.47		
2023	3.56	3.62	3.00	3.43	3.90	3.53	3.45	4.00		

【2023年度新規開設科目】(単純集計1 平均評点) コース・科目区分別、プログラム別

付録) 2023年度学生による授業評価集計結果の概要について

科目No.

2023年度学生による授業評価調査票 (学部)

次の科目についてお答えください。

科目名	
科目コード	

- I. この授業科目を学習して、あなたはどのような印象や感想をお持ちになりましたか。次の①～④及び(1)～(21)の項目について、あてはまる程度を4段階で評価し、4～1の番号にそれぞれ1つだけ○を付けてください。(この面が済みましたら、裏面にお答えください。)

(注) 通信指導を提出していない方、単位認定試験を受験していない方についても、回答できる範囲でお答えください。

A. 授業評価をしていただく前に、あなたの授業への取組みについてお尋ねします。

① 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。	4	3	2	1
② 放送授業を十分に視聴した。	4	3	2	1
③ 印刷教材を熱心に学習した。	4	3	2	1
④ 単位認定のための学習方法について、次の1～3のいずれか一つを選んでください。				
1. ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ。				
2. ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ。				
3. 放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ。				

B. 以下のアンケートにお答えください。

<授業の難易度・分量>				
(1) 放送授業の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(2) 放送授業の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
(3) 印刷教材の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(4) 印刷教材の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
<放送授業>				
(5) 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。	4	3	2	1
(6) 放送授業は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
(7) (テレビ科目についてのみお答えください) テレビの特性が十分に生かされていると感じた。	4	3	2	1
(ラジオ科目についてのみお答えください) 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた。				
(8) (テレビ科目についてのみお答えください) ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった	4	3	2	1
(ラジオ科目についてのみお答えください) ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった				
(9) ゲストや聞き手によって、理解が深まった	4	3	2	1
<印刷教材>				
(10) 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった。	4	3	2	1
(11) 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。	4	3	2	1
(12) 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(13) 印刷教材は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
<通信指導・単位認定試験>				
(14) 通信指導のコメントは、納得のいくものだった。	4	3	2	1
(15) 通信指導は学習内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(16) 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった。	4	3	2	1
<全体評価>				
(17) 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	4	3	2	1
(18) 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	4	3	2	1
(19) 新しい知識が身につき視野が広がった。	4	3	2	1
(20) この科目の内容を全体としてよく理解できた。	4	3	2	1
(21) この科目の内容には全体として満足している。	4	3	2	1

裏面に続きます。

II. 次の点について、ご自由にお書きください。

(1) この科目を受講してよかったですと思う点をお書きください。

(2) この科目を受講して、放送授業をさらによくするために改善すべきだと感じた点（例：ロケ、ゲスト、図表等の画像、演出の工夫等）をお書きください。

(3) この科目を受講して、その他のことで改善すべきだと感じた点をお書きください。

(4) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

III. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。（あてはまる番号に○を付けてください。）

- | |
|-------------------------------|
| 1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。 |
| 2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。 |
| 3. 通信指導を提出しなかった。 |

IV. あなたご自身についてお答えください。（あてはまる番号にそれぞれ○を付けてください。）

(1) 学生種別	〔全科履修生 新コース所属の方〕 1. 生活と福祉 2. 心理と教育 3. 社会と産業 4. 人間と文化 5. 情報 6. 自然と環境 〔全科履修生 旧専攻所属の方〕 7. 生活と福祉 8. 発達と教育 9. 社会と経済 10. 産業と技術 11. 人間の探求 12. 自然の理解 〔選科履修生・科目履修生〕 13. 選科履修生 14. 科目履修生
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他（ ）

どうもありがとうございました。

授業評価の組織的な活用

